

アーツカウンシル東京

令和5(2023)年度事業報告書

アーツカウンシル東京

令和5(2023)年度事業報告書

目次

■アーツカウンシル東京の役割と事業展開 ■令和5（2023）年度の事業を振り返って

I. 企画戦略事業

01 TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト	27
02 シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]	28
03 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー	34
04 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー TURN LANDプログラム	37
05 広報・プロモーション活動	39

II. 芸術文化支援事業

06 東京芸術文化創造発信助成	42
07 芸術文化による社会支援助成	49
08 地域芸術文化活動応援助成	51
09 スタートアップ助成	53
10 伝統芸能体験活動助成	60
11 芸術文化魅力創出助成	61
12 ライフウィズアート助成	63
13 東京ライブ・ステージ応援助成	64
14 東京芸術文化創造発信助成【長期助成】活動報告会	70
15 芸術文化による社会支援助成 活動報告会	72
16 東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」	74
17 アーティストの創作環境の整備事業 「START Box」	76
18 Tokyo Artist Accelerator Program (TAAP)	78

III. 芸術文化創造・発信事業

19 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2023	79
20 東京大茶会2023	80
21 伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2023～	81
22 東京芸術祭 2023	83
23 Shibuya StreetDance Week 2023	87
24 六本木アートナイト2023	88
25 キッズ伝統芸能体験	91
26 子供のための伝統文化・芸能体験事業	93

27 大人のための伝統文化・芸能体験事業	95
28 パフォーマンススキッズ・トーキョー	97

東京アートポイント計画

29 HAPPY TURN／神津島	102
30 ファンタジア！ファンタジア！ ー生き方がかたちになったまちー	105
31 Artist Collective Fuchu [ACF]	109
32 ACKT（アクト／アートセンタークニタチ）	112
33 多摩の未来の地勢図 Cleaving Art Meeting	115
34 カロクリサイクル	120
35 KINO ミーティング	124
36 めとてラボ	127
37 Artpoint Meeting	130
38 Tokyo Art Research Lab (TARL)	131

IV. 人材育成事業

39 タレンツ・トーキョー 2023	134
40 アーツアカデミー	136
41 アートマネジメント人材等海外派遣プログラム	139

V. ネットワーク形成事業

42 アーツカウンシル・フォーラム	141
43 区市町村連携事業	142
44 区市町村等職員向け文化行政講座	143

アーツカウンシル東京の役割と事業展開

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開していきます。

アーツカウンシル東京は、新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。

設立趣旨

1. アーツカウンシル東京は、芸術団体や民間団体、NPO等と協力し、東京における芸術文化創造のさらなる促進や東京の魅力向上を図ります。
2. 国際都市東京にふさわしい個性豊かな芸術文化創造や、創造性に満ちた潤いのある地域社会の構築に貢献していきます。
3. 芸術文化の自主性と創造性を尊重しつつ、専門的かつ長期的な視点にたち、新たな芸術文化創造の仕組み・環境を整えます。

I. 企画戦略事業

公益財団法人東京都歴史文化財団全体を視野に入れた企画調整機能を活用しながら、新たな芸術文化の創造や参加の機会創出を図ります。

II. 芸術文化支援事業《助成・活動支援》

東京の芸術文化の魅力を向上させ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化や伝統芸能の振興、社会や都市の様々な課題に取り組む芸術活動等を支援するため、それぞれの目的に応じた助成事業を実施しています。また、芸術文化活動に関する相談窓口や講座事業等による総合的なサポート情報の提供や、制作スペースやクリエイション、プレゼンテーションの場の提供等、活動を継続し発展させるための多角的な支援を行います。

III. 芸術文化創造・発信事業

芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施する事業です。都内各地での文化創造拠点の形成や、子供・青少年等への創造体験の機会の提供により、多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。

■フェスティバルや参加・体験プログラムの開催

フェスティバルの開催や参加・体験プログラムの実施を通して、芸術文化の創造活動を拡充・発信し、継承しています。

■文化創造拠点の形成（東京アートポイント計画）

地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す取組です。日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクトを実施し、その担い手となるNPOの育成や活動基盤を整えながら、東京の多様な魅力の創造・発信を目指します。

IV. 人材育成事業

未来を見据え、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成していきます。

V. ネットワーク形成事業

区市町村や芸術文化団体・文化施設・機関等とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力向上のきっかけづくりを行います。

令和5（2023）年度の事業を振り返って

令和5（2023）年度は、東京の芸術文化を担うアーティスト及び関係者の持続的な活動を支援することを目的として、相談窓口、情報提供、スクールの3つの機能を有する東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」を設置するなど、これまで実施してきた各種助成事業とともに、アーツカウンシル東京が担う、芸術文化の創造環境の整備、アーティスト及び関係者のサポート機能の強化を図りました。

■戦略的取組の推進

財団全体を視野に入れた企画調整機能を活用しながら、芸術文化の面から共生社会の実現を目指す「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」や、最先端技術を活用して新たな価値の創出を図る「TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト」など、組織を横断する取組を推進しました。

「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」では、昨年度の国際会議に続き、国内関係者を集めたサマーセッション（「だれもが文化でつながるサマーセッション2023」）を開催し、情報共有とネットワークの構築に努めました。

「TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト」では、引き続きデジタルアーカイブの充実を図るほか、ICTを活用したスマートフォンアプリ「ハイパー江戸博」第3弾、体験型コンテンツ「エクストリーム江戸博」、鑑賞支援Webアプリケーション「江戸東京たてもの園鑑賞ナビ」の開発などを行いました。

■支援事業の充実強化

10月に東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」を総合オープンし、外部の専門家の方たちとも連携しながら、オンラインを中心に、多様なジャンルのアーティスト及び関係者を様々な側面からサポートしました。

また、東京の芸術文化の多様性を支える中小規模の芸術文化団体（パフォーミングアーツ分野）を対象とした「東京ライブ・ステージ応援助成」を新設したほか、都営住宅等の空き店舗を活用し、若手アーティストに利用しやすい料金で創作場所を提供する「START Box」をササハタハツ（渋谷区笹塚・幡ヶ谷）とお台場に順次開設するとともに、美術や映像等の若手アーティストのアート市場での活躍と国際的な飛躍を支援する「Tokyo Artist Accelerator Program（TAAP）」を開始しました。

■海外とのネットワークを視野に入れた人材育成

海外の先端的なフェスティバル等へ、有望な若手マネジメント人材等を短期間派遣し、海外のディレクターやプロデューサーとのネットワークを創出し、東京の芸術文化を担う人たちの将来的な活動の拡がりにつなげることを目指す「アートマネジメント人材等海外派遣プログラム」を新たに開始しました。

このように、アーツカウンシル東京は、精力的に新規事業を立ち上げ、これまで以上に創造活動環境の整備を進めることで、東京の芸術文化活動のさらなる活性化を図るとともに、多くの方に芸術文化に触れていただく機会を創出していきます。

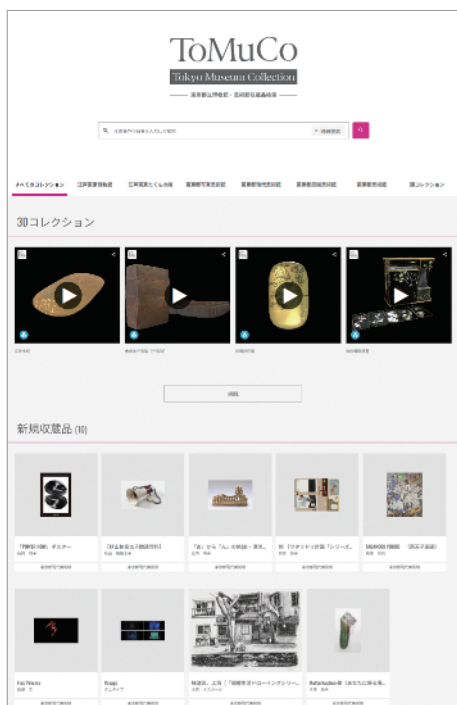
今後とも、アーツカウンシル東京の取組に、ご理解、ご協力をいただき、さらなるご支援をお願いいたします。

アーツカウンシル東京

機構長 青柳正規

TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト

▶ 詳細 p.27



ToMuCo
東京都立博物館・美術館収蔵品検索



体験型コンテンツ
「エクストリーム江戸博 明治銀座の時間旅行」



スマートフォンアプリ
「ハイパー江戸博」第2弾「明治銀座編」



鑑賞支援 Web アプリケーション
「江戸東京たてもの園鑑賞ナビ」

シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

▶ 詳細 p.28



ミートアップ 「ハロー！ラボラトリーズ！ Vol.2：時代に呼応する、世界の文化拠点」



未来提案型キャンプ 「Future Ideations Camp Vol.2 | setup(): ブロックチェーンで新しいルールをつくる」



ワークショップ 「ひらめく☆道場」



ショーケース 岩井俊雄ディレクション「メディアアート・スタディーズ 2023：眼と遊ぶ」

クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

▶ 詳細 p.34

だれもが文化でつながるサマーセッション2023



トークセッション 「文化的「社会的処方」と共創の場」



レクチャー＆ワークショップ 「視覚身体言語とコミュニケーション」



展示 「多様な身体・知覚・コミュニケーション・文化に出会う」 身体と多様性と表現（アーティスト：檜皮一彦、協力：エプソン販売株式会社）



展示 「多様な身体・知覚・コミュニケーション・文化に出会う」 手でみる美術館「アンテロス」

クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー TURN LANDプログラム

▶ 詳細 p.37



クラフト工房 La Mano (ラ・マノ)「ジョニーのアフタヌーンブレイク」 撮影：梅田彩華



ほうらい地域包括支援センター「バラエティ・ポコペン」 撮影：梅田彩華



放課後等デイサービス フェイト「オーロラ・フロアプロジェクト」 撮影：梅田彩華



西荻ふれあいの家「イセカツ工房」 撮影：梅田彩華

東京芸術文化創造発信助成

▶ 詳細 p.42



カテゴリーⅠ【単年助成】
「アートと社会」実行委員会
展覧会「あなたのアートを誰に見せますか？」
展覧会場風景 (2023) - 中央は小林正人《画家の肖像》(2019)
撮影：川越健太



カテゴリーⅡ【長期助成】
合同会社UPN
「テラジア | 隔離の時代を旅する演劇」
撮影：山畑俊樹



カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業【長期助成】【単年助成】
一般社団法人Japanese Film Project
「JFP Joint～映画界の若手＆女性のためのネットワークづくりとオンライン講座～」
シンポジウム「女性映画人で語り合う、日本映画のこれから」開催風景

芸術文化による社会支援助成

▶ 詳細 p.49



nosmosis 実行委員会
「nosmosis research 2023」
『みえないグラデーション』UNSEEN GRADATION
©Tomoki Imai

地域芸術文化活動応援助成

▶ 詳細 p.51



「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会
KOSUGE1-16「どこどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」
撮影：427FOTO

スタートアップ助成

▶ 詳細 p.53



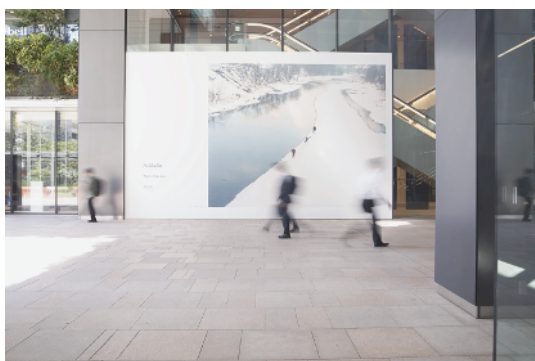
宮森みどり
「Anna」
Anna | 宮森みどり (撮影：Ray Thoma 東間嶺)

伝統芸能体験活動助成

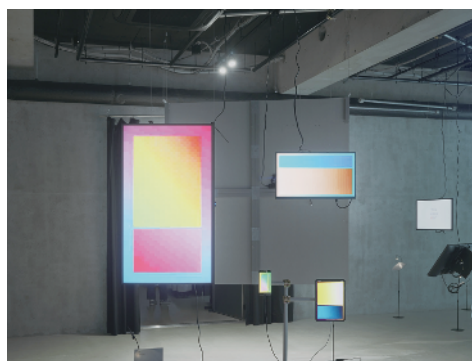
▶ 詳細 p.60



一般社団法人柔和の会
「手ぶらで三味線お稽古」



一般社団法人 TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY
「T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023」



NEORT 株式会社
「Proof of X」
撮影：Hirokazu Kobayashi



一般社団法人 Co. 山田うん
「山田うん×池上高志プロジェクト」
Photo by HAL KUZUYA



東京中低域
「東京国際バリトンサクソ・フェスティバル2024」



観世流緑泉会
「創作舞踊劇「首里」公演-大和の能・琉球の組踊が生み出す新たな
創生-《首里城の復興を祈って》」
撮影：三宅流



日比谷音楽祭実行委員会
「日比谷音楽祭2023」

ライフウィズアート助成

▶ 詳細 p.63



DOMMUNE 株式会社
「宇川直宏展 Final media therapist @Dommune」
Photo by kioku keizo



一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパン
「有楽町ウィンドウギャラリー2024」
Photo by Yuta Hinohara

東京ライブ・ステージ応援助成

▶ 詳細 p.64



DANCE for Life 実行委員会
「DANCE for Life 2023 篠原聖一 バレエ・リサイタル」
撮影：岡村昌夫（テス大阪）



文藝天国
文藝天国 2nd one-man live 「アセンション」
写真：たかつきあお



蒼天
「第五回 蒼天公演」
©kunionishi



NHK 邦楽技能者育成会による現代邦楽“考”
「第五回 現代邦楽“考”」



平泳ぎ本店
平泳ぎ本店 第8回公演 戸山公園野外演劇祭参加作
品「若き日の詩人たちの肖像」
Photo by Mikio Kitahara



LASENAS 合同会社
「LASENAS with 小川慶太」
Photo by ヒサノモトヒロ

東京芸術文化創造発信助成【長期助成】活動報告会

▶ 詳細 p.70



第16回 オフィスアルブ
「各地の伝承・生活文化を横断し、身体性を未来へと拓く
国際共同制作— 東南・南・中央アジア、アイルランド、
日本—」 撮影：松本和幸



第17回 有限会社quinada
「松井周の標本室2020-2022/ ダイアログとアートが
発酵したら」 撮影：加藤和也

芸術文化による社会支援助成 活動報告会

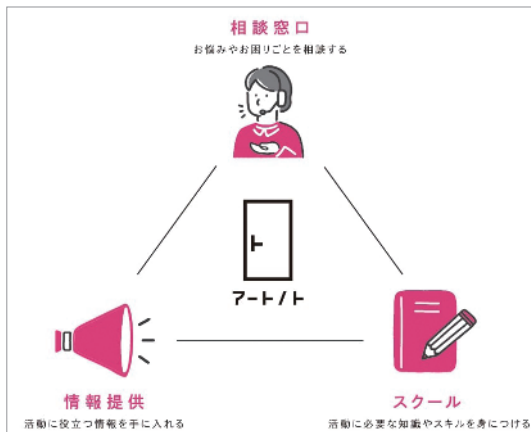
▶ 詳細 p.72



第4回 合同会社Chupki、ものがたりグループ☆ポランの会
「環境整備とクリエイション〜バリアフリー鑑賞の推進
からその先へ」
シネマ・チュプキ・タバタ 提供：合同会社Chupki



第5回 表現クラブがやがや、一般社団法人もんでん
「うた・ことば・からだー多様な人が出会う場づくりの可
能性」
一般社団法人もんでん「うたの住む家」ミニコンサート



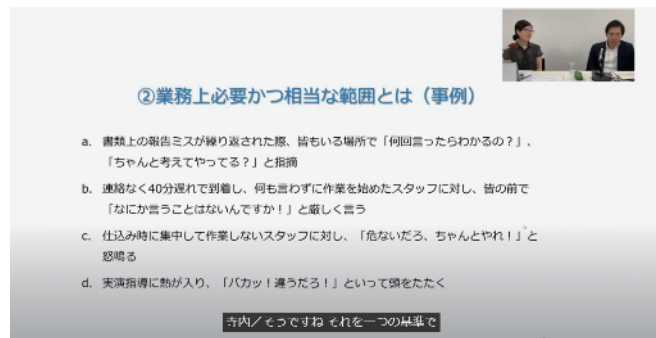
アートノト3つの機能



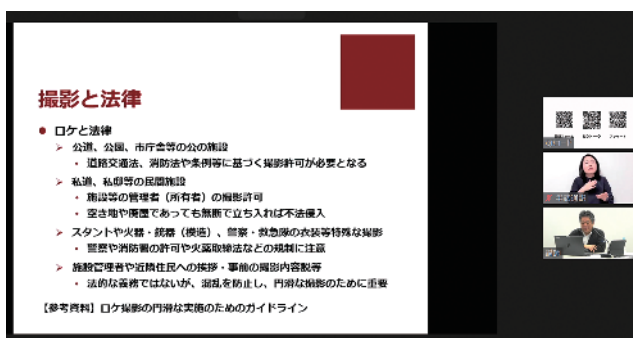
アートノト公式ウェブサイトトップページ



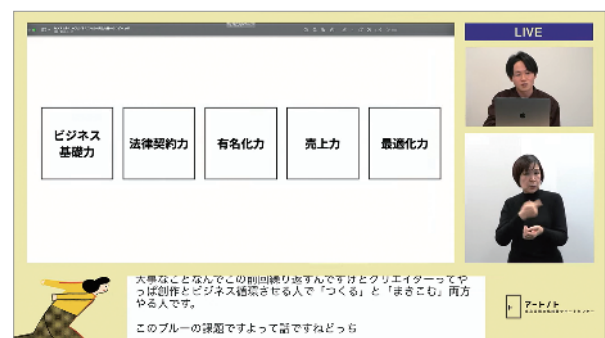
総合オープンにあたっての応援メッセージ動画



知っておきたい芸術文化の担い手のためのハラスメント防止講座



芸術文化の担い手のための法務講座



創造現場のビジネススキルはじめての一步

アーティストの創作環境の整備事業「START Box」

▶ 詳細 p.76



START Box ササハタハツ



START Box ササハタハツ



START Box お台場



START Box EXHIBITION (YAU CENTER)

Photo by tatsuki nakata

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2023

▶ 詳細 p.79



お座敷ライブ



芸能道しるべ



神楽坂路上界限 新内流し



毘沙門天・夜会

東京大茶会2023

▶ 詳細 p.80



浜離宮恩賜庭園会場 野点



浜離宮恩賜庭園会場 英語で楽しむ野点



江戸東京たてもの園会場 茶席



江戸東京たてもの園会場 子供と楽しむ茶席

伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル2023～

▶ 詳細 p.81



下平井の鳳凰の舞～円陣による勇壮な風流踊～



人力車乗車体験～歴史の面影を探す街めぐり～



諏訪はやし連～立川の伝統祭囃子～



村山大島紬の技と心～蔵の中で紬を楽しむ～

東京芸術祭 2023

▶ 詳細 p.83



芸劇オータムセレクション 太陽劇団（テアトル・デュ・ソレイユ）『金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-Jima』
© 後藤敦司



野外劇 SPAC-静岡県舞台芸術センター『マハーバーラタ～ナラ王の冒険～』 © 御堂義乗



「とのおくのアンサンブル」 © 冨田了平



「東京芸術祭ひろば」 © 古田七海

Shibuya StreetDance Week 2023

▶ 詳細 p.87



SSDW CONTEST



BATTLE PARK



DANCE WITH music



CHILL OUT SPACE

六本木アートナイト2023

[▶ 詳細 p.88](#)



Close-Act Theatre 「White Wings」



栗林隆＋Cinema Caravan 「Tanker Project」



鴻池朋子「武蔵野皮トンビ」 ©Tomoko Konoike



佐藤圭一「nutty nutty」

© 六本木アートナイト実行委員会

キッズ伝統芸能体験

[▶ 詳細 p.91](#)



お稽古の様子 能楽（謡・仕舞） 撮影：菅原康太



お稽古の様子 長唄（篠笛） 撮影：武藤奈緒美



発表会の様子 三曲（箏曲） 撮影：武藤奈緒美



発表会の様子 日本舞踊 撮影：武藤奈緒美

子供のための伝統文化・芸能体験事業

▶ 詳細 p.93



体験・鑑賞の様子（日本舞踊）



体験・鑑賞の様子（和楽器いろいろ）



体験・鑑賞の様子（和妻）



体験・鑑賞の様子（箏）

大人のための伝統文化・芸能体験事業

▶ 詳細 p.95



トーク 能楽



鑑賞 長唄



体験 いけばな



体験 能仕舞

撮影：MAEGAWA TOSHIYUKI

パフォーマンススキッズ・トーキョー

▶ 詳細 p.97



「●これなんだ」 新宿文化センター 撮影：金子愛帆



「こころの旅」 狹江エコルマホール 撮影：松本和幸



「パズレル！」 三鷹市生涯学習センター 撮影：松本和幸



「幸せについて、踊ってもいいよ」 福生市民会館 撮影：金子愛帆

東京アートポイント計画

▶ 詳細 p.100



Tokyo Art Research Lab (TARL) 「新たな航路を切り開く」3つの航路 北川フラム | アートは赤ちゃんだ



まず、話してみる。ー コミュニケーションを更新する3つの実践「めとてラボ 座談会収録」 撮影：小笠原彩



Artpoint Meeting #13 災害の“間”をたがやす 撮影：池田宏



東京アートポイント計画事業 成果物



拠点「くると」 撮影：小野悠介



くると部活動プロジェクト「ウクレレ部」



アーティスト・プログラム「くると冬まつり 2023」
撮影：村上大輔



アートプロジェクトHAPPY TURN／神津島はなんだったのか。「くるとってどんな場所？」 撮影：小野悠介

ファンタジア！ファンタジア！ー生き方がかたちになったまちー



『藝とスタジオのひらき方』を考える「言語を超え他者と出会う」



【リソで刷ろう！】手描きの名刺づくりワークショップ



すみだボランティアまつり



「野ざらし」による交流会「さなぶり」

Artist Collective Fuchu [ACF]

▶ 詳細 p.109



Artist Collective Fuchu presents 「おとのふね」 talk43



まなばぁーと「ロジックモデル再構成」



ラッコルタ・創造素材ラボ- アーティストワークショップ「モノモノログ」 撮影：深澤明子



ラッコルタ・創造素材ラボ- 成果展 撮影：深澤明子

ACKT (アクト／アートセンタークニタチ)

▶ 詳細 p.112



DIT (Do It Together) による拠点づくり



活動拠点「さえき洋品●(てん)」



もちつき大会&鏡もちづくり



Kunitachi Art Center 2023 公開制作プログラム
【GEI SHOW HALL 2023】

多摩の未来の地勢図 Cleaving Art Meeting

▶ 詳細 p.115



活動拠点「小金井アートスポット シャトル2F」
撮影：高岡弘



多摩の未来の地勢図をともに描く — re.*生きることの表現



ざいしらべ「土による造形」



ゆずりはをたずねてみる「演劇を通してケアを考えるワークショップ」

カロクリサイクル

▶ 詳細 p.120



記録から表現をつくる2023



展覧会「とある窓」 撮影：森田具海



配信番組「テレビノーク」



カロク・リーディング・クラブ 第2回「『震災記念文集』と『台風記』を読んで語る」

KINO ミーティング

▶ 詳細 p.124



KINO ミーティング #3 北区



KINO ミーティング #4 新宿 上映会



ステップアップワークショップ「KINO ログ」



ステップアップワークショップ「シネマエチュード」

めとてラボ

▶ 詳細 p.127



めとてラボ拠点「5005」



アーカイブプロジェクト「井岡さん家のホームビデオ鑑賞会」 撮影：田中ノブ



アーカイブプロジェクト「那須さん家のホームビデオ鑑賞会」



DeafSpace勉強会 & ワークショップ

Artpoint Meeting

▶ 詳細 p.130



Artpoint Meeting #12 “わたしたち”の文化をつくる—成果の見方、支える仕組み— 撮影：小野悠介



Artpoint Meeting #13 災害の“間”をたがやす 撮影：池田宏



Artpoint Meeting #13 災害の“間”をたがやす 撮影：池田宏



Artpoint Meeting #14 わたしたちの“拠点”をつくる：ひらきかた とつづけかた 撮影：仲田絵美

Tokyo Art Research Lab (TARL)

▶ 詳細 p.131



新たな航路を切り開く 演習 | 自分のアートプロジェクトをつくる



ジムジム会2023 撮影：加藤甫



ろう者の感覚を知る、手話を体験する 2023 撮影：齋藤彰英



タレンツ・トーキョー 2023

▶ 詳細 p.134



アーツアカデミー

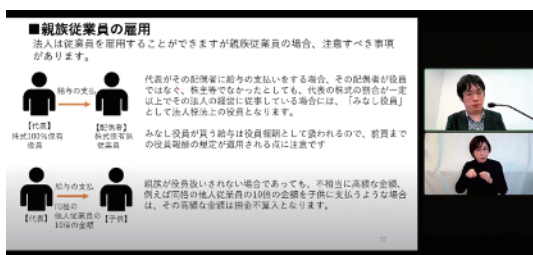
▶ 詳細 p.136



芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座



芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座 ART JOB FAIR 2024での特別企画【キャリア談話コーナー】



芸術文化創造活動の担い手のための会計・税務講座



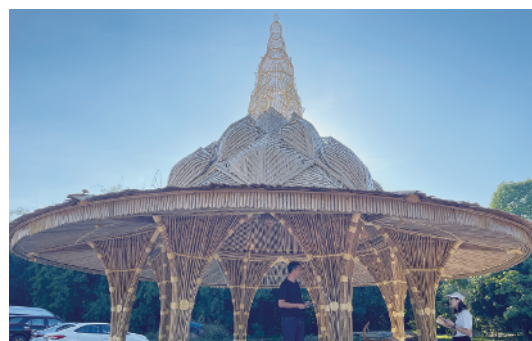
東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

アートマネジメント人材等海外派遣プログラム

▶ 詳細 p.139



第1回派遣 エディンバラ（スコットランド）



第2回派遣 タイランド・ピエンナーレ（チェンライ）、バンコク



第2回派遣 ニューヨーク・ブロードウェイ（米国）



報告会の様子

アーツカウンシル・フォーラム

▶ 詳細 p.141



「都市の中でアートがつかないでいくもの—創造現場のシフトチェンジから考える」



区市町村等職員向け文化行政講座

▶ 詳細 p.143



文化行政講座

1 TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト

【事業概要】

都立文化施設における情報通信基盤整備、データベース拡充等による収蔵品の利活用、デジタルを活用したプログラムの企画開発、最先端技術を活用した新しい鑑賞体験等により、魅力的なコンテンツを創造・発信。良質な芸術文化の鑑賞・参加・体験機会をリアル（オンサイト、オフライン）に加え、デジタルでの提供も拡充することにより、オンラインによる参加機会やグローバルな文化交流等の拡大を実現する。

【事業趣旨（目的）】

都立文化施設のデジタルシフトにより、誰もが、いつでも、どこでも芸術文化を楽しめる環境を実現するために、都立文化施設が有する収蔵品や、展覧会・公演等の活動の文化資源をデジタル化し、記録・保存するとともに、多様な形態での鑑賞体験を提供する。また、文化資源のオンライン公開、最先端技術による新しい鑑賞体験の創出とそれに伴う都立文化施設の情報通信基盤整備を一体的に推進する。

【実施状況】

項目	コンテンツ名	内容
情報通信基盤整備	—	東京都美術館のネットワーク環境を中心とする施設インフラ整備及び資料情報等データ管理の統一化を実施した。
収蔵品利活用	Tokyo Museum Collection (ToMuCo) 東京都立博物館・美術館収蔵品検索	6つの都立ミュージアム（東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園、東京都美術館、東京都庭園美術館、東京都写真美術館、東京都現代美術館）の収蔵資料をオンライン上で公開するためのシステム構築と資料情報を拡充した。 また、東京都江戸東京博物館の収蔵品や、江戸東京たてもの園の復元建造物の3D データ画像を公開した。
プログラム企画開発	スマートフォンアプリ 「ハイパー江戸博」	デジタル技術を活用し、博物館が有する収蔵品の新たな鑑賞体験の提供を目的に開発されたスマートフォンアプリ「ハイパー江戸博」。 第1弾「江戸両国編」、第2弾「明治銀座編」の公開に引き続き、江戸時代のお金事情をテーマにした第3弾「日本橋繁昌記 江戸のお金編」を開発した。
	体験型コンテンツ 「エクストリーム江戸博」	スマートフォンアプリ「ハイパー江戸博」の世界をリアルに体験できる、ゲームエンジンとMR/ジェネラティブ映像による2つの体験型コンテンツ「エクストリーム江戸博 明治銀座の時間旅行」「エクストリーム江戸博 走る江戸！ 駆けろ両国！」を制作した。
	鑑賞支援 Web アプリケーション 「江戸東京たてもの園鑑賞ナビ」	江戸東京たてもの園の学芸員と園内をめぐるような歴史的建造物のみどころ解説をはじめ、現在地を表示するマップモードや歴史的建造物の古写真、昔の道具を解説するARモードを搭載した「江戸東京たてもの園鑑賞ナビ」を開発した。

2 シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

【事業概要】

所在地	東京都渋谷区宇田川町3-1 渋谷東武ホテル地下2階
開館時間	13:00~19:00
休館日	月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【事業趣旨（目的）】

アートとデジタルテクノロジーを通じて、人々の創造性を社会に発揮する（シビック・クリエイティブ）ための活動拠点として、令和4（2022）年10月に渋谷に開所。ラボ、スタジオ等のスペースを備え、ワークショップなどの様々なプログラムを通じて、東京からイノベーションを生み出す原動力となることを目指している。

<ミッション>

- 発見—Inspire—
子供たちがアート&テクノロジーに出会い、創造的に生きるための学びの場を創出
- 共創—Co-Create—
多様な人々が協働して未来の東京について考え、これからの社会をともにデザイン
- 開発—Incubate—
アーティストやクリエイターをパートナーに迎え、新たなアート表現を創造、発信
- 連携—Network—
まちや人とつながり、国内外でのネットワークを形成し、デジタルクリエイティブの拠点を創出

<ステイトメント>

○Co-Creative Transformation of Tokyo

DXにCXを接合させ、CCBTがトランスフォーメーションのエンジンとなり、人間とは何か？ 社会とは何か？を問いかけながら、東京の都市課題と最先端の創造性を衝突させ、Art for Societyの視点からプログラムを展開する。

【実施状況】

1. ミートアップ

開催日	プログラム名	出演者	入場者数 (人)
4/21	「CCBTは、デジタル公民館？」クリエイティブ拠点のコミュニティづくり	田中元子（株式会社グランドレベル代表取締役社長）、会田大也（ミュージアム・エデュケーター）、佐々木秀彦（アーツカウンシル東京企画部企画課長）	26
11/25	交差する、身体/ジェンダー/イメージ/テクノロジー：Cyberfeminism Indexにみる多義的な実践と理論	Mindy Seu（デザイナー、テクノロジスト）、Melanie Hoff（アーティスト、エデュケーター）、四方幸子（キュレーター、批評家）、高橋さきの（翻訳者）、布施琳太郎（アーティスト）、水品マミ（インディペンデントキュレーター、アートコーディネーター）	87
12/23	ハロー！ラボラトリーズ！Vol.2：時代に呼応する、世界の文化拠点	松本亮子（Exploratorium）、Birte Sonnenberg（HELLERAU）、Jeong Ok Jeon（ARCOLABS）、伊藤隆之（シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]）、廣田ふみ（シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]）	61 ☆
1/14	妄想リバーズエンジニアリングvol.3 国民的人気歌番組のあの演出、どうやったんだろう？	イトウユウヤ（テクニカルディレクター）、田部井勝彦（シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]）、浪川洪作（アーティスト、エンジニア）	35 ☆

☆オンライン配信あり

2. アート・インキュベーション

令和5（2023）年5月に企画公募を行い、141件の応募のうち5組をアーティスト・フェローとして採択。AIやWeb3、音楽表現・パフォーミングアーツ、ダイバーシティ&インクルージョン、市民参画プロジェクト等の5つのテーマで企画を公募した。

フェローの創作活動に市民が参加する機会としてワークショップ、トークイベントを全44回開催。

<アーティスト・フェロー プロフィール等>

(1) TMPR（岩沢兄弟+堀川淳一郎+美山有+中田一会）

体験設計&空間デザインユニット・岩沢兄弟、プログラマー/アルゴミックデザイナー・堀川淳一郎、グラフィッ

クデザイナー・美山有、コミュニケーションプランナー・中田一会による協働チーム。“Tokyo Moving Point Researchers”の略。

(2) Synflux

次代のファッションをつくりだす思索的デザインラボラトリー。デジタル技術を活用し、持続可能な未来を目指す研究開発や社会実装に従事している。H&M Foundation Global Change Award アーリー・バード特別賞など受賞多数。

(3) contact Gonzo

平成18（2006）年結成。肉体の衝突を起因とする牧歌的崇高論を応用し、即興的なパフォーマンスや映像、写真作品の制作、マガジンの編集などを行う。独自に製作した構造物でレモンなどの果物を時速100キロで撃つことができる。

(4) SnoozeLab.

スヌーズレン・センサリールームの環境づくり&乳幼児のデジタルコンテンツの企画開発が専門の橋本敦子に、サスティナブルなチームづくりを手がけてきた市川望美がジョイン。活動に共鳴する企業・団体が構成していく共創プラットフォーム。

(5) ELECTRONICOS FANTASTICOS!

アーティストの和田永を中心に、様々な人々が共創しながら役割を終えた電化製品を新たな「電磁楽器」へと蘇生させ、徐々にオーケストラを形づくっていくプロジェクト。

※関連のミートアップ、ワークショップを含む。

開催日	会場	プログラム名	アーティスト等	入場者数 (人)
10/7	FabCafeMTRL	ELECTRONICOS FANTASTICOS!「発電磁行列」キックオフ・ミーティング	大久保勝仁（銭湯「電気湯」四代目）、岸川雅範（神田明神）、前川久美（I JUST INC「でんきバンク」開発担当）、和田永（ELECTRONICOS FANTASTICOS!首謀者）、出沼真由美（デザイナー代表/日立 Orchest-Lab）、山本颯之助（プレイヤー代表/東京 Orchest-Lab）、鷺見倫一（エンジニア代表/日立 Orchest-Lab）	—
12/19	CCBT	contact Gonzo × 永田和宏トーク「『閉じつつ、開く』システムと境界～bintaの深層～」	講師：永田和宏（細胞生物学者、歌人） 登壇：contact Gonzo（パフォーマンスユニット）、津田和俊（研究者）	18
12/16,17,24,1/8,13,27,28	CCBT	ELECTRONICOS FANTASTICOS!「発電磁行列」オープンスタジオ	ELECTRONICOS FANTASTICOS!（参加型アートプロジェクト）	109
1/12～14,16～21	CCBT	「動点観測所(35.39.36.02/139.42.5.98)」ワークショップ	TMPR（岩沢兄弟＋堀川淳一郎＋美山有＋中田一会）	228
1/13	CCBT	【動点観測所開所記念！】TMPRアーティスト・トーク with 木原共	登壇：TMPR（岩沢兄弟＋堀川淳一郎＋美山有＋中田一会）、木原共（メディアアーティスト/インタラクティブデザイナー）	55 ☆
1/14,16～21	—	トークイベント「TMPRの反省会」	TMPR（岩沢兄弟＋堀川淳一郎＋美山有＋中田一会） ゲスト：山川陸（アーティスト、Transfield Studio 共同主宰）、青木彬（インディペンデントキュレーター）、林雄司（デイリーポータルZ）、古賀及子（日記エッセイスト）、柳下恭平（株式会社鶴来堂代表、かもめブックス店主）、石川由佳子（for Cities共同代表、Social Green Design協会理事）、萩原俊矢（ウェブデザイナー、プログラマー、ディレクター）、田中元子（株式会社グラントレベル代表）	220 ☆ (オンライン配信のみ)
2/17	CCBT	Welcome to the Skinland -皮膚からの情報を意識化するワークショップ-	contact Gonzo（パフォーマンスユニット）	19
2/18	CCBT	ステラーク × contact Gonzo -身体の拡張と肉体の衝突	ステラーク（パフォーマンスアーティスト）、contact Gonzo（パフォーマンスユニット）、南澤孝太（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（KMD）教授）	53
2/19	SUPER DOMMUNE	'23 CCBTアーティスト・フェロー大集合！～都市と市民のあいだを横断する5組のアーティスト「シビック・クリエイティブの哲学」	TMPR、Synflux、contact Gonzo、スヌーズレン・ラボ、ELECTRONICOS FANTASTICOS!、いすたえこ、宇川直宏、久世祥三、竹川潤一、田中みゆき、犬飼博士	6,785 ☆
3/1～3	ヒルサイドプラザ	my binta, your binta // lol ~ roars from the skinland ~	contact Gonzo、津田和俊（コンセプトサポート）、稲福孝信（デバイス設計）、伊藤隆之（シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]）	349
3/5～10	CCBT	みて・さわって・きいて—感じてあそぶスヌーズレン・ラボ 展示企画	SnoozeLab.（共創プラットフォーム）	757

開催日	会場	プログラム名	アーティスト等	入場者数 (人)
3/6,7	CCBT	みて・さわって・きいて—感じてあそぶスヌーズレン・ラボ ワークショップ「香りで探す“私”の感情」	協力：梶川美久里（株式会社ボラ）	5
3/8	CCBT	みて・さわって・きいて—感じてあそぶスヌーズレン・ラボ トークイベント「もっとインクルーシブに遊び・育ち・はたらく」	秋山政明（一般社団法人Burano 理事）、永峰玲子（一般社団法人mogmog engine）、大槻昌美（非営利型株式会社Polaris 代表取締役）	19
3/10	CCBT	みて・さわって・きいて—感じてあそぶスヌーズレン・ラボ クロージングトーク「テクノロジーとウェルビーイングがつながり、ひらく、未来にむけて」	伊藤雄一（青山学院大学理工学部教授）、久世祥三（アーティスト、エンジニア/2023年CCBTアート・インキュベーション・プログラム メンター）	29
3/15～24	CCBT	Synflux 展 覧 会「Algorithmic Couture Alliance — デジタルとファッションをめぐる対話」	Synflux（スペキュラティブ・デザインラボラトリー）	425
3/15	SUPER DOMMUNE	Synflux 配信イベント SUPER DOMMUNE「Algorithmic Couture Alliance — デジタルとファッションをめぐる対話」	川崎和也（スペキュラティブ・ファッションデザイナー/Synflux 株式会社代表取締役 CEO）、宇川直宏（“現在”美術家、DOMMUNE 主宰）、蘆田裕史（京都精華大学デザイン学部准教授）、井上雅人（武庫川女子大学生活環境学部准教授）、飯田豊（立命館大学産業社会学部教授）、津川恵理（建築家/ALTEMY 代表）	93 ☆
3/17	東京国際クルーズターミナル、東八潮緑道公園	ELECTRONICOS FANTASTICOS!「発電磁行列」	ELECTRONICOS FANTASTICOS!（参加型アートプロジェクト）、和田永（アーティスト、ミュージシャン）	400
3/20	CCBT	Synflux オープン・ダイアログ「デジタルな私と滑らかなファッションデザイン？」 [第1部] キーノート 「デジタルメディア時代におけるファッションとデモクラシーの未来」	川崎和也（スペキュラティブ・ファッションデザイナー/Synflux 株式会社代表取締役 CEO）、清水知子（東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科准教授）	37
3/20	CCBT	[第2部] レクチャー ・「デジタルプラットフォームのなかでのファッション—加速するイメージの連鎖と軽やかな消費」 ・「アート・ファッションの接続可能性をめぐるクリエイターコミュニティ実践」 ・「ファッションやアートプロジェクトにおけるコミュニティ、インクルーシブな実践について（仮）」	藤嶋陽子（ファッション研究者/Synflux 株式会社 CCO/立命館大学産業社会学部准教授）、原ちけい（インディペンデントキュレーター）、金森香（DRIFTERS INTERNATIONAL Representative Director/株式会社 precog アソシエイト・シニア・プロデューサー）	42
3/20	CCBT	[第3部] ワークショップ デジタルな私と滑らかなファッションデザインについて考えるワールドカフェ型ワークショップ	川崎和也（スペキュラティブ・ファッションデザイナー/Synflux 株式会社代表取締役 CEO）、藤嶋陽子（ファッション研究者/Synflux 株式会社 CCO/立命館大学産業社会学部准教授）、原ちけい（インディペンデントキュレーター）、金森香（DRIFTERS INTERNATIONAL Representative Director/株式会社 precog アソシエイト・シニア・プロデューサー）	25
3/22	CCBT	2023年度 CCBT アーティスト・フェロー活動報告会	プレゼンター：TMPR（岩沢兄弟+堀川淳一郎+美山有+中田一会）、Synflux、contact Gonzo、ELECTRONICOS FANTASTICOS! ゲスト登壇者（本プログラムメンター）：いすたえこ（アートディレクター、グラフィックデザイナー）、宇川直宏（“現在”美術家、DOMMUNE 主宰）、久世祥三（アーティスト、エンジニア）、竹川潤一（一般社団法人 MUTEK Japan 理事）、田中みゆき（キュレーター、プロデューサー）、細川麻沙美（札幌国際芸術祭事務局統括マネージャー）	37

☆オンライン配信あり

3. キャンプ

※関連のミートアップを含む

開催日	プログラム名	講師等	入場者数 (人)
8/12	Future Ideations Camp Vol.2【貴重講演01】「オンチェーン・アートがひらく『私』の表現」	Erick Calderon（創業者、CEO/Art Blocks）	57 ☆ (オンライン配信のみ)

開催日	プログラム名	講師等	入場者数 (人)
8/26~30	Future Ideations Camp Vol.2 setup(): ブロックチェーンで新しいルールをつくる	Erick Calderon (Art Blocks創業者、CEO)、会田大也 (ミュージアムエディター)、eziraros (アーティスト)、Jo-Lin Hsieh (Volume DAO コントリビューター、Sandwiches Studio 共同設立者)、Shih-Tung LO (Volume DAO メンバー、アーティスト、キュレーター)、菅沼聖 (山口情報芸術センター [YCAM] 社会連携担当)、高瀬俊明 (株式会社 TART 代表取締役)、田中薫 (ジェネラティブアーティスト)、永嶋敏之 (デザインエンジニア、ディレクター/株式会社メタファー代表取締役)、Oxhaiku (アーティスト)、藤幡正樹 (メディアアーティスト)、松橋智美 (株式会社メルカリ政策企画、Arts and Law 所属)、水野祐 (法律家、弁護士 (シティライツ法律事務所))、You-Sheng Zhang (Volume DAO 共同創設者)、wildmouse (ブロックチェーンエンジニア)	39
8/26	Future Ideations Camp Vol.2 【基調講演02】 藤幡正樹「芸術と耕文活動」	藤幡正樹 (メディアアーティスト)	69 ☆
8/27	Future Ideations Camp Vol.2 【基調講演03】 Volume DAO の原動力: アートとそれを支える人たち	You-Sheng Zhang (Volume DAO 共同創設者)、eziraros (アーティスト)	74 ☆
8/29	Future Ideations Camp Vol.2 【基調講演04】 水野祐「Web3における法のデザイン」	水野祐 (法律家、弁護士 (シティライツ法律事務所))	58 ☆
2/9~14	Future Ideations Camp Vol.3 インクルーシブな「出会いのきっかけ」を共創するワークショップ	岩沢兄弟 (体験設計&空間デザインユニット/いわさわひとし (立体デザイン担当、空間デザイナー/岩沢兄弟・兄)・いわさわたかし (テクニカルディレクター/岩沢兄弟・弟))、ジュリア・カセム (九州大学・秋田美術大学客員教授、奈良女子大学アドバイザー・高橋鴻介 (発明家)	35 ☆
2/10	Future Ideations Camp Vol.3 公開イベント オープン ンレクチャー&成果報告会	ジュリア・カセム (九州大学・秋田美術大学客員教授、奈良女子大学アドバイザー・高橋鴻介 (発明家)	68 ☆
2/14	Future Ideations Camp Vol.3 公開イベント オープン ンレクチャー&成果報告会	参加クリエイター: ・TEN TONE チーム 大久保敏之、柴田なるみ、中島千鶴、吉村優一 ・アトリエ福花チーム 浅沼比奈子、猪口陽平、式地香織 ・ストライドクラブチーム 糸川恵美子、坂部佑磨、佐久間心菜、鈴木智子、平山理貴 ・はあとびあ原宿チーム 稲垣友亮、小島千佳、小野明日香、神田美智、木村正子 ・福祉作業所ふれんどチーム 高橋真、三嶋泰生、ルミコ・ハーモニー、Henry Zhang、高橋隆太 ・Acute Observer: Henry Zhang デザインパートナー: ・TEN TONE ・アトリエ福花 ・ストライドクラブ ・はあとびあ原宿 ・福祉作業所ふれんど	76 ☆

☆オンライン配信あり

4. ワークショップ

開催日	プログラム名	講師等	入場者数 (人)
5/5,7	ブラクシノスコープをつくろう! in CCBT	橋本典久 (プリミティブメディアアーティスト)	28
7/21,28,8/4,17,18	ひらめく☆道場 デジタルファブリケーション入門 1: レーザーカッター編 アクリルスタンドをつくろう!	木村悠介 (CCBT テクニカルスタッフ)、イトウユウヤ (CCBT テクニカルスタッフ)	30
7/27,8/3,10	ひらめく☆道場 デジタルファブリケーション入門 2: 3Dプリンター編 ミニミニコンベアをつくろう!	中路景暁 (CCBT テクニカルスタッフ)	19
9/9,10,23,24	ひらめく☆道場 電子工作入門: モーターを使ってうごきをつくろう!	中路景暁 (CCBT テクニカルスタッフ/アーティスト、エンジニア)	20
10/7,8,21,22	ひらめく☆道場 電子工作入門: アルゴリズムで絵を描こう!	三浦大輝 (CCBT テクニカルスタッフ/エンジニア)	19
11/11,12,18,19	ひらめく☆道場 映像制作入門: 組み合わせで見るひとの受け取り方を変えよう!	乙戸将司 (CCBT テクニカルスタッフ)	20
12/2,3,16,17	ひらめく☆道場 サウンドデザイン入門: マイクとスピーカーで音の世界を探検しよう!	木村悠介 (CCBT テクニカルスタッフ/演出家、パフォーマー)	17
1/20,21,2/3,4	ひらめく☆道場 バイオテクノロジー入門: 顕微鏡と粘菌でミクロな世界を観察しよう!	ゲオアグ・トレメル (アーティスト/BCL、BioClub Tokyo)	21
3/16,17,23,24	ひらめく☆道場 プログラミング入門: 生成AIと一緒にアニメーションをつくろう!	倉橋真也 (エンジニア、アーティスト)	26

5. ショーケース

※関連のミートアップ、ワークショップを含む

開催日	プログラム名	講師等	入場者数 (人)
7/7~8/20	岩井俊雄ディレクション「メディアアート・スタディーズ 2023: 眠と遊ぶ」	大高那由子 (アニメーション作家、イラストレーター)、岩井俊雄 (メディアアーティスト、絵本作家)	3,530
7/8	古川タク×岩井俊雄 子弟対談	古川タク (アニメーション作家、イラストレーター、絵本作家)、岩井俊雄 (メディアアーティスト、絵本作家)	84

開催日	プログラム名	講師等	入場者数 (人)
7/19	眼と遊ぶ 装置の作り方	岩井俊雄 (メディアアーティスト、絵本作家)、橋本典久 (プリミティブメディアアーティスト)	59 ☆
7/22	見て描く・想って描いて・遊んで見る“くるり〜オ”で体験するアニメーション作りの基礎講座	大高那由子 (アニメーション作家、イラストレーター)	13
7/29	みんなで作ろう 赤青アニメ	岩井俊雄 (メディアアーティスト、絵本作家)	19
7/29	教えてっ！ 草原真知子先生！メディアアート史における岩井俊雄	草原真知子 (メディアアート・映像文化史研究者、キュレーター)	15
7/30	つくって、動かす！ “くるり〜な” でアニメーションをつくろう	大高那由子 (アニメーション作家、イラストレーター)	15
7/30	Vol.2「メディアアートのコンサベーションwith LOVE」	龍健太郎 (アーティスト)、中川陽介 (アーティスト、技術者)、岩井俊雄 (メディアアーティスト、絵本作家)、田部井勝彦 (テクニカルディレクター/CCBT)	36 ☆
8/6	資料と語るオンライン・トーク「時間層シリーズ」を再生する	岩井俊雄 (メディアアーティスト、絵本作家)、明貴紘子 (キュレーター、アーカイブ研究者)	26 ☆ (オンライン配信のみ)
8/19	4時間生配信スペシャル「みんなのメディアアート・スタディーズ〜岩井俊雄との出会いは〇〇だった！〜」	MC: YAMAJUN (a.k.a 山崎潤也 (キュレーター、プロデューサー/株式会社NYAW代表取締役)) 出演: 岩井俊雄 (メディアアーティスト、絵本作家) ゲスト: 落合陽一 (メディアアーティスト)、木原共 (メディアアーティスト、インタラクションデザイナー)、クワクポリョウタ (アーティスト)、鈴木英倫子 (すずえり/サウンドアーティスト)、福原伸治 (テレビディレクター、プロデューサー)、藤本実 (研究者、アーティスト/MPLUSPLUS株式会社代表取締役社長)、森脇裕之 (ライトアーティスト、宇宙芸術家/多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース教授)、山川冬樹 (美術家、ホーメイ歌手/秋田公立美術大学准教授)	158 ☆
9/15~11/19	MPLUSPLUS「Embodiment++」	藤本実 (研究者、アーティスト/MPLUSPLUS株式会社代表取締役社長)、MPLUSPLUS (クリエイティブ・テクノロジスト集団)	3,002
9/16	MPLUSPLUS「Embodiment++」関連イベント オープニング記念トーク「アート&テクノロジー：次世代に広がる表現とシーン」	ゲスト: 後藤映則 (アーティスト/武蔵野美術大学准教授)、ryo kishi (アーティスト) 出演: 藤本実 (研究者、アーティスト/MPLUSPLUS)	42
9/29	MPLUSPLUS「Embodiment++」関連イベント【CCBT Meetup】人間拡張工学によって変わる、表現と経験	ゲスト: 稲見昌彦 (東京大学総長特任補佐・先端科学技術研究センター副所長/教授) 出演: 藤本実 (研究者、アーティスト/MPLUSPLUS)	52
10/9	「アート×テックワークショップ」AIMIとM++DANCERSによる新体操×光のダンスワークショップ	AIMI (新体操ダンサー、振付師)、M++DANCERS (テクノロジーダンスチーム)	9
10/13	MPLUSPLUS「Embodiment++」関連イベント【CCBT Meetup】音楽と身体が拓く、表現の進化	ゲスト: ケンモチヒデフミ (サウンドプロデューサー、トラックメイカー、DJ、作詞家、作曲家) 出演: 藤本実 (研究者、アーティスト/MPLUSPLUS)	21
10/14,15	【2日間連続】レクチャー&ワークショップ「モーションデータをつかったダンス映像制作」	講師: 土田修平 (お茶の水女子大学文理融合AI・データサイエンスセンター講師) ファシリテーター: 上田健太郎 (MPLUSPLUSテクノロジスト)、出田怜 (MPLUSPLUSテクノロジスト)	14
10/28	ギャラリーツアー 様々な言語世界から、アート作品のさらなる魅力を発見しよう！ ①聞こえる人対象	多田伊吹 (CCBTインターン生/筑波技術大学学生)	4
10/28	ギャラリーツアー 様々な言語世界から、アート作品のさらなる魅力を発見しよう！ ①ろう・難聴者対象	多田伊吹 (CCBTインターン生/筑波技術大学学生)	4
11/3	MPLUSPLUS「Embodiment++」関連イベント【CCBT Meetup】VRと身体、パフォーマンスの未来	ゲスト: せきぐちあいみ (VRアーティスト) 出演: 藤本実 (研究者、アーティスト/MPLUSPLUS)	31
11/4,5	【2日間連続】ワークショップ「テクノロジー×デザインで街をハックしよう！」	講師: 磯山直也 (大妻女子大学情報デザイン専攻専任講師) ファシリテーター: 松井遼太 (MPLUSPLUSテクノロジスト)、上田健太郎 (MPLUSPLUSテクノロジスト)	11

6. CCBTx

CCBTのミッション「Co-Creative Transformation of Tokyo」の下、「発見」「共創」「開発」「連携」を体現するため、国内外の分野を超えた多様なパートナーと連携して事業を実施し、創造的な社会モデルを提示していくプログラム。

開催日	名称	主催	実施概要
国内連携			
10/6~9	MEET YOUR ART FESTIVAL 2023	東京都、MEET YOUR ART FESTIVAL 実行委員会	2022年度アート・インキュベーション・プログラムフェロー (SIDE CORE) 作品の展示。
11/6~12	SOCIAL INNOVATION WEEK 2023	一般社団法人渋谷未来デザイン (共催: 渋谷区)	トーク配信 (DOMMUNE (共催))、ショーケース (MPLUSPLUS)、ワークショップ (ひらめく☆道場) を連携プログラムに位置づけ。

開催日	名称	主催	実施概要
1/12～14	DIG SHIBUYA2024	SHIBUYA CREATIVE TECH実行委員会 (共催：渋谷区)	アート・インキュベーション・プログラム成果展（TMPR）を連携プログラムに位置づけ。 COBTをNFTアート配布会場として設定。
2/2～18	恵比寿映像祭2024	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、日本経済新聞社	連携企画としてキャンプの成果コンテンツをオフサイト展示。
3/15～24	Shibuya Fashion Week 2024 Spring	渋谷ファッションウィーク実行委員会	アート・インキュベーション・プログラム成果展（synflux）を連携プログラムに位置づけ。 共催企画としてキャンプの成果コンテンツをプロジェクションマッピングとして実施。
3/2	デジタルゆかたクリエイター・フェス	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 (協業：MetaTokyo株式会社)	「デジタルゆかた」の絵柄をデザインする、クリエイティブイベントを実施。 ※投票イベント、ハイブリッドイベントを2024年度に開催。
海外連携			
9/6～10	Ars Electronica Festival 2023	Ars Electronica	2022年度アート・インキュベーション・プログラムフェロー（Tomo Kihara + Playfool）作品の展示。
12/15～24	Art as Catalyst - 創造性を触発するアーティストたち	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 (事業連携：Ars Electronica)	Ars Electronicaより作品招聘。作品関連トーク、ワークショップ実施。スタートアップ関連トーク実施。

【参加者の声】

- ・体験が可能な作品を自分の手で触り体験できる環境はぜひ持続して欲しい。
- ・アーティストトークが頻繁に開催されているのが良かった。
- ・テクノロジーとフィジカルな表現をやるようなアーティストやクリエイターの作品を見られると嬉しいです。
- ・生成AIなど最新の情報を子供たちに楽しく教えてくれるイベントを開催してくださると嬉しいです。
- ・テックラボにある普段使えないようなレーザーカッター等を活用できるワークショップにもっと参加してみたい。

3 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

【事業概要】

実施期間 令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月

実施場所 東京都の文化施設（東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園、東京都美術館、東京都庭園美術館、東京都写真美術館、東京都現代美術館、トーキョーアーツアンドスペース本郷、トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー、東京都渋谷公園通りギャラリー、東京文化会館、東京芸術劇場等）、東京都内各所

主 催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【事業趣旨（目的）】

都立文化施設や文化事業の資源を通して、誰もが芸術文化にアクセスし、楽しめる環境の構築を目指し、高齢者、障害のある方、乳幼児、海外にルーツを持つ人等、様々な人たちが文化事業に参加し、ともに創造していくための環境整備の拡充とともに、プログラムの検証やモデル開発、現場での実践や調査に取り組む。

文化施設や文化事業の情報保障や鑑賞体験等をテーマに「だれもが文化でつながるサマーセッション」を開催し、アクセシビリティに関わる情報共有や意見交換、ネットワーク醸成の場として展開する。

【実施状況】

1. 基盤・環境整備

アクセシビリティ向上に関わる財団の基盤整備に関わる取組を展開した。

- (1) 都立文化施設、文化事業におけるアクセシビリティ整備
- (2) 情報保障の整備
- (3) 調査
- (4) 発信

2. アクセシビリティ向上に関わる調査・検証・開発

アクセシビリティ向上に関わるモデル開発として以下のプログラムを実施した。

- (1) 「劇場体験を拡張させる鑑賞サポートのデザイン～アクセスコーディネーターを軸とした検証と開発～」
- (2) 「認知症フレンドリーなアクセシビリティの検証及びモデル開発」
- (3) 「巡回公演における鑑賞サポートの波及・展開モデル開発」
- (4) 「多文化共生の実現を目指した演劇ワークショップ開発」
- (5) 「事前予約制度を活用した多様な方の受け入れ体制づくり」

3. 国内外の発信・ネットワークの醸成

「だれもが文化でつながるサマーセッション2023」

- ・実施日：令和5（2023）年7月29日（土）～8月6日（日）
- ・主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団
- ・会場：東京都美術館、講堂、ロビー階 第4公募展示室
- ・料金：無料
- ・来場者数：延べ3,823人

実施日	会場	プログラム名	登壇者	来場者数 (人)
7/29	東京都美術館 講堂	オープニング・主催者挨拶	横山英樹（東京都生活文化スポーツ局長）、青柳正規（アーツカウンシル東京機構長）	1,158
		トークセッション1 文化的『社会的処方』と共創の場	伊藤達矢（東京藝術大学社会連携センター特任教授）、稲庭彩和子（国立アートリサーチセンター主任研究員）、中野敦之（神奈川県民ホール館長付、事業課員） モデレーター：森司（アーツカウンシル東京事業調整課長）	
		トークセッション2 ろう者による表現	根本和徳（特別支援学校教員、めとてラボ全体統括）、西雄也（デファート研究者） モデレーター：管野奈津美（Re: Signing Project代表）	
7/30		セッション3 ふれることから出会う世界	岡野晃子（ヴァンジ彫刻庭園美術館副館長、映画『手で触れてみる世界』監督）、半田こづえ（明治学院大学非常勤講師） モデレーター：茂木一司（跡見学園女子大学教授）	
		セッション4 来館しやすい美術館	竹内利夫（徳島県立近代美術館上席学芸員）、亀井幸子（徳島県立近代美術館主席）、森山純子（水戸芸術館現代美術センター教育プログラムコーディネーター） モデレーター：大内郁（東京都渋谷公園通りギャラリー文化共生課長・学芸員）	
		セッション5 劇場・ホールにおける共創的体験	近藤良平（振付家・ダンサー、コンドルズ主宰、彩の国さいたま芸術劇場芸術監督）、梶奈生子（東京文化会館事業企画課長） モデレーター：中村美亜（九州大学大学院芸術工学研究院教授）	
7/31		セッション6 デフリンピックに向けて	大杉豊（筑波技術大学教授、国際ろう者スポーツ委員会副会長）、清水言一（喜多能楽堂館長） モデレーター：江副悟史（日本ろう者劇団代表、俳優、手話表現者）	
		セッション7 情報保障とテクノロジー	中野夏海（日本科学未来館科学コミュニケーター）、設楽明寿（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程） モデレーター：阿部一直（キュレーター、プロデューサー、東京工芸大学芸術学部教授）	
		セッション8 共創するとは何か～文化的実践を通して～	西尾美也（美術家、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授）、伊藤亜紗（美学者、東京工業大学科学技術創成研究院未来の人類研究センター長） モデレーター：森司（アーツカウンシル東京事業調整課長）	
8/1	東京都美術館 ロビー階 第4 公募展示室	レクチャー&ワークショップ01 視覚身体言語とコミュニケーション	講師：和田夏実（めとてラボ）	2,665
8/2		レクチャー&ワークショップ02 世界をひらくやさしい日本語	講師：金田智子（学習院大学教授）、稲葉未希（公益財団法人東京都つながり創生財団）	
8/3		レクチャー&ワークショップ03 文化的概念をも共有する触察	講師：大内進（星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員）	
8/4		レクチャー&ワークショップ04 アートの楽しみ方を広げる会話型鑑賞プログラム	講師：白鳥建二（全盲の美術鑑賞者）、岩中可南子（アートマネージャー）	
8/5		レクチャー&ワークショップ05 車いすというメディウム	講師：檜皮一彦（アーティスト） アシスタント：富塚絵美（アーティスト）	
8/6		レクチャー&ワークショップ06 ろう文化とその考え方	講師：大杉豊（筑波技術大学教授）	
7/29～8/6	東京都美術館 ロビー階 第4 公募展示室	展示01 身体と多様性と表現	アーティスト：檜皮一彦 協力：エプソン販売株式会社	2,665
		展示02 情報保障とデバイス	アーティスト：池田晶紀 協力：株式会社QDレーザ	
		展示03 共創する活動	アーティスト：西尾美也	
		展示04 TOUCH PARK	アーティスト：magnet、たばたはやと	
		展示05 ろう者と表現	企画協力（アドバイザー）：大杉豊、管野奈津美、西雄也 アーティスト：坂口環、斎藤陽道、濱田慎一郎	
		展示06 手でみる美術館「アンテロス」		
		展示07 デフリンピックに関する紹介パネル等の展示		
8/1～6	東京都美術館 ロビー階 第4 公募展示室	パフォーマンス×ラボ		2,665
		ジョイス・ラムのレクチャー・パフォーマンス作品 《家族に関する考察のトリロジー／On Family》 Day0 ラボの見せ方や情報保障について検討。作品鑑賞。 Day1 作品の背景と言葉の意味をヒアリング、翻訳。 Day2 日本手話と日本語を軸に複数言語の表現方法を検討。 Day3 作品の文化的背景をどう伝えるか議論。 Day4 場の設計と表現の翻訳について検討。 Day5 身体性の再現、手話表現等の練習と調整。 Day6 パフォーマンス。振り返りのトークショー。	アーティスト：ジョイス・ラム、めとてラボ 協力：エプソン販売株式会社	

【参加者の声】

- 「だれもが文化でつながるサマーセッション2023」 アンケートより
 - ・ 聴者である自分がマイノリティになる感覚、面白かったです。
 - ・ ある人には便利なことが、ある人には障壁になったり。でも点字案内がひとつあるだけで、視覚障害者の人が世の中にいることがわかるキッカケになる。それだけでも大きいと思います。
 - ・ アート等は福祉には贅沢なもの、不要なものと思っている人がまだまだ多い中で、この活動をしているのはすごいと思います。もっともっと、たくさんのところに広がれば、アートのバリアフリーになると思いました。
 - ・ 今回のイベントは福祉関係者が集まりやすい福祉センター等ではなく、一般の方も集まりやすい美術館（都内）で実施されたというところに意義があると思います。ぜひ今後も継続して行って欲しいです。
 - ・ 展示を観始めてから、どのような意図を持ったセッションなのかということに気づきました。いくつか体験してみるうちに「障害がある」ということの状態がこういう世界なのかとたくさんの気づきがありました。

4 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー TURN LANDプログラム

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月
実施場所	都内福祉施設及びコミュニティ、アーツカウンシル東京 ほか
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人谷中のおかって
参加者数	延べ1,099人

【事業趣旨（目的）】

福祉施設や社会的支援を行う団体等がアーティストと協働し、アートプロジェクトの手法を活かして様々なプログラムを展開することで、福祉施設や団体の活動の場に、多様な価値観を認め合う文化施設としての機能を醸成する。活動を通して、文化の領域を超えた社会課題に向き合う多様なアプローチを提示するとともに、新しい感覚や感性にアクセスできるきっかけをつくり、「人と違う」ことに価値を見出していく。

【実施状況】

1. TURN LAND

福祉施設や社会的支援を行う団体がアーティストとともに、地域や協力者たちと連携しながらアートプロジェクトの実践を行った。参加施設や団体が継続的な展開を視野に活動できるよう、運営体制づくりに重点をおきながらコーディネーターが企画運営をサポートした。

・参加者数：延べ306人

参画施設・団体	会場	プロジェクト名	内容（実施例）	プロジェクト運営メンバー
小茂根福祉園	板橋区立小茂根福祉園・近隣エリア	散歩道中・トトポ・「風の通り道」	散歩プログラム	大西健太郎（アーティスト）、馬場葵・會田郁朗・佐藤雄介・茂木まどか（小茂根福祉園職員）、笹萌恵（コーディネーター）
気まぐれ八百屋だんだん、大田区立池上福祉園、ステップ夢	気まぐれ八百屋だんだん、大田区立池上福祉園、ステップ夢	池上わがまま準備室	池上わがまま準備室	青木亨平（アーティスト）、藤田龍平（アーティスト）、近藤博子・澤田有司（気まぐれ八百屋だんだん）、宮崎裕司・金子航（大田区立池上福祉園）、大内伸一（ステップ夢）
渋谷区障害者福祉センター はあとびあ原宿	渋谷区障害者福祉センター はあとびあ原宿 ほか	「原宿荒野」と似顔絵と	バナナの苗を運ぶバスツアー、はあとびあ祭にて似顔絵活動	永岡大輔（アーティスト）、岩田とも子（アーティスト）、頓所武士・清田貴史（はあとびあ原宿職員）
クラフト工房 La Mano（ラ・mano）	クラフト工房 La Mano（ラ・mano）	ジョニーのアフタヌーンブレイク	ユーカリのテラスでコーヒーブレイク＆木のタイルのワークショップ	水内貴英（アーティスト）、高野賢二・三澤悠生・齋ジュリア愛（La Mano 職員）

2. プレLAND

福祉施設や社会的支援を行う団体がTURN LANDに取り組む準備段階として、アーティストやコーディネーターとともにアートプログラムを実施する経験を通じて、それぞれの現場に合ったアートプログラムを構想する機会をつくる。

・参加者数：延べ730人

参画施設・団体	会場	プロジェクト名	内容（実施例）	プロジェクト運営メンバー
心身障害者福祉ホーム さくらんぼ	心身障害者福祉ホーム さくらんぼ	ウチュウダンス	ダンスワークショップ	アオキ裕希（新人Hソケリッサ！代表、ダンサー、振付家）、西原尚（サウンド・アーティスト）、杉田雪絵・柴田夏実・高取さくら（さくらんぼ職員）
CINEMA Chupki TABATA（シネマ・チュプキ・タバタ シアター）	シネマ・チュプキ・タバタ シアター	チュプキサロン	チュプキサロン	石井健介（ブラインドコミュニケーター）、平塚千穂子（シネマ・チュプキ・タバタ代表）、舟の川聖子（コーディネーター）、吉川真以（コーディネーター）
放課後等デイサービス フェイト	放課後等デイサービス フェイト ほか	オーロラ・フロア・プロジェクト	事前衣装ワークショップ、DJダンスイベント	大黒健嗣（アーティスト）、目黒高之・高井功一（フェイト職員）
ほうらい地域包括支援センター 協力：障がい者施設浅草みらいど、東京藝術大学熊倉純子研究室	ほうらい地域包括支援センター ほか	バラエティ・ポコペン	アーティストック・リサーチ、バラエティ・ポコペン	きむらとしろうじんじん（アーティスト）、BARBARA DARLING（アーティスト）、大西健太郎（アーティスト）、木下明・羽部清久・佐伯賢（ほうらい地域包括支援センター職員）、若山萌恵（コーディネーター）
放課後等デイサービス くるみの木・みかんの木	放課後等デイサービス くるみの木・みかんの木	サルサ大好き	サルサ交流会	バボとユミ（ミュージシャン/ダンサー）、本橋和哉（くるみの会代表）、齊藤果（みかんの木施設長）
西荻ふれあいの家（ものの会）	西荻ふれあいの家	イセカツ工房	施設活動訪問、編み物作品制作	伊勢克也（アーティスト）、梅谷則子（西荻ふれあいの家施設長）、宮浩子（ものの会理事）
ロートこどもみらい財団	としま区民センター小ホール、オンライン配信	nonotone（ノノトーン）	楽譜作り＆作曲家体験ワークショップ	井川丹（アーティスト）、荒木健史（ロートこどもみらい財団代表）

3. TURN LAND ミーティング

年に2回、本プログラムに参加する福祉施設の職員やアーティスト、コーディネーター等が集い、互いの活動について報告し合う場。仲間がいることを実感してもらい、新しいことに挑戦する勇気を育て合った。

・参加者数：延べ63人

	実施日時	会場
第1回	2023年8月18日（金）15:30～17:30	アーツカウンシル東京 会議室、オンライン
第2回	2024年3月1日（金）15:30～17:30	アーツカウンシル東京 会議室

【参加者の声】

- ・利用者の持っている独自の世界観、その片鱗というものを今回のプログラムを通して感じられたのかなと思います。良くも悪くも考え方は凝り固まっていくと思っています。新しい一面を知ることによって考え方を柔らかくできたほうがより良い支援ができるのかなと思いました。（小茂根福祉園）
- ・年齢も職業も価値観も経験の幅も人生も異なる人が「必要なこと」について、つながりを前提として価値観を尊重し、話し合いを重ねたことで、異なる文化を超えた価値観・新たな価値を創造することができたのではないかと思います。ものごとの社会的価値観にとらわれず、物差しで測らず、お互いの文化を尊重し歩み寄ること、つくる喜びを共有すること、素直な自分でもいいこと、「これあったらいいね」とシンプルでいいこと、考えすぎないこと、多くを学びました。（大田区立池上福祉園）
- ・福祉の世界は閉鎖的になってしまいがちです。福祉×アートの組み合わせにより、どんな世界がひらけるのか？もともとアートが好きなのもあって、当初非常にワクワクしていました。しかしプロジェクト前半はお世辞にも、事務局・アーティスト・さくらんぼ職員間でのすり合わせがうまくいっていたとはいえません。「さくらんぼ祭」のあと、あらためてそれぞれの想いや目的、役割を確認する機会を設けました。知らないことには人は不安や恐怖を抱きやすい。最初のワークショップで挙がっていたこのキーワードを思い出し、「まずはお互いを知ろう」と再出発しました。そうして今年度の集大成としての「ウチュウダンス」は大成功！アートだからこそ引き出せる利用者さんの新たな魅力や強みの発見につながりました。私たち職員も、未知への不安を乗り越えることで、多様性に対する理解を深める機会となりました。（心身障害者福祉ホームさくらんぼ）
- ・プログラムを通して、日頃の業務で高齢者と接していて、課題を解決する方向ばかりに向いていたことに気がつきました。話す相手がいない人にとって、人が集まる場があることが大事。違った方向で話をしたり、聞いたりすることが必要だと思いました。イベント当日は、私が担当する利用者がとても長い時間滞在をしてくれたのが良かった。今後は児童に関わる方々にも声をかけたい。（ほうらい地域包括センター）
- ・利用者とアーティスト、利用者と事務局スタッフさんが新しい関係を結び、来訪を楽しみにしている。またリハビリを兼ね、精神的な活性化につながっていると思う。普段、積極的に手工芸に参加しない人が張り切って編み物をしたり、いつもの活動では見ることのできない表情や特技を発揮されることがある。利用者の皆さんの楽しんでる姿を見て、スタートはいつでもできると感じた。（西荻ふれあいの家）
- ・プログラムでは、家庭や学校では見せない表情などがあつたと保護者からお伺いしました。アートの力で自分たちも気がついていない好きを発見できるのだな、と気づきました。（ロートこどもみらい財団）

5

広報・プロモーション活動

【事業概要・趣旨（目的）】

芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開するアーツカウンシル東京の取組や役割を発信することにより、機構の認知・理解の促進、プレゼンスの向上を図る。主催・共催事業については、プレスリリース配信などメディアに向けた情報発信、ウェブサイトやSNSなどのオウンドメディアを活用した情報発信にて個々の実施団体が中心となって行う広報の助力となる活動を行う。

【実施状況】

1. 戦略的広報の企画・実施

東京都歴史文化財団の取組、アーツカウンシル東京の取組や役割、実施事業に関する理解の促進、芸術文化への興味関心を広く一般へ喚起するため、広報課題を整理し、委託PR会社とともに様々な広報施策を実施した。

(1) ラジオ番組提供

10月1日～3月31日の期間、J-WAVEにて毎週日曜日放送「ACROSS THE SKY」内10分間コーナー「ARTS COUNCIL TOKYO CULTURE COLLAGE」（11：30～11：40放送）にて、アーツカウンシル東京の事業や東京都歴史文化財団各館の事業を紹介（全27回放送）。radiko（1週間視聴）やPodcast（Apple Podcast、Spotify、Google Podcasts、amazon music）でのアーカイブ視聴も可能にし、毎週約20万人（推計）の聴取数を維持した。

放送日	紹介事業名	出演者	所属
10/1	「東京芸術祭 2023」	宮城聡	東京芸術祭総合ディレクター
10/8	「東京大茶会2023」	武藤宗久	東京都茶道会会長
10/15	東京都庭園美術館 40周年記念事業「TEIEN 40th Anniversary Festival」	斉藤音夢	東京都庭園美術館
10/22	展覧会「あ、共感とかじゃなくて。」	八巻香澄	東京都現代美術館
10/29	TOKAS Project Vol. 6「風ぎ、揺らぎ、」	大島彩子	トーキョーアーツアンドスペース
11/5	芸劇リサیتال・シリーズ「VS」Vol.7 河村尚子 × アレクサンドル・メルニコフ	山下直弥	東京芸術劇場
11/12	「Shibuya StreetDance Week 2023」	THE D SoraKi	ダンサー/Shibuya StreetDance Week 2023 アンバサダー
11/19	江戸東京たてもの園 開園30周年記念 夜間特別開園「紅葉とたてものライトアップ」	持主実	江戸東京たてもの園
11/26	展覧会「上野アーティストプロジェクト2023 いのちをうつすー菌類、植物、動物、人間」動物園にてー東京都コレクションを中心に」	大内曜	東京都美術館
12/3	「アール・ブリュット2023巡回展 ディア ストーリーズ ものがたり、かたりあう」	大内郁	東京都渋谷公園通りギャラリー
12/10	CCBT Meetup「ハロー！ラボラトリーズ！ Vol.02：時代に呼応する、世界の文化拠点」	島田芽生	シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]
12/17	「即興 ホンマタカシ」展	ホンマタカシ	写真家
12/24	「第21回 東京音楽コンクール 優勝者コンサート」	佐川和牙	ピアニスト（第21回東京音楽コンクールピアノ部門 第1位）
12/31	「インヘリタンス ー継承ー」	田中俊介	俳優
1/7	「Welcome Youth 2024」	高木絢子	アーツカウンシル東京
1/14	展覧会「豊嶋康子 発生法——天地左右の裏表」	鎮西芳美	東京都現代美術館
1/21	東京芸術文化相談サポートセンター「アートノート」	大塚千枝	アーツカウンシル東京
1/28	恵比寿映像祭2024「月へ行こう30の方法／30 Ways to Go to the Moon」	田坂博子 兼平彦太郎	東京都写真美術館 恵比寿映像祭2024共同キュレーター
2/4	アーツカウンシル東京 助成プログラムについて	小濱明人	尺八奏者（助成プログラム採択者）
2/11	「キッズ伝統芸能体験」発表会	福田栄香	「キッズ伝統芸能体験」箏曲コース主任講師、公益社団法人日本三曲協会常任理事
2/18	江戸東京博物館 館外展示「出張！江戸東京博物館」	杉山哲司	江戸東京博物館
2/25	シャイニング・シリーズ「テノールの饗宴」	小堀勇介	テノール歌手
3/3	東京都庭園美術館 開館40周年記念「旧朝香宮邸を読み解く A to Z」	吉田奈緒子	東京都庭園美術館
3/10	アーツカウンシル東京 東京アートポイント計画について	佐藤李青	アーツカウンシル東京
3/17	江戸東京たてもの園「たてもの園フェスティバル」	丸山はるか	江戸東京たてもの園
3/24	Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 受賞記念展 サエボーグ「I WAS MADE FOR LOVING YOU」／津田道子「Life is Delaying 人生はちょっと遅れてくる」	石川達紘	トーキョーアーツアンドスペース
3/31	東京都歴史文化財団 2024年事業ラインアップについて	田村麗恵	アーツカウンシル東京

(2) 広報研修の実施

広報スキル・マインドの向上を図るため、広報担当者向けに、SNS、Google Analytics、メディア・SNS、校閲、PR TIMESについての研修を5種計7回行ったほか、現場に細かく対応する相談会（8回）等を開催した。

研修内容	実施日	実施方法	参加者数（人）
SNS 研修	7/31	対面	34

研修内容	実施日	実施方法	参加者数（人）
Google Analytics 4 研修	10/6	オンライン	24
メディア・SNS 研修	11/8,9	対面	28
校閲 研修	11/21,29	オンライン	35
PR TIMES 研修	12/7	オンライン	17

(3) メディアアプローチ

CCBTxアルスエレクトロニカ連携事業「Art as Catalyst—創造性を触発するアーティストたち」において、メディアアーティスト作成、ニュースリリース作成・配信、取材案内作成・配信、海外配信等を実施したほか、「アートマネジメント人材等海外派遣プログラム」、「大人のための伝統文化・芸能体験事業」、「キッズ伝統芸能体験事業」等にてメディアプロモートを行った。また、「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」において、マガジンハウス『ここ』にてタイアップ記事（2本）の掲載を行うなど、メディアアプローチを実施した。

概要	事業名	件数(件)
メディアアーティスト作成	・「アール・ブリュット2023巡回展 ディア ストーリーズ ものがたり、かたりあう」 ・CCBTxアルスエレクトロニカ連携事業「Art as Catalyst—創造性を触発するアーティストたち」 ・「Welcome Youth 2024」 ・「キッズ伝統芸能体験」	4
ニュースリリース作成・配信	・CCBTxアルスエレクトロニカ連携事業「Art as Catalyst—創造性を触発するアーティストたち」（2種） ・「Welcome Youth 2024」（2種）	2
取材案内作成・配信	・CCBTxアルスエレクトロニカ連携事業「Art as Catalyst—創造性を触発するアーティストたち」	1
海外配信	・CCBTxアルスエレクトロニカ連携事業「Art as Catalyst—創造性を触発するアーティストたち」 ※フォーリン・プレスセンターを利用	1
アプローチ資料作成、配信	・「アール・ブリュット2023巡回展 ディア ストーリーズ ものがたり、かたりあう」	1
担当者コメント作成、配信	・「Welcome Youth 2024」 ・「キッズ伝統芸能体験」	2
メディアプロモート	・「アール・ブリュット2023巡回展 ディア ストーリーズ ものがたり、かたりあう」 ・CCBTxアルスエレクトロニカ連携事業「Art as Catalyst—創造性を触発するアーティストたち」 ・「Welcome Youth 2024」 ・東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」 ・「東京のはら表現部」 ・「アートマネジメント人材等海外派遣プログラム」 ・「フラットデー」 ・「大人のための伝統文化・芸能体験事業」 ・「キッズ伝統芸能体験」	9
取材当日対応	・「アール・ブリュット2023巡回展 ディア ストーリーズ ものがたり、かたりあう」 ・CCBTxアルスエレクトロニカ連携事業「Art as Catalyst—創造性を触発するアーティストたち」 ・「Welcome Youth 2024」 ・「東京のはら表現部」 ・「アートマネジメント人材等海外派遣プログラム」	5
タイアップ記事	・「Welcome Youth 2024」 『metropolitana』（見開き2P） ・「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」 マガジンハウス『ここ』（2記事）	2

(4) 動画制作

動画を制作するとともに、SNS 広告配信を実施した。全動画クリック数が700を超え、効率的にターゲットユーザーへの認知、理解を促すことができた。

事業名	制作種・配信詳細	本数(本)
東京都庭園美術館 開館40周年記念	・TikTok 広告配信：[配信期間] 11/14～17 ・東京都庭園美術館公式Instagram 配信：紹介動画	2
「アール・ブリュット2023巡回展 ディア ストーリーズ ものがたり、かたりあう」	・TikTok 広告配信 [配信期間] 11/27～12/3 ・東京都渋谷公園通りギャラリー公式Instagram 配信：紹介動画	2
「Shibuya StreetDance Week 2023」	・TikTok 広告配信 [配信期間] 11/15～22 ・アーツカウンシル東京公式YouTube、X（旧Twitter）、Facebook 配信：開催告知、THE D Soraki 解説、予選、当日の様子	4
CCBTxアルスエレクトロニカ連携事業「Art as Catalyst—創造性を触発するアーティストたち」	・Facebook 広告配信 [配信期間] 12/15～23	1
ハイパー江戸博	・NewsTV Facebook、Instagram 広告配信（海外）：[配信期間] 2/9～22 NewsTV ネットワーク、X（旧Twitter）、YouTube	3
東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」	・NewsTV ネットワーク、Instagram、X（旧Twitter）、YouTube 広告配信（国内）：[配信期間] 2/16～29 NewsTV Facebook	1
人材育成／担い手のためのプログラム	・NewsTV ネットワーク、Facebook、Instagram、X（旧Twitter）、YouTube 広告配信（国内）：[配信期間] 3/13～26	1
「Welcome Youth 2024」	・TikTok 広告配信：[配信期間] 3/1～14 ・X（旧Twitter）広告配信：[配信期間] 3/1～14 ・LINE 広告配信：[配信期間] 3/1～14 ・YouTube 広告配信：[配信期間] 3/1～14 ・Instagram 広告配信：[配信期間] 3/4～17 ・バス広告（関東バス）：[配信期間] 3/4～24	6

2. オウンドメディアでの情報発信

オウンドメディアでの情報発信力を強化、認知拡大及びフォロワーの増加を目指した。

(1) アーツカウンシル東京の公式ウェブサイトの運営（日本語・英語対応）

令和7（2025）年度に大幅なリニューアルを控えているため、仕様、レイアウト等については軽微な対応にとどめ、迅速で正確な基本情報の発信に努めつつ、現行サイトでの改善点を洗い出し、リニューアルに備える動きを行った。令和4（2022）年度と同様に、助成プログラムがページビュー数を集めたほか、新設「アートマネジメント人材等海外派遣プログラム」も注目の高さが窺える好反応を見せた。ブログでは、新設「地域芸術文化活動応援助成」や「START Box ササハタハツ」の紹介、「六本木アートナイト2023」「東京大茶会2023」「アーツカウンシル・フォーラム」などのレポート記事を作成し、アーツカウンシル東京の事業をあらためて紹介するとともに、後パブ的な発信を行ったほか、水野祐（弁護士）に生成AIをテーマに寄稿を依頼、藤原辰史（歴史学者）やロバート キャンベル（日本文学研究者、早稲田大学特命教授）のインタビューを実施し、アカデミックなコラム記事を展開した。

○公式ウェブサイト <https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/> <https://www.artscouncil-tokyo.jp/en/>

- ・PV数：1,267,595ビュー
- ・ユーザー数：370,078人
- ・セッション数：508,840回
- ・プレスリリース発行数：80本
- ・ブログ掲載数：9事業10本
- ・コラム掲載数：3名4本

(2) アーツカウンシル東京アカウント SNS の発信

X（旧Twitter）、Facebookのアーツカウンシル東京のアカウントから、数多くの事業情報を投稿発信した。10月新設の東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」については、毎週水曜日に定期的に情報を届ける取組を行い、認知拡大に努めた。X（旧Twitter）、Facebookともに、助成プログラムに関する情報、助成採択事業紹介のインプレッション数が高く、エンゲージメント数に関しても助成関連情報が高い傾向となっている。メールニュース配信停止（3月末）を見据え、2月末にはLINEとInstagramを開設した。

○X（旧Twitter）

- ・投稿数：662本
- ・フォロワー数：12,533人

○Facebook

- ・投稿数：607本
- ・フォロワー数：17,347人

○YouTube

- ・登録者数：3,213人

(3) メールニュースの配信

アーツカウンシル東京が主催・共催するイベントや公募等の最新情報、ウェブサイトの更新情報などを月2回（日本語・英語表記）配信し、ウェブサイトや参加申込への誘導を促した。開封率はつねに50パーセントを維持でき、コアユーザーの定着が窺えた。ただし、昨今のユーザーの情報取得ツールの変化に伴い、SNSの新規ツール（LINEとInstagram）を活用した発信に切り替えるため、3月に配信を停止した。

- ・配信回数：23回
- ・配信数：2,432通

3. 広報物制作・発行

アーツカウンシル東京のプレゼンス向上や実施事業の認知を広めるため、オール4C40頁の「事業案内」を制作。また、令和4（2022）年度実施事業の成果をまとめた「事業報告書」を制作した。

- ・事業案内：800部
- ・事業報告書：600部

6

東京芸術文化創造発信助成

【事業概要】

東京を拠点とする芸術団体等を対象とし、3つのカテゴリーに分けて助成を行う。

「カテゴリーⅠ【単年助成】」では、都内において実施される上演・コンサート・展示・上映・アートプロジェクト等の創造活動や、都内または海外で実施される国際的な芸術交流活動の助成を行う。

「カテゴリーⅡ【長期助成】」では、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進するとともに、芸術団体のステップアップの後押しを目的に、最長3年間の支援を実施する。

「カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業（【長期助成】【単年助成】）」では、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動について最長3年間の支援を実施する。

【事業趣旨（目的）】

東京の都市の魅力向上に寄与する多様な創造活動や芸術創造環境の課題に取り組む活動を助成し、その担い手を支援することを目的とする。

【採択概況】

〈令和5（2023）年度実績〉

- ・ 申請件数：カテゴリーⅠ【単年助成】638件、カテゴリーⅡ【長期助成】32件、
カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業（【長期助成】【単年助成】）47件（【長期助成】20件、【単年助成】27件）
- ・ 採択件数：カテゴリーⅠ【単年助成】132件、カテゴリーⅡ【長期助成】1件、
カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業（【長期助成】【単年助成】）9件（【長期助成】2件、【単年助成】7件）
- ・ 交付決定総額：196,646千円

■カテゴリーⅠ【単年助成】

〈第1期 採択結果概況〉

●音楽分野 申請件数：152件 採択件数：20件

これまでの最多だった令和4（2022）年度 第1期の2倍以上となる152件の申請があり、音楽ジャンルとしてはクラシックや現代音楽の流れを汲むものとその他のポピュラー音楽系のものほぼ半分ずつでした。今回不採択になった事業には、従来の活動の継続や普及を主な目的とするものなど、当助成の審査基準に適合しない事業が散見されました。今回は審査基準に照らして採択事業のほとんどがクラシック・現代音楽の企画となりました。

●演劇分野 申請件数：141件 採択件数：18件

申請件数141件は、過去最多だった令和4（2022）年度 第1期を2倍以上上回り、最多申請件数を更新しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けていた活動基盤形成期の団体からの申請が特に増加しており、採択についても7割強を占めました。演劇分野では、引き続きハラスメント等を未然に防ぐ稽古場環境の設置や、フラットな関係性の中で行う創作に関心のある団体が多い傾向にありました。社会規範や従来の価値観が揺らぐ中、独自の目線で社会のあり方を考察した作品、閉塞感や焦燥感を描く作品や、当事者の目線で社会問題を捉えながらも、多様な視点を取り入れるための取組を行い、申請者ならではの演劇的表現に昇華、あるいは表現形式の拡張を試みるような意欲的な事業を採択しました。

●舞踊分野 申請件数：41件 採択件数：12件

申請件数は、これまでで最多の41件で、直近2年の年間合計申請件数を上回る数となりました。コロナ禍による活動の制約がなくなり、舞踊分野の広いジャンルから申請がありました。採択となった事業は、2つの傾向が見られました。ひとつは、主に活動拡大・発展期にある申請者の活動で、自身の活動規模の拡張に挑み、舞踊シーンの活性化を促す事業。ふたつめは、主に活動基盤形成期にある申請者の活動で、独創的な視点や実験的な手法を用い、新たな身体表現の拡充が期待できる事業です。その他、今日のアジアの身体性を提示する国際的な視野を持つ事業、他分野のアーティストとリサーチを経て公演を行う国際共同制作事業、コロナ禍で延期となっていた欧州3か国でのツアーを行う事業が採択となりました。

●美術・映像分野 申請件数：50件 採択件数：10件

絵画、写真、インスタレーション、映像等、多種多様な表現の創造活動の申請がありました。映画・映像の制作や上映の申請が個人・団体ともに増えており、中でも着実に成果を上げている個人・団体が今日的な社会の状況や課題

等をふまえて独自の視点で作品制作や上映に取り組む事業が採択になりました。国際的な芸術交流活動の申請は11件あり、中堅作家の活動を体系的に紹介する海外での招聘展覧会や日本在住の外国人作家による団体が新たなスペースで取り組む展覧会等、展覧会のコンセプトや内容が具体的な事業が採択となりました。

●伝統芸能分野 申請件数：40件 採択件数：20件

分野において充実した活動を継続している方々からの申請が多く、申請事業についても水準の高い成果が予想されました。申請の種目は従来どおり能楽、邦楽・現代邦楽、日本舞踊、講談や落語、マジックなど多岐にわたりました。初申請の割合は64.3%で、このうち約4割が採択となっています。採択となった事業は、種目、活動ステージに関わらず、ご自身の芸道上の段階や芸術的方向性の中で、今回何にどのように取り組むのか具体的自覚的に記されている傾向にあります。

●複合分野 申請件数：54件 採択件数：3件

申請内容は多岐にわたり、その中でも、ダンサー・振付家と演劇を背景に持つアーティストによる協働事業や、メディアアート作品を制作し、演劇的要素を含めて作品の公開を行う事業などを採択しています。一方で、その事業ならではの創作に関する工夫・取組が具体的ではなくアイディア段階に留まっている事業、異分野を組み合わせる必然性や狙いが不明瞭な事業などは、採択には至りませんでした。

〈第1期 採択事業一覧〉

・対象期間：令和5（2023）年7月1日以降に開始し、令和6（2024）年6月30日までに終了する事業

・申請件数：478件 採択件数：83件

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	申請事業名	サポート費※
音楽	都内での芸術創造活動	都内	団体	チーム百万石	風琴百万石	
				ensemble-no	能声楽家・青木涼子コンサートシリーズ「現代音楽×能」第10回記念公演	A・B
				東京現音計画	東京現音計画 #20～コンポーザーズセレクション7：野平一郎「回想のイティネレルと脱中央的な眼差し」（仮題）	A
				川島素晴 works 実行委員会	川島素晴 works vol.6 by 中村仁美	
				松平敬&工藤あかね	クルターグとの対話（仮題） voice duo vol.4	
				一般社団法人もんでん	（仮称）両国橋のほとり 音楽祭	
				kasane	kasane vol.3：トーク&コンサート「Circulation - 類質と多様 -」	
				「カタロニアの風」実行委員会	カタロニアの風 ～フェデリコ・モンボウ生誕130年記念～	
				ジェルジ・リゲティ生誕100年記念レクチャー&コンサート実行委員会	ジェルジ・リゲティ生誕100年記念レクチャー&コンサート<戦争と動乱を生き抜いた作曲家のメッセージを次世代へ>	
				AFRO URBANITY	Roots of Af ro Urbanity (dance to the music)（仮）	
				芥川也寸志メモリアル オーケストラ・ニッポニカ	オーケストラ・ニッポニカ 第43回演奏会	
				日仏現代音楽協会	日仏現代音楽協会 創立10周年記念コンサート	A
				東京プレクトラム音楽協会	プレクトラムフェス2023～つながりの創出～	A・B
				Cabinet of Curiosities	Cabinet of Curiosities 2023 New "Chamber" Music（仮）	A
				（Code ="Shanti"）	そらのおと うみのいろ ～作曲家 平野一郎の世界 2023～	
				CIRCUIT	ミニマリズムとその周辺 ～スティーブ・ライヒを中心に～	
			個人	布施砂丘彦	かなしみの手触り - Requiem pro Nobis（仮）	B
				大井浩明	シューベルトの時の時	
	国際的な芸術交流活動	都内 海外	団体 個人	EACH STORY 実行委員会	（仮）EACHS TORY presents beautiful time	
演劇	都内での芸術創造活動	都内	団体	八木美知依	2023 八木美知依 ドイツ・オーストリア公演	
				べべの会	「またまた」やって生まれる「またまた」	A・B
				お布団	ザ・キャラクタリスティックス シンダー・オブ・プロメテウス	B
				ばぶりか	ばぶりか本公演「柔らかに揺れる」	
				あまい洋々	あまい洋々第4回公演（仮）	
				コンプソンス	コンプソンス #11「愛について語るときは静かにしてくれ」	
				宮崎企画	ムニ「ことばにない」後編	B
				理性的な変人たち	理性的な変人たち vol.3「海戦」	A・B
				譜面絵画	譜面絵画 vol.14「良いキャンペーン」	
				円盤に乗る派	幸福な島の夜（仮）	B
				東葛スポーツ	「バチンコ（下）」（仮）	
				屋根裏ハイツ	屋根裏ハイツ第8階演劇公演 テーブルマナー（仮）	A
				ストミック	ストミック + 2.5 architects「酔いどれの人工島」（仮）	A・B
				くちびるの会	くちびるの会 第八弾「猛獣のくちづけ」	A・B
				終のすみか	終のすみか「RAINING in __」（仮）	
				かまどキッチン	かまどキッチン公演 #03b「燦燦SUN 讃讃讃」	B
	国際的な芸術交流活動	都内	団体	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	わが父、耳なしの琵琶奏者（仮称）	
		海外		合同会社わをん企画	劇団た組「綿子はもつれる」	
		都内および海外	個人	篠田千明	まよかげ/Mayokage	

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	申請事業名	サポート費※
舞踊	都内での芸術創造活動	都内	団体	Baobab	Baobab第15回公演 Re:born project vol.7+8 「ボレロ - 或いは、熱狂。」(仮)	A・B
				Co.S	Vista (仮)	A・B
				Room Kids	現代サーカス作品制作ワークショップ (仮)	
				ヨウナ	中村蓉単独公演「fマクベス」	A
				ウニカ	ウニカ主催 ダンス公演2023 (仮)	
				オータムプロダクションズ	仁田晶凱新作公演「Processing in tune」(仮題)	A
				合同会社AtZOO	ブッシュマン新作公演「2024÷1984」(仮)	
				合同会社モダンタイムス	CHAIROIPLIN おどるシェイクスピア 「BALLO〜ロミオとジュリエット〜」	
				プロジェクト・ユングラ	交換レジデンスプロジェクトvol.1 ー「ないこと」と「あること」ー (仮)	B
	国際的な芸術交流活動	海外	団体	一般社団法人オフィスアルブ	X-Stream project「One's Voice」(仮)	
				AGAXART	日本カナダ国際交流プロジェクト「Ladder」	
美術・映像	都内での芸術創造活動	都内	団体	86B210	86B210欧州ツアー2024	
				「アートと社会」実行委員会	展覧会「あなたのアートを誰に見せますか？」	A
				チャーム・ポイント	シネマの再創造・リポート	
				一般社団法人民族文化映像研究所	姫田忠義監督没後10年 レトロスペクティブ上映 (仮)	
				イメージフォーラム	フィルム・イン・シェルター 映画の停泊地2 (仮)	
				neoneo編集室	東京ドキュメンタリー映画祭2023	A
				ハイドロプラスト	「KIMONOアップサイクル」	
				秋山珠里	たばこと塩の博物館 コレクションギャラリー夏季展覧会 (仮)	
				秋田祥 (ノーマルスクリーン)	道をつくる 2023	A
	国際的な芸術交流活動	都内	団体	一般社団法人 日本国際文化芸術協会	ARTIX ³ 企画展「漣」——日中現代アーティスト・リレー展	A
		海外	個人	地主麻衣子	地主麻衣子 個展 Intimacy and Distances (仮)	
伝統芸能	都内での芸術創造活動	都内	団体	能・狂言鑑賞の会	桂諷會企画公演「序之舞三番能」	
				津軽三味線 輝&輝	津軽三味線 輝&輝 15周年コンサート 日進月歩 (仮)	
				特定非営利活動法人 日本伝統芸能教育普及協会 むすびの会	恋の表現 ー日本舞踊と文楽人形の動きー お話と実演	
				特定非営利活動法人ACT. JT	第十回 立合狂言会〜二流五番立て 十番勝負 (仮)	
				株式会社ジャパトラ	中井智弥 箏・二十五絃箏リサイタル2023東京公演〜夢の琴轅〜	
				藤本昭子の会	伝承の力 古典の現在	
				らくご@座	玉川太福 サカナ手本忠臣蔵 全段通し	
				硯修會	第3回 硯修會	
				一般社団法人 日本尺八演奏家ネットワーク (JSPN)	一般社団法人 日本尺八演奏家ネットワーク (JSPN)第4回定期公演 SCALE EXHIBITION 一尺八音楽にみる音階の多様性ー	
				一般社団法人 伶楽舎	伶楽舎雅楽コンサート no.41 江戸城の雅楽〜さまざまな試み (仮題)	
				公益社団法人金春円満井会	令和5年度金春円満井会特別公演	
				The 箏 Koto実行委員会	The 箏 KOTO spin-off	
				藤弥会	第三回 直三の会	
				木場大輔 胡弓の会	木場大輔 胡弓リサイタル2023	
				竹本越孝	第十九回女流義太夫 竹本越孝の会	
				安藤政輝	宮城道雄全作品連続演奏会23	
				山本亜美	第9回山本亜美 箏 二十五絃箏リサイタル〜手繰る、みちしるべ〜	
				木村美幸 (みさち堂)	「擬古典落語のタペ」	
	国際的な芸術交流活動	海外	個人	宝生和英	ミラノパフォーミングアーツ「Form a della Noh」	
				鏡味味千代	バウエル祭2023	
複合	都内での芸術創造活動	都内	団体	Stilllive	Stilllive 2023 : Stilllive Studios	A・B
			個人	実験b	「Broiler Days」東京公演	
			個人	岡田裕子	「わたしをわたしがおくる」第一号機開発初公開イベント (仮)	A

※A：鑑賞サポート費、B：創作環境サポート費

〈第2期 採択結果概況〉

●音楽分野 申請件数：45件 採択件数：15件

申請事業者の活動ステージ区分において、活動基盤形成期に該当する申請件数が、全申請件数の半数を超えました。東京芸術文化創造発信助成への初申請も5割を占め、そのうち4件が採択に至っています。こうした背景から今期の採択事業においては、申請者の長期的な展望へのファーストステップとなる創造活動が増加しました。一方で、採択歴があり、今回も採択となったものの多くが、活動拡大・発展期に該当する事業者による企画で、新規の取組に挑み、独自の創造の探求を続けている事業です。今期も現代音楽、クラシックを中心にジャズやロック、ワールドミュージック、邦楽器を用いた企画、テクノ・クラブミュージックなど多様な申請をいただきました。

●演劇分野 申請件数：54件 採択件数：10件

申請件数は前年同期比2割増で昨年に引き続き過去最多となりました。活動拡大・発展期の申請の割合が最も大きく、初申請は全体の5割程度となっています。スタートアップ助成から移行する団体も増加傾向にあり、ステップアップ

プの流れが定着し始めました。企画としては、ジェンダーアイデンティティや知的障害など社会的マイノリティをテーマとする事業、既存の概念に捉われず、演劇を構成する諸要素の解体と再構築に挑む事業、古典の台本・上演形式を現代的な演劇作品へとアップデートし海外で上演する事業のほか、活動の転機を迎えた団体が新たなアプローチで創作に取り組む事業などが採択となっています。

●舞踊分野 申請件数：17件 採択件数：6件

申請件数は、昨年度の2期と比較して大幅に件数が増え17件となりました。活動ステージは、活動基盤形成期からの申請が半数近くとなり、舞踊以外の分野との共同制作の申請が全体の約4割を占めました。「ジェンダー」や「老いと身体」の視点で、同時代性を反映した事業の申請が複数ありました。作品創作を重視しテーマ性を深めることや、先達の創り出した創作形態を更新し舞踊における身体表現の探求や拡充に挑む事業や、国外に創造の場を広げる計画が良く練られた事業、複合的な事業の展開を計画し活動の拡充が見込まれる団体の転機となる事業が採択となりました。また、世界の主要なフェスティバルで作品を発表する国際的な芸術交流事業が採択となっています。

●美術・映像分野 申請件数：20件 採択件数：7件

申請件数は昨年度の2期と同様の状況で、活動基盤形成期と活動拡大・発展期にある個人や団体からの申請が多数を占めました。活動拡大・発展期にある申請者において、企画内容やコンセプトが具体的に示された企画展が多く採択になりました。また複数の会場と提携し、提携先と協働して開催することにより影響力や波及力が見込まれる事業や、映画・映像に関する申請で、ドキュメンタリーに独自の視点でアプローチする上映イベントが採択になっています。

●伝統芸能分野 申請件数：16件 採択件数：10件

申請のあった種目は能楽、邦楽、現代邦楽、日本舞踊、演芸と従来どおりで、事業の内容としては古典作品の上演が目立ちました。第1期とは異なり、初申請がおおよそ5割を占め、さらにその半数が採択となっています。古典か新作かに関わらず申請者自身の専門である分野や種目について掘り下げた企画が採択となる傾向にあります。また、海外へ渡航する事業が2件申請され2件とも採択になっており、これらも日本の伝統芸能の精神性や手法を現代の異文化の人に向けて紹介するために、種目について論理的客観的な視点で組み立てられています。こうした事例だけでなく、申請全体として、伝統をいかに残していくのかについての意識の高さと実践の端緒が表れていたことが特徴的でした。

●複合分野 申請件数：8件 採択件数：1件

申請内容は多岐にわたりますが、音楽と映像を交えた詩の朗読パフォーマンスに新たな局面を拓く企画を採択しています。

〈第2期 採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和6（2024）年1月1日以降に開始し、令和6（2024）年12月31日までに終了する事業
- ・申請件数：160件 採択件数：49件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	サポート費※
音楽	都内での芸術創造活動	団体	BONA MUSICAE MEMBRA	第6回定期公演 Abend Musik vol.5 - Das jüngste Gericht	
			有限会社サウンドボット	虚無僧尺八が語る風～昔話から生まれる伝統と未来の音絵巻～	
			SPAC-E	SPAC-E #5 ポートレート・シリーズ1：佐原洸・横断と見通し・	
			芥川也寸志メモリアルオーケストラ・ニッポニカ	オーケストラ・ニッポニカ 第44回演奏会	
			東京現音計画	東京現音計画#21～ミュージシャンズセレクション8：橋本晋哉2 with 菅沼起一	A
			一般社団法人もんでん	第9回両国アートフェスティバル2024	A
			特定非営利活動法人 Vivid Opera Tokyo	Vivid Opera Tokyo『こうもり』（仮）	
			Promusica Continuo株式会社	プロムジカ使節団『All Bach Cantatas プロジェクト』第一回公演	
			オーケストラ・プロジェクト	オーケストラ・プロジェクト2024	
			株式会社汎企画	「源氏物語」音ことば（仮）	
			The Wisely Brothers	「Improvisationを活用した音源制作と公演展開」（仮）	
			vocalconsort initium	vocalconsort initium：8th concert ― 邦人合唱音楽の深遠（仮）	
			一般社団法人現代奏造 Tokyo	現代奏造 Tokyo 第9回定期演奏会	
	国際的な芸術交流活動	個人	會田瑞樹	會田瑞樹バーカッションリサイタル2024	
演劇	都内での芸術創造活動	団体	ミュージック・フロム・ジャパン推進実行委員会	ミュージック・フロム・ジャパン 2024年音楽祭	
			関田育子	山帰来（仮）	
			スペースノットブランク	言葉とシェイクスピアの鳥	B
			終のすみか	終のすみか「Deep In The WOOD」（仮）	B
			ワワフラミンゴ	たずね先（仮）	B
			合同会社人間の条件	人間の条件第4回本公演『相模原障害者施設殺傷事件（仮）』	A・B
			老若男女未来学園	いかにも不慣れなブレイクダンス（仮）	
			一般社団法人なかふら	中野成樹＋フランケンズ 20th years anniversary 2us 4you『New Forms』	B
		個人	小田尚稔	小田尚稔の演劇「理想郷」（仮）	
	国際的な芸術交流活動	団体	一般社団法人Q	「弱法師」欧州公演	
			八王子車人形西川古柳座	AKUTAGAWA 東京公演	A・B

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	サポート費※
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	Arche	ホムンクルスの地図（仮）	A
			チーム・チープロ	nanako by nanako（仮）	
			DEVIATE.CO	石井則仁2024年新春舞踏公演	
			Von・noズ	安部公房「鞆」を踊る（仮称）	
	国際的な芸術交流活動	団体	特定非営利活動法人魁文舎	鈴木ユキオプロジェクト「堆積・Accumulations」シビウ国際演劇祭招聘公演	
美術・映像	都内での芸術創造活動	団体	TARINOF 株式会社	Tarinof dance company 2024『生と死を見つめる3部作・死と乙女』	
			ドキュ・メント実行委員会	第7回 ドキュ・メント「まなざしの発見」（仮）	
			日本国憲法展製作委員会	日本国憲法展	
			ゲバルト団体	ゲバルト展	
			座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会	第15回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	
	国際的な芸術交流活動	個人	壁と絵画	「壁と絵画」	
			木村亜津	蜘蛛との会話（仮）	
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	合同会社 eitoeiko	都市をひらく（仮）	
			都山流尺八峰山会 竹の新撰組	野村峰山と竹の新撰組～伝統と創造～Vol.2	
			能楽談ディズム実行委員会	第3回 能楽【談】ディズム特別公演 じっくり楽しむ新作能の世界～信玄公降臨！～	
			創邦21	創邦21 第20回作品演奏会	
			観世流太鼓職分会	十七世観世流太鼓宗家御追贈記念能 第一回観世流太鼓職分会（仮）	
			株式会社誠翔会	Kyogen Lounge 2024（仮称）（全6公演）	
			嘶伝承の会	古今亭菊志んの会「江戸の古典落語の研究」と「集大成スペシャル」	
			野坂恵璃	野坂恵璃 二十五絃箏リサイタル～繋～	
	国際的な芸術交流活動	個人	新内多賀太夫	新内多賀太夫の会	
			公益社団法人宝生会	アゼルバイジャン能楽公演プロジェクト/ミラノ 能楽公演「Aya-No-Tsuzumi」	
複合	都内での芸術創造活動	団体	一般社団法人座敷舞桐崎会	桐崎鶴女 座敷舞 イタリアツアー（仮）	
			ヒガヨン・セラ	ヒガヨン・セラ vol.4	

※A：鑑賞サポート費、B：創作環境サポート費

■カテゴリーⅡ 【長期助成】

〈採択結果概況〉

「カテゴリーⅡ【長期助成】」には32件の申請があり1件が採択となりました。採択事業としては、海外の機関との連携がある事業で、共同する地域の選定理由や分野横断のモチベーションが明確であり、かつ活動分野における役割などの意識が高い若手尺八演奏家による事業を採択しています。

〈採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和5（2023）年7月1日以降に開始し、令和7（2025）年6月30日までに終了する事業（2年間）又は、令和5（2023）年7月1日以降に開始し、令和8（2026）年6月30日までに終了する事業（3年間）
- ・申請件数：32件 採択件数：1件

活動分野	活動内容	申請団体名	The Shakuhachi 5
伝統芸能	創作活動を主とするもの	プロジェクト・活動名	『尺八が描かれた浮世絵』プロジェクト（仮）
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	浮世絵専門家の協力を得ながら新作モチーフのための浮世絵を東京、ニューヨーク、プラハの美術館修造作品から選定し、現地の作曲家と映像作家に新作を依頼する。発表を各都市公演と3年目の東京公演で行う。また、現代の作曲家向けに「作曲家のための尺八奏法」を日英2言語で作成しオンライン上に公開するという、尺八の現代曲づくりのオープンリソースとする活動も実施する。

■カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業（【長期助成】【単年助成】）

〈採択結果概況〉

【長期助成】

20件の申請があり2件を採択としています。採択事業2件のうち1件は、舞踊分野における人材育成の現状を課題として、多ジャンルから参加者を募り、申請者である劇場が創作環境を提供するなど、作品創作の観点から人材育成に取り組む独創的かつ舞踊分野に留まらない波及力が見込める事業を採択しています。もう1件は、実験映画・個人映画の保存・修復・アーカイブの必要性を掲げ、先進事例の調査やワークショップ等を通して、複数年をかけて現状調査からデータベースの構築を行う長期的な視点と波及力を持つ事業です。

〈採択事業一覧〉

【長期助成】

- ・対象期間：令和5（2023）年7月1日以降に開始し、令和7（2025）年6月30日までに終了する事業（2年間）又は、令和5（2023）年7月1日以降に開始し、令和8（2026）年6月30日までに終了する事業（3年間）
- ・申請件数：20件 採択件数：2件

活動分野	活動内容	申請団体名	一般財団法人六行会
伝統芸能	芸術創造環境の向上に資する事業	プロジェクト・活動名	Nextream21かつてなく自由にダンスを名乗るための煙が立つ会
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	舞踊分野に限らず芸術文化全体に影響を与えうるダンス作品を創作するアーティストの輩出を目標とした人材育成事業。参加対象を多ジャンルに広げ、分野を横断するアーティスト同士の創造環境を劇場が提供することで、新たな身体表現の創造を目指すもの。contact Gonzoの塚原悠也がリーダーを務めるディレクションチームが、参加者の作品クリエーションに伴走し、作品コンセプトを磨くことや、セルフマネージメントの能力を伸ばすことに主眼を置く。また、劇場の特性を活かし創作過程から公開し発信していく創作プロセスを重視する手法で、1年目には公募から6組を選出するプレゼンテーション、2年目は選抜3組による途中経過発表、最終年では選抜1組の作品発表を劇場公開する。
活動分野	活動内容	申請団体名	イメージフォーラム
美術・映像	芸術創造環境の向上に資する事業	プロジェクト・活動名	日本実験映画データベースプロジェクト（仮）
		実施予定年数	3年
		申請活動の概要	1950年代以降に日本で制作された代表的な実験映画・個人映画の日本国内における保管・管理状況を調査し、データベースを構築する。構築に際しては、欧米のアーカイブの視察を行い実験映画の保存の先進事例をリサーチするほか、国外の専門家を招聘しアーカイブの方法論についてのシンポジウムを開催する。また、劣化、消滅の危機に瀕している作品もあることから、アーキビストやラボ関係者による作品の修復や保存についてのワークショップを実施する。シンポジウム開催や修復した作品の上映は「イメージフォーラム・フェスティバル」の関連プログラムとして実施し、作品の保存及びアーカイブの意義や現状について国内の関係者等に広く共有する。

〈第1期 採択結果概況〉

【単年助成】

12件の申請があり4件が採択となっています。申請事業の中でも、舞台芸術におけるハラスメント問題に着目し、より良い創造環境を整備する事業や、公演情報や批評を発信する情報環境の整備事業、舞踊分野における若手公演の機会創出や国際交流事業等を含む人材開発の事業等を採択しています。課題を的確に捉えかつその解決策として、申請者ならではの独自の手法が計画されている事業が採択となりました。

〈第1期 採択事業一覧〉

【単年助成】

- ・対象期間：令和5（2023）年7月1日以降に開始し、令和6（2024）年6月30日までに終了する事業
- ・申請件数：12件 採択件数：4件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	サポート費※
演劇	都内	団体	株式会社momocan	リスペクトトレーニング/ハラスメント防止研修	A・B
			「紙背」編集部	舞台芸術をめぐる言説を発信するプラットフォーム形成プロジェクト「紙背」第二期	
			一般社団法人セッションハウス企画室	若手ダンサー支援プロジェクト ー継続するための活動の場の創出ー	
			特定非営利活動法人 舞台芸術制作者オープンネットワーク	舞台芸術の「未来」をのぞむ連続講座2023 ～持続可能な創造環境に向けて	A

※A：鑑賞サポート費、B：創作環境サポート費

〈第2期 採択結果概況〉

【単年助成】

15件の申請があり、3件が採択となっています。申請事業のうち、邦楽演奏家らが自ら邦楽の魅力を伝える演奏会とワークショップを企画・運営する事業や、若手劇団に対する制作や広報、技術面でのサポートを含めた企画公演事業等を採択しています。

〈第2期 採択事業一覧〉

【単年助成】

- ・対象期間：令和6（2024）年1月1日以降に開始し、令和6（2024）年12月31日までに終了する事業
- ・申請件数：15件 採択件数：3件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	芸術創造環境の向上に資する事業	団体	一般社団法人全日本合唱連盟	合唱音楽LPレコード・デジタルライブラリーで聴く20世紀の世界
舞踊			佐藤商事株式会社	見本市2024
複合			特定非営利活動法人ACT. JT	和楽ライブ2024

※採択結果概況は、「対象事業決定」リリースを抜粋・引用掲載しています。

※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

7

芸術文化による社会支援助成

【事業概要】

東京を拠点とする芸術団体や福祉団体、NPO等を対象とし、様々な社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市の様々な課題に取り組む活動を助成する。また、長期的な計画を持つ事業を最長3年間、優先的に支援する。

【事業趣旨（目的）】

社会における芸術文化の新たな意義を提起し、あらゆる人にひらかれた芸術のあり方を推進する先駆的な活動や、長期的視点を持ち着実に課題解決に資する活動の支援を目的とする。

【採択概況】

〈令和5（2023）年度実績〉

- ・ 申請件数：80件
- ・ 採択件数：21件
- ・ 交付決定総額：28,820千円

〈第1期 採択結果概況〉

申請件数は平成31（2019）年度以降毎年微増傾向にありましたが、今期は飛躍的に伸び、令和4（2022）年度第1期の1.5倍以上に及ぶ申請件数となりました。そのうち約7割に当たる41件が、本助成プログラムに初申請の団体からの申請です。申請件数増加の背景には、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのワクチンの普及や規制緩和の方針が明らかになったことに伴い、各所で芸術活動が再開されてきたことと同時に、本助成プログラムの趣旨とも共通する内容の多いSDGsやウェルビーイングの概念が、芸術活動の担い手に広く浸透してきたことがあると見えます。

審査に当たっては、計画性、先駆性・独創性、効果の広がり、継続的発展性を総合的に判断する中で、とりわけプロジェクトの目標や対象者が明確に定められているかがポイントとなりました。採択事業の内容は、障害者による芸術創造活動やその担い手となる人材の育成事業、様々な事情を抱える人々を芸術鑑賞や表現活動とつなぐ取組、そして、アーティストから障害者を含む一般の人々へのワークショップを通したリサーチなど多岐にわたります。3年間の優先的支援対象として新規採択となった2件は、活動領域は異なりますが、いずれも向き合う課題の当事者が主体的に取り組む活動です。3年計画の具体性や、成果がもたらす社会的なインパクトを踏まえ、継続的支援に適していると判断しました。

〈第1期 採択事業一覧〉

- ・ 対象期間：令和5（2023）年7月1日以降に開始し、令和6（2024）年6月30日までに終了する事業
- ・ 申請件数：59件 採択件数：11件

申請者名	申請事業名
有限会社劇団銅鑼	Let's try！プロジェクト in 東京 若者演劇ワークショップ ※3年計画事業採択の3年目
Flatart	「アートでつながろう」（仮）
SAC ミュージカルカンパニー	パフォーマンズ「POWER&SMILE」/SAC ミュージカル「スーホの白い馬」
一般社団法人もんでん	コミュニティ・ミュージックのいま、そしてこれから2023
特定非営利活動法人シニア演劇ネットワーク	舞台芸術鑑賞サポート講座2023年度 ※3年計画事業採択の3年目
地域ベビーシアター実行委員会	～赤ちゃんを真ん中に～ 人がつながり町を育むベビーシアター2023
STAND Still 東京	STAND Still - 性暴力サバイバービジュアルボイス ※3年計画事業採択の1年目
一般社団法人日本ろう芸術協会	ろう映画制作者養成講座2023 ※3年計画事業採択の1年目
XHIASMA 実行委員会	XHIASMA research #003
AAPA	「触れる／触れられる」ことから 2023（仮）
特定非営利活動法人東京ソテリア	日本・ミャンマー・イタリアをつなぐ絵画展と映画祭 ～障害のある人の文化芸術のいま～

〈第2期 採択結果概況〉

申請件数の半数近くが障害者の表現活動や鑑賞環境整備に取り組む活動で、採択事業10件のうち8件がこれに該当しています。その他の個別の申請事業においては、多文化共生、児童福祉や子育て支援、ひきこもり支援、自然環境問題の啓発、高齢者福祉、性的マイノリティへの理解推進など多岐にわたる社会課題の設定が見受けられました。

また、採択事業のうち5件が、2年間又は3年間の具体的な事業計画と達成目標が明確であることから、最長3年間までの優先的支援の対象となりました。新規で当該支援の対象となったのは2件で、1件は日本に暮らす外国にルーツを持つ母親たちに取材した詩集の制作や朗読会を開催する事業、もう1件は日本とベルギーの精神障害や知的障害のある作家の作品展で、ともに共生社会の推進に資することが目的とされています。実施する事業がどのように社会課題の改善につながるのか、かつ事業自体の幅と厚みとインパクトをいかに広げていくのかを具体的に検討して申請書に記載している事業が採択となっています。

〈第2期 採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和6（2024）年1月1日以降に開始し、令和6（2024）年12月31日までに終了する事業
- ・申請件数：21件 採択件数：10件

申請者名	申請事業名
一般社団法人一乃会	能と講談で古典をたのしむ ことのは能 Vol.3 ※3年計画事業採択の3年目
視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ	「目の見える人と見えない人の芸術鑑賞の場における経験と関わり」のアーカイブ作成と公開 ※3年計画事業採択の2年目
特定非営利活動法人Mother's Tree Japan	アートによる多文化共生リサーチ「母たちの森をゆくー マザーズツリー・プロジェクト」 ※3年計画事業採択の1年目
特定非営利活動法人Art'sEmbrace	上町マーチ
特定非営利活動法人LAND FES	LAND FES DIVERSITY 深川 2024 ※3年計画事業採択の3年目
ものがたりグループ☆ボランの会	手話を音声ガイドで伝えるプロジェクト
Onehand MUSIC Groove	Special × ONE Concert（仮）
Wake Up Pointe Shoes	Wake Up Nature!～環境アート作品を通じて、「地球環境」と「バレエ」を身近に～
特定非営利活動法人チャレンジド・フェスティバル	チャレフェス公演2023 ～エール～
特定非営利活動法人東京ソテリア	日本と海外の国際交流によるアール・ブリュット展 ※2年計画事業採択の1年目

※採択結果概況は、「対象事業決定」リリースを抜粋・引用掲載しています。
 ※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

8

地域芸術文化活動応援助成

【事業概要】

東京を拠点とする芸術団体、保存会、継承団体等を対象とし、都内の各地域の特色ある文化の醸成・発展を促進する芸術文化活動や、各地域の文化財や文化資源を未来に向けて継承し、その魅力を地域内外に広く発信する取組を支援する。

【事業趣旨（目的）】

東京における地域の芸術文化に誰もがふれ、参加できるような環境づくり、芸術文化を通じた地域の活性化や地域振興を目的とする。

【採択概況】

〈令和5（2023）年度実績〉

- ・ 申請件数：191件
- ・ 採択件数：64件
- ・ 交付決定総額：61,510千円

〈第1期 採択結果概況〉

今年度より新設された地域芸術文化活動応援助成ですが、申請件数は90件で大変多くの申請をいただきました。内訳は区分1が60件と多く、対象となる事業は「地域の文化魅力づくり事業」が全体の6割を占めました。採択された事業は、寺を活用した能と落語の会や音楽ライブ、地場産業をアートの視点で文化資源として活用した活動、商店会や地域ボランティアの協力、地元企業の協賛など地域振興に結びつくクラシックの音楽祭、地域の魅力を再発見する回遊型の展覧会などバラエティに富んだ内容となっています。区分1では、審査の視点の「地域の文化的特色の形成」、「単発の活動に終わらない」という点、区分2では、それらに加えて地域の人々や団体、コミュニティとの連携や多くの観客を集める発信力と工夫などを重視しました。

※区分1:初めて実施する企画でも申請可能。区分2:特に、多くの人々（1,000人以上を目途）が地域の芸術文化に触れ、参加できる事業を対象とし、申請団体の実績として、申請する事業と同じ内容の事業を同地域で1回以上主催している。

〈第1期 採択事業一覧〉

- ・ 対象期間：令和5（2023）年4月1日以降に開始し、令和6（2024）年3月31日までに終了する活動
- ・ 申請件数：90件 採択件数：23件

区分	申請団体名	申請事業名
区分1	代々木果実会	一之輔落語×竹灯籠能「花月」
区分1	一般社団法人染の里おちあい	藍・新宿 ～みんなで育てて染めを発信しよう！
区分1	小金井薪能	第45回小金井薪能
区分1	IDEAL COOP 建築設計合同会社	日本橋エリアを音で紡ぐ
区分1	せたがや梅まつり実行委員会	第45回せたがや梅まつり
区分1	下北沢音楽祭実行委員会	第32回下北沢音楽祭
区分1	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	第二回スタジオ公演「壺坂霊験記」
区分1	つながりの会	ジュエリーと街 ラーニング
区分2	高円寺演芸まつり実行委員会	第14回高円寺演芸まつり
区分2	「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」の会	第36回 荻窪音楽祭
区分2	「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会	KOSUGE1-16「どこどこ！巨大紙相撲～北斎すみゆめ場所」
区分2	有限会社萬企画	折戸通りの小さな夏祭り
区分2	阿佐谷ジャズストリート実行委員会	阿佐谷ジャズストリート2023
区分2	特定非営利活動法人音まち計画	千住・人情芸術祭「1DAYパフォーマンス表現街」
区分2	LiL	JUHLA FESTIVAL 2023 テラノオト
区分2	ストレンジャーによるしく実行委員会	きらめき彫刻祭
区分2	八王子商工会議所	多摩の伝統芸能まつりin八王子
区分2	特定非営利活動法人武州のよりあい	八王子流鏑馬～復活の幕開け～
区分2	一般社団法人Co-production of art Works-M	Center line art festival Tokyo 2023
区分2	一般社団法人クリエイティブクラスター	ひのはらアート2023・あきるのアート2023
区分2	かんだ歌宴	第6回ちよだ芸術祭
区分2	一般社団法人もんでん	ストリートピアノすみだ川2023
区分2	イジャクノ絨毯	ステージの無い音楽祭「地べた音楽祭」

〈第2期 採択結果概況〉

第2期の申請では、地域活動ですでに実績のある取組、コロナ禍で開催を見送っていた取組の再開、新たに立ち上げるトライアルな取組など幅広い申請をいただきました。対象となる事業の中では「地域の文化魅力づくり事業」へ

の申請が最も多く、約6割を占めました。採択については地域の方々とアートの手法を用いたコミュニケーションを実践していく取組や、地域社会との連携を新たに構築している取組等を採択しています。

〈第2期 採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和5（2023）年10月1日以降に開始し、令和6（2024）年8月31日までに終了する事業
- ・申請件数：48件 採択件数：26件

区分	申請団体名	申請事業名
区分1	「新富座こども歌舞伎」の会	新富座こども歌舞伎 錦秋公演
区分1	パレイドリアン	山本和智『解の庭園』～「緑の森のアート 峠の美術館『春祭り』」（仮）
区分1	TOKYO シャンソンフェスティバル実行委員会	第12回 TOKYO シャンソンフェスティバル
区分1	府中市の遺産の活用を考える会	武蔵府中郷土かるた選手権
区分1	染の小道実行委員会	染の小道2024
区分1	明暮れ小唄	北斎小唄 其の参 両国心中
区分1	Tokyo カグラッチプロジェクト実行委員会	私たちの町の伝説「遅野井」（仮）
区分1	特定非営利活動法人芸術文化の薫るまち in ひの会実行委員会	日野市市制施行60周年 芸術文化の薫るまちコンサート「ベートーヴェン 第九」
区分1	舞踊集団・モダンディーズ	バタフライ・エフェクトー未来と創造のためのダンス・プロジェクトー（舞踊集団モダンディーズ 実験劇場 vol.2「釣月耕雲」でのワークショップ・プロジェクト）
区分1	都笑亭	全国社会人落語まつり
区分1	セレナタ・デ・スギナミ	音楽で旅するアフタヌーン・コンサート～フランス編
区分1	多摩川流域郷土芸能フェスティバル実行委員会	第22回多摩川流域郷土芸能フェスティバル
区分1	チームミニたま	子どものまち たま Co-tama
区分1	time spot（合同会社kand design）	東京五感公園
区分1	山ト波	SF マルシェ2023吉祥寺
区分1	Commons Archive Collective	渋谷アーカイブ展（仮）
区分1	マルチリンガル演劇実行委員会	アートなテーマパーク
区分1	朗読三昧	朗読三昧サンモールスタジオ公演
区分1	合同会社Vincent Pen	～銭湯シネマ～カツベンゆ
区分2	町田時代祭り実行委員会	町田時代祭り2023
区分2	PLAY-WORK 実行委員会	（仮）Let's make PLAY-WORK FESTIVAL!
区分2	BONIN ISLAND JAZZ 実行委員会	BONIN ISLAND JAZZ 2023
区分2	江東区民まつり中央実行委員会	江東区民まつり中央まつり民俗芸能大会
区分2	立川市民オペラの会	立川市民オペラ2024 ドニゼッティ作曲 歌劇「愛の妙薬」
区分2	元八王子地区町会自治会連合会	八王子北条氏照まつり
区分2	一般社団法人ジャパンイリュージョンエンターテインメント協会	夢と魔法のウィズ イリュージョンショー（仮）

〈第3期 採択結果概況〉

第3期の申請では、地域活動としてすでに実績のある取組から、新たに立ち上げるトライアルな取組まで幅広い申請をいただきました。対象となる事業の中では「地域の文化魅力づくり事業」への申請が最も多く、約6割を占めました。採択については地域の文化的魅力を広く発信する試み、地域の方々が広く参加できる活動、アートの手法を用い特色ある地域文化を発信している取組等を採択しています。

〈第3期 採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和6（2024）年3月1日以降に開始し、令和7（2025）年2月28日までに終了する事業
- ・申請件数：53件 採択件数：15件

区分	申請団体名	申請事業名
区分1	こくフェス実行委員会	こくフェス ～MUSIC DAYS 2024～
区分1	Tumbling Dice Records	RWF DANCE LIVE SHOW 2024 -小笠原-
区分1	下北沢音楽祭実行委員会	第33回 下北沢音楽祭
区分1	一般社団法人Ongoing	芸術激流2024 ラフティングxアート
区分1	一般社団法人染の里おちあい	藍・新宿 ～みんなで育て染めて新宿の染文化を発信しよう～
区分1	musicotta	紡ぎ奏でる 青梅
区分1	特定非営利活動法人International Antique Institute	グローバル茶の湯体験
区分1	神保町小町	Viva！浅草 より自由に、のびやかに、しなやかに浅草オペラ
区分2	奥多摩郷土芸能祭実行委員会	奥多摩郷土芸能祭
区分2	かんだ歌宴	第7回ちよた芸術祭
区分2	阿佐谷ジャズストリート実行委員会	阿佐谷ジャズストリート2024
区分2	国技館通り商店会	第18回 両国にざわい祭り
区分2	小径のノエル実行委員会	小径のノエル vol.15 「下北沢の夏至と冬至のキャンドルナイト」
区分2	time spot（合同会社kand design）	東京五感公園
区分2	イジャクノ絨毯	ステージの無い音楽祭「地べた音楽祭」

※採択結果概況は、「対象事業決定」リリースを抜粋・引用掲載しています。
 ※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

9

スタートアップ助成

【事業概要】

東京を拠点とし、東京の芸術シーンの次代を担うことが期待される新進の芸術家や芸術団体等を対象とし、東京都内又は海外で実施される公演、展示、アートプロジェクト、国際フェスティバルへの参加、国際コラボレーション等を助成する。

【事業趣旨（目的）】

東京の芸術シーンで活動を展開していこうとする新進の芸術家や芸術団体がチャレンジする新たな芸術創造活動を助成し、若い才能が今後の芸術活動への地歩を築くためのスタートアップを後押しすることを目的とする。

【採択概況】

〈令和5（2023）年度実績〉

- ・ 申請件数：824件
- ・ 採択件数：170件
- ・ 交付決定総額：100,668千円

〈第1回 採択結果概況〉

第1回の本公募では、273件の申請があり、前回（令和4（2022）年度 第4回）の190件から大幅に増加しました。今回から申請方法が郵送からオンラインに変わり、申請にかかる手間が減少したことも件数の増加につながったと考えられます。

本助成では、都内での事業を初めて企画・主催する新進の個人・団体によるトライアルの事業、過去数回の実績を経て企画内容やキャリアの拡充を図るステップアップの事業、さらに、個人として実力を認められている芸術家が団体を結成し、新たな企画やプロデュースに着手する事業など、積極的なチャレンジを行う事業が採択となっています。また、事業の目指すべき目的が明確であり、それを実際にどのように具体化するのが示されており、実現にあたっての予算やスケジュールが適切に計画されているものが採択となっています。

●音楽分野 申請件数：86件 採択件数：11件

採択に至ったのは、作曲家コレクティブによるデンマークでの国際事業、日本の大正時代のフェミニズム実践に焦点をあてたコンサート、人工知能という観点から自動演奏ピアノを捉え直す事業など、その内容やジャンルは多岐にわたりますが、いずれも独自性が高く、事業のコンセプトや内容が明確に記された申請です。中でも、現役学生による団体や、吹奏楽への問題意識を持った団体が目立ちました。

●演劇分野 申請件数：63件 採択件数：9件

採択された事業は演劇を主軸としつつも、専門性の異なるアーティストとの共同制作事業、オムニバス形式での短編作品の上演、上演と展示やトークなど複数の企画を組み合わせた事業など多種多様です。また俳優や演出家、脚本家としてキャリアを積み、自らが主宰する団体や公演で新たな創作に挑戦する事業なども採択されました。

●舞踊分野 申請件数：22件 採択件数：9件

採択された事業は、コンテンポラリーダンス、バレエ、舞踏に加え、他分野とのコラボレーション企画も複数ありました。これまで名のあるカンパニーや振付家のもとで経験を積み、その経験をもとに独自の視点で企画したチャレンジ性のある事業が採択に至ったほか、実績が少ない事業者であっても、自身の表現探求に意欲的で、発展性の期待できる企画の申請がありました。いずれも、既存の表現に縛られない独自の視点を持ち、企画内容が具体的であるものが高く評価されています。

●美術・映像分野 申請件数：67件 採択件数：10件

多様なメディアを用いジャンルを横断的に活動するアーティストや複数ジャンルのアーティストたちによる協働の企画が増えている中、申請者自身の活動テーマの延長線上にありながら、表現の大きな飛躍を試みる挑戦的な事業が採択に至りました。表現形式としては、映像作品や映像を用いたインスタレーション企画が複数採択されました。

●伝統芸能分野 申請件数：13件 採択件数：3件

採択に至った事業のいずれも事業の内容が明確で、計画に無理がない実現性の高い事業でした。このうち1件は複合的な視点を持つ挑戦的な事業でしたが、事業の具体的内容・目的・取組の3つの記入項目がていねいに書き分けられており、意図の伝わりやすい説明になっていました。また企画書にも工夫があり、事業の全体像を明確に読み取ることができました。

●複合分野 申請件数：22件 採択件数：3件

身体を使ったパフォーマンスの企画、映像・音楽・インスタレーションなど、多ジャンルのコラボレーション企画、地域コミュニティとつながりながら実施するフェスティバルなど、多様な事業の申請があり、インクルーシブなものやAIを使った企画など、社会的に注目されるテーマや技術を用いたものなどもありました。その中で、各分野で実績を積んできたアーティスト、プロデューサーたちが、独自性・チャレンジ性の高い事業を実施するために立ち上げた団体による事業などが採択されています。

〈第1回 採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和5（2023）年7月1日以降に開始し、令和6（2024）年3月31日までに終了する事業
- ・申請件数：273件 採択件数：45件

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	都内での芸術創造活動	都内	団体	miniTua-wind ensemble	miniTua-wind ensemble 2nd Concert
				Sound & Word Network	Trailblazing Women
				T.M.Works	Euphonium Revolution - ジャンルの垣根を越えて - (仮)
				Symnapse	Symnapse 第2回演奏会
				大熊音楽事務所 Wind Roots 運営委員会	Wind Roots 第二回レギュラーコンサート
				特定非営利活動法人 AI 愛護団体	AI 芸術の先駆と拡張展：自動ピアノと四分音曲 (仮)
			個人	BUN Imai	架空の舞台作品のためのサウンドスケープ『Ocean portraits 海のスケッチ』コンサート (仮)
				鈴木崇弘	第3回鈴木崇弘室内楽シリーズ アンフォルメル ラプソディー・イン・ブルー
	国際的な芸術交流活動	海外	個人	大河原拓也	歌曲のゆうべil.2 - シェイクスピアな歌曲たち
				Cabinet of Curiosities	House of Sphere
演劇	都内での芸術創造活動	都内	団体	大平健介	大平健介ヨーロッパ公演2023
				セビロデクンフーズ	演劇公演『あかるくてくらい牛、またはその角』(仮)
				シニフィエ	シニフィエアートウィーク
			個人	三人之会	三人之会第二回公演「逃亡」一書×映像×演劇
				名村辰	namu
				湯川拓哉	『つままないセックスはやめて』演劇公演
				田村真央	田村企画 (仮)
				山田カイル	山田カイル×ジュネスホワイト「1忘DK」
				てんてん	すなてん旗揚げ公演「寝たら忘れる」(仮)
				藤井千咲子	SHIMAISHIBAI Vol.3「楽園」(仮)
舞踊	都内での芸術創造活動	都内	団体	Walks project	Japan-Taiwan Butoh Dance Exchange
				合同会社 Leonom	トリプルビル公演《Parallel Universe》
				土方・中西メモリアル猿橋倉庫運営委員会	猿の橋実験舞台
			個人	Dance Project Å	Dance Project Å 新作公演「ぼつねん」
				egglife	egglife 新作公演「海におはぎを投げる日」
				山田暁	EXPERIMENTAL HIPHOP PERFORMANCE「YELLOW BEACON」(仮)
	国際的な芸術交流活動	海外	団体	ATROA	ATROA
				任意団体 VA-ET-VIENT	flou
			個人	南阿豆	写真家エイブフラインドリッヒと舞踏家南阿豆のコラボレーションパフォーマンス「世界中が劇場であるプロジェクト」
					生き延びるためのラプソディ
美術・映像	都内での芸術創造活動	都内	個人	中塚文菜	機械化する種 ep.01
				小宮りさ麻吏奈	光ではかる (仮)
				今井しほか	rainforest
				郷治竜之介	伐採される桜並木の記憶を仏像に彫る制作と展示
				西除闇	青の形
				Sybilla Patrizia	遠州大念仏と変身 (仮)
				鷺見友祐	「Anna (仮)」個展
				宮森みどり	澤田詩園 写真展 よくゆきかう (仮)
				澤田詩園	Mid Tide (仮)
				古澤龍	
伝統芸能	都内での芸術創造活動	都内	団体	長唄咲くや会	第二回長唄咲くや会
			個人	コグマート	箏のお家へいらっやい！～楽器作りから演奏まで～
複合	都内での芸術創造活動	都内	団体	青木滉一郎	第一回青木滉一郎尺八演奏会
				紙カンパニーproject	「捏造技術時代の芸術作品」としての「祭礼」の捏造
			個人	3ducksDADA	再来さんやー小さい芸術祭2023
				栗原幹治	「本だとしても」公演企画

〈第2回 採択結果概況〉

第2回の本公募では、170件の申請があり、36件の採択となりました。

●音楽分野 申請件数：55件 採択件数：13件

伝統芸能に焦点を当てた電子音楽制作事業、コンピュータを用いたメディア・パフォーマンスによる国際事業、ジャンル横断型の即興演奏を行う事業など、独自性やチャレンジ性が高く、事業の実態が明確な事業が採択されました。また、当該ジャンルでのキャリアを踏まえつつ、活動テーマをさらに掘り下げ、新たな創造活動を試みる挑戦的な事業が採択に至りました。

●演劇分野 申請件数：53件 採択件数：11件

申請者が持つ目的や問題意識が端的に言語化できており、目的を達成する方法が具体的に明記されたうえで、事業内容と齟齬がない申請事業が採択に至っています。俳優としてのキャリアを経て演出や企画に挑戦する事業や、映像や音楽など他分野のコラボレーションにおいて具体的な演出プランを明示した事業、つくり手同士や観客との対話を重視した事業など、様々な事業が採択されました。とりわけ自身の創作上の動機づけと社会問題との接続が図られた事業が多く見られたのが特徴的でした。

●舞踊分野 申請件数：16件 採択件数：4件

採択された事業は、コンテンポラリーダンスを主軸とするものでした。単に作品の上演をするだけでなく、創作に向けたリサーチやワークショップ、ディスカッションなどを取り入れた計画性、チャレンジ性の高い企画が採択に至りました。また、自身の活動や舞踊シーンにおける課題を見つけ、これに積極的に取り組む事業も評価されました。

●美術・映像分野 申請件数：28件 採択件数：7件

美術分野では、個展・グループ展が5件、パフォーマンス・インスタレーションが1件採択となっており、物語や対話から着想を得て作品を制作するもの、半屋外のスペースや古民家、シェアハウスなどを会場として利用し、より効果的な鑑賞体験の喚起を試みるものが複数ありました。過去不採択になった事業をブラッシュアップして再申請し、採択に至ったものもあります。映像分野では、オリジナル劇映画の企画で、対象期間内に製作準備から作品公開までを行う事業が1件採択となりました。

●伝統芸能分野 申請件数：9件 採択件数：1件

採択に至った1件は、伝統芸能分野では初となる国際的な活動の事業でした。事業計画が明確で具体的に示されている点や、開催地となる国の歴史的・文化的背景に目を向け、海外で伝統芸能を上演する意義を良く考えたプログラム構成になっている点を評価しました。

●複合分野 申請件数：9件 採択件数：0件

採択に至ったものはありませんでした。コンセプトは明確であっても、事業内容の具体性、実現性に欠ける、また社会的な意義は高いが、申請者にとってのチャレンジ性や芸術創造活動としての独自性が乏しい、などの申請がありました。

〈第2回 採択事業一覧〉

・対象期間：令和5（2023）年10月1日以降に開始し、令和6（2024）年6月30日までに終了する事業

・申請件数：170件 採択件数：36件

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	都内での芸術創造活動	都内	団体	SIGNAL	SIGNAL + Reich, Cage, Harrison
				Ueno Bass Clef	ユニフォニウム・チューバアンサンブル Ueno Bass Clef 2nd Concert
				fippamusic	Percussion Emsemble "CROWS" 単独公演
				Guruw	Guruwによるジャンルの垣根を越えていく活動展開
				木枯らしの会	木枯らしコンサート
				インプロ・りぶる	作品#3-俳優とヴァイオリニストとホルニストによる インプロヴィゼーション（仮）
				Novanta Quattro	《修道女アンジェリカ》とプロローグ 空間構成×映像×調香でつくる小劇場オペラ
			個人	田辺和弘	ベースコレクティブソノリウム公演（仮）
				向井響	向井響個展 デジタル人形劇一乙女文楽ー 公演およびビデオアーカイブ化
				根岸宏輔	尺八とリコーダーの新しい世界
				台信遼	Contemporary Piano Showcase #1
				山本昌史	山本昌史コントラバス・ソロ
	国際的な芸術交流活動	海外	団体	逆位置 re-verse	SEIRENESII -Heterophonic Complex-
演劇	都内での芸術創造活動	都内	団体	ブテラノドン	ノゾミのない
				かえるフィクションズ	啓蒙スードル第五回公演『精肉店のロミオとヴィーガンジュリエット（仮）』
				はちどり空港	第2回公演「リビング・デッド・キッチン（仮）」
				劇団ネモノ会	劇団ネモノ会第3回公演『J・A・C・K』
				口チユス	成人（仮タイトル）
				荻島商店街青年部	未開の議場 2023
				WTF	WTF 第3回公演『やさしいファイティングポーズ』

活動分野	活動内容	実施場所	団体/個人	申請者名	申請事業名
演劇	都内での芸術創造活動	都内	個人	高山遥	はちみつ「動物倉庫（仮）」
				ZURULABO（小野寺ずる）	ZURULABO『SUZUKA博士の異常な』
				小原花	小原中村企画『わたしのことは』（仮）
				大迫美乃莉	PMS×フォーラムシアター 「A few days before may period, I'm...」
舞踊	都内での芸術創造活動	都内	団体	チャバリアーナ	チャバリアーナ2023旗揚げ公演『Time（仮）』
				Phyms	Phyms Fes
			個人	岡本社太	TREFFPUNKT ～オドルイススワルヒト～（仮）
				黒龍保士	醒めぬ夢（仮）
美術・映像	都内での芸術創造活動	都内	団体	株式会社ハットピクチャーズ	映画「猫を放つ」制作及び無料上映イベントの実施
			個人	中村直人	個展「OUT OF THE FIREMNZ」
				井上瑞貴	オープンスタジオ+展覧会とアーカイブ制作（仮）
				零	現代美術とSNSにおいて求められる身体性からの離脱についての作品展示
				MOKA TAKEDA	MOKA TAKEDA個展「Underground（仮）」
				伊藤誠一郎	ある光Ⅲ
伝統芸能	都内での芸術創造活動	海外	団体	WAN	日本カンボジア伝統楽器の共演～未来へ（仮）

〈第3回 採択結果概況〉

第3回は、185件の申請があり、43件が採択となりました。本公募では、事業の目的が明確であり、それをどのように実現させるか具体的に示されており、活動に継続性があるものが採択となっています。

●音楽分野 申請件数：48件 採択件数：11件

オペラの新たな上演形態を探る実験、異なる地域や時代の音楽を融合・並列させる試み、ピアニストの個人企画による2台ピアノの演奏会、創作のプロセスに焦点をあてた事業などが、それぞれ複数件採択されています。申請全体として見ると、教育普及や販売促進など、スタートアップ助成の趣旨に適合しない申請は減少し、一定の修練を積んだうえでの新たなチャレンジとなる事業が大半を占めました。自らのこれまでの活動や当該領域の状況を踏まえたうえで、それに対して申請事業がどのような点において独自性・挑戦性を持っているのか、それは具体的な事業の内容や枠組みにどのように落とし込まれているのか、という点が明確な申請が採択に至っています。

●演劇分野 申請件数：51件 採択件数：13件

申請者の平均年齢は36歳で、20代から30代の申請が全体の約6割を占めました。脚本の主題や演出プランに独自性やチャレンジ性があり、出演者・スタッフなど事業概要が具体的に示された申請が採択に至っています。音楽や映像、お笑いなど他分野とのコラボレーションに取り組む事業や、取材内容を作品に反映することで演劇表現の拡張・更新を目指す事業、活動初期においてコロナ禍で活動休止を余儀なくされた申請者が活動の再開を目指す事業が採択されたのも今回の特徴です。

●舞踊分野 申請件数：18件 採択件数：3件

採択された事業は、コンテンポラリーダンスを主軸としたものでした。舞踊の枠を越え、音楽や建築など他分野とのコラボレーションを試みるチャレンジ性や独自性の高い企画が採択に至っています。また、これまで個人や団体が一貫したテーマや課題に向けて取り組んでいたことについて、今回新たな視点でアプローチを試みる実現性や発展性の高い事業が採択に至りました。

●美術・映像分野 申請件数：44件 採択件数：10件

美術分野では、個展・グループ展が6件、パフォーマンスが1件採択となっており、様々な国籍・バックグラウンドの人材が関わることで、多様な価値観を取り入れようとするもの、特定の材料・素材に対して独自のアプローチを試みるもの、もともと別の目的で使用されていた場所を再解釈してサイトスペシフィックな企画を展開するものなどが採択に至っています。映像分野では、8mmフィルムを使用するなど、メディアの特性を活かしアウトプットを試みる事業が評価されました。

●伝統芸能分野 申請件数：8件 採択件数：3件

8件の申請があり、そのうち、要件を満たし、かつ審査の観点から助成対象として適した3件の事業が採択に至っています。

●複合分野 申請件数：16件 採択件数：3件

特定の地域での継続した活動が見込まれるもの、他分野との融合を図る新たな可能性があるもの、新しい表現方法を模索する実験的なものが採択となっています。

〈第3回 採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和6（2024）年1月1日以降に開始し、令和6（2024）年9月30日までに終了する事業
- ・申請件数：185件 採択件数：43件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	都内での芸術創造活動	団体	Ensemble Academia Musica	Dual Fides Unite（仮）
			アンサンブル・トーンシーク	Ensemble Toneseek vol.3 第三回演奏会（仮）
			nezumi	新作日本語オペラ『長い終わり』
			Opera Pittoresca	Opera Pittoresca 第3回公演 ドニゼッティ オペラ《愛の妙薬》
			キンミライガッキ現代支部	北区赤羽のクリエイティブベースメント ld108を起点とした自動演奏楽器の公演発信
		個人	アンサンブル綾	アンサンブル綾 結成ライブ Vol.0～尺八アンサンブルの可能性～
			佐々木暁美	音楽会〈人間椅子〉
			上田恵利加	記憶を継ぐクルドの「声」失われた「私の歌」
			井口みな美	2台ピアノの夜ーピアノアンサンブルの可能性の追求ー（仮）
			本荘悠亜	2台のデジタルピアノによる演奏会 Project『白と黒で』Vol.1
演劇	都内での芸術創造活動	団体	国際的な芸術交流活動	民謡こでらんに～
			日本×エチオピア 民謡交換プロジェクト・エチオピア公演	
			ペースメント・モリ	催眠に滴る（仮）
			ジャパニーズ生活	ジャパニーズ生活vol.2『平成の夢』
			無限のネコ定理	無限のネコ定理第三回公演
			avenir'e	avenir'e
			娑婆駄馬	娑婆駄馬「R⇄J」
			演劇企画カチャエベベ	演劇企画カチャエベベ第三回公演『飛行するクッキー&クリーム』
		個人	MUGAI	インターカルチュラル・パフォーマンスに関する実践ー音楽劇日本上演編
			不条理コントユニットMELT	天使の鼻声
			新田螺	演劇ユニット潮汐ロック#1「鯨雲」
			梢はすか	遊星D オムニバス公演『どこへも帰らない（仮）』
			佐乃美千子	熊 プライアン・フリール 新訳 リーディング公演
			星歌	星歌オムニバスひとりしばい公演『正夢』
			坂本彩音	光のモニタージュ
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	Yuki Miyawaki ArtConnect	Performing Arts Project『LOCUS』
		個人	吉沢楓	栗朱音×吉沢楓「夜の教室でダンス」
			木原萌花	タコダンス改訂版（仮）
美術・映像	都内での芸術創造活動	団体	脱衣所 - (a) place to be naked	One's Room・Oneの部屋（仮）
			FLOATING ALPS 合同会社	ケからZー能楽、風景、XRー
			鈴木理利子	miniature garden（仮）
		個人	李和晋	李和晋個展「新潟」
			達上空也	映画「走る手段」(仮)の制作／上映
			櫻井南	「身体の可動域」パフォーマンス（仮）
			上竹真菜美	グループ展「激声」
			channel	ドイツ人現代美術家カトリニス・ヴァル来日展
			井村一登	ナルキッソスが死なないための10の方法
			(euglena)	建築デザインユニットと織りなす新たなインスタレーション展覧会
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	特定非営利活動法人東京囃子塾	特定非営利活動法人東京囃子塾設立一周年記念公演
		個人	一般社団法人柔和の会	茶×フレンチ×長唄で嗜（たしな）む ～五感の世界～
			市川法慧能	市川法慧能コンサート（仮）
複合	都内での芸術創造活動	団体	劇団ツッカ	劇団ツッカ特別企画『登録された鉄の隙間、風の子たちのステップ』
		個人	家劇場 むかしむかし化計画	家劇場 一周忌 祭り
			めぐみ梨華	ひとりサーカス公演「深夜のサーカス」(仮)

〈第4回 採択結果概況〉

第4回の本公募では、196件の申請があり、46件の採択となりました。第2回（170件）、第3回（185件）と申請件数は増加しており、過去の申請者の再チャレンジも散見されました。

●音楽分野 申請件数：42件 採択件数：8件

いずれも申請者が目指すビジョンや企画内容が申請書や企画書にしっかりと明記されたうえで、事業スケジュールや収支予算に齟齬がない事業が採択に至っています。今回はクラシック音楽・現代音楽の申請事業が多く採択となりましたが、その内訳はオペラ団体や合唱団体、作曲家集団や声楽アンサンブル、器楽アンサンブル等、多様な活動形態を取っています。

●演劇分野 申請件数：59件 採択件数：14件

採択に至った事業では申請者のこれまでの活動を踏まえたうえで演劇表現における独自性や作品制作の新たな方法・コンセプトが具体的に書き込まれていました。今回は既存戯曲や翻案作品の上演、オリジナル作品の再演や再構成を予定している企画が採択事業の半数以上を占めました。また、死・セクシュアリティ・宗教といった公に語られ

にくいテーマについて、演劇を通じて向き合うことで同時代的な解釈を提示しようとする事業も複数採択に至っています。

●舞踊分野 申請件数：18件 採択件数：7件

舞踊分野の申請は18件あり、ジャンルとしてはコンテンポラリーダンス、舞踏、バレエ、ストリートダンスのほか、ジャンルを横断するものも複数ありました。今回は団体からの申請が多く全体の7割を占めました。採択された事業は、海外フェスティバルに参加する事業や、国際コラボレーション企画、初の自主公演を行う企画、ドラマトゥルクと協働でクリエーションを行う企画などバラエティに富んだ内容となっています。いずれも事業計画が具体的に練られており、チャレンジする点が明確なものが採択されています。

●美術・映像分野 申請件数：44件 採択件数：12件

個展・グループ展が8件、パフォーマンスが2件、海外レジデンスでの滞在制作・発表が1件、短編映画の製作・上映が1件となっており、テーマに対して独自のアプローチや取組があり、展示・公開方法が具体的に示されている事業が採択に至っています。また今回は、詩や言葉を軸に作品を創作するもの、演劇、映像、パフォーマンスなど領域横断的に活動する作家が核となる事業が目立ちました。

●伝統芸能分野 申請件数：15件 採択件数：4件

採択に至った申請者の年齢層は20代・30代で、平均年齢が高めな伝統芸能分野としては若い層となっています。いずれも申請内容が練られており、具体性・実現性が明確でした。また、これまでの自分の活動をきちんと踏まえたうえで、この先も伝統芸能の活動を続けるために必要な、意義ある挑戦であることを示している申請でした。

●複合分野 申請件数：18件 採択件数：1件

他分野との融合により、新たな手法の開拓が見込まれる事業が採択となっています。

〈第4回 採択事業一覧〉

・対象期間：令和6（2024）年4月1日以降に開始し、令和6（2024）年12月31日までに終了する事業

・申請件数：196件 採択件数：46件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	都内での芸術創造活動	団体	Verset Versé	Verset Versé 2nd Concert フランス合唱音楽の夕べ Vol.2
			opus1	opus1 × 東京烤鸭：集まれ！日本と中国の作曲家たち！
			木の音楽会実行委員会	木の音楽会 Vol.3『踊り出すアンサンブル』
			Old instruments Research Project	パリのバゾン〜Around 1800〜（仮）
			Novanta Quattro	オッフェンバック《天国と地獄》——101年目の浅草オペラ
			4Brothers	4Brothers 第二回公演 マジめに！楽しく！いきましょう！！
			夏のコンサート実行委員会	音楽朗読劇〜夏のこわい話〜
		個人	鈴木崇弘	第4回鈴木崇弘室内楽シリーズ アンフォルメルサウンド・オブ・ワンダー
演劇	都内での芸術創造活動	団体	劇団ひにる	朱に交われば黒くなる
			maars inc.	『夫婦』
			ブテラノドン	青春にはまだはやい（仮）
			D地区	おかえり未来の子
			はちみつ	はちみつ第3回公演『砂の上の街』（仮）
			&Co.	木村悠介 新作公演『ハムレットの女たち』
			コーポ 指	第4回公演『はくり』（仮）
			Hearts & Souls	ちょっこりひょうきん島 第3回公演『法王庁の避妊法』
			娑婆駄馬	娑婆駄馬「星になる（仮）」
			幻視譚	幻視譚【傷一風化】
			紙魚	紙魚「ハムレット」
		個人	柴田ありす	舞台「溢れる」（仮）
			川久保晴	川久保晴一人芝居 第一回単独劇場公演
			長井健一	宝宝（1かいめ）『敗北じゃないか！（仮）』
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	潜熱	潜熱 トーナメントコンペティション（仮）
			KUROKO	自主公演
			杉本音音	《UzumekuAru ウズメクアル》
		個人	鶴家一仁	The Speech Condition
			宮悠介	宮悠介単独主催公演「なんで踊ってるか全く分からないし、誰かに分かって貰えとか全然思っていないんだけど、たぶん共鳴して一緒に震えたいんだとおもう。みんなと。」
	国際的な芸術交流活動	団体	Walks Project	Japan-Taiwan Butoh Dance Exchange 2024
			武本拓也	武本拓也 ヨーロッパツアー

活動分野	活動内容	団体／個人	申請者名	申請事業名
美術・映像	都内での芸術創造活動	団体	宮森みどり+	Trace a Day vol.2 会社員（仮）
		個人	岡本昌也	seam -縫い代-
			赤澤玉奈	グループ展「水辺にて、泳ぐものたち」（仮）
			砂守かずら	劣化ネガフィルム修復アーカイブプロジェクト
			清水琳名	現場のモラル
			根本祐杜	根本祐杜 美術展 個展「人」
			長田ボンシリ・アリサ	Wind, Please hear your whisper
			山下港	山下港個展「Unit—単位—」
			倉知朋之介	倉知朋之介 個展 「未定」（仮）
			戸田健太	WERNER MEAT SHOP
	国際的な芸術交流活動	個人	陳威廷	陳威廷 Chen Wei Ting
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	辻梨絵子	SomoS ベルリンにてレジデンスプログラム
		個人	芬の集	芬の集
			花柳貴伊那	花柳貴伊那 日本舞踊公演「Signet vol.1」
			内間安希	琉球古典音楽 四季の歌会Ⅱ
複合	都内での芸術創造活動	個人	青木礼子	青木礼子 鳥越菜々子 第一回デュオリサイタル
			林翔太郎	Wild Conversation

※採択結果概況は、「対象事業決定」リリースを抜粋・引用掲載しています。

※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

10

伝統芸能体験活動助成

【事業概要】

伝統芸能の様々な種目について、初めての人でも入り易く、かつ継続的に自ら実技体験ができる事業を助成する。

【事業趣旨（目的）】

伝統芸能の面白さを体感する機会を提供し、日常的にお稽古に通う人の拡充へとつなげることで、伝統芸能の振興を図ることを目的とする。

【採択概況】

〈令和5（2023）年度実績〉

- ・申請件数：26件
- ・採択件数：14件
- ・交付決定総額：10,000千円

〈採択結果概況〉

長唄三味線、日本舞踊、尺八、邦楽囃子、能楽、箏曲・地歌をはじめ琵琶や一絃琴など幅広い種目の申請がありました。申請件数は昨年度に比べ減少しましたが、初心者に当該種目ならではの魅力をどのように伝えるのかがていねいに検討された、水準の高い申請が増えています。審査にあたっては、事業が終了したあとも当助成対象事業以外の継続的な実技体験につなげていく工夫がなされているかどうか、また参加者の募集告知に際し、区市町村との広報面での提携等、募集人数を確保するために有効な広報が検討されているかどうかを重視して採択事業を決定しました。

〈採択事業一覧〉

- ・対象期間：令和5（2023）年9月1日以降に開始し、令和6（2024）年8月31日までに終了する事業
- ・申請件数：26件 採択件数：14件

申請者名	申請事業名
一般社団法人玉の緒会	3カ月で三味線できるかな？日本橋2024
潤星会	「日々が彩る、能の稽古体験 - あなたは謡う？舞う？ -」（仮）
有限会社サウンドボット	「初めてでも通える！尺八体験教室」
お囃子プロジェクト	気軽に！楽しく！伝統芸能！ PONと小鼓教室 in 浅草2024
一般社団法人長唄東音会	三味線ワークショップ（仮）
一般社団法人柔和の会	手ぶらで三味線お稽古 体験教室（仮）
株式会社真花	初めての「手ぶらでマルっとお能体験」（仮）
一般社団法人伝統芸能三味線楽舎. j p	三味線サロン
株式会社 office IKD	沖縄文化・琉球芸能体験【三線・箏曲・舞踊】2024
白藍乃会	能楽体験プログラム2024
和ごと株式会社	和ごとふれあいコンサート 第4弾
一般社団法人もんでん	伝統芸能体験 ―「日本のコトを知っていますか？」源氏物語に登場する三つの「コト」：一絃琴、箏、琵琶体験
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	芸能花伝舎クラブ2023～初心者（親子体験付）
つるころりん	箏・尺八体験会（仮）

※採択結果概況は、「対象事業決定」リリースを抜粋・引用掲載しています。

※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

11

芸術文化魅力創出助成

【事業概要】

芸術文化で躍動する都市を目指して、新たな芸術文化の創造や鑑賞機会を創出することを目的とした助成事業を実施する。

【事業趣旨（目的）】

次のいずれかのテーマに該当する芸術文化事業で、公開を伴うものであり、複数の団体・アーティストが参画する、波及力を有する事業に対し、実施にかかる助成対象経費の2分の1以内でかつ2,000万円を上限額として支援する。

- ・インクルージョン&サステナビリティ
- ・サイエンス&アート
- ・東京の魅力発信となる芸術文化

また別途サポート費として、特定の費目にあたる経費について上限額までの実費支援もあわせて行う。

- ・A：アクセシビリティ・サポート費（上限150万円）
- ・B：デジタル開発サポート費（上限300万円）
- ・C：創作環境サポート費（上限20万円）

【採択概況】

当該助成は令和4（2022）年度に新設され、2年度目となる助成事業である。年間2回公募を行い、申請件数は314件。影響力・波及力、将来性・継承性、革新性・独創性、実現性などの視点に基づき審査した結果、合計70件を採択した。

〈令和5（2023）年度実績〉

- ・申請件数：314件
- ・採択件数：70件
- ・交付決定総額：546,228千円
（助成金：499,990千円、サポート費：46,238千円）

〔内訳〕

①第1期

- ・対象期間：令和5（2023）年7月16日以降に開始し、令和6（2024）年7月15日までに終了する事業
- ・申請件数：163件
- ・採択件数：42件
- ・交付決定総額：351,350千円
（助成金：327,635千円、サポート費：23,715千円）

〈第1期 採択事業一覧〉

申請団体名	申請事業名
一般社団法人MUTEK Japan	MUTEK.JP 2023 Edition 8
ROCKSTAR有限会社	ハンドルズ×コンドルズ 1st STEP「Lay Your Hands on Me」(仮)
認定NPO法人東京フィルメックス	第24回東京フィルメックス（英語表記：TOKYO FILMeX 2023）
シアターコモンズ実行委員会	シアターコモンズ'24
トロールの森実行委員会	野外×アート×まちなか トロールの森2023
一般社団法人東京ビエンナーレ	東京の地場に発する国際芸術祭 東京ビエンナーレ2023
NPO法人劇場創造ネットワーク	座・高円寺のあしたの劇場「世界をみよう！」
中野駅前大盆踊り大会実行委員会	第11回 中野駅前大盆踊り大会
森ビル株式会社	Toranomon Light Art Festival
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	TOKYO ART & LIVE City 2023
東京中低域	東京国際バリトンサックス・フェスティバル2024
TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY	T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023
寺田倉庫株式会社	TERRADA ART AWARD 2023 ファイナリスト展
ワタリウム美術館	東京リバーウォーク展（仮称）
一般社団法人プレイキッズシアター	社会問題を自分事とし、アーティストと地域が生み出す舞台作品づくり及びフォーラム
一般社団法人全国専門人形劇団協議会	モノ・コトバ・カラダ ～豊かな児童青少年演劇の世界～

申請団体名	申請事業名
株式会社デザインート	ASIA CREATIVE RELATION
東急文化村	K-BALLET Opto「シンデレラ2025」(仮題)
株式会社CinemaLeap	XRに特化した国際映画祭「Beyond the Frame Festival」の開催
公益財団法人サントリー芸術財団サントリーホール	サントリーホール サマーフェスティバル 2023
オルターメイン実行委員会	sea fire
日比谷音楽祭実行委員会	日比谷音楽祭2024
矢車会	第八回『翔之會』
有限会社遊機械オフィス	「僕のフレンチ」2023
小田急電鉄株式会社	ムーンアートナイト下北沢
株式会社エル・ディー・アンド・ケイ	東京ナイトマーケット
アサクサ実行委員会	アサクサエンターテインメント2023-2024
アタック・トーキョー株式会社	ANDROID OPERA TOKYO
東京のうた実行委員会	東京ビエンナーレ2023「東京のうた」
観世流緑泉会	創作舞踊劇「首里」公演一大和の能・琉球の組踊が生み出す新たな創生—《首里城の復興を祈って》
一般社団法人エル・システムジャパン	「エル・システム子ども合唱祭 in 東京：うたで誰もが輝く時間」
バルコ	ミュージカル「ジョン&ジェン」
株式会社Human Art Theater	「漫劇!! 手塚治虫 第5巻 ブラック・ジャック」The Fusion of Comics & Theater ～ブラック・ジャック連載50周年記念公演～
八王子よこやま南マーチングフェスティバル実行委員会	第3回 八王子よこやま南マーチングフェスティバル
東京学生演劇祭事務局	東京学生演劇祭2023
ファンダメンタル プログラム	ファンダメンタルズ プログラム
株式会社ふゆうじょんぶろだくと	コマ撮りアニメーションフェスティバル vol.1
株式会社テレビマユニオン 音楽事業部	ACF全国アマチュア室内楽フェスティバル2024
一般社団法人Get in touch	まぜこぜ一座「月夜のからくりハウス」舞台&映像のハイブリッド“まぜこぜ”プロジェクト
KOI NIPPON	「ヒューマンバルティック ～パルト三国のヒューマニズム写真展～」
一般社団法人JDDA	TDMW2023
高校生ライブ MUSIC DAYS 実行委員会	高校生ライブ MUSIC DAYS

②第2期

- ・対象期間：令和5（2023）年12月16日以降に開始し、令和6（2024）年12月15日までに終了する事業
- ・申請件数：151件
- ・採択件数：28件
- ・交付決定総額：194,878千円
(助成金：172,355千円、サポート費：22,523千円)

〈第2期 採択事業一覧〉

申請団体名	申請事業名
プロムジカ使節団	プロムジカ使節団「ヨハネ受難曲」
日本児童・青少年演劇団協同組合	ベビーシアターフェスティバル2
株式会社ミックスゾーン	不思議な国のエロス
FREQUENCY JAPAN 実行委員会	FREQUENCY JAPAN 2024
エス・オー・プロモーション	FLOWER DISCO !
渋谷ズンチャカ実行委員会	渋谷ズンチャカ！ 2024
特定非営利活動法人子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩	PAF（パフォーミングアーツフェスティバル）NISHITAMA
一般社団法人花絵文化協会	TOKYO FLOWER CARPET 2024
ユニバーサルアドネットワーク株式会社	EMERGE
株式会社 YAR	MODE 2024 TOKYO
一般社団法人 WITH ALS	MOVE FES.2024
LAND FES	TOKYO DANCE AR 2024
株式会社ワイ・プランニング	ユニバーサル映画祭2024—障碍の有無を超え、みんなで一緒に映画を楽しもう—
CABIOSILE	ラテンミュージックのためのフェスティバル Japan Latin Music Festival "timba" 2024 (Feslatimba)
グリーン・コンクリート展実行委員会	SIDE CORE GREEN CONCRETE 展
Big Romantic Jazz Festival 実行委員会	Big Romantic Jazz Festival
電子音響ビープルプロジェクト2023-202 実行委員会	電子音響ビープルプロジェクト2024東京公演@ゲーティンスティテュート東京
一般社団法人セッションハウス企画室	「トーキョーミコシ」プロジェクト
特定非営利活動法人 Deku Art Forum	下北沢国際人形劇祭
東京建築祭実行委員会	東京建築祭
株式会社サイ	第1回 TOKYO MAZE (仮)
株式会社アブストラクトエンジン	坂本龍一トリビュート展
一般社団法人 SPRING LOVE 春風	Spring Love 春風2024 -Whole Life Festival-
Art in Country of Tokyo 実行委員会	Art in Country of Tokyo 2024
水平都市 (FLATLINE CITY)	第2回 水平都市
東京ミッドタウンマネジメント株式会社	日比谷フェスティバル
ナッポスユナイテッド	ミュージカル「無伴奏ソナタ」
有限会社ユーロスペース	シネアストが愛した街、TOKYO! -アート・キッチン・エキジズム-

※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

12

ライフウィズアート助成

【事業概要】

芸術文化を日常生活の中に根づかせ、一層都民に身近なものとするとともに、アーティストの支援にもつなげていくことを目的とした助成事業を実施する。

【事業趣旨（目的）】

芸術文化の多様な楽しみ方を提案し、都民が芸術文化に親しむ機会を創出する取組・基盤整備を助成する。本助成を通じ、アート作品を都民の日常生活の中に根づかせて、アーティストの活動領域を広げる基盤整備を進めることで、芸術文化に携わる人材を増やし、好循環を生み出すことを目指す。

- ・対象となる活動：多くの都民が参加し芸術文化を身近に感じる、生活の中に根づくことにつながる事業
ただし、同時代のアーティストやアート作品等と触れ合う場があること
- ・対象となる分野：視覚芸術（ビジュアルアート）全般 ※異分野との協働も可
- ・助成金交付額：実施にかかる助成対象経費の2分の1以内でかつ2,000万円を上限額として支援する

【採択概況】

当該助成は令和3（2021）年度に新設され、令和5（2023）年度は3年目となる。令和5（2023）年5月16日～6月30日に公募を行い、申請件数は35件。企画力、発信力、訴求力、アートへのアクセスのしやすさ、実現性などの視点に基づき審査した結果、合計7件を採択した。

〈令和5（2023）年度実績〉

- ・対象期間：令和5（2023）年9月1日以降に開始し、令和6（2024）年8月31日までに終了する事業
- ・申請件数：35件
- ・採択件数：7件
- ・交付決定総額：36,445千円

〈採択事業一覧〉

申請団体名	申請事業名
一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパン	有楽町ウィンドウギャラリー2024
株式会社 The Chain Museum	上野下スタジオ（企業の「空き区画」を活用した若手アーティスト支援のシェアアトリエ実証事業）
合同会社 NFT ART TOKYO	NFT ART TOKYO 4
エイベックス・クリエイター・エージェンシー株式会社	NISHIAZABU ART PROJECT
THE BLACK FENCE	高井戸芸術祭2023
特定非営利活動法人いけぶくろ大明	第8回池袋みらい国際映画祭
DOMMUNE	FINAL MEDIA THERAPIST @DOMMUNE

※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

13

東京ライブ・ステージ応援助成

【事業概要】

東京都内で実施する公演・演奏会など、公開を伴う創造活動に対し、実施にかかる助成対象経費の2分の1以内でかつ100万円を上限額として助成する。

【事業趣旨（目的）】

東京に活力ある芸術文化・エンターテインメント環境を取り戻すため、コロナ禍から回復しつつある中小の団体による舞台芸術（演劇、舞踊、音楽等）を支援することを目的とする。

【採択概況】

当該助成は令和5（2023）年度に新設された助成事業である。年間2回公募を行い、申請件数は687件。活動実績や実現性、創造性などの視点に基づき審査した結果、合計322件を採択した。

〈令和5（2023）年度実績〉

- ・申請件数：687件
- ・採択件数：322件
- ・交付決定総額：299,760千円

〔内訳〕

①第1期

- ・対象期間：令和5（2023）年8月1日以降に開始し、令和6（2024）年7月31日までに終了する事業
- ・申請件数：431件
- ・採択件数：194件
- ・交付決定総額：177,152千円

〈第1期 採択事業一覧〉

事業分野	申請団体名	申請事業名
音楽	THOGO	間々田優×中村ピアノ×イブブルギスの夜 バラ・バラ・バラハーモニー 三花繚乱（裸歌）～コロナ決別旅行2023～
	アルプス音楽団	アルプス音楽団コンサート
	有限会社 アイ・エー・ダブル	オペラ「カルメン」ビゼー作曲（新演出版）
	子どものための音楽療法サークル「音の輪」	第35回音の輪ポピュラーコンサート（R5.9.09） 第36回音の輪ポピュラーコンサート（R6.3.02）
	歌曲アンサンブル研究会	歌曲アンサンブル研究会第2回推薦コンサート「中田喜直生誕100周年記念～そのフランス音楽からの影響に触れて」
	尺八貴風会	三橋貴風「尺八本曲 空間曼陀羅 供養之碑式」
	有限会社アスク・ミュージック	アスク・ミュージック 全員集合！ファミリーコンサート
	有限会社 花井	トーマス・ストローネン Time Is A Blind Guide+福盛進也グループ コンサート（仮）
	HABUBAN 運営委員会	HABUBAN スペシャルライブ
	合同会社シティライツ音楽事務所	I SAW THE LIGHT シリーズ Vol.56,57
	有限会社プラムアンドピーンズ	スナックひろみ
	有限会社 八宏	バックインタイム13周年記念ライブ
	一般社団法人 奏楽会	「みんな知らない名曲コンサート」Vol.2
	サンガツ	サンガツ / ¿Music?_Ver.3.0
	水谷八重子観劇会	今は亡き越路吹雪を偲んで
	一般社団法人もんでん	Electronic duo series at Monten 2024
	一般社団法人東京室内管弦楽団	2023-2024 Winter 東京室内管弦楽団 0歳から入場OK! ほくとわたしのコンサートデビュー クリスマスフェスティバル編
	株式会社ミキオオフィス	秋めく夜空に月を見て ～音楽ユニット さいたま feat.山下久美子～
	特定非営利活動法人日本二胡振興会	二胡縁 第十二回中国民族楽器の精鋭によるコンサート 「葡萄熟了」の作曲家・著名な二胡演奏家 周維と共演
	カンティアーモ Nuovo	オペラ「カルメン」原語ハイライト公演
	琵琶 ひとひら会	琵琶ひとひら会 「和洋を語る～琵琶とピアノと声～」(仮)
	特定非営利活動法人ブリッジフォージアーツアンドエデュケーション	オペラ版幻の光
	ジャパン・ホルン・クインテット	JAPAN HORN QUINTET
	Peinture à l'huile	花と音楽のコラボレーション ～水のおながく 水のうた～
	特定非営利活動法人千住すみだ川	南千住ぶらり下町芸術散歩

事業分野	申請団体名	申請事業名
音楽	LASENAS	LASENAS with 小川慶太
	TOFS & VIFS	東京から始めよう！ WA-ROCK Festival～素晴らしき日本のロック再発見カバーナイト～
	code"M"	美宇宙の響宴 15th コンサート
	プリズムエンタープライゼス株式会社	TOKYO BAND NIGHT (仮題)
	ミュージック・ドリームス	ミュージック・ドリームス Salon Concert 2023 「remix mode VI ～再編成する語法～」
	株式会社アナログログ	未来古代楽団ライブ「バベルの幼生」
	テッセラ音楽祭実行委員会	新しい耳 第33回テッセラ音楽祭
	小金井フラワーホール	東京の中心で愛を奏でるコンサート
	音楽芸術フェスティバル推進委員会	第45回音楽芸術フェスティバル
	RINGO Records Japan	World Music for Kids公演
	白崎映美&東北6県ろ～るショー!!	白崎映美&東北6県ろ～るショー!! 10周年・大感謝祭!!!
	一般社団法人東京国際合唱機構	一般社団法人東京国際合唱機構
	LoveSounds	東京の自然と歴史音楽物語「愛の光」
	ビッグバンミュージック	Year-End Live at C*LAPS 2023
	一般社団法人日本合唱協会	室内合唱団日唱 特別演奏会「山本直純・山本純ノ介の世界」
	P. A. TOKYO株式会社	Bie Yuting ソロライブ vol.2
	TRIO VENTUS	TRIO VENTUS Recital シリーズ
	東京塩麴	東京塩麴 国際交流ライブ「Elephant Gym×東京塩麴」(仮)
	ドンファン	ドンファン45周年記念コンサート
	株式会社U-Factory	FIELD OF VIEW 29th Anniversary Live
	株式会社イスランド	スペシャルシンガーズライブ
	オペラ集団I CANTORI	オペラ集団I CANTORI設立10周年記念モーツァルト作曲オペラ『フィガロの結婚』(日本語公演)
	AKARA	WORLDツアーファイナル ワンマン
	株式会社リベラ・ミュージック	Nuages Summer Live
	特定非営利活動法人芸術文化ワークス	MUSIC DAY in KUNITACHI「三善晃へのトリビュート」
	株式会社オスミー	0歳からのリトミック&ファミリーコンサート
	arbo	ストリングスBest100Live
演劇・舞踊・舞踏	公益財団法人日本舞台芸術振興会	東京バレエ団「コレオグラフィック・プロジェクト」
	ハツピロコウ合同会社	ハツピロコウ#16
	演劇集団「間欠泉」	演劇集団「間欠泉」第二回公演「ベツレヘムの星」
	株式会社レノ	リーディックシアターライト お憑彼サーカス ロストショータイム
	SAI実行委員会	SAI DANCE FESTIVAL 2024 EXHIBITION I & II
	平泳ぎ本店	平泳ぎ本店 第8回公演
	一般社団法人シバイコ	れんアカキッズシアター2023
	BEBERICA theatre company	「物語を旅する」2023ツアー (東京公演分)
	一般社団法人TRASHMASTERS	TRASHMASTERS vol.38「チョークで描く夢」(仮題)
	有限会社劇団東少	2023年冬休みファミリー劇場 ミュージカル「孫悟空」
	身体の色	身体の色 VOL.3
	げんこつ団	げんこつ団2023年演劇公演事業
	朱の会	朱の会・小公演3
	劇団 enji	劇団 enji 第37回公演「白鳥先生と過ごした2日間」
	株式会社デラシネラ	カンパニーデラシネラ新作公演「踏み出す」(仮)
	果てとチーク	果てとチーク第7回本公演「グーグス・ダーダ」
	気晴らしBOYZ	気晴らしBOYZ 公演
	有限会社アップタウンプロダクション	劇団 山の事事情社 創立40周年記念公演『カラマーゾフの兄弟』
	合同会社ハルベリーオフィス	ハルベリーオフィス起業10周年記念公演「輪廻転生∞ダイバー2024」
	株式会社本多企画	「LULSTER AMERICAN」
	妖精大図鑑	妖精大図鑑『無関係のジョバンニ』
	池の下	寺山修司全作品上演計画『白夜』
	藤原たまえプロデュース	藤原たまえプロデュース vol.16「GIRLS TALK TO THE END」
	劇団暴創族	劇団暴創族第15回公演「雨乞小町物語」
	下北澤姉妹社	(仮題) 押し合う輪郭
	有限会社ストアハウス	ストアハウスコレクションNo.20・Excellent Works Vol.4
	株式会社コムレイド	『大根仁×山下敦弘×赤堀雅秋』企画 <赤堀雅秋一人芝居> (仮)
	有限会社加藤健一事務所	加藤健一事務所 Vol.117『二人の主人を一度に持つと』
	Uプロデュース	「マスク」(仮)
	演劇ユニット『あやとり』	演劇ユニット『あやとり』第3回公演「あなたが産んで」(仮)
	Tremendous Circus	FEMIKING BLACK METAL (仮)
	特定非営利活動法人 青少年ミュージカル芸術文化振興協会	ミュージカル「ミルコとカギロイの森」 special edition
	小松台東	『再会』(仮)
	有限会社モード	さようなら、シュルツ先生
	有限会社ガジラ	GAZIRA SAT24
	横浜ポートシアター	新版 小栗判官・照手姫 東京公演
	無情報	無情報2023年度演劇事業

事業分野	申請団体名	申請事業名
演劇・舞踊・舞踏	株式会社Project Nyx	Project Nyx 第27回公演「小栗判官と照手姫」
	ウンゲツイーファ	演劇公演『リビング・ダイニング・キッチン』
	特定非営利活動法人 劇団印象 indian elephant	第31回公演 短編作品集『3℃の飯より君が好き』
	guizillen	14llen『future of guizillen (仮)』
	キャメルアーツ株式会社	大駱駝艦・壺中天舞踏公演「月夜に」
	劇団芝居屋	劇団芝居屋第41回公演「七曲り喫茶紫苑」
	劇団タテヨコ企画	タテヨコ企画2023年度演劇事業2
	特定非営利活動法人アジア・ミーツ・アジア	アジア4都市作品連続上演＜今・ここに・Here & Now＞
	あやめ十八番	六英花 朽葉
	娯楽百貨	DoctorShopping『タットビ』
	一般社団法人流山児カンパニー	夢・桃中軒牛右衛門の
	劇団桃唄309	劇団桃唄309 短編集 おはぎの会 #2『決心いろいろ』
	株式会社オフィス ワン・ツー	ワンツーワークス #39『家族を見つめるシリーズ②』『アメリカの怒れる父』
	ゴツプロ合同会社	『Broken』(仮)
	NPO法人劇場創造ネットワーク	ピアノと物語『アメリカン・ラブソディ』『ジョルジュ』
	劇団皇帝ケチャップ	劇団皇帝ケチャップ第16回本公演
	抗原劇場	雨降らす巫女の定置網漁 リクリエーション
	株式会社オラクルナイツ	"Entering" ALICE in Eclipse
	一般社団法人深海洋燈	KID〜キッド〜
	株式会社ネリム	natsuki produce「飛龍伝」
	劇団昂一般社団法人	劇団昂 ザ・サード・ステージ 第38回公演『イエルマ』
	東京ミルクホール	黒蜥蜴
	牧羊犬	劇団牧羊犬第六回本公演「夜の初めの数分間」
	特定非営利活動法人ぼこぼこクラブ	ぼこぼこクラブ10周年記念公演第一弾 シアタートップス3周年記念 ぼこラボ第2弾企画『あいつをクビにするか(仮)』
	ポッキリくれよんズ	ポッキリくれよんズ 第7回公演『希望にしては安すぎる』(仮題)
	劇団 身体ゲンゴロウ	『幽霊塔』(仮)
	チタキヨ	チタキヨ 第6回公演『マイン』
	ロクディム・オフィス	浅草六笑2023
	劇団はぶ談戯	はぶ談戯 Vol22「それはオススメしないけど」(仮題)
	立川市シアタープロジェクト実行委員会	子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台vol.7 『王さまコンテスト ～はだかの王さまとロバの耳の王さま～』
	劇団フルタ丸	フルタ丸講談
	あんよはじょうず。	あんよはじょうず。 #5『なるべく強く踏みつけて、』
	東京ジャンクZ	東京ジャンクZ vol.9.5『THE PANIC STAGE ～東京ジャンクZの劇団最終危機からの大脱出劇～』
	一般社団法人劇団唐組	唐組第72回公演『糸女郎』
	20歳の国	長い正月
	大人少年	大人少年 新作クリエイション
	劇団KⅢ	劇団KⅢ第八回本公演「罪忍」
	企業組合劇団仲間	森は生きている(12月物語)
	オフィス・ゼロ	ジョン・ケージの四季 マース・カニングハム、イサム・ノグチが追い求めたもの
	劇団 Rainbow Jam	劇団 RainbowJam 第3回公演「STRENGER (仮)」
	MICOSHI COMPLEX	MICOSHI COMPLEX 第七回公演
	三文姉妹	三文姉妹第七回舞台公演
	株式会社ACTMENT PARK	ACTMENT PARK SHOW Vol.8
	一般社団法人 新宿梁山泊	新宿梁山泊第76回 若衆公演「少女都市からの呼び声」
	南極ゴジラ	南極ゴジラ第四回本公演『怪奇星キューのすべて』
	合同会社ブランブル	アマヤドリ現代口語古典『人形の家』激論版／疾走版(仮)
	やまだのむら	「かぞくのよもやま。(仮)」
	ほろびて	『月灯の糸ふるう街(仮)』リーディング公演
	特定非営利活動法人Hiro'a field	'upa'upa WAVE
	合同会社マームとジブシー	equal
	一般社団法人劇団前進座	前進座青少年劇場公演『まげすけさんとしゃべるどうぐ』
	株式会社アイオーン	unrato#11『月の岬』
	劇団こちらスーパーうさぎ帝国	劇団こちらスーパーうさぎ帝国 第29回公演「ちよっぱや」
	演劇集団 ツチプロ	リーディング公演「白い病」(カレル・チャベック)×飛沫防止用アクリル板を使用したホログラム映像演出(仮)
	舞踏石井組	2023年度舞踏石井組連続公演「unveil」(仮)
	NPO法人LAND FES	高円寺 NEWばか踊り2024(仮)
	DANCE for Life 実行委員会	DANCE for Life 2023
	合同会社仮想定規	「百こ鬼夜と行く・改(邦題)～海外公演バージョン」公演
	宮崎企画	ムニ『つかの間の道』『黒澤優美新作(仮)』
	演劇企画ユニット劇団山本屋	舞台公演事業 劇団山本屋「11号」『誰とも戦わない凧をなぞって～電車は下北沢からフランス行きへ～』(仮)
	株式会社文学座	文学座9月アトリエの会「アナトミー・オブ・スーサイド(仮題)」
	特定非営利活動法人アートイン Asibina	アートイン Asibina ノンバーバル短編二本立て公演「GGPP」
	劇団チャリT企画	劇団チャリT企画 #37
	ルサンチカ	『エンドゲーム』

事業分野	申請団体名	申請事業名
演劇・舞踊・舞踏	江古田ぐるぐる	江古田ぐるぐる公演
	to R mansion	全ての世代が楽しめる ステージアート「秘密の王様」(仮)
	株式会社 舞踊集団菊の会	日本のおどりー伝統と創造ー
	有限会社扉座	すみだパーク演劇部・扉座大人サテライト『ご長寿ねばねばランド』
	ヌトミック	ヌトミック『千住の葉売り+サンデードライバー』東京公演(仮)
	はらべこペンギン!	はらべこペンギン! 12月公演『トリプルハバース(仮)』
	日穂-bion-	日穂-bion-第16回公演「オミノ」
	有限会社スタジオライブ	アドルフに告ぐ
	ワハハ本舗株式会社	WAHAHA本舗 PRESENTS 待ってました! 娯楽座痛快時代劇 股旅総進撃
	株式会社 劇団フジ	東京定期公演
	HYM企画	スーパーボールが降った日
	ガラ劇	ガラ劇第二十五弾公演「元寇-GENKO-」
	sitcomLab	sitcomLab
	劇作家女子会。	劇作家女子会。feat.noo クレバス2020『It's not a bad thing that people around the world fall into a crevasse.』
	キューイ	キューイ『予定された孤独』
	合同会社ネバーランドプロモーション	朗読劇「星空の再会」
	有限会社スタジオエグス	S P ~Security Performer~
	株式会社オフィス鹿	OFFICE SHIKA PRODUCE「アボフェニア」
	風雷紡	風雷紡第十五回公演『天の秤』再演
	ブルーエゴナク	Creation at Morishita Studio『タイトル未定』(仮)
伝統芸能	株式会社アンエンターテインメント	新春華舞台
	洩花之能	第11回洩花之能
	一般社団法人喜多流職分会	第5回喜多流義成会
	一般社団法人 帝国華道院	和の文化「いけばな」を知る・楽しむ II
	日本舞踊藤村流	第四回 藤村藤之輔おどらいふ
	特定非営利活動法人ACT.JT	桜楽2024 ~Shall We Dance ?
	NHK 邦楽技能者育成会による 現代邦楽“考”	第五回 現代邦楽“考”
	大衆芸能保存会	響きあう心、交わる芸能(能と寄席演芸の調べ)
	公益社団法人宝生会	宝生能楽堂45周年記念 夜能~語り部たちの夜~「道成寺」
	常磐津八重太夫の会	浄瑠璃の二刀流対決! 義太夫対常磐津
	株式会社DO	藤原道山邦楽作品展「籟」
	一般社団法人アーティストコラボ協会	The Cocktails「恋慕・追憶」区民合同公演
その他複合的な舞台芸術活動	絵空箱 吉野翼企画	寺山修司没後40年記念認定事業【天井桟敷の人々】シリーズ2 「マッチ擦るつかのま海に霧ふかし身捨つるほどの祖国はありや」
	寓想雑貨店	寓想雑貨店 第13回公演 ダンスと朗読のコラボレーション
	MMY コーポレーション合同会社	『輝く未来へ』舞台芸術ライブステージ
	オペラティックコンサート事務局	ギリシャ神話と古事記 オペラと能のファンタジックな世界
	Brilliant Revue	Brilliant Revue vol.27
	オフィス愛アート	音楽劇「女王卑弥呼の生涯」
	ながめくらしつ	現代サーカス集団 ながめくらしつ 新作公演(仮)
	JAZZ ART 実行委員会	ジョン・ゾーンを巡る旅(仮)
	Crossings	acoutic × fluid ~ 音響×流体 ~ (仮)

②第2期

- ・対象期間：令和5（2023）年12月20日以降に開始し、令和6（2024）年12月19日までに終了する事業
- ・申請件数：256件
- ・採択件数：128件
- ・交付決定総額：122,608千円

〈第2期 採択事業一覧〉

事業分野	申請団体名	申請事業名
音楽	P. A. TOKYO 株式会社	ライブ「Musical Creators」
	株式会社フェブレ	Live cokiba 2024
	J.S.P.M.S.	上野信一&フォニックスレフレクションの12月26日公演の運営事業
	HABUBAN 運営委員会	廣木光一 with Strings Quartet
	WdField's Music Lab.	Superb Hop Band 第4回公演『極東Pop Culture4 (仮)』
	株式会社東京コンプリート・メールサービス	多様性にYes! 障がいの壁をなくす音楽フェスティバル
	一般社団法人ステーションハンマル友の会	スウェーデンからの風・夏の音楽会
	一般社団法人日本作編曲家協会	開かれた可能性の扉
	株式会社コンコルディア	「美しき音楽×情熱的音楽」コンサート
	アストゥーリアス・オフィス	アストゥーリアス・フェス
	株式会社クロスロードミュージック	Fuji Takashi NOW, The time for Tokyo Rock show!
	株式会社白寿生科学研究所	大谷康子のヴァイオリン賛歌 第8回 <日本>洋楽(ヴァイオリン)と邦楽の邂逅・定着・発展・そして止揚

事業分野	申請団体名	申請事業名
音楽	Suika Music	KAZEと邦楽
	有限会社ミュージックワークス	Live Lab.55+4 The Last Waltz
	象眠舎	象眠舎 2024年春公演 "Absent" 発売記念ライブ (仮)
	特定非営利活動法人 東京コンテンポラリーシアター	音楽家が自ら演奏し！お芝居をする！衝撃のクラシックエンターテインメント！！ 東京コンテンポラリーシアター音楽演劇「カプリス城の気まぐれ女王様 (仮)」
	ピッコロヴァイオリン研究会	Arts for All 2024 誰もが輝くカラフルコンサート
	特定非営利活動法人芸術文化ワークス	MUSIC DAY IN TOKYO「ポートレート オブ イリヤン・チャン」
	株式会社ジープ	MUSIC BOX CONCERT
	有限会社ロバハウス	ロバハウスライブ2024
	株式会社M.M.G.	CHISA 年末ワンマンライブ2023 (仮)
	ゼフィルス・ピアノ五重奏団	ゼフィルス・ピアノ五重奏団第5回定期演奏会
	チバngo・コンソート	ヴィヴァルディ、18世紀に花開いたヴェネツィア、ピエタ女子修道院の合奏団 ～霧の中の光～
	Quer Swinger Vem Pra Cá	Quer Swinger!? Vem Pra Cá!!! Vol.5
	株式会社アナログログ	未来古代楽団ライブ「追奏のニシュカサル」
	日本サロンコンサート協会	サロンオーケストラ・映像・手作り楽器で楽しむ「ニューイヤーススペシャルコンサート」
	関音楽事務所	東京音楽大図鑑
	JAPON NEO SOUL 2020 PROJECT 実行委員会	弦楽四重奏で聴く5拍子の音楽 in 霞町音楽堂
	アタック・トーキョー株式会社	Keiichiro Shibuya Playing Piano 2024
	CIEL 東京室内楽団	CIEL 東京室内楽団 定期公演 vol.15
	株式会社本庄	宝塚110周年記念OGコンサート「宝塚・我が心の故郷」
	文藝天国	文藝天国 2nd one-man live「アセンション」
	株式会社カモシタピアノ	チャイコフスキーが聴きたい
	一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ	第165回定期演奏会
	株式会社テレビマンユニオン音楽事業部	未来の古楽～柴田俊幸&アンソニー・ロマンウク デュオ・リサイタル
	AJIMI	AJIMI CLUB presents CADEJO LIVE IN TOKYO
演劇、 舞踊・ 舞踏	一般社団法人TRASHMASTERS	TRASHMASTERS vol.39「掟」(仮題)
	劇団B.LET'S	B.LET'S第21回公演「箱の中の4人」
	劇団Dotoo!	ロウバジェットRev3
	ケイコプロジェクト	インディアン
	はんなりラヂオ	はんなり☆夏語り
	千本桜ホール	マッチングシアター 第1弾「迷宮旅館」
	池の下	池の下 第30回公演「バーサよりよろしく」
	株式会社 ALL GREEN	冥途喫茶パート3
	前田清実オフィス株式会社/ドラスティックダンス"O"	題名未定Ⅱ ～タマシイミガク～
	アナログスイッチ	アナログスイッチ20th situation「幸せを運ぶ男たち」
	一般社団法人チーム・クレセント	その先の風
	PRAY ▶	PRAY ▶ vol4 x 篠井英介 超攻撃型"新派劇"「天守物語」
	PINK DRUNK	PINK DRUNK20周年記念公演
	合同会社マームとジブシー	マームとジブシー新作「Daydream (仮)」
	Uプロデュース	劇団チャイ。第二回公演「オオキナコエ」(仮)
	株式会社荻本企画	時速246億「2024年4月公演」(仮)
	ミュージカル・ユニットWAO	ミュージカル「カエルのロッキンチェア」
	泥棒対策ライト	世田谷パブリックシアター「こどもプロジェクト (仮)」参加 泥棒対策ライト◎14号機設置公演 I『ピッピ (仮)』
	加藤みや子ダンススペース	Dance. Link/ Ring Vol.20
	to R mansion	全ての世代が楽しめる ファミリーキャバレー「はだかの王様」
	コンプソンス	コンプソンス#12「岸辺のベストアルバム！！」
	DUOBUS株式会社	ミュージカル「Ran」
	月蝕歌劇団	月蝕歌劇団・蠟座公演 (仮)『二千某年のドグラとマグラ』
	tantan	さんすくみ (仮)
	品川親不知	品川親不知第5回公演
	劇団新人会	劇団新人会公演「ヘッダ・ガーブレル」
	株式会社ミックスゾーン	死ねばいいのに
	音楽ピクニック楽団	世界の音楽・ダンスを体験するヒーローショー 「音楽戦隊メロディマンvs ダークハーモニー楽団」
	トム・プロジェクト株式会社	風を打つ
	ダンサーズサポート	新作ロックバレエ「GENJI」
	EPOCH MAN	EPOCH MAN Presents 一色洋平×小沢道成 二人芝居『100年の家 (仮)』
	ハイドロブラスト	クロスプレイ東松山即興
	小宮孝泰プロデュース	「縁・YUKARI-」再演
	東のボルゾイ	東のボルゾイ 第6回公演 ミュージカル『無明を泳ぐ』
	グッドディスタンス	人という、間
	(株)スーパーエキセントリックシアター	日本の劇団「第17捕虜収容所」
	株式会社LEGEND STAGE	ATOM
	ハトノス	雨の境界 (仮)
	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	変身 (仮称)
	有限会社想起	スーパーバントマイムシアター-SOUKI「銀河鉄道の夜」2024

事業分野	申請団体名	申請事業名
演劇・舞踊・舞踏	はらべこペンギン！	第29回公演
	一般社団法人深海洋燈	赤い蠟燭と人魚
	ことおと企画	卒塔婆小町～越境する能の現在～
	カリンカ	演劇公演「エアスイミング」
	演劇制作体V-NET	演劇制作体V-NET本公演【写楽】～浮世絵異譚～
	合同会社ゆうめい	養生
	ワハハ本舗株式会社	WAHAHA本舗 PRESENTS スウィートレディーの作り方 Vol.3
	COoMOoNO	COoMOoNO 2024年本公演
	特定非営利活動法人目黒子ども劇場	楽しもう！おはなしの世界
	株式会社オペラハウス	山田方谷物語
	ライフアートユニオンひと&ひと	オセロ～デズデモナーの悲劇～
	特定非営利活動法人LAND FES	Tokyo Accessible Dance 2024 Adriaan Luteijn 新作公演
	南極ゴジラ	南極ゴジラ第五回公演『（あたらしい）ジュラシックパーク』
	劇団宇宙キャンパス	劇団宇宙キャンパス 34th act「マドンナ・リリイは微笑み、唄う」
	どんぐり劇場	ミュージカル「テイルズ」
	劇団普通	劇団普通「水彩画」（仮）
	劇団フライングステージ	gaku-GAY-kai 2023 鷹作・お気に召すまま
	一般社団法人流山児カンパニー	シアターRAKU「めんどなさいばん」
	ベベベの会	LifeとWork
	株式会社呼華	呼華歌劇団公演ミュージカル『ジャンヌダルク』
	ラビット番長	ラビット番長 第64回公演「タイトル未定」
	ケイ・タケイ's ムービングアース・オリエントスフィア	ケイタケイ LIGHT シリーズ2023-24
	合同会社TAAC	TAAC「2024年5月新作公演」
	株式会社文学座	文学座3月アトリエの会「アンドーラ」
	くちびるの会	くちびるの会の紙おしぼい『こだぬききょうだいと きつねのコンたろう（仮）』
	一般社団法人幻都	ポート・オーソリティ
	エンニューイ	エンニューイ「きく」
	劇団スポーツ	劇団スポーツ第10回公演『略式：ハワイ』
	寝れない部屋	寝れない部屋第10回公演
	ジュニアファイブ	大声で叫んだ
	散策者	第6回公演（仮）
	MCR	MCR2024年4月本公演
	東京戯園館	共犯的戯レゴト
	特定非営利活動法人シニア演劇ネットワーク	ベニクラゲproject『純文学のススめ』
	特定非営利活動法人アルファルファ	Live film, talk & performance ! Motoko Hirayama × Akira Kasai, Dance by "The Art of Fugue"
	AAPA	AAPA新作公演『きさぎさ』（仮）
	一般社団法人チェルフィッチュ	チェルフィッチュ×金氏徹平『消しゴム山』再演
	PANCETTA	PANCETTA LAB 2024 SUMMER "Gouche"
	TeXi's	『Oh so shake it!』（仮）
	劇団チャリT企画	劇団チャリT企画 #38
	クレネリ ZERO FACTORY	ほどける双子
伝統芸能	株式会社ラルテ	紀尾井らくご
	株式会社オフィスまめかな	神田京子大独演会 金子みすゞ伝～明るいほうへ～
	一般社団法人一乃会	第24回一乃会
	蒼天	第五回 蒼天公演
	有限会社オフィスミヤガワ	観ノ会第七回公演「三輪 神遊」
舞台芸術活動 その他複合的な活動	一般社団法人アーティストコロボ協会	The Cocktails公演「数希」
	株式会社豊田組	狼蘇山祭り
	芸能山城組ケチャまつり実行委員会	芸能山城組創流五十周年記念 第46回芸能山城組ケチャまつり
	Crossings	Tokyo Fluxus 2024（仮）
	リンゴ企画実行委員会	リンゴなんでもミュージアム
	株式会社コンサルティング・パートナーズ	～ 人々に情熱と笑顔を！ ～ 新体感文化ライブステージ

※採択事業一覧の申請団体名及び申請事業名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

14

東京芸術文化創造発信助成【長期助成】活動報告会

【事業概要】

実施日 令和5（2023）年12月12日（火）、12月15日（金）
実施場所 アーツカウンシル東京 会議室
主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
入場者数 延べ75人

【事業趣旨（目的）】

平成25（2013）年度に開始した東京芸術文化創造発信助成【長期助成】の採択団体による、公開型の活動報告会。助成対象事業の成果検証及び団体の今後の展望の共有を図るとともに、長期助成の紹介と広報につなげる。事業を実施した団体自身によるプレゼンテーションにより、記録写真や映像、活動データ等とともに助成対象事業を振り返ったあと、担当プログラムオフィサーや来場者との質疑応答を行った。

【実施状況】

実施日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者数(人)
12/12	アーツカウンシル東京 会議室	第16回 各地の伝承・生活文化を横断し、身体性を未来へと拓く国際共同制作 — 東南・南・中央アジア、アイルランド、日本 — 〈採択〉 平成27（2015）年度採択：活動期間3年間 令和2（2020）年度採択：活動期間3年間	報告団体：オフィスアルプ 報告者：北村明子（ダンサー、振付家、オフィスアルプ主宰）、林慶一（制作）	【第1部】 ・団体紹介と助成対象事業の経緯、国際共同制作についての理念と方法論等について紹介。 ・平成27（2015）年度採択事業である「Cross Transit」について、アジアの多様なアーティストとの共同に関して等活動内容の振り返り。 【第2部】 ・令和2（2020）年度採択事業である「Echoes of Calling」について、リサーチプロセスや内容の考察。 ・助成事業終了後の展開や計画、アーツカウンシル東京の助成が本事業にとってどのような役割を果たしたか等について参加者と共有。 ・質疑応答 〈報告会の概要〉 過去に2回助成したオフィスアルプによる事業「Cross Transit」（平成27（2015）年度採択事業）、「Echoes of Calling」（令和2（2020）年度採択事業）について助成対象事業者が報告を行った。報告者として団体主宰の北村明子と制作の林慶一が登壇し、写真や動画を用いて各活動を振り返った。当日は、舞踊関係者や長期助成への申請を検討している事業者等が多く参加。情報保障として手話通訳とUDトークを用いた。	38
12/15	アーツカウンシル東京 会議室	第17回 松井周の標本室 2020-2022/ダイアログとアートが発酵したら 〈採択〉 令和2（2020）年度採択：活動期間3年間	報告団体：有限会社quinada 報告者：松井周（劇作家、演出家、俳優、劇団サンプル主宰）、三好佐智子（有限会社quinada代表取締役）、綿貫美紀（株式会社アプレシア代表）	【第1部】 ・団体紹介と助成対象事業の背景や企画意図を説明。 ・「松井周の標本室2020-2022/ダイアログとアートが発酵したら」を上映。 【第2部】 ・助成対象事業で実施したカードゲームを使ったワークショップ「標本会議」を有志の参加者に体験してもらう等、活動内容を考察。 ・助成対象事業で達成されたことや助成があったからこそ可能となったこと等について参加者と共有。 ・質疑応答 〈報告会の概要〉 令和2（2020）年度より3年間助成した有限会社quinadaの「松井周の標本室」について助成対象事業者が報告を行った。報告者として、劇作家・演出家・俳優・劇団サンプル主宰の松井周と、有限会社quinada代表取締役の三好佐智子、株式会社アプレシア代表の綿貫美紀が登壇し、写真や動画、パワーポイントを用い、各活動を振り返った。当日は、登壇団体に興味がある方や、演劇関係者、とりわけこれから申請を検討している若手の演劇関係者が多く参加した。また情報保障として手話通訳とUDトークを使用した。	37

【参加者の声】

- 第16回「各地の伝承・生活文化を横断し、身体性を未来へと拓く国際共同制作 — 東南・南・中央アジア、アイルランド、日本 —」
- ・リサーチからの多くの体験が実際の作品に立ち上がる具体的な過程を知ることができました。個人では実現が難しいであろう作品形成を助成によって、幅広いレンジで取り組む姿勢を伺えました。非常に良い報告会でした。
 - ・北村さんの活動のことは知りながら直接観る機会がなく、残念に思っていたのですが、予想外のかたちで今回、作品の背景についてお話を伺う機会をいただきました。このような活動は「助成」がないと難しいという現実にも触れることができ、勉強になりました。
 - ・大変興味深いお話で、複数年度にまたがる助成の重要性を再認識いたしました。
 - ・長期間にわたる助成でないとできない企画が多々あるので、このようなプロジェクトは大変うらやましいです。
 - ・北村さんが作品を紡いでいく過程がわかりました。時間が足らず、動画が見られなかったのが残念でした。

●第17回「松井周の標本室2020-2022/ ダイアログとアートが発酵したら」

- ・大変興味深く、面白かったです。各個人がその個性を出していくにあたって、"社会的スペース（社会的役割）"をまず想定し、そのスペース内で「とにかく個性を出していくばかりではなく、他者を意識して自らの行動を調整していく」という標本主義の非常に微妙かつ繊細な行動様態は、ここしばらく自分が考えていたことにも近く、自らの考えをより深めることができました。
 - ・成果ありきの助成金事業というイメージがあったが、そのプロセスを勘案してくれることが驚きでした。
 - ・とても面白かったです。もともと、サンプルの松井周さんの作品はとても好きで、よく拝見していたので、楽しみにしておりました。令和3（2021）年にWS「ほり出す。」にも参加しました。
- クオリティを気にして参加者を引き上げようとしてしまった1年目、参加者との創作を中心にして観客から賛否両論が出た2年目、2年間を経て新たな視点で挑戦した3年目という話がとても興味深かったです。結果に何かものをいうのは簡単なことですが、この3年間は過程こそが重要なものであったと感じました。

15

芸術文化による社会支援助成 活動報告会

【事業概要】

実施日 令和5（2023）年7月14日（金）、令和6（2024）年2月9日（金）
実施場所 アーツカウンシル東京 会議室
主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
入場者数 延べ59人

【事業趣旨（目的）】

平成27（2015）年度より開始した芸術文化による社会支援助成の対象活動を終了した団体の活動報告会を実施、公開することで、当該プログラムの認知度向上と潜在的な助成対象活動・団体を開拓するとともに、プログラムの制度上の課題等を発見し、今後の制度運用に活用することを目的とする。

【実施状況】

実施日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者数(人)
7/14	アーツカウンシル東京 会議室	第4回 環境整備とクリエイション～バリアフリー鑑賞の推進からその先へ 〈採択〉 ・合同会社 Chupki 平成31（2019）年度 第1期「映画音声ガイド制作者の人材育成と鑑賞ツールとしての可能性を広げる研究」、令和2（2020）年度 第2期「バリアフリー上映推進のためのアーカイブ構築とシンポジウムの開催」 ・ものがたりグループ☆ボランの会 令和3（2021）年度 第1期「朗読とバイオリンのライブセッション」	報告団体：合同会社 Chupki、ものがたりグループ☆ボランの会 報告者：平塚千穂子（合同会社 Chupki 代表）、 彩木香里（ものがたりグループ☆ボランの会 代表）、 石神哲朗（ものがたりグループ☆ボランの会 劇団員） ファシリテーター：小川智紀 グラフィックファシリテーター：関美穂子	【第1部】 ・イントロダクション ・団体による活動報告 【第2部】 ・ラウンドテーブル （参加者も交えて意見交換や課題を共有） 〈報告会の概要〉 北区東田端で障害等に関わらず誰もが楽しめる映画館「シネマ・チュプキ・タバタ」を運営する合同会社 Chupki と、宮澤賢治作品の朗読劇を軸に視覚障害者のための音声ガイド制作等に取り組むものがたりグループ☆ボランの会が活動報告を行い、障害者の鑑賞支援の実践過程で見いだされた芸術文化のこれからの姿について意見交換を行った。	36
2/9	アーツカウンシル東京 会議室	第5回 うた・ことば・からだ一多様な人が出会う場づくりの可能性 〈採択〉 ・表現クラブがやがや 平成29（2017）年度 第2期「がやがやライブはじまるよ!」、平成31（2019）年度 第1期「あっちでがやがや、こっちでがやがや」、令和4（2022）年度 第1期「あっちでがやがや、こっちでがやがや2022」 ・一般社団法人もんでん 令和3（2021）年度 第1期「コミュニティ・ミュージックのいま、そしてこれから」、令和4（2022）年度 第1期「コミュニティ・ミュージックのいま、そしてこれから2022」、令和5（2023）年度 第1期「コミュニティ・ミュージックのいま、そしてこれから2023」	報告団体：表現クラブがやがや、一般社団法人もんでん 報告者：小島希里（表現クラブがやがや 代表）、 山田珠実（ダンサー）、 黒崎八重子（一般社団法人もんでん プロデューサー）、 赤羽美希（音楽家） ファシリテーター：小川智紀 グラフィックファシリテーター：関美穂子	【第1部】 ・イントロダクション ・団体による活動報告 【第2部】 ・ラウンドテーブル （参加者も交えて意見交換や課題を共有） 〈報告会の概要〉 様々な立場の人々が集い、専門訓練を受けていない人でも表現活動に関わることができる場を提供してきた2団体が活動報告を行い、参加者同士の関わり合いの場をどうつくるか、そしてどう維持するかについて意見交換を行った。	23

【参加者の声】

- 第4回「環境整備とクリエイション～バリアフリー鑑賞の推進からその先へ」
- ・実際に助成金を受けている団体様のお話、大変面白かったです。Chupkiさん、ボランの会さんどちらのお話も活動するうえでの苦労などリアルな内容が聞けて参考になりました。
 - ・20席の劇場から生まれる事業展開に感銘いたしました。小空間を運営している弊団体の可能性を感じることもでき、勇気をもらいました。機会をみてシネマ・チュプキ・タバタさんへお伺いして活動を体験しつつ注視していきたいです。弊団体の活動にも活かせるものがありそうな予感がしております。いろいろ学ばせていただきます。
 - ・貴重なお話を聞く機会をつくっていただきありがとうございました。報告会なのでもちろんこのスタイルになると思うのですが、バリアフリーをめぐる考え方が今後どのような方向に発展していくべきか／どのような支援の仕組みがあると良いかということ、議論していく場が必要ではないかとも思います。よりアドバンス的な内容になってしまうと思うのですが、今回のタイトルにも「その先へ」とあったので、ぜひ今後機会をつくってもらえたいです。

- ・音声ガイドというものが非常にクリエイティブな共同作業であるということを初めて知ることができて良かった。
- ・今後ともこのような活動報告の機会が増えてくれたら嬉しいです。また、近場で活動している団体様をご紹介いただき、情報を共有したり今後のことなどお話をできたのは良かったです。

●第5回「うた・ことば・からだ―多様な人が出会う場づくりの可能性」

- ・芸術活動ができる居場所やコミュニティづくりの活動をされている団体が、本日の登壇者の方々をはじめ、たくさんいらっしゃるの素晴らしいですし、心強いことだなと思いました。本来であれば社会の中に当たり前のようない居場所やコミュニティがあるべきですが、それが叶わない現況では、居場所やコミュニティづくりの担い手に対する助成制度はどうしても必要だと思いました。
- ・めちゃくちゃ刺激的でした。それぞれの活動に感銘を受けました。すごいことをされているなあ。素晴らしい団体を知ることができ、とても良かったです。そしてその活動をサポートしていることがすごい。（グラフィックファシリテーターによって、報告会での）説明がリアルタイムで絵になったりするのも面白かったです。
- ・報告を行った2つの団体の、活動の意義、内容に、関氏が指摘したように、数多くの共通点があることが印象に残った。これらの共通点について、もう少し突っ込んだ討議が必要であったと思う。
- ・どちらの団体の活動も興味深く拝聴した。後半のトークで活動資金の話になったが、普段なかなか聞きにくいテーマであると思うが活動する側にとっては切実な問題なので、今後もっと取り上げて欲しいと感じた。
- ・「芸術文化による社会支援」で助成を受けた団体がこんなことをやっている、こんなボランティアを募集している等、アーツカウンシル東京からの情報発信を期待（お金がないと情報発信もなかなかできないので）。また特定の団体に助成金を出すだけでなく、活動を行っている団体が必要としている支援、例えば手話通訳、要約筆記、プロジェクター、音響などの専門的なスタッフを派遣するような制度も、活動の継続を支えることにつながるの期待したい。

16

東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」

【事業概要】

- 実施期間** 令和5（2023）年6月～令和6（2024）年3月
実施場所 オンライン等
主 催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
規 模 等 (1) 相談窓口（令和5（2023）年10月～令和6（2024）年3月）
 相談対応件数：283件、ART JOB FAIR 2024（主催：株式会社artness）での出張相談 68件
 (2) 情報提供（令和5（2023）年10月～令和6（2024）年3月）
 ① 公式ウェブサイト：閲覧数 50,428回
 ② プレオープンイベント座談会：申込者数・動画視聴回数 604
 ③ 総合オープン企画動画：動画視聴回数 381回
 ④ 公式note：閲覧数 6,737回
 ⑤ リーフレット等：281か所、30,100枚を配布
 ⑥ メディア掲載：91件
 (3) スクール（令和5（2023）年6月～令和6（2024）年3月）
 申込者数・動画視聴回数 10,520
料 金 無料

【事業趣旨（目的）】

東京都内で活動する様々なアーティストや芸術文化の担い手の持続的な活動をサポートし、新たな活動につなげていくため、相談窓口、情報提供、スクールの3つの機能により、オンラインを中心に、専門家等と連携しながら総合的に支援する。

【実施状況】

(1) 相談窓口

対応日数	対応分野	対応内容	対応件数(件)
10/2～3/31の平日 (12/29～1/3を除く) 121日	文学、音楽、美術、写真、演劇、 舞踊、メディア芸術、伝統的な芸能、 芸能など	法務、会計・税務、助成金、活動資金、ビジネススキル、ハラスメント、コミュニケーション、ステップアップなど	283

(2) 出張相談

開催日	会場	内容	対応件数(件)
1/27,28	東京ビルTOKIA 西側ギャラリー	ART JOB FAIR 2024（主催：株式会社artness）での対面による出張相談会	68

(3) スクール

開催日	会場	プログラム名	講師名等	内容	申込者数・動画 視聴回数
6/27	オンライン	プレオープンイベント特別企画 会計・税務講座「インボイス制度」	講師：山内真理	令和5（2023）年10月施行のインボイス制度についての概要や基礎知識等を解説。	675
10/25～	オンライン	総合オープン特別企画「芸術文化団体の持続的な活動支援講座」	講師：山田泰久	活動資金に関する情報や持続的な活動に役立つ取組を動画とテキストを使って紹介。 「助成金の活用の基礎知識」「芸術文化分野の助成金情報の紹介」「持続的な活動への多様な支援の紹介」の3部構成の講座を動画とテキスト（公式note）の2形態で実施。	709
7/27～ 9/29 全4回	オンライン	知っておきたい芸術文化の担い手のためのハラスメント防止講座	ファシリテーター：植松侑子 講師：寺内康介、植松侑子、佐藤恵子、森田汐生	尊重し合える創造環境整備に有効なハラスメントの基礎的知識・対策法を紹介。 「基礎知識1 法務編」「基礎知識2 現場実践編」「防止のためのトレーニング1 アンガーマネジメント」「防止のためのトレーニング2 アサーティブコミュニケーション」の4講座を実施。	4,065
11/24～ 2/1 全4回	オンライン	芸術文化の担い手のための法務講座	講師：福井健策、笠原智恵、大橋卓生、伊藤真	芸術文化領域と関わる様々な法律や制度の基礎知識、役立っ情報を紹介。 「芸術文化のための著作権入門」「アーティストのための契約必須知識」「撮影・配信・SNSに必須の権利知識」「どこまで似れば侵害なのか」の4講座を実施。	2,812
11/27～ 2/27 全4回	オンライン	創造現場のビジネススキルはじめての一步	講師：山田邦明、中田一会	芸術文化の活動分野を問わず、制作・発表・販売に付随する事務作業のノウハウやマナーを紹介。 「ビジネスマナー&スキルの基礎知識」「事業計画・収支予算の立て方」「さらなる一歩のための「独立・法人化」スキル」「“そもそも”から始める！ 広報・PR入門」の4講座を実施。	2,259

【参加者の声】

●東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」プレオープンイベント特別企画 会計・税務講座「インボイス制度」

- ・事前質問も踏まえたうえでの講義で大変わかりやすかったです。
- ・インボイス制度についてわかった気でいましたが、発注側についても、自身が「発注側になり得る」場合についてもイメージできたのが良かったです。

●知っておきたい芸術文化の担い手のためのハラスメント防止講座

- ・体系的に聞くことができて良かった。
- ・質問の解答時間が十分にあり、長時間であったにもかかわらず、あっという間に感じられた。

●芸術文化の担い手のための法務講座

- ・著作権関連の講義はほかにも受けたことがあるが、音楽を熟知していらっしゃる先生のお話が大変わかりやすく興味深く聞けました。
- ・メタバースやAIについて、端的に説明をされていたり、イラストの描き方について「資料写真は3枚以上」など、具体的に「侵害にならない方法」をアドバイスしていただいて助かりました。

●創造現場のビジネススキルはじめの一步

- ・会社勤めの経験がないアーティストも多いので、そのような方向けの定番のビジネススキル講座と思っていましたが、まったく違って、内容豊富で、やや過激で、目から鱗ばかりでした。
- ・先生がどんどん、「1分間考えて！」とか、みんなの質問を拾って投げ返してくれる双方向スタイルだったので、みんなの質問を聞きながらいろいろ自分も考えが深まったり、とても有意義な時間でした。

17

アーティストの創作環境の整備事業 「START Box」

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月
実施場所	START Box ササハタハツ 笹塚：渋谷区笹塚二丁目42番都営笹塚二丁目アパート42-15号棟1階 幡ヶ谷：渋谷区幡ヶ谷二丁目52番都営幡ヶ谷二丁目第2アパート52-1号棟1階 START Box お台場 港区台場一丁目5番4号トミンハイム台場五番街4-101
利用時間	9:00～21:00
利用区画	START Box ササハタハツ 笹塚：3区画（各約17㎡） 幡ヶ谷：3区画（各約15㎡） START Box お台場 1区画（約57㎡）
ジャンル	美術、写真、メディア芸術等のビジュアルアーツ（演劇、舞踊等は除く）
利用件数	START Box ササハタハツ：22件 START Box お台場：1件
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【事業趣旨（目的）】

都営住宅等の空き店舗を活用し、若手アーティストに対し、低廉な料金で提供することで、アーティストの継続的な創作活動を支援する。

【実施状況】

東京都との共催事業として令和5（2023）年度から本格実施。令和5（2023）年4月から「START Box ササハタハツ」、令和5（2023）年11月から「START Box お台場」を運用開始。

〈利用期間及びアーティスト（ジャンル）〉

1. START Box ササハタハツ（笹塚）

期間	日数	区画1	区画2	区画3
4/17～6/28	73日間	絵画	インスタレーション	絵画
7/10～9/27	80日間	テキスタイル/絵画	絵画	デザイン
10/9～12/27	80日間	写真	絵画	—
1/8～3/27	80日間	写真	絵画	—
10/9～3/27	165日間	—	—	メディアアート

2. START Box ササハタハツ（幡ヶ谷）

期間	日数	区画1	区画2	区画3
4/17～6/28	73日間	ガラス	版画	絵画
7/10～9/27	80日間	彫刻	インスタレーション	絵画
10/9～12/27	80日間	写真	絵画	—
1/8～3/27	80日間	インスタレーション	絵画	—
10/9～3/27	165日間	—	—	絵画

3. START Box お台場

期間	日数	区画1
11/6～3/27	137日間	彫刻

〈地域交流イベント〉

実施日	会場	内容
6/25	START Box ササハタハツ	オープンアトリエ
8/27	START Box ササハタハツ	オープンアトリエ
9/16	START Box ササハタハツ	オープンアトリエ
11/14	START Box ササハタハツ	アトリエツアー
12/10	START Box ササハタハツ	オープンアトリエ
3/9,10	START Box お台場	オープンアトリエ
3/17	START Box ササハタハツ	オープンアトリエ

〈文化イベントへの出展〉

実施期間	イベント名
10/6～10/9	MEET YOUR ART FESTIVAL 2023
3/22～3/26	START Box EXHIBITION ※YAUとの連携イベント

【参加者の声】

- ・都内で安く作品制作の場を利用することができてありがたかった。
- ・他のアーティストと交流することができて、刺激になった。
- ・スタッフや地域住民との交流機会があり、制作に良い経験になった。
- ・MEET YOUR ART FESTIVAL のような作品を発表してもらえる貴重な機会を得られた。

18

Tokyo Artist Accelerator Program (TAAP)

【事業概要】

実施期間 令和5（2023）年10月～令和6（2024）年3月
主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
募集期間 令和5（2023）年10月16日（月）～令和6（2024）年1月12日（金）
応募者数 63名 [うち、一次選考通過者 30名、本選考通過者（第1期支援アーティスト）10名]

【事業趣旨（目的）】

アーティスト自身によって作品を語るプレゼンテーションに焦点をあて、作品を語る力の向上とコンセプト強化の両面からサポートする。

選考を経た支援アーティストへ、自由度の高い制作支援金を支給するとともに、現代アートの多様なスペシャリストと8か月にわたる継続的なメンタリングを実施し、国内外の現代アート関係者へ向けてスピーチする機会を創出することで、東京を起点とする若手アーティストの国際的な飛躍を支援する。

【実施状況】

令和5（2023）年度は、第1期支援アーティストの公募・選考を行い、本選考を通過した10名をTAAP第1期支援アーティストとして決定した。

〈選考委員〉

- ・ 上田杏菜（公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館 学芸員）
- ・ 鷹野隆大（写真家、東京造形大学 教授）
- ・ 田口美和（タグチアートコレクション 共同代表、サンパウロ・ピエンナーレ インターナショナルアドバイザリーボードメンバー）
- ・ 細井眞子（TARO NASU ギャラリー ディレクター）
- ・ 山口栄一（一般社団法人アートパワーズジャパン 代表理事、公益社団法人経済同友会 スポーツとアートによる社会の再生委員会 委員長）

〈第1期支援アーティスト〉

※五十音順

アーティスト名	ジャンル
あおいうに	平面（絵画）
天草ミオ	平面（絵画）
伊阪柊	映像
白井仁美	立体
佐藤浩一	映像
高野徹	映像
寺田健人	平面（写真等）
MOYAN	平面（絵画）
山内祥太	映像
李和晋	映像

19

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2023

【事業概要】

開催日	令和5（2023）年5月20日（土）、21日（日）
開催場所	神楽坂エリア（毘沙門天善國寺、赤城神社、矢来能楽堂、志満金、白銀公園 ほか）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人粋なまちづくり倶楽部
助成・協力	東京都
共催	新宿区
後援	一般社団法人新宿観光振興協会
協力	東京神楽坂組合、毘沙門天善國寺、赤城神社、観世九阜会・矢来能楽堂、漱石山房記念館、株式会社粋まち、神楽坂通り商店会、志満金、セッションハウス、THEGLEE、SEION TOKYO、初台ウェルネスラボ、森のつみ木広場、江戸東京ガイドの会、光照寺、圓福寺、あずさ監査法人、第一勧業信用組合 神楽坂支店、熊谷組、EPSホールディングス、東京理科大学、ロングランプランニング、オフィスヤマグチ、サザンカンパニー、マインド
参加費	無料
参加者数	約31,000人

【事業趣旨（目的）】

神楽坂エリア一帯を地域の文化資源として活用しつつ、伝統芸能に馴染みのない初心者や若年層、外国人（観光客、在住者）にも気軽に参加してもらえる構成と内容で伝統芸能フェスティバルを開催し、日本の伝統芸能や文化に親しむ端緒となることを目的とする。

【開催状況】

開催日	プログラム名	会場	出演者	参加者数 (人)
5/20	神楽坂楽座～講釈場	毘沙門天善國寺 境内	宝井琴鶴（講談）、藤高りえ子（筑前琵琶）、神田山緑（講談）、東家一太郎＋東家美（浪曲）	3,720
	ことはぎライブ	赤城神社 神楽殿	芳村伊十治郎連中（長唄）×若獅子会（邦楽囃子）、清元成美太夫連中（清元節）×若獅子会（邦楽囃子）、鳥羽屋里夕（司会）	1,700
	芸能道しるべ	矢来能楽堂	平家語り研究会（平家琵琶×三味線×箏×胡弓）、観世九阜会（能）、シリル コビーニ（司会）	262
	お座敷ライブ	志満金	神楽坂芸者衆、林家花（紙切り）、柳亭小燕枝（落語）	64
	神楽坂路上界限 新内流し	神楽坂路上	鶴賀若狭一門（新内節）	860
	神楽坂路上界限 城端曳山祭（庵唄）	神楽坂路上	宝槌会（城端庵唄）	652
	毘沙門天・夜会	毘沙門天善國寺 境内	藤山大樹（手妻）、本條満留ひで＋本條秀英二（江戸端唄）×宝槌会（城端庵唄）、若獅子会（邦楽囃子）×マドモアゼル・シネマ（コンテンポラリーダンス）、シリル コビーニ（司会）	480
	弾いてみよう！日本の楽器	赤城神社 ギャラリー	—	120
5/21	子ども広場	毘沙門天善國寺 境内	—	380
	神楽坂楽座～講釈場	毘沙門天善國寺 境内	神田松麻呂（講談）、久保田晶子（薩摩琵琶）、田辺銀治（講談）、竹本京之助＋鶴澤賀寿（義太夫節）	3,680
	神楽坂芸能めぐり 街角ライブ	志満金前	お囃子プロジェクト（邦楽囃子×サクソフォン×アコーディオン×スーザフォン）、Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble（雅楽）、セ三味ストリート（津軽三味線パフォーマンス）	4,150
		神楽坂上交差点前	上條充（江戸系あやつり人形）、般若帝國（尺八）、輝&輝（津軽三味線）×金刺敬大（和太鼓）	5,390
	神遊びライブ	赤城神社 境内	邦楽二・〇（ギター×箏×三味線）、異文化弦楽団（胡弓×二胡×ガドゥルカ×チェロ×パーカッション）	1,440
	神楽坂路上界限 新内流し	神楽坂路上	鶴賀若狭一門（新内節）	880
	神楽坂路上界限 城端曳山祭（庵唄）	神楽坂路上	宝槌会（城端庵唄）	760
	赤城神社 夕暮れライブ	赤城神社 神楽殿	丸一仙翁社中（江戸太神楽）、真鍋尚之（笙）、常磐津和英太夫連中（常磐津節）×藤舎千穂連中（邦楽囃子）、シリル コビーニ（司会）	760
5/20～	神楽坂タイムスリップ スタンラリー／歴史ガイド	毘沙門天善國寺 ほか	—	4,444
	子ども広場	白銀公園	渋谷画劇団（紙芝居）、上條充（江戸系あやつり人形）	1,450
5/20～	映像プログラム	—	アンバサダー ロバート キャンベル（日本文学研究者／早稲田大学特命教授）、観世喜正（能楽師 観世流シテ方）、岡村慎太郎＋岡村愛（生田流筆曲）、神田織音（講談）、鳥羽屋里夕（長唄） ほか	545回 ※2023 年5月末 日時点

【参加者の声】

- ・4年ぶりの路上パフォーマンスを楽しませていただきました。素敵な時間をありがとうございました。
- ・無料でここまで質の高いパフォーマンスを見ることができて素晴らしい。解説付きで伝統文化の背景や特徴などを知ることができた。

20

東京大茶会2023

【事業概要】

開催日	令和5（2023）年10月14日（土）・15日（日）、10月21日（土）・22日（日）
開催場所	浜離宮恩賜庭園、江戸東京たてもの園
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
共催	公益財団法人東京都公園協会（浜離宮恩賜庭園開催のみ）
後援	中央区（浜離宮恩賜庭園開催のみ） 小金井市、小金井市商工会（江戸東京たてもの園開催のみ）
特別協力	東京都華道茶道連盟、東京都高等学校文化連盟茶道部門（浜離宮恩賜庭園開催のみ） 公益財団法人東京都歴史文化財団 江戸東京たてもの園、東京都茶道会（江戸東京たてもの園開催のみ）
来場者数	14,791人

【事業趣旨（目的）】

様々な流派による茶道プログラム、日本の伝統文化を楽しめる体験プログラムやパフォーマンスを実施するなど、誰でも気軽に参加できる大規模な茶会を開催することにより、伝統ある茶文化を広く都民に普及し、また、東京を訪れる観光客に、「お茶の文化」とそれを育んできた「江戸・東京の文化」を紹介する。

【開催状況】

開催日	会場	プログラム・体験者数（人）		参加料（円）	イベント・参加者数（人）		出店	来場者数（人）		
10/14,15	浜離宮恩賜庭園	茶席	中島の御茶屋	318	800	パフォーマンス ※	328	東京都公園協会	7,534	
			芳梅亭	190						
			野点 ※	615		伝統文化体験プログラム 【華道】 ※	60			
			高校生野点 ※	174						
			英語で楽しむ野点	405						
計			1,702	—						
10/21,22	江戸東京 たてもの園	茶席	西川家別邸	228	800	パフォーマンス	289	小金井市商工会	7,257	
			高橋是清邸	224						
			川野商店	147						
			万徳旅館	224						
			英語で楽しむ茶席	156						500
			野点	404						
			子供と楽しむ茶席	236						
計			1,619	—						
合計			3,321	—	合計	677	合計	14,791		

※のプログラムは、屋外プログラムのため雨天及び強風予報により、15日（日）は中止。

【参加者の声】

- ・初めての参加でしたが、伝統文化に気軽に触れられるととても良い場だと思いました。（20代以下・男性）
- ・特に英語の茶道が勉強になりました。（30代・女性）
- ・小学校2年生の子供が参加しました。とても親切にご指導いただき、楽しく体験できました。（40代・女性）
- ・高校生野点等、子供の活躍が楽しみ。（50代・男性）
- ・伝統文化の体験ができて楽しかったです。（20代以下・女性）

21

伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2023～

【事業概要】

開催日	令和5（2023）年11月4日（土）、5日（日）
開催場所	JR八王子駅北口 西放射線ユーロード、三崎町公園、中町公園、横山町公園、まち・なかギャラリーホール、桑都テラス、網代園・南側カフス蔵、JR八王子駅コンコース
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、八王子市、公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団
助成・協力	東京都
協力	公益財団法人立川市地域文化振興財団
後援	立川市、三鷹市、昭島市、日野市、日野市教育委員会、狛江市、武蔵村山市、あきる野市、西東京市、日の出町、日の出町教育委員会、八王子市町会自治会連合会、八王子商工会議所、公益社団法人八王子観光コンベンション協会、八王子市商店会連合会、西放射線ユーロード
協力自治体	武蔵野市、青梅市、府中市、調布市、町田市、小金井市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、東大和市、清瀬市、稲城市、瑞穂町、檜原村、奥多摩町
事業協力	東京造形大学、日本工学院八王子専門学校、大東京信用組合、JR八王子駅
参加費	無料（人力車乗車体験のみ1台1,000円）
参加者数	40,104人（4日 19,982人、5日 20,122人）

【事業趣旨（目的）】

八王子市をはじめとする多摩地域が保有する地域の文化資源を活用して、まちなかでの演奏会や屋外ステージを舞台にした本格的な公演など、多彩な伝統文化・芸能の魅力を発信するフェスティバルの開催を通じて、伝統文化に馴染みのない人々が親しめる工夫を凝らしたプログラムを提供するとともに、伝統文化の新たな鑑賞者の獲得や担い手を育成することにより、多摩地域の伝統文化・芸能を次世代へ継承することを目的に実施。

【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	出演・出展・指導等	内容	参加者数(人)
11/4	J.COMホール 八王子	伝承のたまてばこオープニングセレモニー ※1	文化庁関係者、伝承のたまてばこ関係者 ほか	主催・来賓挨拶、基調講演、パネルディスカッション、記念公演 ほか	—
	横山町公園	野辺囃子神楽～須佐之男命と八俣の大蛇の戦い～《あきる野市》	野辺囃子神楽保存会	大蛇退治	242
	中町公園	農作業の踊り～ぼうち唄のふるさと～《西東京市》	西東京けやきの会	田無ぼうち唄、正調オリヤセ節、田無音頭、東京音頭、お江戸日本橋	200
	横山町公園	石川町龍頭の舞～幸せを招く土地の伝統～《八王子市》	石川町御嶽神社龍頭の舞保存会	石川町龍頭の舞	325
	桑都テラス	鮎担ぎ唄～現代によみがえる、江戸時代の民謡～	UP LIFT	あの花のように、Take it easy、桜、LIFE、鮎担ぎ唄、JOIN US	260
	横山町公園	学生の“邦楽”～狛江高校箏曲部～《狛江市》	東京都立狛江高等学校 箏曲部	千本桜、百花譜、新時代	200
	JR八王子駅コンコース	駅でたまてばこ～JR八王子駅コンコースから～ 八王子祭囃子連合会《八王子市》 ※2	八王子祭囃子連合会	祭囃子	400
	JR八王子駅コンコース	駅でたまてばこ～JR八王子駅コンコースから～ 箏（小林千恵子）《八王子市》	小林千恵子	Southern Cross、いい日旅立ち、戦場のクリスマス、ふるさと	200
11/5	横山町公園（三崎町公園近くから出発）	三鷹阿波おどり～三鷹に息づくぞめきのリズム～《三鷹市》	みたか銀座連	三鷹阿波おどり	お練り1,406 舞台 240
	中町公園	八王子祭囃子連合会 ～粋で鯛背な夏の音～《八王子市》	八王子祭囃子連合会	祭囃子	180
	桑都テラス	諏訪はやし連～立川の伝統祭囃子～《立川市》	諏訪はやし連	昇殿、四丁目、新囃子、仁羽、屋台	160
	横山町公園	下平井の鳳凰の舞～円陣による勇壮な風流踊り～《日の出町》	鳳凰の舞保存会	下平井の鳳凰の舞	180
	横山町公園	拝島日吉神社祭礼囃子～3つの町内によるお囃子競演～《昭島市》	拝島日吉神社祭礼囃子保存会	祭囃子	205
	桑都テラス	日野市祭ばやし～新選組のふるさとに響く囃子の音～《日野市》	日野市祭ばやし連合会	祭囃子	220
	中町公園（三崎町公園近くから出発）	八王子消防記念会による木遣～日本が誇る伝統の斉唱～《八王子市》	八王子消防記念会【日本遺産構成文化財】	木遣	お練り1,060 舞台 300

開催日	会場	プログラム名	出演・出展・指導等	内容	参加者数(人)
11/4,5	横山町公園	八王子車人形・薩摩派説経節～魂宿る車人形～《八王子市》	八王子車人形西川古柳座、説経節の会【日本遺産構成文化財】	信太妻 葛の葉子別れの段	460
	JR八王子駅コンコース	駅でたまてばこ～JR八王子駅コンコースから～ 祭囃子・香川舞人形（香川社中）、篠笛（香川良子）《八王子市》	香川社中、香川良子	祭囃子 【篠笛】桜花爛漫、夕焼小焼、ちいさい秋みつけた、たきび、八王子おどり、高尾山音頭	680
	西放射線ユーロード	華やかな衣装でお目見え～人力車「お練り」巡行～	人力屋坂福、岡崎屋惣次郎 ほか、11/4 野辺囃子神楽保存会、八王子車人形西川古柳座、説経節の会、11/5 鳳凰の舞保存会、八王子芸妓衆	お練り	1,270
	桑都テラス	八王子車人形～三番叟～《八王子市》	八王子車人形西川古柳座【日本遺産構成文化財】	三番叟	381
	中町公園	八王子芸妓衆の華と粋 ～艶やかにおもてなし～《八王子市》	八王子芸妓衆 めぐみ、若葉、あやめ、小太郎、葉月、成華、ふく弥、てる葉、すずめ、まゆ乃【日本遺産構成文化財】	吉原雀、神楽面、露は尾花、並木駒形、八王子の四季	1,050
	網代園・南側カラス蔵近く	★★OTOのたまてばこ★★ 音響彫刻『Kinon』の旅～音の鳴るひろばinたまてばこ～	永井朋生（パーカッション、ドラム、作曲）	様々な楽曲を自由に演奏する	2,460 （子供の遊び含む）
	網代園・南側カラス蔵近く	昔も今も子供の遊び	八王子お手玉の会、レクボラNo1	お手玉、お手玉作り、八王子のお手玉歌「おさらい」、独楽、けん玉	
	まち・なかギャラリーホール	影絵（写し絵）～江戸時代のアニメーション～《八王子市》	東京造形大学大学院 Hachioji 影絵プロジェクト	八王子影絵奇譚ー不思議なお椀	286
	網代園・南側カラス蔵	村山大島軸の技と心～蔵の中で軸を楽しむ～《武蔵村山市》	村山織物協同組合	村山大島軸の展示	334
	西放射線ユーロード、黒堀通り ほか	人力車乗車体験～歴史の面影を探索街めぐり～	人力屋坂福、岡崎屋惣次郎 ほか	人力車に乗車しての街めぐり	乗車 72 見学 240
	中町公園、横山町公園、桑都テラス ほか	★★OTOのたまてばこ★★ ほか	録音：永井朋生 編集・台本：ふれあい財団 ナレーション：日本工学院八王子専門学校 吉田芽依	OTOのたまてばこ 《自然編》、《仕事編》、《伝統編》 ほか	27,093 ※3
合計					40,104

※1 「日本遺産フェスティバルin桑都・八王子」と同時開催

同フェスティバルオープニング（11月4日（土）9：30～12：30）の中でセレモニーを実施。

※2 4日（土）9：00～10：00の回は「日本遺産フェスティバルin桑都・八王子」のプレイベントとして、伝承のたまてばこ内で実施

※3 まちなかの観覧者

【参加者の声】

- ・ 伝統文化を知るいい機会だと思う。
- ・ 気軽に参加しましたが、また行きたいと感じました。とっても楽しかったです。
- ・ 思っていたより盛大で驚きました。伝承していただくことで知ることができました。
- ・ 八王子出身として誇りが持てました。何もないと思っていたので、嬉しかったです。
- ・ 知らないことを知れて楽しかった。伝統芸能を受け継ぐことはとても大切だと思う。

22

東京芸術祭 2023

【事業概要】

- 開催期間** 令和5（2023）年9月1日（金）～10月29日（日）
- 開催場所** 東京芸術劇場、ロサ会館、メトロポリタンプラザビル自由通路、行幸通り特設会場、ほか東京都豊島区池袋エリア
- 主 催** 東京芸術祭実行委員会[公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）、東京都]

【参加事業】

- 東京芸術祭直轄事業（直轄プログラム、FTレーベル）、東京芸術劇場（芸劇オータムセクション）、東京芸術祭ファーム
入場・参加者数：27,318人 オンライン視聴回数：72,959リーチ（オンライン視聴回数と映像再生数の積算）
- 東京芸術祭直轄事業－直轄プログラム
入場・参加者数：8,906人 視聴回数：72,565リーチ
- 東京芸術祭直轄事業－FTレーベル
入場・参加者数：9,584人 視聴回数：274リーチ
- 芸劇オータムセクション
入場・参加者数：8,739人
- 東京芸術祭ファーム
入場・参加者数：89人 視聴回数：120リーチ

【事業趣旨（目的）】

芸術文化による都市の魅力の向上や機能強化を図る芸術文化拠点形成支援事業として、豊島区池袋を中心に開催。多岐にわたるジャンルのアーティスト、クリエイター、芸術団体が参画し、幅広い層の観客のニーズに応えるべく、「東京芸術祭直轄事業」のほか、「芸劇オータムセクション」、「東京芸術祭ファーム」を実施した。総合ディレクターのもと、5人のプログラムディレクターが協働しディレクションを行った。

【開催状況】

〈東京芸術祭直轄事業－直轄プログラム〉

開催日	プログラム名	会場	アーティスト	入場・参加者数（人）	視聴回数（回）
9/28	東京芸術祭 2023 クロストーク「異なるバックグラウンド・多様な価値観を相互に尊重する創造環境のつくりかた」	東京芸術劇場 シンフォニースペース、オンライン	登壇者：唐津絵理（『東京芸術祭×愛知県芸術劇場× Dance Base Yokohama パフォーミングアーツ・セクション2023 in Tokyo』プロデューサー）、田村かのこ（東京芸術祭ファームラボ コミュニケーションデザインチーム チーフ）、三浦直之（ロロ『オムニバス・ストーリーズ・プロジェクト（カタログ版）』テキスト・演出）、司会：長島雄（東京芸術祭 FTレーベルプログラムディレクター）	12	36,290
10/11～22	「東京芸術祭ひろば」	東京芸術劇場 アトリエーラスト、ロワー広場	空間デザイン：合同会社デザインムジカ グラフィックデザイン：三上悠里	4,184	—
10/11～22	「EPAD Re LIVE THEATER in TOKYO ～時を越える舞台映像の世界～」	東京芸術劇場 シアターウエスト	上映作品：イキウメ「人魂を届けに」（2023年）、舞台「弱虫ペダル」THE Day 1（2023年）、た組「綿子はもつれる」（2023年）ほか	1,323	—
10/13～20	アトカル・マジカル学園「アートサポート児童館」	東京芸術劇場 アトリエウエスト	ディレクション：多田淳之介	46	—
10/14,15,21,22	アトカル・マジカル学園「かぞくアートクラブ」	東京芸術劇場 アトリエウエスト	ディレクション：YORIKO 講師：多田淳之介、柿崎麻莉子、岩淵貞太、山田剛史、牛島光太郎、YORIKO	44	—
10/19～23	野外劇 SPAC-静岡県舞台芸術センター『マハーバーラタ～ナラ王の冒険～』	行幸通り特設会場	演出：宮城聡、台本：久保田梓美、音楽：棚川寛子、空間構成：木津潤平、衣裳デザイン：高橋佳代、美術デザイン：深沢襟、ヘアメイク：梶田キョウコ 出演：赤松直美、阿部一徳、池田真紀子、石井萌水、大内米治、大高浩一、春日井一平、加藤幸夫、河村若菜、榊原有美、桜内結う、佐藤ゆず、鈴木まり、大道無門優也、武石守正、寺内亜矢子、ながいさやこ、葉山陽代、本多麻紀、牧野隆二、美加理、宮城嶋遙加、森山冬子、吉見亮、若宮羊市、渡辺敬彦	3,297	—

開催日	プログラム名	会場	アーティスト	入場・参加者数 (人)	視聴回数 (回)
11/30~1/31	東京芸術祭 2018年~2023年 総合ディレクター 宮城聡 インタビュー 「プロデューサーの知恵、アーティストの孤独：国際舞台芸術祭の裏側」	オンライン	ゲスト：宮城聡（東京芸術祭 2023総合ディレクター/SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督） 聞き手：内藤美奈子（東京芸術祭 芸術オータムセクションディレクター/東京芸術劇場）	—	36,275

〈東京芸術祭直轄事業—FT レーベル〉

開催日	プログラム名	会場	アーティスト	入場・参加者数 (人)	視聴回数 (回)
9/1~10/29	「くらしチャレンジクラブ」	豊島区内各所	ディレクション：阿部健一 ナビゲーター：有吉宣人、いけだとも実、小野晃太郎 デザイン：齋藤優衣	1,473	—
10/7,14	「とおくのアンサンブル」	メトロポリタンプラザビル 自由通路、東京芸術劇場 アトリウム	コンセプト・演出・作曲：とくさしげんご、コンサートマスター（トロンボーン）：山下純平 出演（トロンボーン）：安久津理子、岩倉宗二郎、上田愛香、大泉茉莉、寛張俊介、久保田和弥、櫻井俊、佐藤敬一朗、鶴田陸、手島敬人、東川暁洋、直井紀和、廣田純一、藤島裕也、山田航平 アドバイザー：箕原美（東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授）、酒井雅代	5,598	—
10/7~15	ロロ『オムニバス・ストーリーズ・プロジェクト（カタログ版）』	東京芸術劇場 シアターイースト	テキスト・演出：三浦直之（ロロ） 出演：大場みなみ、北尾亘（Baobab）、田中美希恵、端田新菜（ままごと）、福原冠（範由遊泳）、松本亮	1,272	—
10/21,22	「パフォーミングアーツ・セレクション 2023 in Tokyo」	東京芸術劇場 シアターイースト	『Can't-Sleeper』演出：振付・出演：柿崎麻莉子、振付：アリス・ゴドフリー、振付補助・出演：栗朱音 『あいのて』演出・出演：島地保武、テキスト・出演：環ROY、ドラマトゥルギー：長島確（東京芸術祭 FTレーベルプログラムディレクター）	561	—
10/21,27	「『マライの虎』（テアター・エカマトラ/2018）を巡るトーク」	東京芸術劇場 シンフォニススペース	トークゲスト：【10/21】貴志俊彦（京都大学東南アジア地域研究研究所教授）、【10/27】アルフィアン・サアット（劇作家）、モハメド・ファレド・ジャイナル（演出家）、シャージャ・イシャック（エグゼクティブ・アーティスト・ディレクター）、滝口健（ドラマトゥルク、翻訳者） 司会：長島確（東京芸術祭 FTレーベルプログラムディレクター）、河合千佳（東京芸術祭 FTレーベルプログラムディレクター）	60	274
10/21~29	「パフォーマンス展望室」	ロサ会館R階（屋上）	構成・演出：居間theater [東彩織、稲継美保、宮武亜季、山崎朋]、相談役：玄田有史（東京大学社会科学研究所）、展望学者：青木彬、青山潤、東彩織、稲継美保、伊部知顕、今和泉隆行（地理人）、加藤甫、河合千佳、川口瞬、玄田有史、佐々木守、曾根千智、武田力、長島確、西尾千尋、春川ゆづき、マブチユウミ、水上優	620	—

〈芸劇オータムセクション〉

開催日	プログラム名	会場	アーティスト	入場・参加者数 (人)	視聴回数 (回)
9/1~24	東京芸術劇場 Presents 木ノ下歌舞伎「勸進帳」	東京芸術劇場 シアターイースト	監修・補綴：木ノ下裕一、演出・美術：杉原邦生 [KUNIO] 出演：リー5世、坂口涼太郎、高山のえみ、岡野康弘、亀島一徳、重岡漢、大柿友哉 スウィング：佐藤俊彦、大知	4,310	—
10/20~26	太陽劇団『金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-Jima』	東京芸術劇場 プレイハウス	作・出演：太陽劇団（テアトル・デュ・ソレイユ）、演出：アリアヌス・ムヌーシュキン（2019年京都賞受賞）、創作アソシエイト：エレヌ・シクスー、音楽：ジャン＝ジャック・ルメートル	4,429	—

〈東京芸術祭ファーム〉

○ラボ

開催日	プログラム名	会場	アーティスト	入場・参加者数 (人)	視聴回数 (回)
8/23	公開レクチャー「舞台芸術と社会——価値、フェアネス、プロセス」	オンライン	講師：林立騎（翻訳者・演劇研究者／那覇文化芸術劇場なはーと）	—	120

開催日	プログラム名	会場	アーティスト	入場・参加者数（人）	視聴回数（回）
10/9	Asian Performing Arts Camp In-Tokyo Sharing Session	東京芸術劇場 アトリエー スト、アトリエウエスト	登壇者（Asian Performing Arts Camp参加者）：莊義楷（チャン・イー・カイ）[シンガポール]、スジャトロ・ゴッシュ [コルカタ（インド）]、花形模 [京都、東京（日本）]、薛祖杰（シュエイ・ツォーチェ）[台北（台湾）]、大貫友瑞 [東京（日本）]、シュトゥットガルト（ドイツ）] モデレーター（Asian Performing Arts Campファシリテーター）：山口恵子 [京都（日本）]、ジェームズ・ハーヴェイ・エストラーダ [リサール（フィリピン）] ゲストフィードバック：市原佐都子、横山義志	52	—
7/13～10/12	制作アシスタント	オンライン、東京芸術劇場 アトリエーエスト、アトリ エウエスト ほか	参加者：水島愛佳	1	—
7/21～10/11	アートトランスレーターア シスタント	オンライン、東京芸術劇場 アトリエーエスト、アトリ エウエスト ほか	参加者：久保舞菜美、LI Muyun	2	—
7/21～12/18	ファーム編集室 アシスタ ントライター	オンライン、東京芸術劇場 アトリエーエスト、アトリ エウエスト ほか	参加者：新井ちひろ、石川祥伍	2	—
9/14～10/29	ファーム ラボ ビジター	オンライン、東京芸術劇場 アトリエーエスト	—	13	—

○スクール（教育・学習）

開催日	プログラム名	会場	参加団体、アーティスト	入場・参加者数（人）	視聴回数（回）
10/11,15,22	学生トークサロン	東京芸術劇場 ロワー広場、 東京芸術祭ひろば（東京芸 術劇場 アトリエーエスト）	10/11：「同世代とつながり、お互いの活動を知る」ファシリテーター：藤原顕太（一般社団法人ベンチ）、アシスタント・ファシリテーター：関あゆみ 10/15：「アーティストと話し合い、作品を考える」ゲスト：三浦直之（ロコ主宰、劇作家・演出家）、長島確（東京芸術祭 FT レーベルプログラムディレクター、ドラマトゥルク）、端田新菜（俳優）、ファシリテーター：藤原顕太（一般社団法人ベンチ） 10/22：「キャリアのことを考える」ファシリテーター：藤原顕太（一般社団法人ベンチ）、アシスタント・ファシリテーター：関あゆみ	19	—

【入場・参加者の声】

●アトカル・マジカル学園「アートサポート児童館」

- ・参加した子供がものすごく楽しんでいて、つくったオリジナルハッピを着て帰るほどのお気に入りになりました。母になってから自分だけの時間が取れないのが常ですが、このたびお互いに楽しめるものがある時間を設けることができ、どちらも我慢せず、そしてどちらもアートに触れ、感想を言い合える良い時間をつくれたと思います。来年も参加したいです。

●野外劇 SPAC-静岡県舞台芸術センター『マハーバーラタ ～ナラ王の冒険～』

- ・神話の世界が突然東京駅に出現し、没頭し、最高すぎてずっと号泣してました。東京で公演してくださって本当にありがとうございました。どこを切り取っても美しい舞台の演者さん、衣装、音楽も素晴らしいし、マイクなどの機材も完璧でひたすら幸せな時間でした。

●公開レクチャー「舞台芸術と社会 ― 価値、フェアネス、プロセス」

- ・今まで自分になかった視点に出会えて興味深かった。
- ・演劇に関わる劇場側からの、つくり手としてのお話は目から鱗でした。

●「とおくのアンサンブル」

- ・16本のトロンボーンがおりなす幻想的な風景が心に残りました！

●ロコ『オムニバス・ストーリーズ・プロジェクト（カタログ版）』

- ・なんでもない不特定多数の人生を垣間見たような、そんな気分でした。まるで新宿駅の改札付近みたいな作品でした。
- ・35のエピソードを組み合わせるといふかたちがとても面白く、別のセットリストだったらどういふストーリーになるのだろうとワクワクします。いくつものお芝居を一気に見たような、でも違和感がなく、ポエティックさもコ

ント味もダンスも全部乗せて楽しめました！

●『『マライの虎』(テアター・エカマトラ／2018)を巡るトーク』

・生の芝居を見たくまりました。日本人が知らない東南アジアの歴史は学校で学べなかったので、こういう芸術の切り口は大切だと思います。

●「パフォーマンス展望室」

・いろんなモヤモヤをいろんな方と話す機会ってなかなかないので、とても面白かったです。こういう参加者が入っていける体験型のプログラムがあると楽しいです。

●太陽劇団『金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-Jima』

・独創的でダイナミックな演劇に感動しました。いろいろな内容が散りばめられた舞台はコラージュのよう。上映時間の長さを感じませんでした。

23

Shibuya StreetDance Week 2023

【事業概要】

開催日	令和5（2023）年11月23日（木・祝）
開催場所	代々木公園
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、Shibuya StreetDance Week 実行委員会（渋谷区商店会連合会、渋谷道玄坂商店街振興組合、一般社団法人渋谷未来デザイン、東急株式会社、株式会社パルコ）
共催	渋谷区
助成・協力	東京都
後援	公益財団法人東京都公園協会、渋谷区教育委員会、一般財団法人渋谷区観光協会、東京商工会議所渋谷支部、商店街振興組合原宿表参道櫺会
協力	カシオ計算機株式会社、HARLEM、Manhattan Records
企画・制作・運営	株式会社パルコ、ファイブメディット株式会社
制作協力	One and only.Creative株式会社、株式会社LAST TRAIN GETTER、株式会社アンノウン
広報	株式会社アネックス
参加費	無料
来場者数	約20,000人

【事業趣旨（目的）】

表現者（ダンサー）、参加者（オーディエンス）、舞台（ステージ）をつなぎ、幅広い客層に支持される新しい芸術文化として、ストリートダンスのポジショニングを確立し、ストリートダンサーの聖地である渋谷からストリートダンスの魅力や本質的な価値を国内外へ発信し、活力に溢れたまちをつくる。

【開催状況】

開催日	プログラム名	出演者
11/12	7 to smoke BATTLE 事前予選 会場：En Dance Studio	審査員：Lil Krow a.k.a Baby Konkrete、HAL、ANNA、DJ：DJ YAMATO、MC：SHUTO
11/23	RAINBOW STAGE	参加団体：SRN GOLD RUSH、studio egg、STUDIO D+、ダンスエリアサージ、Eight Clouds Kids Dance、Street Dance Community PROPS、Studio Jammin、KIDS STYLE GOLD、twinkle SMILE、REMIX Dance School、UDM、渋谷ユナイテッド、TSUMUGU+、VAW栄光ハイスクール、STUDIO NOTE ゲストダンサー：GOOD FOOT、KING OF SWAG、IB6side、Naked Mojo、Lit 4
	SSDW CONTEST	出場校：埼玉県立久喜工業高等学校、目黒学院高等学校、城西大学附属城西高等学校、早稲田大学系属早稲田実業学校高等部、白鷗女子高等学校、東京都立杉並高等学校、東京都立清瀬高等学校、品川エトワール女子高等学校、川口市立高等学校、東京都立狛江高等学校 審査員：STEZO、WREIKO、KELO、MC：MC KENSAKU
	DANCE WITH music	KREVA × THE D SoraKi
	BATTLE PARK	CREW BATTLE／参加チーム：SOS Dance Club、無羅頭燃伸、デスモジョ、YOSEATSUME、いのうえーず、頑men、NST、POLEPOLE、Unexpected、EXPROOODE、Jammy、Fancy、Cool of peace、ビーフチキン 7 to smoke BATTLE／参加パトラー：CURREN、WATO、REI POP、346.aka.Lil Sniper、RIANA、HINATA、KATE Boog、Girl Krow a.k.a Mini OneShot 審査員：JASON、SHO-HEY、YURIE、MC：MC SUV、DJ：DJ Katy OPENING SHOWCASE／参加チーム：young doughnut's、Sunny Side Up、FLAVA、EXPROOODE HALF TIME SHOWCASE／参加チーム：D+ Plus、Jammy Fancy、IRIS
11/3～3/31 (映像配信)	CHILL OUT SPACE	インクルーシブDANCE WORKSHOP／講師：UNO、TSUMUGU+ YOGA de DANCE／講師：佐藤ゴウ、PlnO、BAN おやこDANCE WORKSHOP／講師：Nagase family (From DANCE ASOBU CREW) リズム&ステップ／講師：A-SUKE、KAJ1 DANCE CLOWN／CHITO DJ TIME／Yacheemi、YO-SIN、MC：コロール
	DANCE WITH music in SHIBUYA	THE D SoraKi 視聴回数：134,753回

【参加者の声】

- ・キッズが一瞬懸命、勝ち進んでいる姿にパワーをもらいました。ストリート文化を広めるイベントをぜひとも続けていって欲しいです。
- ・青空の下で行われたインクルーシブワークショップがとても良かった。気軽に参加できるプログラムも多く、また来年も参加してみたいと思った。

24

六本木アートナイト2023

【事業概要】

テーマ	「都市のいきもの図鑑」
開催期間	令和5（2023）年5月27日（土）～28日（日） ※先行展示プログラムあり
開催場所	六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース デジタル（公式YouTubeチャンネル「RAN TV」）
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）】
助成	令和5年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
特別助成	台湾文化部
後援	観光庁、経済産業省、内閣府知的財産戦略推進事務局、台北駐日経済文化代表処台湾文化センター、今井町親睦会、東京ミッドタウン町会、西麻布霞町町会、日ヶ窪親和会、龍土町会、六本木材木町町会、六本木町会、六本木ヒルズ自治会、六本木「Art&Designの街」推進会議、テレビ朝日
エリア協賛	サントリーウイスキー響
協賛	アットホーム株式会社、飯田電機工業株式会社、株式会社クオラス、株式会社コングレ、株式会社シルバーアイ、TSP太陽株式会社、株式会社東京タカラ商会、ピーディーシー株式会社、株式会社あいわす、株式会社アルタイル、株式会社エスエス、株式会社オリコム、株式会社共立、株式会社グリーンディスプレイ、株式会社シアターワークショップ、ジーク株式会社、株式会社ジールアソシエイツ、有限会社笑遊堂、シンテイ警備株式会社、株式会社cinra、西武造園株式会社、セーフィー株式会社、ソルトグループ、大成株式会社、株式会社つむら工芸、株式会社ディンプル、株式会社テンナイン・コミュニケーション、株式会社ドッグ・クリエイティブ、株式会社トランジットジェネラルオフィス、中村展設株式会社、株式会社フジエクスプレス、富士フィルムイメージングシステムズ株式会社、株式会社フライアウト企画、株式会社ブランコ、株式会社ホットスケープ、株式会社メディアデプト、郵船トラベル株式会社
運営協力	六本木安全安心パトロール隊、六本木をきれいにする会、六本木クリーンアップ
協力	株式会社シネ・フォーカス、松尾産業株式会社、マツオインターナショナル株式会社
協力ホテル	グランドハイアット東京、ザ・リッツ・カールトン東京
入場料	無料（ただし、一部のプログラム及び美術館企画展は有料）
鑑賞者数	全作品の延べ鑑賞者総数 約59万人（デジタルは除く）

【事業趣旨（目的）】

様々な文化施設や商業施設が集積する六本木のまちを舞台に、多様な作品を点在させ、アートとまちを一体化して大都市東京におけるまちづくりの先駆的なモデルを創出することを目的とする「アートの饗宴」。

【開催状況】

〈広域プログラム〉

会場	プログラム名	アーティスト
六本木ヒルズ アリーナ	コアタイム・キックオフセレモニー	—
	メインプログラム	アーティスト・トーク
		栗林隆 + 志津野雷（Cinema Caravan代表） × 鴻池朋子 × 片岡真実
		「Tanker Project」
		栗林隆 + Cinema Caravan
		「Play with the Earth」
		志津野雷 + Play with the Earth Orchestra
		「Otoji+Ray コンサート」
		Otoji+Ray
		「OKI+MAREWREW コンサート」
		OKI+MAREWREW
		「ずんずん」
		栗林慧
		「DJ Time」
		JAZZY SPORT HEAD QUARTERS
東京ミッドタウン ガレリア	「影絵と音のパフォーマンス」	川村亘平斎 + 曾我大穂 + 辰田翔 + 四家卯大
国立新美術館	「Beyond "documenta fifteen"」	志津野雷 + notremusica orchestra
	「大島皮トンビ」・「高松→越前→静岡→六本木皮トンビ」	鴻池朋子
	「武蔵野皮トンビ」・「狼ベンチ」・「陸にあがる」・「アースベイベー」・「物語るテーブルランナー」 ※	鴻池朋子

会場	プログラム名	アーティスト
六本木ヒルズ アリーナ、東京ミッドタウン プラザ1F	海外招聘パフォーマンス「White Wings (ホワイトウイングス)」	Close-Act Theatre (クローズアクトシアター)
六本木ヒルズ アリーナ	「歓喜」(オープンコール・プロジェクト)	櫛田祥光
六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース	「Passion-内在する情熱」 ※	特定非営利活動法人虹色の風
六本木ヒルズ ノースタワー前	「熱帯複眼・動物故事系列-」	ジャン・シュウ・ジャン (張徐展)
六本木ヒルズ 毛利庭園、六本木ヒルズ 66プラザ、東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン、東京ミッドタウン プラザ1F、ラビロス六本木	「DINOSAUR XING」(オープンコール・プロジェクト)	原嶋剛慎
六本木交差点・プランター	「六本木のカタガタ」	長谷川仁
ロアビル仮囲い	「SEEK and FIND」	Keeenue
第1レーヌビル	「雨の鏡」	岩崎貴宏
イグノボール1F	「平行世界<もうないかもしれないよ>」 「平行世界<踊るブッダの誕生日>」	林千歩
イグノボール2F	「ひとつのかたち」	Mrs.Yuki
六本木西公園	「六本木双六」	原倫太郎+原游
六本木6丁目 麻布消防署 仮庁舎予定地 (元麻布警察跡地)	「nutty nutty」(オープンコール・プロジェクト)	佐藤圭一
三河台公園	「もうひとつの3拠点:三河台公園/カーテンをゆく」	
六本木中学校	「もうひとつの3拠点:六本木中学校/狂ってしまった時計」	西尾美也+東京藝術大学学生
矢口ビル1F	「もうひとつの3拠点:西尾研究室/DATSUEBA六本木」	

※は先行展示プログラム

〈各館プログラム・同時開催プログラム〉

会場	プログラム名	アーティスト
六本木ヒルズ アリーナ	「クラシックなラジオ体操」	インビジブル×日本フィルハーモニー交響楽団
六本木ヒルズ メトロハット	「六本木ヒルズ・森美術館 まちと美術館のプログラム『紡舞プロジェクト』」	——
六本木ヒルズ 66プラザ	「乱流」	デージーバルーン
六本木ヒルズ ウェストウオーク北	「100 colors no.43『100色の記憶』」 ※	エマニュエル・ムホー
六本木ヒルズ ウェストウオーク2F	「SHUKU」 ※	大小島真木+Maquis
六本木ヒルズ ノースタワーアートボード	「DXもふもふ毛布ドリームハウス」 ※	江頭誠
六本木ヒルズ A/Dギャラリー (六本木ヒルズ ウェストウオーク3F)	「トレランス・ポスター展2023」 ※	Mirko Ilić/日本:Aya Komboo,Matthew Waldman,慶應大学大学院メディアデザイン研究科SAMCARA Lab.
六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース	「salaMandala/BOADER」	井上裕起
東京シティビュー (六本木ヒルズ森タワー52F)	DJ&VJ LIVE SHOWCASE~Speechless~	——
	ヘザウィック・スタジオ展:共感する建築	——
	オールナイト開館	——
森美術館 (六本木ヒルズ森タワー53F)	森美術館開館20周年記念展 ワールド・クラスルーム:現代アートの国語・算数・理科・社会	——
	Students Free Night supported by 株式会社S.O.G. (OKETA COLLECTION)	——
東京ミッドタウン ガレリア1F	「dyeing 500」	井原宏落
東京ミッドタウン ガレリア1F Bonpoint前	「book (ing)」	
東京ミッドタウン各所	「Maison de ROPPONGI」	太湯雅晴
東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー	「Street Museum 2023」 ※	中田愛美里、片貝葉月、studio SHOKO NARITA、馬蹴れんな、井村一登、平野利樹
東京ミッドタウン プラザB1F	Street Art Performances The Star オリジナルメッセージカード ワークショップ	片貝葉月
	Street Art Performances「モトリアムのストレス」	馬蹴れんな
	Street Art Performances「(Un)specificity of Realities」	平野利樹
東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン	Street Art Performances「空の装置」	studio SHOKO NARITA
東京ミッドタウン プラザ1F	「複々」	のばなしコン

会場	プログラム名	アーティスト
東京ミッドタウン ガレリア1F ISETAN SALONE	「/72」	Yugo Kohrogi
東京ミッドタウン プラザ B1F 彫刻作品「意心帰」前/東京ミッドタウン ガレリア1F	「SHADOWPLAY (feat. 大宮大奨、アマンティーナ・ジーン)」	ヴィンセント・ライタス
東京ミッドタウン 芝生広場	「ナイトピクニック！ネオンで光るくらげテーブルをつくろう！」	Picnic Lab
東京ミッドタウン プラザ B1F 彫刻作品「意心帰」前	トークプログラム「ヒマラヤの夜明け」	石川直樹
サントリー美術館 展示室	「吹きガラス 妙なるかたち、技の妙」	——
サントリー美術館 6F ホール	人形浄瑠璃公演「戒舞」	淡路人形座
サントリー美術館 1F レクチャールーム	「吹きガラス」展関連映像上映	——
21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー1&2	21_21 DESIGN SIGHT プログラム	「The Original」 土田真宏によるギャラリートour
国立新美術館 別館壁面	「蜂と関わろうとする身振り（適正な関係は壊されてしまった..）」 ※	うらあやか
国立新美術館 地下1F	「＜欲望＞について（生きることについての憶測：ホイアン（ベトナム）の犬の場合）」 ※	うらあやか
国立新美術館 3F 屋上庭園（アートライブラリー横竹林）	「つばななんかをつくる」 ※	しばたみづき
国立新美術館 1F エントランスロビーほか	「ねずみつけ」 ※	築地のほら
国立新美術館 企画展示室 1E	ルーヴル美術館展 愛を描く	——
国立新美術館 公募展示室 1A,1B,1C,1D	公募展 第118回 太平洋展	——
国立新美術館 公募展示室 2A,2B,2C	公募展 75回記念 三軌展	——
国立新美術館 公募展示室 2D	公募展 第13回 世界平和芸術家協会展	——
国立新美術館 公募展示室 3A,3B	公募展 第45回 日本新工芸展	——
六本木交差点街路灯	スマート街路灯展覧会 ※	——
六本木6丁目 麻布消防署 仮庁舎予定地（元麻布警察跡地）	「NEW MIX」 ※	ナカミツキ
	「A Whole New World」 ※	松田ハル
龍土町美術館通り	同時開催プログラム	龍土町ストリートテラス
六本木ヒルズ 大屋根プラザ	協賛プログラム	サントリーウイスキー「響」ART OF HIBIKI

※は先行展示プログラム

〈六本木アートナイト・デジタル〉

公式YouTubeチャンネル【RAN TV】

プログラム名	アーティスト
「アフオーダンス」(オープンコール・プロジェクト)	Suga Takuya
「新しい世界」(オープンコール・プロジェクト)	志村翔太

〈その他〉

- ・インクルーシブ・アート・プログラム
- ・外国語ガイドツアー「Introduction to Roppongi / Art / Night 2023」
- ・大学連携プログラム
六本木アートナイト2023×慶應義塾大学アート・センター「都市のカルチュラル・ナラティブ」
慶應義塾ミュージアム・コモンズ共同プログラム「Art In-Between」
- ・六本木をきれいにする会 × 六本木クリーンアップ アートナイトスペシャル2023
- ・参加ギャラリー9施設、参加店舗48店舗

【参加者の声】

- ・4年ぶりのオールナイト開催で、観客から上がる歓声などからコロナ禍を経てアートナイトの高揚感が戻ってきたことを実感することができた。
- ・まちなかにアートが溢れていて、次の目的地に向かう道中で寄り道をするのが楽しかった。無意識にどんどんアートの力を吸収できて、良い思い出になりました。
- ・毎年楽しみにしていますが、動物がとても好きで、今回の「都市のいきもの図鑑」というテーマにとっても興味を持ちました。全体的にとっても楽しかったです。
- ・インクルーシブツアーで、耳や目に特性を持つ人たちとアート鑑賞をして、自分の感性が広がる感じがした。

25

キッズ伝統芸能体験

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年9月17日（日）～令和6（2024）年3月28日（木）
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
企画制作・運営	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
制作協力	公益社団法人能楽協会、公益社団法人日本舞踊協会、公益社団法人日本三曲協会、一般社団法人長唄協会
共 催	公益財団法人新宿未来創造財団、公益財団法人立川市地域文化振興財団、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団、東村山市教育委員会、公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団
協 賛	独立行政法人日本芸術文化振興会
後 援	新宿区、台東区、立川市教育委員会
協 力	公益財団法人梅若会、公益財団法人日本伝統文化振興財団、公益社団法人宝生会
参 加 費	スタンダードプログラム15,000円（全18回／稽古16回、リハーサル1回、発表会1回） ユースプログラム15,000円（全12回／稽古10回、リハーサル1回、発表会1回）
参加申込者数	743人
参加者数	310人
発表会観覧者数	1,487人

【事業趣旨（目的）】

伝統芸能のプロの実演家が稽古にふさわしい場所で、子供たちに直接、定期的かつ継続的に指導を行うことで、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法、厳しさなどの文化環境を、子供たちが自然と身につけられるような学びの場をつくる。併せて、その成果を舞台で発表する機会を提供することによって、目的意識を持って学ぶ大切さを知るとともに、本格的な伝統芸能体験を通して、世界の中の日本人としての意識と感性を涵養することで、子供たちばかりでなく、家庭内での伝統芸能に対する興味・関心を高め、伝統芸能を次世代へ継承し、東京の文化的魅力を向上させる。

【実施状況】

1. スタンダードプログラム

ジャンル	コース	稽古場所	稽古日	指導者	参加者数 (人)
能楽	謡・仕舞（宝生流）	梅若能楽学院会館	9/25,10/2,16, 11/6,13,27, 12/11,18,25, 1/15,22,29,	水上優、東川尚史、川瀬隆士、金井賢郎	16
	狂言（大蔵流）		2/5（中止）,26, 3/4,11	大蔵彌太郎、大蔵基誠、善竹大二郎、吉田信海、小梶直人、上田圭輔	20
長唄	三味線 〔東村山〕	東村山市立中央公民館	12/3,10,17,24, 1/7,14,21,28, 2/4,11,18,25, 3/3,10,17,24	杵家弥七、東音岩田喜美子、杵屋栄日陽、杵屋五三吉都、杵屋五章、芳村伊十治郎、東音植松美名、今藤政音 ほか	19
	三味線 〔渋谷〕	杵家会館	11/12,19, 12/3,10,24, 1/7,14,21,28, 2/4,11,18,25, 3/3,17,24		20
	囃子（篠笛） 〔調布〕	調布市文化会館 たづくり	10/22,11/5,19, 12/3,10,17, 1/7,21,28, 2/4,11,18, 3/3,10,17,24	鳳聲千晴、藤舎理生 ほか	15
	囃子（篠笛） 〔新宿〕	芸能花伝舎	10/22,11/5,19, 12/3,10,17, 1/7,21,28, 2/4,11,18, 3/3,10,17,24		16
	囃子（小鼓）			望月庸子、望月太左衛、梅屋巴、望月天津之 ほか	18
三曲	箏曲（生田流） 〔立川〕	たましんRISURUホール	10/1,15,22,29, 11/19, 12/3,10,17,24, 1/7,28,2/4,25, 3/3,17,24	平野裕子、花岡操聖、中地麻紀、白橋操悠、平野雅寿草、青木礼子	24

ジャンル	コース	稽古場所	稽古日	指導者	参加者数 (人)
三曲	箏曲（山田流） [武蔵野]	武蔵野市民文化会館	11/12,19, 12/10,17,24, 1/14,21,28, 2/4,11,18,25, 3/3,10,17,24	朝香麻美子、伊藤ちひろ、佐久間杜和能、武田博華、富田華鳳賀、花岡千日賀	24
	箏曲（生田流） [新宿]	新宿区立大久保スポーツプラザ	10/15,29, 11/5,19, 12/3,24, 1/7,14,21, 2/4,11,18,25, 3/3,17,24	福田栄香、青野雅楽浪、大嶋敦子、久野木史恵、中村文香代妃、吉川雅楽巴里	24
	尺八	芸能花伝舎	10/29, 11/5,12,26 12/3,10,24, 1/14,28, 2/4,11,25, 3/3,10,17,24	芦垣卓盟、長須佳盟	12
日本舞踊	日本舞踊（女子）	芸能花伝舎	11/19,26, 12/3,10,17,24, 1/7,21,28, 2/4,11,18, 3/3,10,17,24	花柳秀衛、坂東映司、藤間涼太郎、水木紅耶、吾妻君彌、花柳吉史加、花柳九州光、藤間聖衣嘩、若見匠祐助	28
	日本舞踊（男子）				13
合計					249

2. ユースプログラム

ジャンル	コース	稽古場所	稽古日	指導者	参加者数 (人)
長唄	三味線	芸能花伝舎	1/14,21,28, 2/4,11,18, 3/3,10,17,24	杵家弥七、東音岩田喜美子、杵屋栄日陽、杵屋 五三吉都、杵屋五章、芳村伊十治郎、東音植松美 名、今藤政音 ほか	24
三曲	箏曲（山田流）	新宿区立大久保スポ ツプラザ	1/7,14,21, 2/4,11,18,25, 3/3,17,24	上原真佐輝、佐々木千香能、奥山益勢、横山伊綴 流、渡理潤子、長岡園美咲	24
日本舞踊	日本舞踊	芸能花伝舎	1/7,21,28, 2/4,11,18, 3/3,10,17,24	花柳秀衛、坂東映司、藤間涼太郎、水木紅耶、吾 妻君彌、花柳吉史加、花柳九州光、藤間聖衣嘩、 若見匠祐助	13
合計					61

3. 発表会

ジャンル	コース	日程	会場	観覧者数（人）
能楽	謡・仕舞（宝生流）、狂言（大蔵流）	3/20	宝生能楽堂	287
長唄	三味線 [渋谷] [東村山] [ユース]、囃子（篠笛）[新宿] [調布]、囃子（小鼓）	3/27	浅草公会堂	447
三曲	箏曲（生田流）[新宿] [立川]、箏曲（山田流）[武蔵野] [ユース]、尺八	3/28	浅草公会堂	402
日本舞踊	日本舞踊（女子）（男子）、[ユース]	3/28	浅草公会堂	351
合計				1,487

【参加者の声】

- ・約3か月間、本当にありがとうございました！ レッスン環境が良く、先生方がていねいに教えてくださるおかげで、箏の経験があまりない私でも上達することができました。また、箏に対する意欲を持ち、日本の伝統文化をもっとたくさん知り、経験したいと思えるようになりました。これからは日本人として、伝統文化に誇りを持ち、海外に発信していけるような存在になりたいです。（箏曲／参加者）
- ・今まで、なかなか触れる機会がなかった日本の伝統芸能にじっくり触れられて楽しかったです。また、回数を重ねるごとに自分が上達していくことがわかり、とても達成感を感じることができました。本当にありがとうございました。（三味線／参加者）
- ・先生が横について稽古をしたときにとても安心感があり最後まで頑張れました。（謡・仕舞／参加者）
- ・敷居が高く個人ではなかなか習わそうと思えない習い事ですが、門戸を広げて期間限定で行ってくださり、やらせてみようという良い経験をさせてあげることができました。金額も申し訳ないくらい良心的で、来年も伝統に触れさせてあげられそうだと算段できるので、本当にありがたいです。先生方も優しく品があり素敵でした。（尺八／保護者）
- ・子供がひとりでゆかたを着、帯を結び、脱いだらたたむ……母親の私が知らない（できない）ことをやってみせてくれ（得意げに）、たのもしく感じました。不器用な子ですが、ここまでできるようにご指導いただきありがとうございました。（日本舞踊／保護者）

26

子供のための伝統文化・芸能体験事業

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年6月～令和6（2024）年3月
実施場所	東京都内の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校（小学部、中学部、高等部）及び各種学校として認可された外国人学校
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
助成・協力	東京都
参加者数	4,843人
実施校数	58校

【事業趣旨（目的）】

子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、日本の文化の価値に対する正しい理解を深めるとともに、多様な文化に対する幅広い知識を育めるよう、プロの実演家や職人を講師とする体験・鑑賞プログラムを、学校と連携した取組として実施する。

【実施状況】

実施日	学校名	内容	実施団体	参加者数（人）
6/6	葛飾区立東金町小学校	紙切り（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	60
6/22	福生市立福生第一小学校	雅楽	一般社団法人伶楽舎	58
6/23	世田谷区立世田谷中学校 ねいろ分教室	紙切り（演芸）	公益社団法人落語協会	25
6/27	品川区立宮前小学校	謡・仕舞（能楽）	公益社団法人能楽協会	87
6/27	江戸川区立上小岩小学校	箏	公益社団法人日本三曲協会	68
6/29	大田区立道塚小学校	謡・仕舞（能楽）	公益社団法人能楽協会	96
7/3	中野区立南台小学校	狂言（能楽）	公益社団法人能楽協会	79
7/4	立川市立大山小学校	和妻（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	100
7/7	東京都立瑞穂農芸高等学校	狂言（能楽）	公益社団法人能楽協会	178
7/13	渋谷区立幡代小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	120
7/14	小金井市立東小学校	三味線	清元協会	123
7/14	板橋区立新河岸小学校	謡・仕舞（能楽）	公益社団法人能楽協会	30
7/14	新宿区立柏木小学校	箏	公益社団法人日本三曲協会	47
7/18	目黒区立田道小学校	紙切り（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	53
9/8	練馬区立練馬小学校	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	136
9/11	文京区立明化小学校	和妻（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	151
9/12	北区立明校中学校	和妻（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	30
9/20	東京学芸大学附属特別支援学校（中学部）	歌舞伎音楽	特定非営利活動法人日本音楽集団	19
10/3	国立音楽大学附属中学校	箏	公益社団法人日本三曲協会	54
10/12	江東区立深川第四中学校	江戸木版画	株式会社高橋工房	15
10/13	荒川区立尾久第六小学校	和楽器いろいろ	特定非営利活動法人日本音楽集団	52
10/25	東京都立新宿山吹高等学校（通信制）	江戸表具	石井三太夫表具店	13
10/26	町田市立藤の台小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語協会	80
11/6	足立区立千寿本町小学校	箏	公益社団法人日本三曲協会	60
11/8	東京都立田無特別支援学校（高等部）	狂言（能楽）	公益社団法人能楽協会	65
11/9	八王子市立横山第二小学校	八王子車人形	八王子車人形西川古柳座	51
11/9	東村山市立東村山第三中学校	謡・仕舞（能楽）	公益社団法人能楽協会	150
11/10	清泉インターナショナル学園	狂言（能楽）	公益社団法人能楽協会	100
11/13	練馬区立練馬第二小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	47
11/17	杉並区立松ノ木中学校	三味線	公益社団法人日本小唄連盟	79
11/17	清瀬市立清瀬第五中学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	300
11/28	江戸川区立第七葛西小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語協会	90
12/1	町田市立真光寺中学校	八王子車人形	八王子車人形西川古柳座	81
12/4	青梅市立第七中学校	紙切り（演芸）	公益社団法人落語協会	45
12/5	中央区立佃島小学校	狂言（能楽）	公益社団法人能楽協会	126
12/7	東京都立多摩桜の丘学園	雅楽	一般社団法人伶楽舎	60
12/11	八王子市立第七小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	103
12/12	日野市立七生緑小学校	謡・仕舞（能楽）	公益社団法人能楽協会	66
12/14	杉並区立富士見丘小学校	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	76
12/14	昭島市立武蔵野小学校	紙切り（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	63
12/21	府中市立府中第十小学校	和楽器いろいろ	特定非営利活動法人日本音楽集団	116
1/16	三鷹市立第二小学校	狂言（能楽）	公益社団法人能楽協会	140
1/16	狛江市立狛江第六小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	97

実施日	学校名	内容	実施団体	参加者数（人）
1/18	港区立六本木中学校	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	250
1/19	渋谷区立代々木中学校	雅楽	一般社団法人伶楽舎	120
1/22	奥多摩町立氷川小学校	和楽器いろいろ	特定非営利活動法人日本音楽集団	39
1/24	東京都立神代高等学校（定時制課程）	糸あやつり	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	19
1/25	神津島村立神津中学校	紙切り（演芸）	公益社団法人落語協会	30
1/31	台東区立平成小学校	江戸手描友禅	東京都工芸染色協同組合	27
2/1	東京都立足立特別支援学校（職能開発科）	箏	公益社団法人日本三曲協会	32
2/1	サレジオ国際学園目黒星美小学校	和妻（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	94
2/2	練馬区立旭丘中学校	雅楽	一般社団法人伶楽舎	144
2/6	杉並区立荻窪中学校 ※1	歌舞伎音楽	一般社団法人長唄協会	—
2/9	国分寺市立第六小学校	雅楽	一般社団法人伶楽舎	91
2/13	江東区立第四大島小学校	落語（演芸）	公益社団法人落語協会	75
2/19	板橋区立板橋第五小学校	雅楽	一般社団法人伶楽舎	57
2/20	板橋区立成増小学校	和楽器いろいろ	特定非営利活動法人日本音楽集団	105
3/1	小平市立小平第十三小学校	歌舞伎音楽	一般社団法人長唄協会	62
3/7	東京都立両国高等学校	歌舞伎音楽	特定非営利活動法人日本音楽集団	109
—	— ※2	落語（演芸）	公益社団法人落語芸術協会	—
合計				4,843

※1 雪のため中止
 ※2 学校側より辞退

【教員の声】

- ・学校単体では予算の関係もあり、なかなか実施できない雅楽の鑑賞・体験を子供たちにさせることができてとても良かったです。子供たちの感想にも、実際に聞いて興味がわいたという感想や、日本の文化についてもっと知りたくなったという感想もあり、とても良い事業だなと感じました。（雅楽）
- ・小学生の間に本物の伝統文化に触れられる経験はとても大切だと感じます。目の前で今日のような体験ができれば、忘れられない記憶となり、今後、興味関心を持つことにつながると考えます。この良き体験をこれからもたくさんの子供たちに味わわせてあげたいと思いました。（箏）
- ・日本の伝統文化を継承していくために、見たり聞いたり、体験することがとても大事だと思っておりますが、なかなかそのような機会の少ない昨今、このように学校に出向いていただきとてもありがたかったです。翌日学校でも夏休みに演舞場に行ってみるんだと話をしている児童がおり、今回の授業がきっかけとなり、様々な文化が再び新たな手によって継承されていくことを期待しております。（紙切り）

27

大人のための伝統文化・芸能体験事業

【事業概要】

実施日	令和5（2023）年10月1日（日）、11月11日（土）、令和6（2024）年1月8日（月・祝）、1月28日（日）
実施場所	立川市女性総合センター・アイム、芸能花伝舎、鍊仙会能楽研修所、江東区文化センター
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
共催	立川市（10月1日実施分のみ） 公益財団法人江東区文化コミュニティ財団（1月28日実施分のみ）
後援	公益財団法人立川市地域文化振興財団（10月1日実施分のみ）、 新宿区（11月11日実施分のみ）
広報協力	TOKYO FM
参加費	無料（事前申込制）
申込者数	1,516人
参加者数	305人

【事業趣旨（目的）】

伝統文化・芸能の魅力を様々な方が再認識する仕組みを整えるとともに、その担い手となる団体および若手実演家等を積極的に活用し、活躍の場を創出することで、伝統文化・芸能を次世代に継承する。

【実施状況】

18歳以上を対象に、伝統文化・芸能の様々なジャンルについてのトーク・鑑賞・体験を一体化させることにより、多角的に伝統文化・芸能の魅力を紹介するプログラムを実施した。

伝統文化・芸能に関するトーク、各ジャンルの一流講師陣の指導のもと体験する機会と実演鑑賞の場を提供し、伝統文化・芸能への理解を深める一助とすることができた。

実施日	会場	講演・トーク	体験	鑑賞	参加者数 〔申込者数〕（人）
10/1	立川市女性総合センター・アイム	【講演】 葛西聖司 「大人のための伝統文化 あなたの日本力を検定しましょう」と題したクイズを交えたトーク 司会：浜崎美保	【日本舞踊】 尾上紫 ほか 礼儀作法・所作・立ち居振る舞い・扇子の使い方 【尺八】 二代 山本邦山 ほか 楽器の解説・指の押さえ方・吹き方	【日本舞踊】 尾上紫 ほか 「秋の色種（いろくさ）」 【尺八】 二代 山本邦山 ほか 「尺八協奏曲」、「一尺八寸4パートによる欧米曲集」	62 [213]
11/11	芸能花伝舎	【トーク】 瀧川鯉斗 橘右楽 司会進行：浜崎美保 落語や寄席文字との出会いや志すきっかけ、落語や寄席文字の魅力など	【落語】 瀧川鯉斗 ほか 所作、小噺、囃子体験 【寄席文字】 橘右楽 ほか 寄席文字解説、見本展示、簡単な文字の練習	【落語】 瀧川鯉斗 「片棒」	75 [479]
1/8	鍊仙会能楽研修所	【トーク】 友枝雄人 いとうせいこう 司会進行：住吉美紀 能楽との出会いや志すきっかけ、能楽の魅力や楽しみ方など	【能（謡）・狂言（謡）】 友枝雄人 ほか 能「玉之段」の謡・狂言「海人（あま）」の謡の体験 【能（仕舞）】 金子敬一郎 ほか 扇の持ち方、構え、摺足、型等の体験 【狂言（小舞）】 野村万之丞 ほか 扇の持ち方、構え、摺足、型等の体験	【能】 友枝雄人 ほか 仕舞「玉之段」 【狂言】 野村万之丞 ほか 小舞「海人」	88 [439]

実施日	会場	講演・トーク	体験	鑑賞	参加者数 〔申込者 数〕（人）
1/28	江東区文化センター	【トーク】 吉住小三郎 阿部知代 司会進行：住吉美紀 三味線（三味線音楽）との出会いやそのきっかけ、三味線（三味線音楽）の魅力や楽しみ方など	【長唄三味線】 吉住小三郎 ほか 楽器の説明、音を鳴らす体験、基本の奏法・「佃合方」等に挑戦 【いけばな】 武藤理春 ほか いけばなの歴史、花・道具の使い方・しまい方、花を生ける体験	【長唄】 吉住小三郎 ほか 「三味線合方集（祭り～虫の音～川～雪）」、「勸進帳ダイジェスト」	80 [385]

【参加者の声】

- ・コンセプトが良いと思いました。子供のためのものはよくあるが、大人のためのものは少ないので。また、体験してから鑑賞という流れも良いと思います。
- ・講座で知識を深め、体験で芸能に触れ、鑑賞の楽しみがぐんと上がる内容と構成でした。プロの方たちの技術にも尊敬の念がやみません。
- ・しきたりが厳しく難しいイメージでしたが、私の中でハードルが下がりました。楽しかったです。
- ・体験や鑑賞が良かったのはもちろん、トークもステキでした。特にいとうせいこうさんの話が興味深かったです。
- ・非常に楽しめました！ 実際に習ってみたいという気持ちになりました。

28

パフォーマンスキッズ・トーキョー

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年4月26日（水）～令和6（2024）年3月20日（水・祝）
実施会場	ホール5か所（新宿文化センター、三鷹市生涯学習センター、和光大学ポプリホール鶴川、福生市民会館、狛江エコルマホール）、公立小中学校21校（うち特別支援学級8校）、都立特別支援学校2校、児童養護施設3施設
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、公益財団法人新宿未来創造財団（新宿文化センター開催のみ）、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団（三鷹市生涯学習センター開催のみ）
共催	一般財団法人町田市文化・国際交流財団（和光大学ポプリホール鶴川開催のみ）、福生市民会館（福生市民会館開催のみ）、一般財団法人狛江市文化振興事業団（狛江エコルマホール開催のみ）
後援	三鷹市教育委員会（三鷹市生涯学習センター開催のみ）、町田市教育委員会（和光大学ポプリホール鶴川開催のみ）
助成・協力	東京都
参加費	無料（子供の参加、公演観覧とも）
子供参加者数	1,091人
観覧者数	7,279人

【事業趣旨（目的）】

子供たちの創造性・自主性・コミュニケーション能力の向上、身体を使ったプレゼンテーション能力の向上、プロのアーティストとの触れ合い・キャリア教育を目的とし、また、ホールを拠点にした地域活性化、本事業をより多くの可能性を持って必要とする子供たちへのアプローチを行う。

【実施状況】

	会場名	アーティスト	実施日	日数	対象学年	参加者数(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者数(人)
学校	墨田区立小梅小学校	渡辺麻依 (演出家、俳優)	10/25,31,11/2,7,13,17,21,28,29,12/1,2	11	6年生2クラス	52	『冒険者たち』	12/1,2	450
	江東区立扇橋小学校	青木尚哉 (振付家、ダンサー)	9/5,14,22,26,10/2,6,10,12,14	9	6年生3クラス	88	『祝扇祭』	10/14	100
	目黒区立下目黒小学校	辻田暁 (ダンサー、俳優)	10/19,11/14,20,24,27,12/5,6,11,13,14,16	11	6年生2クラス	64	『THIS IS ME!』	12/14,16	480
	杉並区立高井戸東小学校	青木尚哉 (振付家、ダンサー)	7/10,9/6,8,11,13,15,20,25,27,30	10	6年生3クラス	102	『Catch the Sky!!!』	9/30	800
	豊島区立要小小学校	城俊彦 (ダンサー)	12/5,12,19,1/12,16,20	6	特別支援学級 1～6年生	18	『ラセラセケ←』	1/20	30
	北区立谷端小学校	康本雅子 (振付家、ダンサー)	10/3,24,11/1,10,14,21,28,30,12/1	9	3年生2クラス	35	『西遊記』	12/1	430
	足立区立宮城小学校	中村蓉 (振付家、ダンサー)	6/12,9/29,10/3,6,16,18,20,26,27,28	10	5年生3クラス	83	『魔法をすてたマジョリン』	10/27,28	800
	八王子市立鍾水小学校	田畑真希 (振付家、ダンサー)	6/19,9/4,11,21,25,28,10/5,10,13,14	10	6年生3クラス	81	『ワトワノWA!!!～絆～』	10/14	1,000
	青梅市立藤橋小学校	鈴木春香 (振付家、ダンサー)	7/3,9/4,11,19,25,10/2,5,10,13,14	10	1年生1クラス 2年生1クラス	54	『なんじゃ! にんじゃ! すったもんだ! ～1/54分身の巻～』	10/14	200
	府中市立府中第四小学校	横山彰乃 (ダンサー、振付家)	11/28,12/12,19,1/24,29,30,2/6,16,17	9	5年生2クラス	65	『100年後に思い出すかもしれない日』	2/17	80
	調布市立富士見台小学校	小暮香帆 (ダンサー、振付家)	9/26,10/3,10,23,11/6,9,13,16,17,18	10	6年生2クラス	72	『Dreaming Powers』	11/17,18	620
	町田市立七国山小学校	イーガル (作曲家、ピアニスト)	9/29,11/13,14,27,12/4,8,12,13	8	特別支援学級 1～6年生	24	『すばるキラキラ - オリジナルソング制作』	12/13	120
	小平市立小平第四小学校	北川結 (ダンサー、振付家、イラストレーター)	12/4,6,20,22,1/11,12,13	7	特別支援学級 1～6年生	23	『今日のならのみ, 今日のおどり』	1/13	30
	多摩市立大松台小学校	鈴木春香 (振付家、ダンサー)	4/26,5/2,9,11,15,16,23,26,27	9	2年生2クラス	59	『たいようのいろ, かぜのにおい～ちきゅうモンスター～』	5/27	300
	葛飾区立葛美中学校	東野祥子 (振付家、ダンサー)	9/28,29,10/31,11/15,16,17,28,12/5,1/12	9	特別支援学級 1～3年生	26	『世界でひとつだけの葛美ワンダーランド』	1/12	150
	日野市立大坂上中学校	田村一行・鉾久奈緒美 [大駱駝艦]	12/21,1/19,22,29,2/25,21,22,27,28	10	特別支援学級 1～3年生	40	『いつもと同じ場所 いつもと違う風景』	2/28	20

会場名		アーティスト	実施日	日数	対象学年	参加者数(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者数(人)
学校	東村山市立東村山第二中学校	渡辺麻依 (演出家、俳優)	12/15,1/12,19,22,25, 29,2/1,5,8,9	10	特別支援学級 1～3年生	25	『リュウグウ』	2/9	250
	東京都立墨東特別支援学校	棚川寛子 (舞台音楽家)	9/15,11/15,17,21,24, 28,12/6,11,16	9	小学部6年生	11	『ウィンターフェス へ!』	12/16	100
	東京都立品川特別支援学校	田畑真希 (振付家、ダンサー)	9/7,14,10/19,26,11/9, 16,21,27,30,12/2	10	小学部2年生	24	『にじいろメロディ♪』	11/30, 12/2	220
合計				177	合計	946	合計 6,180		

会場名		アーティスト	実施日	日数	対象学年	参加者数(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者数(人)
学校／ 島しょ部	新島村立新島小学校	黒須育海 (振付家、ダンサー)	7/6,9/13,14,19,20,26,27,10/2,3,4,6,7	12	1年生1クラス 2年生1クラス	23	『Love NIIJIMA 友達・新島大好き』	10/7	200
	八丈町立三根小学校	鈴木ユキオ (振付家、ダンサー)	12/13,1/12,17,18, 23,24,30,31,2/1,2,3,4	12	特別支援学級	6	『からだdeてんぎin八丈島』	2/4	150
	合計			24	合計		29	合計	

会場名		アーティスト	実施日	日数	対象学年	参加者数(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者数(人)	
ホール	新宿文化センター	浅井信好 (振付家、ダンサー)	6/10,11,17,18,7/15,16,17,21,22,23	10	小学3年生～ 中学2年生	16	『●これなんだ』	7/23	97	
	三鷹市生涯学習センター	長与江里奈 (ダンサー、演出家、舞台芸術集団「山猫団」主宰)	8/17,18,21,22,23,26,27,9/1,2,3	10	小学3年生～ 中学2年生	14	『パズレル!』	9/2,3	180	
	和光大学ポプリホール鶴川	仁田晶凱 (振付家、ダンサー)	2/4,12,17,18,23,24,25,3/1,2,3	10	小学3年生～ 小学6年生	21	『テとテのボレロ』	3/3	135	
	福生市民会館	セレノグラフィカ (ダンスカンパニー)	7/21,25,27,28,29,30,8/2,3,4,5	10	小学2年生～ 中学2年生	20	『幸せについて、踊ってもいいよ』	8/5	105	
	狛江エコルマホール	鈴木ユキオ (振付家、ダンサー)	8/2,3,4,7,9,10,17,18,19,20	10	小学2年生～ 中学3年生	23	『こころの旅』	8/20	182	
合計				50	合計	94	合計			699

会場名		アーティスト	実施日	日数	対象学年	参加者数(人)	発表公演タイトル	発表日	観覧者数(人)
児童養護施設等	広尾フレンズ(渋谷区)	小暮香帆(ダンサー、振付家)	2/18,3/2	2	年中、小学2年、小学4年～6年生	7	—	—	—
	星美ホーム(北区)	田畑真希(振付家、ダンサー)	3/10,16,20	3	年中、年長	8	—	—	—
	クリスマス・ヴィレッジ(足立区)	康本雅子(振付家、ダンサー)	5/14,11/5,12,19,23,12/5,10	7	小学4年生～中学3年生	7	『子供たちの個性炸裂ダンス』	12/10	50
	合計			12	合計	22	合計		

【参加者・観覧者の声】

●ホール

- ・最初は本人が楽しんでできなかったらと不安でしたが、毎回帰ってくるたびにとても満足感がある表情で楽しかった！と伝えてくれていたので、本番までとても楽しみにしていました。頑張ったからちゃんと見て欲しい！と初めて真剣な顔でお願いされたときは、たった10日間でこんなにも成長した息子にとっても驚きました。当日全身で表現をしていて、自分の見たことのない息子の表情にとっても驚きました。精一杯やりきる姿にとっても感動しました。最終日も最後の最後まで堪えていた涙が溢れ出て、劇の達成感や先生や友との別れ、たくさんの言葉にできない感情に初めての気持ちになったと伝えてくれました。帰り道も止まらない涙に本人もビックリしていて「頑張った自分を褒めてあげたい。とっても気持ちのいい涙は初めて」と新たな自分を発見した様子でした。(三鷹市生涯学習センター／保護者)
- ・最初はあまり踊れなかったりしたけど、どんどん上達してって楽しかったです。名前の発表(身体で表現)を自由にやらせてくださったのが嬉しかったです。友達がどんどんできて嬉しいなと思いました。仁田先生の「緊張するのはお客さんが期待しているから」という言葉が心に残りました。(和光大学ポプリホール鶴川／参加者)
- ・素晴らしかったです。コロナで閉鎖されていた日常が開放されて、子供本来の顔を見られ、幸せでした。各地でこのような公演が行われ、たくさんの幸せの花を咲かせて欲しいです。みんなとっても良かったです。ありがとうございました。(福生市民会館／観覧者)

●学校

- ・児童の支援に慣れた人が児童の気持ちを推し量ることで、児童とコミュニケーションが取れると思っていましたが、アーティストの方は数回会って児童とコミュニケーションが取れており、児童にとって「初めて会った人とでも心が通い合う」経験ができたと思います。（東京都立墨東特別支援学校／教員）
- ・劇でない無言のパフォーマンスの面白さが良く伝わりました。先生方も一緒にやっている点も「創り上げた」感があって良かったです。前後の教室移動や準備なども能動的に動いており、成長を感じました。（江東区立扇橋小学校／保護者）
- ・自分では思いつかない動きを友達がしていてすごいと思った。（八王子市立鎌水小学校／児童）

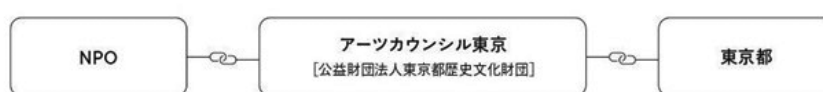
東京アートポイント計画 文化創造拠点の形成

「東京アートポイント計画」は、地域社会を担うNPO*とともに、社会に対して新たな価値観や創造的な活動を生み出すための様々な「アートポイント」をつくる事業である。当たり前を問い直す、課題を見つける、異なる分野をつなぐ——そうしたアートの特性を活用し、実験的なアートプロジェクトを通して、個人が豊かに生きていくための関係づくりや創造的な活動が生まれる仕組みづくりに取り組んでいる。

平成21（2009）年度から令和6（2024）年3月までに、東京都、アーツカウンシル東京、NPO*との共催で56団体と45件のプロジェクトを実施してきた。本事業では、プロジェクトが地域に根づくために、プロジェクトを担う人材育成や活動基盤の整備なども行っている。

*NPO法人のほか、一般社団法人、社会福祉法人など非営利型の組織も含む

〈東京アートポイント計画「共催事業」の実施体制〉



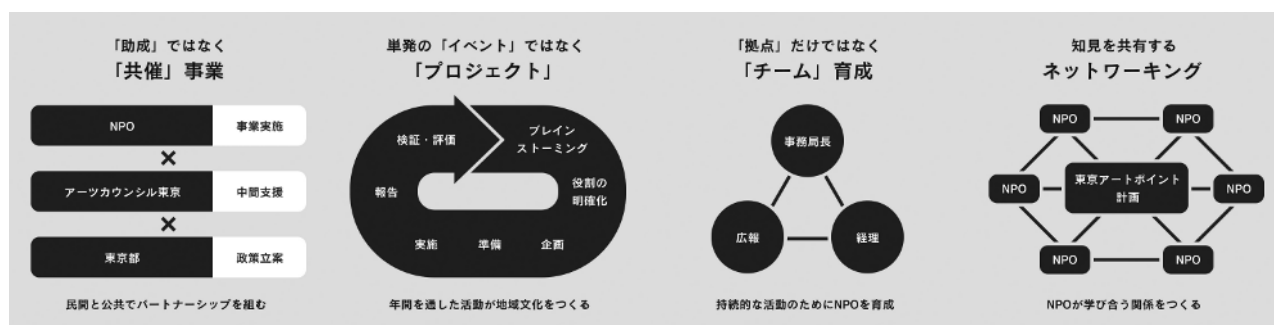
民間と公共でパートナーシップを組み、年間を通した活動（プロジェクト）を実施 「プログラムオフィサー」が伴走し、チームの体制づくりから協働する

東京アートポイント計画では、東京都、アーツカウンシル東京、NPOの3者による「共催事業」としてアートプロジェクトを実施している。プロジェクトの立案、実施、振り返りまで、3つの組織がプロセスを共有し、話し合いつつ、事業と組織の進捗に合わせ、じっくり推進していけるところが特徴である。また、事業費だけでなく運営費も支出可能なことや、東京アートポイント計画のプログラムオフィサーが各プロジェクトに伴走し、情報、スキル、ネットワーク等をNPOに提供するなど、NPOが事業を実施し継続するための体制づくりや土台づくりから関わり、アートプロジェクトの環境整備を行っている。

「チーム力」や「ネットワーク」を育むための「学び合い」の機会を提供

アートプロジェクトの運営サイクル（企画、準備、実施、報告、検証・評価）を円滑に動かす「チーム」づくりや、多様な人が関わる活動を支える拠点づくりを重視し、様々な取組を行っている。東京アートポイント計画に参加する団体が集まる「事務局による事務局のためのジムのような勉強会（通称：ジムジム会）」では、広報やウェブサイト制作などの実務的な課題を共有し、事業を進める中で得た知見を学び合うなど、実際的なネットワーキングの機会となっている。また、「Tokyo Art Research Lab（TARL）」では、アートプロジェクトを実践する中で見えてきた現場の課題に応じたプログラムやコンテンツの開発、ウェブサイトなどプラットフォームの運営などを通じて、アートプロジェクトを実践する人々に向けた学びの場をひらき、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指し実践を続けている。

〈東京アートポイント計画の4つの特徴〉



研究・開発の成果を広く社会にひらく

「まち」をフィールドに人々の営みに寄り添い、アートを介して問いを提示するアートプロジェクトを紐解くため、活動から見てきたトピックをもとにゲストを招き、事例紹介やディスカッションを通じて新たな「ことば」を紡ぐイベント「Artpoint Meeting」を定期的に開催している。また、アートプロジェクトの実践の中から生まれる現場の声をもとに、事業の記録や評価を見据えた運営手法を研究・開発し、その成果をまとめた冊子や映像などの資料をTokyo Art Research Lab (TARL) ウェブサイトに無料で公開している。事業の中で生まれた成果やメソッドを広く社会にひらくことで、アートプロジェクトの実践を促進し、文化創造拠点の形成に取り組んでいる。

〈広報活動・発信メディア〉

○Tokyo Art Research Lab (TARL) ウェブサイト <https://tarl.jp/>

東京アートポイント計画が運営するアートプロジェクトの担い手のためのプラットフォームとして、様々なプロジェクトや関わってくださった「ひとびと」を紹介している。資料室では、東京アートポイント計画やTokyo Art Research Lab (TARL) で制作したアートプロジェクトの企画・運営や研究のための資料を無料で公開。書籍、広報物、ウェブサイト、映像、音などがある。資料の一部は取り寄せも可能。

・公開資料数：328点

○Tokyo Art Research Lab YouTube チャンネル <https://www.youtube.com/tarl302>

・登録者数：2,800人

・動画数：108 本

○東京アートポイント計画 note <https://note.com/tokyoartpoint/>

アートプロジェクトの舞台裏での試行錯誤や、現場の記録を発信。

・フォロワー数：3,345人

○東京アートポイント計画 Facebook <https://www.facebook.com/tokyoartpointproject/>

・フォロワー数：3,184人

○東京アートポイント計画 X (旧 Twitter) https://x.com/tarl_office

・フォロワー数：1,744人

○メールニュース「Artpoint Letter」

実施しているプロジェクトや関連プログラム、コラム、レポートなどの情報を毎月1回配信している。Tokyo Art Research Lab (TARL) ウェブサイトのTOPページ最下部 (<https://tarl.jp/>) から購読申し込みが可能。

・配信者数：3,626人

○「Artpoint Reports 2023→2024」 https://tarl.jp/archive/ar_2023/

東京アートポイント計画、Tokyo Art Research Lab (TARL) の活動を振り返りながら、ちょっと先の未来について語るレポートを毎年発行。今年度注目のニュースや各事業の紹介のほか、「拠点」「事務仕事」「文化の役割」などをテーマに、ディレクターとプログラムオフィサーがこの1年を振り返りながら語るインタビュー記事を収録している。

○「東京アートポイント計画 英語パンフレット」 <https://tarl.jp/archive/ap2023en/>

東京アートポイント計画の活動内容をまとめた英語のパンフレットを制作。事業の仕組みや特徴、東京でアートプロジェクトを実施する意図や、これまでに共催した団体の声などを紹介している。

29

HAPPY TURN／神津島

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月
実施場所	神津島村
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人シマクラス神津島
参加者数	2,487人

【事業趣旨（目的）】

伊豆諸島のひとつ神津島において、人々が島に愛着を持ち、当事者として関わり続けるための土壌を育むことを目指す。島民のみならず、島を離れて暮らす人、島外から移り住む人、一時的に滞在する人など、様々なターン（Iターン／Uターン）を経験する人々や、それぞれの立場から島に関わる幅広い世代の人々が、島の歴史や生活文化などを知り、学び、交流する場づくりや仕組みづくりに取り組む。

【実施状況】

1. 拠点形成プログラム

島の長年空き家となっていた場所を活用し、島民も拠点スタッフとして巻き込みながら、情報発信や島に関わる人々のコミュニケーションを育む拠点「くると」の運営に取り組んだ。拠点スタッフや企画参加者とともに拠点のニーズを探りながら、島民が主体的に島に関わるための場としてひろく方法を試行し、島の伝統や時節に関わる自主企画を行うことでにぎわいを創出した。様々なプログラムを通じて利用者も増え、今まで関わっていた方々の新たな一面を発揮する場にもなり、コミュニケーションの充実を図ることにもつながった。

(1) 拠点の定期運営

実施月	開館日数	来場者数（人）
4月	5日	90
5月	10日	193
6月	14日	235
7月	12日	155
8月	0日	0
9月	12日	163
10月	12日	187
11月	13日	218
12月	13日	231
1月	10日	148
2月	14日	222
3月	7日	150

(2) 拠点を中心にした企画実施「くると部活動プロジェクト」

やってみたいことにチャレンジしてみる、誰かと好きなことを共有する、それだけで暮らしが少し楽しくなる、そうした活動を担うべく部活動プロジェクトを実施。いつ入っても、いつ辞めても大丈夫という誰もが参加しやすい運営を目指した。スタッフの得意分野を活かし、それぞれが部長として個々の部活動を実施し、くるとに訪れる人々と、各分野に特化したテーマで集うことで、より日常的かつ能動的に、地域コミュニティを形成することを目的とした。

部活動	実施月	参加者数（人）
畑部	7月,9月,11月	33
自習部	7月,9月,10月,11月,12月,1月,2月	44
まめでんきゅう部	7月,9月,10月,11月	22
おみくじ部	7月,10月,11月	18
筋トレ部	9月,10月,11月	12
おどり部	9月,10月,11月,1月,2月,3月	105
ハワイ語	9月,12月,1月,2月,3月	17
ウクレレ部	9月,10月,11月,12月,1月,2月,3月	31
カメイルカクジラ部	9月,10月,11月,12月,1月,2月	15

2. アーティスト・プログラム「くると冬まつり 2023」

今年度は武徹太郎（馬喰町バンド）をアーティストに迎え、拠点くるとを離れて、神津島の玄関口である前浜港の客待合所「まっちゃーれセンター」にて開催。島特有の民話や民謡、踊りを交え、島の廃材を用いた楽器づくり、漂

着物での飾り制作など、神津島の文化を多く取り込んだ新たなスタイルの祭りを行うことができ、文化発信という観点においても大きな成果を得られた。

実施日	プログラム名	会場	ゲスト	参加者数（人）
12/19	楽器やおみこしを作ろう！	くると	武徹太郎（馬喰町バンド）	130
12/20	音楽をつくろう！			
12/21	おどりをつくろう！			
12/22	衣装やおめんを作ろう！			
12/23	リハーサル			
12/24	くると冬まつり 2023 本番	まっちゃーれセンター 1階広間		51

3. トークイベント

島民や、地域でこれから活動したい方、拠点「くると」の活動がわからないと思っている方へ向けて、トークイベントを開催。当日は神津島村長、村議会議員、村役場職員、住民、利用者などが訪れ、これまでの活動の“よくわからない”とされていた部分に切り込み、ゲストや運営スタッフからていねいに説明がなされた。トークイベントを通じ、これまでの活動があらためてクリアに整頓され、島の出来事として記録される重要な機会となった。

実施日	プログラム名	登壇者	会場	参加者数（人）
2/29	アートプロジェクトHAPPY TURN／神津島はなんだったのか。「くるとってどんな場所？」	森司（東京アートポイント計画ディレクター）、大内伸輔（東京アートポイント計画プログラムオフィサー）、いわさわたかし（クリエイティブユニット岩沢兄弟、くると設計）、いわさわひとし（クリエイティブユニット岩沢兄弟、くると設計）、中村圭（HAPPY TURN／神津島ディレクター）、角村悠野（くるとスタッフ）、八島麻衣（くるとスタッフ）、野口愛美（くるとスタッフ）、垣内美紀（くるとスタッフ）	くると	17

4. 広報宣伝・発信

本事業の活動内容や拠点の情報を、ウェブサイト、SNS、島民向けの広報誌を通して情報発信を行った。

(1) 公式ウェブサイト

ニュース、イベント、ブログページを運営し、活動内容を広く周知することを目指した。主にアーティスト・プログラム開催のお知らせやその後のレポートを中心に更新。事務局だけでなく、拠点スタッフが交代でレポートを更新するなど多くの人の視点を取り入れた内容となった。

○公式ウェブサイト <http://happyturn-kozu.tokyo/>

- ・ブログ掲載数：5本 PV数：1,771ビュー
- ・イベント掲載数：2本 PV数：2,268ビュー
- ・ニュース掲載数：1本 PV数：2,047ビュー

(2) SNS運営

日々の拠点の様子や、活動の様子を知ってもらうためにInstagramとFacebookでの情報発信を行った。投稿をすることで地域の人とのコミュニケーションが生まれる、アーティスト・プログラムに参加するきっかけになるなど、事業発信における効果が見られた。

○Instagram https://www.instagram.com/happyturn_kouzu/

- ・投稿数：137件
- ・フォロワー数：1,054人（前年+73人）

○Facebook <https://www.facebook.com/shimaclasskouzu>

- ・投稿数：125件
- ・フォロワー数：147人（前年+21人）

(3) 紙メディア「くるとのおしらせ」発行

事業の周知を図るため、島内に全戸配布できる行政サービスの「隣組」という制度を活用し、紙メディア「くるとのおしらせ」を制作・配布することで、事業の告知や報告を行った。島内の方々から記載の内容についての感想や意見、島内で声をかけられるなどの反応があった。

- ・発行号：39号～48号（計10回）
- ・発行部数：各860部

(4) 外部メディア掲載

○東京七島新聞2573号（令和6（2024）年3月18日発行）「ハッピーターン神津島 意見交換 成果と今後を語る」

(5) Artpoint Meeting #14「わたしたちの“拠点”をつくる：ひらきかたとつづけかた」への登壇

東京都、アーツカウンシル東京が主催するArtpoint Meeting #14に事務局の飯島知代が登壇した。拠点くるとをつくり出し、運営を進めた経験をもとに、拠点づくりについてクロストーク、ディスカッションなどを行った（令和5（2023）年12月17日）。

5. 東京アートポイント計画共催団体ネットワーキング事業との連携「ジムジム会」

東京アートポイント計画に参加する事務局が集まり行われる「事務局による事務局のためのジムのようない勉強会（通称：ジムジム会）」に参加。今年度は「活動拠点」をテーマに進められ、各事務局での取組や、拠点の特徴、プロジェクトの中で重要視していることの共有や、他プロジェクトの拠点のリサーチやヒアリング報告を行った。リサーチ後は成果として記事を作成し、公式ウェブサイトで公開した。

○アートアクセスあだち 音まち千住の縁 拠点「仲町の家」

- ・日時：令和5（2023）年10月8日（日）
- ・内容：草むしりと交流会、ヒアリング

○ファンタジア！ファンタジア！一生き方がかたちになったまちー 拠点「藝とスタジオ」

- ・日時：令和5（2023）年10月8日（日）
- ・内容：団体主催のイベントへの参加、ヒアリング

○レポート 「#060くるとスタッフ、他プロジェクトの拠点に視察へ行く！」

【その1】 <http://happyturn-kozu.tokyo/2024/02/19/060/>（令和6（2024）年2月19日）

【その2】 <http://happyturn-kozu.tokyo/2024/02/21/061/>（令和6（2024）年2月21日）

【その3】 <http://happyturn-kozu.tokyo/2024/02/23/062-3/>（令和6（2024）年2月23日）

【参加者の声】

●拠点形成プログラム

- ・島に来たばかりのときどこにも居場所がなかったので、くるとのスタッフの方と話ができて安心しました。

●「くると部活動プロジェクト」

- ・やろうと思わずにそのままになっていたウクレレを持ち寄って演奏ができ、とてもいい時間だった。島の中にこんなにウクレレを持った人がいることも初めて知った。

●アーティスト・プログラム「くると冬まつり 2023」

- ・個々の力が集まると、ひとつの大きなことが成し遂げられるということを目の当たりにして確信が持てたことは、自分が日々生活していくうえでも大切な発見になったと思います。

●トークイベント アートプロジェクトHAPPY TURN／神津島はなんだったのか。「くるとってどんな場所？」

- ・アートはかけ離れたものだという認識があったが、日常の関わりを育てる部分でシマクラスが拠点を運営しているのだと思った。

30

ファンタジア！ファンタジア！
ー生き方がかたちになったまちー

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月
実施場所	墨田区東向島、京島及び墨田区内
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人藝と
参加者数	386人

【事業趣旨（目的）】

東京都墨田区北部を舞台に、地域の人々がアーティストや研究者との出会いを通じて、豊かに生きるための創造力を育む「学びの場」を生み出すプロジェクト。他者との対話で生まれる気づきを通して、自分自身の想像の幅を広げ続け、自分の中の常識や「当たり前」を解きほぐす小さな実験をしかけている。

【実施状況】

今年度はこれまでの事業の中で深めてきた地域団体との関係構築や、拠点来場者への継続的なアプローチを目指して、さらなる拠点活用事業を行った。収集している墨田区内で行われた文化活動のアーカイブ資料や事業関連書籍の閲覧、リソグラフを用いたワークショップなどを中心とした「オープンスタジオ」、地域団体との交流や行政との連携に向けたリサーチやネットワークづくりを行う「地域連携」に取り組んだ。

1. オープンスタジオ

拠点「藝とスタジオ」にて月4回程度のオープンスタジオを開催し、これまでもつながりのある地域住民や団体との交流を深める機会をつくと同時に、新しい参加者獲得を目指した。

オープンスタジオでは、これまでに収集してきた墨田区内で行われた文化活動のアーカイブ資料や事業関連書籍の閲覧、プログラム担当スタッフらとの交流などが恒常的に行えるほか、リソグラフを用いたワークショップや来場者からのアイデアをもとにした企画なども開催した。

・ オープンスタジオ月別来場者数

実施月	開室日数	プログラム実施数（回）	来場者数（人）
5月	4日	3	28
6月	6日	4	29
7月	7日	6	24
8月	10日	9	27
9月	7日	7	10
10月	5日	5	36
11月	4日	3	12
12月	4日	3	9
1月	3日	3	9
2月	4日	4	8
3月	1日	1	2

(1) ソーシャルワーカーを目指すキュレーターの自習室

本事業ディレクターの青木彬が社会福祉士の資格取得を目指していることから、ソーシャルワークについての勉強を「自習室」というかたちでひらいた。各自の自習を持ち寄る参加者がいたほか、福祉とアートに関心のある人々がスタジオに来場するきっかけになった。

実施日	プログラム名	自習パートナー	参加者数（人）
6/8,7/13,20,8/3,31,9/7,14,21,10/5,27,11/23,12/14,21,1/18,25,2/8,29	ソーシャルワーカーを目指すキュレーターの自習室（全17回）	【第1回（6/8）】タカハシ‘タカカーン’セイジ／高橋誠司（介護福祉士、障害福祉サービス事業所経営）ほか	38

(2) リソグラフ系ワークショップ

本事業の広報紙の印刷でも利用していたデジタル孔版印刷機リソグラフを活用したワークショップを複数種実施。名刺、一筆箋、クリスマスカード、ポスター、ZINEなどを制作した。

実施日	プログラム名	参加費（円）	参加者数（人）
5/21,7/16	【リソで刷ろう！】手描きの名刺づくりワークショップ	一般 1,000 高校生以下 500	37
6/12,7/13,24,8/13	【リソを体験しよう！】ラフに刷る！	500	
6/18	【リソで刷ろう！】一筆箋づくりワークショップ	一般 1,000 高校生以下 500	
8/19	【夏休み企画①】リソグラフでメッセージカードをつくろう	一般 1,000 18歳以下 500	
8/19	【夏休み企画②】夏の思い出を小さな本にしよう	500	
8/20	【夏休み企画③】ワクワク！気持ちあふれるTシャツ作り	一般 2,000	
8/21	【夏休み企画④】リソグラフでコラージュポスターをつくろう	一般 1,000 18歳以下 500	
8/22	【夏休み企画⑤】わたしやあなたを励ますオリジナルスタンプをつくろう	一般 1,500 12歳以下 500	
9/18,25,10/9	【ワークショップ】リソグラフ印刷を楽しむ！	一般 1,000 18歳以下 500	
11/19	【ワークショップ】「Making ZINE！～自分の“好き”や“気になる”を掘り下げてZINEにしよう～」	2,000	
12/10	【ワークショップ】リソグラフ印刷でクリスマスカードと年賀状づくり	1,500	

(3)『藝とスタジオのひらき方』を考えるシリーズ

オープンスタジオを行うにあたり、「オープンとはどんな状態か？」「誰かにとってはオープンでないのでは？」といった疑問から、小規模アートのアクセシビリティについて考え、自分たちでもできる工夫を見つけていくプログラムを開催した。

実施日	プログラム名	ゲスト	参加費（円）	参加者数（人）
5/7	【公開ミーティング】『藝とスタジオのアクセシビリティを考える』を始める	荒川真由子（東京都立大学健康福祉学部作業療法学科 在籍 ※2023年時点）	無料	24
6/25	【公開ミーティング】 藝とスタジオのひらきかたを考える「言語を超え他者と出会う」	めとてラボ	1,000	
6/26	【実践編】 藝とスタジオのひらきかたを考える「『藝とスタジオ』の案内をつくる	——	無料	
9/17	【実践編】 藝とスタジオのひらきかたを考える「拠点周辺にある『誰でもトイレ』のマップを作る」			
11/5	藝とスタジオのひらきかたを考える「目の見えない方の世界を学ぶ読書会」			

(4)「野ざらし」による交流会『さなぶり』

プロジェクトチーム「野ざらし」が、アート、建築、文学、音楽、福祉、農業など、様々な文化の交流拠点形成を考える交流会イベントを開催した。

実施日	プログラム名	ゲスト	参加者数（人）
5/14,7/2,8/5,9/10,1/14	「野ざらし」による交流会『さなぶり』（全5回）	野ざらし：中島晴矢（アーティスト）、佐藤研吾（建築家）、青木彬（キュレーター）	32

(5) スミログ

墨田区内で開催された文化活動のアーカイブについて考えることをテーマに、チラシの保管整理や、今年度開催されたイベントについてのお喋りなどを行った。

実施日	プログラム名	参加者数（人）
10/15,3/16	【スミログ】「エリカさんとアーカイブボットラックパーティー」（全2回）	7

(6)「やってみる」シリーズ

令和4（2022）年度まで行っていた「ファンファン倶楽部」を参考に、事務局または来場者の個々のアイデアや関心を誰かとシェアする機会をつくるプログラム。今年度は「人権意識」を育むワークショップと、福祉系カードゲーム／ツールで遊ぶプログラムを実施した。

実施日	プログラム名	内容	ゲスト	参加者数（人）
8/6	【やってみる時間】「人権リテラシー」ワークをやってみる！ by 猫のやりかた	「これからの社会を生きていくための人権リテラシー 高専発！書く・話す・考えるワークブック」をもとに人権について学び、自分の活動に引き寄せて悩むための勉強会を開催した。	猫のやりかた：青木彬（キュレーター）、五藤真（countroom代表）、中田一会（きてん企画室代表）	10
2/17	【やってみる時間】「福祉にまつわる様々なコミュニケーションツールで遊ぼう！」	カード形式のコミュニケーションツールやゲームを用いて、自分の気持ちや関心を他の人と共有し、あるテーマについて理解を深める場をひらいた。	——	

(7) その他実施プログラム

実施日	プログラム名	内容	ゲスト	参加者数 (人)
10/8	アートマネージャー PARTY	公共機関やフリーランスでアートに携わる仕事をしている方をゲストに迎え、知見や課題を共有し合う場をひらいた。	久保田由香（科学の芸術の丘のアシスタントディレクター）、櫻井駿介（東京アートポイント計画プログラムオフィサー）、関あゆみ（コーディネーター）	24
2/19	アートマネージャー TEA PARTY	アートの仕事やアートマネジメントに関心のある人々で集まり、アートに携わる具体的な仕事や悩みを共有し合った。	——	

2. 地域連携

墨田区保健福祉部からの声かけにより、「すみだ地域福祉ボランティアフォーラム」への登壇が実現。さらにこれまでも協働実績のある社会福祉法人興望館とともに「すみだ地域福祉ボランティアまつり」へ参加した。オープンスタジオ内のプログラムをもとに、アクセシビリティコーディネーターを目指す荒川真由子、社会福祉法人興望館の協力も得て「まちへ出たアートが今度はお宅訪問?! 地域で暮らす高齢者へ向けたアートプログラムを考えよう!」を開催した。

(1) 登壇プログラム

実施日	会場	プログラム名	主催
7/1	すみだリバーサイドホール	すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム	すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム実行委員会、墨田区、社会福祉法人墨田区社会福祉協議会
10/29	押上小学校	すみだ地域福祉・ボランティアまつり	すみだボランティアまつり実行委員会、社会福祉法人墨田区社会福祉協議会

(2) 開催プログラム

実施日	会場	プログラム名	ゲスト	参加費 (円)	参加者数 (人)
3/17	興望館 本館1F	まちへ出たアートが今度はお宅訪問?! 地域で暮らす高齢者へ向けたアートプログラムを考えよう!	荒川真由子（東京都立大学健康福祉学部作業療法学科 在籍 ※2023年時点）	500	20

3. 広報宣伝・発信

(1) 外部メディア掲載

○Tokyo Art Reserch Lab (TARL)「ジムジム会」

Tokyo Art Reserch Lab (TARL)による「Knock!! 拠点を訪ねてー芸術文化の場をひらくひとー」にディレクターの青木彬が登壇。東京アートポイント計画卒業団体である「アートアクセスあだち音まち千住の縁」のディレクターである吉田武司と拠点運営について対談を行った。

- ・YouTube <https://youtu.be/Gxoz0DIIQ1M?list=PLGPirI6obOjZ6xPBuaXW2aHGKj10yJij3>
- ・視聴者数：370回（令和6（2024）年3月28日現在）

○ACKT（アクト／アートセンタークニタチ）

東京アートポイント計画共催団体である「ACKT（アクト／アートセンタークニタチ）」が、様々なまちで気になる活動をしているスペースを紹介するインタビューシリーズ「LAND」にて、「藝とスタジオ」が紹介された。

- ・ウェブサイト https://www.ackt.jp/report/land_vol-03（紙面）

○研究への協力

複数の学生から卒業研究におけるインタビュー依頼、相談があった。

- ・学生の所属先：立教大学、東京大学、横浜国立大学など

(2) 公式ウェブサイト、SNS運営状況

「オープンスタジオ」の広報はウェブサイトを中心に発信。各種SNSでは毎月の開室日だけでなく、オープンスタジオ内のプログラムごとに投稿を行うことで、それぞれのテーマに関心のある参加者へアプローチを試みたほか、投稿へのリアクションからどのようなプログラム内容が注目されるかなどを考察する一助となった。

またウェブサイトやSNSを見ない層に事務局から手渡しで事業案内ができるように、オープンスタジオについての資料を作成し、パンフレットと合わせて配布するなど、来場者の獲得に向けて適切な広報手段を検討した。

○ウェブサイト <https://fantasiafantasia.jp/>

- ・レポート記事投稿数：5件
- ・宣伝記事投稿数：12件

○Facebook <https://www.facebook.com/FantasiaFantasia.SumidaCity/>

- ・ 投稿数：69件
- ・ フォロワー数：781人（前年+140人）

○Instagram https://www.instagram.com/fantasiafantasia_sumida/

- ・ 投稿数：75件
- ・ フォロワー数：336人（前年+178人）

【参加者の声】

● リソグラフ系ワークショップ

- ・ 楽しかったです！ リソグラフはどんなものなのか？ どうつくるのか？ がずっと気になっていたので知る良い機会でした。
- ・ このようななごやかですてきな空間が墨田にあるとは知らなかったです。ずっとあって欲しいと思います！

● 【公開ミーティング】 藝とスタジオのひらきかたを考える「言語を超え他者と出会う」

- ・ ファンファンのオープンミーティングとして、オープンな場だという信頼からか安心してコミュニケーションが取れました。このような場が大切だという確信が強まりました。
- ・ 音がなくても表現やジェスチャーで人と交流できることがとても楽しかったですし、新たな視点を学べて良かったです。
- ・ アクセシビリティというテーマの奥の深さを知る機会となりました。また類似のイベントがあれば参加してみたいと思いました。

● 【公開ミーティング】『藝とスタジオのアクセシビリティを考える』を始める

- ・ 実際にアクセシビリティに関わっている人たちから、どういうことで生きづらさ、親しみにくさを感じているか聞けて良かった。
- ・ 自分の持っている視野がかなり広がったと感じました。人そのものに寄り添うことをまずは重要視していくべきだとあらためて感じました。

● まちへ出たアートが今度はお宅訪問？！地域で暮らす高齢者へ向けたアートプログラムを考えよう！

- ・ グループで話し合うことがとても良かったです。訪問看護ステーションで働いていて8年になり、どうしても現実的にできること（時間、お金、体力etc.）を考えてしまい、アイデアがかたく狭いものだと気づきました。グループメンバーの柔軟なアイデアに触れて、新たな価値観が生まれたように思います。

31

Artist Collective Fuchu [ACF]

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月
実施場所	府中市内各所
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ
協 力	株式会社サーカス、玉川石材工業株式会社、株式会社 TOKIO Lab、GREEN、一般社団法人まちづくり府中、株式会社F.F.P.、株式会社協和、樋口鞆工房株式会社、日本光具株式会社、サトー洋裁教室、矢島歯科医院、読売センター府中第一、ブーランジェリーテール・ヴィヴァン、株式会社東京チェンソーズ
参加者数	1,187人

【事業趣旨（目的）】

府中市を中心に、日々の生活に視点を向けた身近なところにある「表現」を通して「だれもが表現できるまち」を目指すプロジェクト。アーティストのみならず、職種や年齢も多様なメンバーが集い、個人の思考や感覚を伝え合う場づくりを行いながら、異なる視点に触れ、互いの違いを尊重できる土壌づくりを目指している。

【実施状況】

今年度は「ラッコルタ -創造素材ラボ-」を主軸とし、大人も子供も自由な発言と行動ができ、自尊心を養い他者の思考を尊重できる居場所づくりと持続的な運営設計を行った。

1. ラッコルタ -創造素材ラボ-

地元企業から提供された不要な部材を、創造活動に転用する仕組みづくりを行う。アーティストのワークショップを通じて、子供や大人が素材から発想した表現活動に取り組み、新たな視点を培うことを目的としている。

今年度は、素材の管理、提供の仕組みの整理を行いながら、教育／福祉施設や府中市との関係構築、自治体主催のフェスティバルへの参加、自主企画のワークショップ及び成果展を開催した。

(1) ラッコルタ キャラバン

都内各所を舞台に創造素材ラボとして作品づくりに取り組める機会を創出し、見本や目的を設定せず、子供や大人が自由な創造性を発揮するプロセスを重視したプログラムを行った。

実施日	会場	プログラム名	内容	参加者数 (人)
10/8	府中市生涯学習センター2階 講堂前広場	生涯学習フェスティバル「ラッコルタ -創造素材ラボ-」ワークショップ	段ボール梱包材や合皮、端布などの廃材を使って、自分だけのカタチを立ち上げるワークショップを開催した。	80

(2) ラッコルタ アーティストワークショップ

アーティストの視点を通して新たなものの見方を獲得するラーニングプロジェクト。アーティストの長年のリサーチを素材に落とし込んだワークショップと成果展を開催した。

実施日	会場	プログラム名	内容	アーティスト	参加者数 (人)
1/13	府中市郷土の森博物館 旧田中家住宅	ラッコルタ -創造素材ラボ-Vol.3「モノ・モノログ」ワークショップ	現代美術家の岡田裕子を迎え、府中市の企業「株式会社サーカス」提供の素材を使ったワークショップを実施。参加者とともに映像作品を制作した。	岡田裕子（美術家）	10
1/24～1/28	府中市美術館市民ギャラリー	ラッコルタ -創造素材ラボ-成果展	これまでアーティストワークショップで制作された作品や、活用した素材等を展示し、過去3年間の集大成を紹介した。	三木麻郁（美術家）、 MATHRAX（アートユニット）、 岡田裕子（美術家）	505

2. ネットワーク形成事業

これまでの活動で培ったネットワークをもとに、本事業を知らない人々や、窓口として機能するようなメディアづくりを行い、発信した。

(1) かわら版「かみひこうき」

アート×人×府中をテーマに府中の面白いコト、人、場所を紹介するかわら版「かみひこうき」。今年度は6号を発行し、府中市内の施設やアートギャラリー、50か所にて配布した。

○かわら版「かみひこうき」6号（令和6（2024）年3月発行）

- ・特集記事：ファッションで府中をおもしろく「株式会社F.F.P.」
- ・プロジェクト紹介：Artist Collective Fuchu presents「おとのふね」
- ・発行部数：2,500部

(2) Artist Collective Fuchu presents「おとのふね」

府中のコミュニティFM放送局から毎月1回放送する30分の府中発アート情報番組。府中に住むアーティストの活動や市内のアートイベント情報などを発信し、府中のアートシーンをゲストとともに盛り上げていくことを目的として実施した。

今年度は府中市美術館や博物館などの府中市の施設での収録や市の職員の方をゲストに迎えるなど、より地域に根づいた番組づくりを目指し、全12回放送を行った。また、Podcastによる新たなリスナーの獲得も推進した。

放送日	会場	プログラム名	ゲスト	視聴者数(人)
4/4	ルミエール府中	talk43	鈴木久賀（保育士）	5,000人程度 (地上波及びウェブ放送)
5/2	府中乃森珈琲店	talk44	もりもり（ラジオ番組パーソナリティ）	
6/6	府中市美術館 公開制作室	talk45	馬場稔郎（彫刻家）	
7/4	Hasie	talk46	松井恵（雑貨店Hasieスタッフ）	
8/1	Kamitowa	talk47	吉永久美子（Kamitowa店主、「紙塾」主宰）	
9/5	カフェ マーブル	talk48	いくらまりえ（画家）	
10/3	府中市市民活動支援センターブラッツ	talk49	杉浦一志（NPO法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ理事長）	
11/7	まちづくり府中	talk50	廣瀬健（一般社団法人まちづくり府中 タウンマネージャー、設計事務所主宰）	
12/5	カフェ マーブル	talk51	山浦靖彦、高橋真美（ACF写真部）	
1/2	カフェ マーブル	talk52	山浦靖彦、高橋真美（ACF写真部）	
2/6	府中市美術館	talk53	岡田裕子（美術家）、宮山香里（美術家）	
3/5	府中市郷土の森博物館 旧田中家住宅	talk54	桂川由貴、兵藤早菜（府中市政策課職員）	

(3) まなばあーと「ロジックモデル再構成」

様々な実践者へのヒアリングを行うことで、身近なところに視点を向け、当たり前を解きほぐし、新たな気づきをもたらすリサーチプログラム。

今年度は過去3年間の活動の振り返り及び今後の団体の方向性を検討するため、専門家とともに令和2（2020）年度に作成したロジックモデルの再構成を行った。

実施日	プログラム名	内容	参加者数（人）
6/27	第1回	過去のロジックモデルをもとに事業の目標、形態等の見直し、整理を行った。	13
7/11	第2回	スタッフがそれぞれの立場で意見を出し合い、共有することで、今まで積み重ねてきたことや団体の強みを実感しつつ、ロジックモデルの組み方を推敲していった。	9
9/5	第3回	講師のファシリテートをもとに新たなロジックモデルを組み立てた。	10

(4) 展示活動「ACF-PLUM PLAN-」

東京都、アーツカウンシル東京と実施してきた6年間の活動をまとめ、ACFがこれから形にしたい企画やアクションについて紹介する展覧会を開催した。

実施日	会場	プログラム名	参加者数（人）
2/17～2/23（2/20休）	府中市郷土の森博物館 旧田中家住宅和室	ACF-PLUM PLAN-	560

3. 広報宣伝・発信

(1) メディア発行「ラッコルタ-創造素材ラボ-」パンフレット

過去3年間のアーティストワークショップを中心に事業概要紹介、ワークショップ事例や使用した素材等を掲載した。

- ・発行日：令和6（2024）年1月24日（水）
- ・発行部数：2,000部

(2) 公式ウェブサイト、SNS運営

○公式ウェブサイト <https://acf-tokyo.com/>

- ・レポート記事投稿数：1件
- ・宣伝記事投稿数：8本

○Facebook <https://www.facebook.com/ArtistCollectiveFuchu/>

- ・投稿数：46件
- ・フォロワー数：441人

【参加者の声】

●ラッコルタ-創造素材ラボ- Vol.3「モノモノログ」ワークショップ

- ・自分が、見た目や手ざわりでモノに愛着を持っているのだと自覚する、ゆかいな体験でした。
- ・視覚が閉ざされるとイマジネーションが見えているときより高まることを実感することができました。皆さまのストーリーがとっても面白かったです！

●ラッコルタ-創造素材ラボ- 成果展

- ・モノに自由な価値付け、意味付けをする、意味を見出すことがアートの本質なのだろう、と思い至りました。とても楽しいひとときでした。
- ・芸術の果たすものには大きな使命があることに気づかされました。使用済みのものを生かしていくワークショップには、ものだけでなく人への思いやりも育んでいくのではないかと。モノモノログでのものに意味のない価値のないものはないとありましたが、それを芸術で気づかせていただく、高めてくださる作業に感心しました。また、ものばかりでなく人もすべての人に役割があることにつながるのだと思いました。感動のひとときでした。
- ・いらなくなったものをリサイクルして芸術を生み出し、私たちに新たな考えを見つけられ、とても参考になりました。
- ・展示や仕組みの説明をしてもらったので、よく理解できた。社会や地域とアートをつなぐというのはいわれることだが、地域企業の廃棄素材を起点とするのは興味深い。素材を使った作家の作品がもういくつかあっても良かった。
- ・いらなくなったものにもう一度光を当て、新しいものをつくっていくことは、やはり面白いことだと再認識しました。SDGsなどの件もあり、素材がグレートーンに寄っていくことが予想される世界で、彩度が高めのモノをどう残していくかなど、展示を見ながら考えていました。

32

ACKT（アクト／アートセンタークニタチ）

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月
実施場所	国立市全域
主 催	東京都、国立市、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団、一般社団法人ACKT
参加者数	3,221人

【事業趣旨（目的）】

子育て、福祉、高齢化問題、インキュベーションなど様々な地域課題について、アートプロジェクトを通して横断的に協働する場所や交流の機会をつくり、国立市および多摩地域の人々の生活の質を高めることを目指す。「文化と芸術が香るまちくにたち」の実現を掲げ、令和元（2019）年度に開始した国立市文化芸術推進計画に基づき、市内外の文化活動や様々な分野の担い手との連携を軸とした事業展開を行う。

【実施状況】

1. 事業コーディネート体制づくり

令和5（2023）年度は、拠点形成事業やリサーチ・発信事業、ネットワーク形成事業を通じて、ニーズ等の情報収集を引き続き行い、市内を中心とした文化や芸術に関わる団体・人との連携を目指した。

また、国立市、公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団、一般社団法人ACKTの現場担当者による隔週の会議を新たに設け、意識共有や事例研究など、細やかに対応していった。

2. 拠点形成事業「遊〇地（ゆうえんち）」

地域の様々な活動や情報のプラットフォームとなる拠点として、今年度は「さえき洋品●（てん）」の整備及びお披露目、事業周知などに注力した。

整備にあたっては、国立市ゆかりの造形作家・関田孝将がプログラムを監修。ACKTの関係者や、興味関心のある市民の方も交えて、DIT（Do It Together）による拠点づくりを進めた。拠点づくりをともにすることで、ACKTを周知し、持続的に場に関わる人々を増やす機会とした。

実施日	会場	プログラム名	参加者数（人）
5/20～12/10	さえき洋品●	DITプログラム	10
12/28	さえき洋品●、谷保駅南口緑地	もちつき大会&鏡もちづくり	26

3. リサーチ・発信事業

「アートに興味関心がない」「まちに目を向けていない」という多くの人々が、それらに対して興味を持つ状況をつくるために、各地で実践されている文化芸術活動の担い手の様子や活動、仕組み等について「場づくり」「体制」「アートプロジェクト」等の観点からリサーチ、レポートや記事としての発信に取り組んだ。

令和4（2022）年度同様、公式ウェブサイトやSNSでの発信、遊〇地等の活動報告、リサーチ等のアウトプットの場としてのフリーペーパー「〇ZINE -エンジン-」の制作・発行に加え、国立市内外のアートプロジェクトなどの知見に触れるリサーチプログラムを行った。

(1) リサーチ取材

実施日	会場	リサーチ先
9/26	オンライン	飯島知代（HAPPY TURN／神津島事務局長）
11/23	藝とスタジオ	青木彬（ファンタジア!ファンタジア! 一生き方がかたちになったまちディレクター）
12/17	Gallery Yukihiro	金田涼子（美術家）

(2) リサーチプログラム

国立市内外におけるアートプロジェクトや、地域の行事等について知見を深めるため、ラーニングプログラムや見学会などの「リサーチプログラム」を実施した。

実施日	会場	プログラム名	参加者数（人）
7/2	矢川プラス	上映会『ラジオ下神白ーあのとときあのまの音楽からいまここへ』	18
9/23	さえき洋品●、谷保天満宮	地域の行事リサーチ 谷保天満宮「宵宮」	7

実施日	会場	プログラム名	参加者数(人)
1/27	スタート：旧国立駅舎前、ゴール：さえぎ洋品●	くにたちまち歩きワークショップ Day 1 南武線以北	5
2/10	スタート：さえぎ洋品●、ゴール：くにたち郷土文化館	くにたちまち歩きワークショップ Day 2 南部地域	6

4. 広報宣伝・発信

(1) 公式ウェブサイト

ACKTの取組を広く発信するため、公式ウェブサイトを開設し、「ニュース」「イベント」「レポート」「遊〇地」などの運営を行った。

○公式ウェブサイト <https://www.ackt.jp/>

- ・ニュース記事投稿数：7件
- ・イベント記事投稿数：6件
- ・レポート記事投稿数：4件

(2) SNS

日々の取組や、リサーチ取材の報告、イベントの告知・報告などを伝えるため、Instagram、X（旧Twitter）を中心に投稿し、Facebookによる発信も行い、異なるターゲットにアプローチした。

また、一般社団法人ACKTメンバーで手分けして、X（旧Twitter）でのリポストや、Instagram・Facebookでのストーリーによる情報発信も行った。

○Instagram <https://www.instagram.com/ackt186/>

- ・投稿数：21件
- ・フォロワー数：160人
- ・リーチ数：828人

○X（旧Twitter） <https://x.com/ackt186>

- ・投稿数：71件
- ・フォロワー数：108人
- ・インプレッション数：69,572件

○Facebook <https://www.facebook.com/ackt186/>

- ・投稿数：6件
- ・フォロワー数：103人
- ・リーチ数：858人

(3) ACKTニュースメール

今年度の新たな試みとして、令和5（2023）年4月から公式メールマガジンの発行を開始した。主にACKTのイベント情報や、CAST（ボランティアスタッフ）募集などの情報を発信した。

- ・投稿数：5件
- ・登録者数：64人

(4) OZINE -エンジン-

ACKTの概要や遊〇地等の活動報告、リサーチ等のアウトプットの間として、フリーペーパー「OZINE -エンジン-」Vol.02を刊行した。

○OZINE -エンジン- Vol.02「エンカウト・ザ・ワールド!! ～コミュニティに続く、世界との出逢いかた～」

- ・発行日：令和6（2024）年3月21日（木）
- ・発行部数：2,000部

5. ネットワーク形成事業「Kunitachi Art Center 2023」

国立市内および近辺に点在するアトリエ・ギャラリー・店舗を会場に、展示とまちを横断するプログラム。普段は見ることのできない制作の裏側や、作家本人とのコミュニケーションの中で生まれる、作品鑑賞だけではない面白さ・余白を伝える。プログラムは市内全域をフィールドに、まちの中で展開。参加者が展示をめぐり、回遊することでま

ちの再発見や新しい視点を得るきっかけを生み出すことを目的に実施した。

令和2（2020）年から、Kunitachi Art Center（museum shop T / Gallery Yukihiro / STUDIO322）が自主的に実施してきたプログラムであり、4回目の開催となる今回、ACKT事業と連携しての実施となった。

今回からは新たに「くにたち市民芸術小ホール」での公開制作プログラム【GEI SHOW HALL】や、展示を行う各スペースを作家のアテンドでめぐるツアーの開催など、より日常に寄り添ったかたちで文化を発信することに努めた。

実施日	会場	プログラム名	参加作家《プロジェクト》	参加者数（人）
4/23,30,5/14	オンライン、さえぎ洋品●	CAST説明会	—	13
5/20,6/4	国立市内のアトリエ・ギャラリー・店舗（全19スペース）	Kunitachi Art Center 2023	—	3,101
5/20～5/24	くにたち市民芸術小ホール	公開制作プログラム【GEI SHOW HALL】	地主麻衣子（アーティスト）《「ことば」の風景／「え」の風景》、中野由紀子（アーティスト）《ごく個人的な記憶の一部》、副産物産店《国立サルベージプロジェクト2023》	24
5/27	さえぎ洋品●、YAHHO～HOUSE、ラマバコス、富士見台トンネル、Koizumi Studio、Maru Cafe Kitchen、こいずみ道具店 倉庫、くにたち市民芸術小ホール、ZEIT-FOTO kunitachi、WATERMARK arts and crafts	Kunitachi Art Center 2023 ツアー 南エリア	—	11
6/3	旧国立駅舎、OCUYUKI、Gallery Yukihiro、KoRy studio、museum shop T、アールスペース88、YUKAKU、コート・ギャラリー 国立、Found & Made、STUDIO322、スタジオT.M	Kunitachi Art Center 2023 ツアー 北エリア	—	

【参加者の声】

● 「Kunitachi Art Center 2023」ツアー

- ・大変充実したツアーでした。ちょうど引越しを考えていることもあり、ギャラリーだけでなくまちの様子も感じられて雰囲気をつかむことができました。ガイドも、まちの成り立ちのことを話して下さったこともあり面白かったです。（南エリア）
- ・住宅街の中にあるギャラリーなどはなかなか行く機会がないと思うので、今回行けて良かったです。普段開いていないギャラリーも覗けて良かったです。（北エリア）

33

多摩の未来の地勢図
Cleaving Art Meeting

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月
実施場所	多摩エリア ほか
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人アートフル・アクション
参加者数	1,163人

【事業趣旨（目的）】

多摩地域の文化的、歴史的特性を踏まえ、その「地勢」を探ることを通して、ひとりひとりが自分の暮らす足元を見つめ直すプロジェクト。小学校などの教育機関や福祉施設などの団体、地域で暮らす人々と協働し、実践の場づくりを行うことによって個々人の抱える切実な社会課題に向き合うために人々が協働するネットワークの基盤づくりを進めている。

【実施状況】

1. 多摩の未来の地勢図をともに描く — re.*生きることの表現

「retrace／再訪する、resist／作業する、record／記録する」をキーワードとしながら、ワークショップ、レクチャー、参加者による場づくりの3部構成による半年間のプログラムを実施した。参加者は公募により多摩地域15人、多摩地域外から神奈川県2人の応募があった。

- ・実施期間：令和5（2023）年8月～令和6（2024）年3月
- ・参加者数：17人

(1) retrace／再訪する

令和3（2021）年度のゲストである豊田有希を再び招き、ワークショップの中で得た気づきをヒントに、参加者それぞれが自身の方法を用いて、それぞれの考える場所や時間、人を再訪することを試みた。

実施日	プログラム名	ゲスト	会場
12/8	豊田有希さんを再訪する	豊田有希（写真家）	小金井アートスポット シャトー2F

(2) resist／作業する

「作業する」という行為をひとつの抵抗のかたちと捉えワークショップを実施。「作業をする場」を小金井アートスポット シャトー2Fの一角に設け、様々な技術や行為の背景を考えながら、参加者がワークショップに取り組んだ。

実施日	プログラム名	ゲスト	会場
9/13	それぞれの作業をしながら、	—	小金井アートスポット シャトー2F
10/14	彫ってみる／刷ってみる	A3BC（反戦・反核・版画コレクティブ）	
10/28	作曲をしてみる	揚妻博之（アーティスト）	
11/1	甘夏ジャムを作ってみる	—	
11/21	とりあえず話してみる／作業してみる	—	

(3) record／記録する

ゲストを交えて記録の行為とその方法について考えながら、参加者自身が記録を通して他者と接続する方法を模索し、思考／試行し、その過程を記録として取りまとめた。

実施日	プログラム名	ゲスト	会場
9/3	記録をつくる、記録を受け取る営み	高森順子（阪神大震災を記録しつづける会 事務局長）	東京学芸大こども未来研究所 Codolabo studio
1/20	暗闇的、記憶のぼろくすぐり	須之内元洋（札幌市立大学講師）	小金井アートスポット シャトー2F

(4) 生きることの表現を拡張する

アーティストをゲストに招き、彼らの創造する行為と間近に出会うことを通して、参加者がそれぞれの問いを見つけ、問いに対する取組について認識や方法を拡張していくヒントとなるワークを行った。

実施日	プログラム名	ゲスト	会場
8/5	くだらないかもしれない疑問	曽我英子（アーティスト）	東京学芸大こども未来研究所 Codolabo studio
8/26	身体の声を聴く		
9/23	人間中心でない視線		
10/23	TALK TALK with Piotr Bujak	ピョトル・フヤク（アーティスト）	小金井アートスポット シャトー2F
10/29	えいちゃんくらぶ×ピヨ		
11/4	何かの可能性	曽我英子（アーティスト）	
11/18～19	Act/Acstruct	ピョトル・フヤク（アーティスト）	
12/2,6	Currents		
12/17	えいちゃんくらぶ×ピヨ		
1/10	クロストーク 抵抗すること、表現すること、その行為について、掘り下げてみる	岩井優（アーティスト）、ピョトル・フヤク（アーティスト）、角尾宣信（映像研究）	
2/25	FULL SERVICE	ピョトル・フヤク（アーティスト）、永田康祐（アーティスト）	
3/3	WALK THIS WAY	ピョトル・フヤク（アーティスト）	

(5) ワークショップ参加者による企画

小金井アートスポット シャトー2Fのスペースを、参加者それぞれが考えたことを試す場、集まって「作業」をする場として、定期的にプログラムをひらいた。様々な参加者による自主企画や試みが行われた。

実施日	プログラム名	企画者	会場
9/20,10/25,12/20	ぼろくすぐりをしながら、最近気になることなどを話してみる。	nami	小金井アートスポット シャトー2F
11/10~11/12	映像 week 『de/recompose 分解する/組み立てなおす』	Fung Wan Yin Kimberly	
12/10	ガリ版印刷でガリガリ	Yoshie	
12/13	木の板を彫る	田中有加利	
2/23	秘密の花園	菅沼敦	
2/24,3/2	スナックガリガリ	よしえ	
2/25	選挙を面白くしてみるー参加者と作品を見ての対話	tk	
3/1	ぼろくすぐりをしながら、最近気になることなどを話してみる。	nami	
3/2	哲学対話ーあらがうとはどういうことか？	襟草丁	
3/3	心のぼろくすぐり	柏木志津子（演劇ユニット「ボランの広場」）	

(6) 展覧会

実施日	プログラム名	参加者	会場	来場者数(人)
1/10~27	「LOOK」展	ピョトル・フヤク（アーティスト）	小金井アートスポット シャトー2F ギャラリー	70
2/17~3/3	「re.* 気づきを他者と伝え合う」展	nami, nao, よしえ, Yukiko, マエダアキ, なしの with たから、田中有加利、菅沼敦、襟草丁、tk、柏木志津子（演劇ユニット「ボランの広場」）		40

2. たましらべ

自身の立つ場所や居場所をより多層的・多角的に認識するため、土地に積み重なる土壌、自然、歴史、文化、暮らし、人など様々なことを、参加者が少しずつ考え、知り、見つめ直す試みとして実施。ひと月に2回ほどのペースで独自に調べたことを持ち寄り、オンラインで共有し、議論した。

実施日	プログラム名	発表者	来場者数(人)
4/17	ファーレ立川 岡崎乾二郎作品の撤去問題と、パブリックアートについて	杉原環樹（ライター、編集）	12
5/9	あわいのぐるり	松田洋一	10
5/29	縄文探究ユニット「縄と矢じり」のお話し	縄と矢じり	12
6/20	お知らせ	森山晴香	14
7/18	環境アーカイブズの皆さんとお話してみる	法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ	13
8/8	最近気になってる場所の話・行った場所の話・好きな場所の話（前編）	参加者全員	11
8/22	最近気になってる場所の話・行った場所の話・好きな場所の話（後編）	参加者全員	9
9/12	天狗の話	参加者全員	12
10/3	多摩川の話	参加者全員	13
10/31	環境アーカイブズ訪問	訪問メンバー	10
11/27	府中美術館の成り立ち	参加者全員	10
12/19	さいたま国際芸術祭に行ってみた	鈴木、辻野	4
1/16	さいたま国際芸術祭に行ってみた その2	参加者全員	9
3/4	市民アーカイブ多摩への訪問の報告	訪問メンバー	6
3/25	アルゼンチン旅の報告	訪問メンバー	8

3. ざいしらべ

多摩地域の主に図画工作の授業と連携し、学年に合わせた技術や素材について検討しながら授業を実施した。また、図工の授業だけでなく、各市の市教研などの研究会にて、図工専科の教員とともに素材や技術の研究をテーマとした研究会や研究授業を実施した。

実施日	プログラム名	内容	会場	参加者数 (人)
6/7	狛江市市教研研究会「竹と出会う」	狛江市市教研の研究会にて、竹を主題にした研修を実施。また、本事業のこれまでの事例について説明した。	狛江第五小学校	11
6/14	西多摩郡公立小学校教育研究会「物語を描く」	奥多摩町立古里小学校での研究授業を見学し、意見交換を行った。研究授業では、2名のアーティストによる描画と、それをもとにした造形を行った。	奥多摩町立古里小学校	9
7/25	多摩市市教研研究授業「植物による染色とその準備」	草木染めの資材となる木綿の呉汁下地作成、枇杷の葉を用いた染色の染まり具合の確認を行った。	小金井市立南小学校	3
8/1	立川市小教研研究会「土による造形」	質感のある素材で身体を使った造形の事例として、泥の造形を行った。	立川第一小学校	23
8/18	多摩市市教研研究授業「大きな布を染める呉汁下地」	有志教員による呉汁下地づくりを行った。	多摩市立第二小学校	7
8/25	町田市市教研研究会「竹伐とその加工」	竹資材の確保、伐採や竹の加工について教員が体験、理解するための研究会を実施した。	町田市立つくし野小学校	16
8/28	多摩市市教研研究授業「大きな布を染める」	8/18に作成した呉汁下地を施したサラシを使い、枇杷、玉ねぎ、桜、藍を用いて染色。藍以外の素材は、鉄媒染、アルミ媒染、無媒染の3種類の媒染を経験した。	多摩市立第二小学校	12
9/11,25,10/2,23,11/6	昭島市立光華小学校連携授業「心地よく腰掛ける」	広葉樹の丸太をひとりひとつ用意し、森の中で心地よく座するための腰掛けをイメージして造形を行った。	昭島市立光華小学校 校庭	56
9/13	多摩市市教研研究授業「大きな布で包まれアート」	市教研研究授業として、図工専科の研究発表と市教研の研究会に参加した。	多摩市立第二小学校	74
9/27,11/1	町田市教研研究授業ブレ1「竹と出会う」	用意した真竹を必要に合わせて割り、面取りをし、グループ、個人で企画した造形に向けて準備を行った。研究授業の一環として実施。	町田市立第五小学校	87
10/4,17,11/8	町田市教研研究授業ブレ2・本番「竹でつくる」	真竹を用い、構造物に組み上げた。小学校の渡り廊下をフィールドにし、他のチームや個人との関係性や建物との関係性に留意しながら造形を行った。	町田市立第五小学校	87
10/11	府中市市教研研究会「筆をつくって描いてみる」	様々な植物の素材を用い、特大、極小の筆づくりを行った。その筆を使い描画を体験した。	府中市立第二小学校	31
11/28,29	小金井市立南小学校交流授業「藍で染める」	絞りを施したハンカチに藍染を行った。	小金井市立南小学校	135
12/19,20,1/15,24	小金井市立第四小学校交流授業「ダンボールと糸で織ってみる」	ダンボールと授業で染めた糸を用いながら、経糸、緯糸を調整し、織物（造形）を行った。	小金井市立第四小学校	101
2/5,6,26,27,3/4,6	小金井市立第四小学校交流授業「竹による造形」	孟宗竹を譲り受け、伐採の方法、搬出の方法を体験した。近隣の家から竹をもらうなどの協働により、学校と地域のつながりを強めることも意図した。	小金井市立第四小学校	101
3/11,14	昭島市立共成小学校連携授業「糸による造形」	ダンボールを軸にして、細い糸を巻き重ね、球体を制作した。	昭島市立共成小学校	56
3/12	多摩市立西落合小学校連携授業「草木染めで木綿を染める」	図工専科教諭とともに校内の桜、給食の玉ねぎを資材に、木綿のガーゼを染めた。身近な材料で美しい色に染まること、絞りの原理について体験した。	多摩市立西落合小学校	58

4. ざいしらべ：東京都奥多摩市における制作「山結い」

ざいしらべに関連し、学校をひろくひとつの方法として、アーティストが学校に長期的に関わるリサーチプログラムを実施した。アーティストの五十嵐靖晃が奥多摩町に滞在し、子供たちと同じように学校に登校し、図画室を拠点としながら地域のリサーチを行った。また滞在中での気づきから、奥多摩の景観や特徴をもとにしたインスタレーションを教室内に設置。子供たち、図工専科教諭、担任、管理職、地域の方々と交流しながら、子供たちの日常、地域の歴史や地理的特性を新しい目で捉え、地域と子供たちとの新しい関係を形成することを試みた。

- ・実施期間：令和5（2023）年8月20日（日）～令和6（2024）年3月1日（金）
- ・主要な実施場所：東京都奥多摩町、奥多摩町立氷川小学校
- ・参加者数：保護者、児童など100人程度（一般非公開）

5. ゆずりはをたずねてみる

児童養護施設や社会生活を支援する団体等の職員を対象としたプログラム。児童養護施設に暮らす子供たちの置かれた状況、背景、将来的なケアのあり方や、支援するスタッフ自身のケアの必要性など、様々な課題状況を紐解きつつ、参加者とともに身体や心のケアのあり方とその可能性を考える機会をつくることを目的として行った。

今年度は前半に児童養護施設での身体表現、音楽、ことば、造形によるワークショップを行い、後半では、一般参加の機会を広げ「演劇を通じてケアを考える」ワークショップを開催した。

(1) 養護施設（矯正施設）等の支援者・運営者の交流プログラム

実施日	プログラム名	講師	会場	参加者数 (人)
5/12	第1回	花崎攝（シアター・プラクティショナー、野口体操講師）、松村拓海（フルート奏者、作曲家）、はらだまほ（振付家、パフォーマー）	子どもの家	2
6/9	第2回		むさしが丘二葉学園	3
7/14	第3回	花崎攝（シアター・プラクティショナー、野口体操講師）、松村拓海（フルート奏者、作曲家）、宮下美穂（NPO法人アートフル・アクション）	子どもの家	3

(2) 演劇を通してケアを考えるワークショップ

実施日	プログラム名	講師	会場	参加者数 (人)
9/2,8	第1回「はじめまして、お互いを知る」	花崎攝（シアター・プラクティショナー、野口体操講師）、松村拓海（フルート奏者、作曲家）	小金井市環境楽習館、KF まちかどホール	18
10/20,28	第2回「モヤモヤをからだで表してみる」		武蔵野市民文化会館	
11/4,17	第3回「モヤモヤを言葉にしてみる」		武蔵野市民文化会館	
12/2,8	第4回「モヤモヤの要因を探る」		KF まちかどホール、小金井市環境楽習館	
12/23,1/12	第5回「モヤモヤを別の形で吐き出してみる」		小金井市環境楽習館、KF まちかどホール	

(3) 演劇を通して「ケア」を考える 連続ワークショップ 報告会

実施日	内容	講師	会場	参加者数(人)
3/9	①5回にわたるワークショップの実施状況の報告 ②考えの言語化のためのグループ実践について ③ディスカッション	中西美穂（文化研究者）、花崎攝（シアター・プラクティショナー、野口体操講師）、松村拓海（フルート奏者、作曲家）、はらだまほ（振付家、パフォーマー）	KF まちかどホール	18

6. 広報宣伝・発信

(1) メディア発行

○「つくることを考えてみよう 森とであう」

昭島市立光華小学校において実施した広葉樹を用いた図工の授業の記録、多摩地域の森林、公園などの植物特性、暮らしの中の樹木の活用、森林のメカニズムなどをまとめて冊子とした。自然素材の持つ奥深さ、複雑さを知り、素材や道具の選定が可能であることをともに考えるきっかけとして、多摩地域の図工専科教諭全員に配布した。

- ・発行日：令和6（2024）年3月22日（金）
- ・発行部数：1,200部

○「連続ワークショップ『多摩の未来の地勢図をともに描く2023』記録 re.* 生きることの表現」

今年度実施した連続ワークショップの記録冊子。実施した3つのテーマ、①生きることの表現を拡張する、②3つのre「retrace／再訪する、resist／作業する、record／記録する」、③生きることの表現で構成されている、計11回実施したワークショップの記録のほか、各回の参加者による記録、それぞれ3つのテーマに沿ったゲストとのインタビューやトークも収録している。

- ・発行日：令和6（2024）年3月15日（金）
- ・発行部数：600部

○演劇を通してケアを考える 公募・報告会チラシ

ワークショップ参加募集と報告会チラシには、ともに講師によるテキストを掲載し、ケアについて考えている方、悩んでいる方に対してのステートメントとしても機能するよう考え、制作した。

- ・発行部数：1,000部

(2) 「多摩の未来の地勢図をともに描く」ウェブサイトの作成

「多摩の未来の地勢図をともに描く—re.* 生きることの表現」プロジェクトの概要、記録を告知、アーカイブするためのウェブサイトを作成した。

○ウェブサイト <https://cleavingartmeeting.com/tama-egaku-23-desc/>

- ・実施期間：令和5（2023）年7月1日（土）～令和6（2024）年3月31日（日）
- ・デザイン：須之内元洋（札幌市立大学教員）

(3) 公式ウェブサイト、SNS運営

プログラム参加者の募集をウェブサイト、SNSにて実施。また、プログラム実施後は、その様子をウェブサイトやInstagramで報告した。

○公式ウェブサイト <https://cleavingartmeeting.com/>

・投稿数：12件

○Instagram https://www.instagram.com/tama_chiseizu/

・投稿数：9件

・フォロワー数：70人

【参加者の声】

●多摩の未来の地勢図をともに描く ― re.*生きることの表現

- ・5歳、1歳の子供と参加ができて良かったです。
- ・見学のみでしたが、楽しかったです。レコード世代として、お気に入りの音楽をレコードからカセットテープにダビングして、タイトルや曲目をラベルに手書きし友達にあげたり、もらったりしていたことなどを思い出しました。

●演劇を通してケアを考えるワークショップ

- ・言葉だけでない話し合いの仕方を体験できた。
- ・自分で気づいていなかったことが自分の表現として出てきた。自分はこう考えていたんだって。
- ・仲良くなると言えなくなるこつである。一期一会で、何を言ってもいいという場所が必要なのかも。
- ・そのときそのときに自分が感じたことを安心して出せた。
- ・自分らしくいることが何より自分の力になることを感じた。
- ・普段の仲間とは話せないことが話せた。
- ・最後のテーマが「怒り」で良かった。

34

カロクリサイクル

【事業概要】

実施期間	令和5年（2023）年4月～令和6年（2024）年3月
実施場所	江東区ほか都内各所
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人NOOK
参加者数	2,658人（アーカイブ映像再生回数：3,419回）

【事業趣旨（目的）】

被災を経験した土地に蓄積されてきた記録物「禍祿」や、防災やレジリエンスに関わる知識や表現の技術「立ち上がりの技術」、課題等を広く共有し、活用することで、災間期をともに生き、次なる災禍に備え、災後も活用できるネットワークの形成を目指す。

予期せぬ災害後の生活で起きる様々な問題、とりわけ、思わぬ形での喪失との向き合い方といった「災後」の暮らしに関する知見は、しばしば個人的な問題としてかたづけられ、他者に共有されにくいものとなる。そうした目に見えづらい個人の営みを記録し、多様なメディアを用いて表現し、様々な人々と共有することを目的とする。

【実施状況】

1. リサーチと情報発信

(1) カロクリ探訪記

東京の災禍の歴史をたどり、人々と出会い、記憶の地層を掘り起こす。複数人で東京都内の様々な施設・団体を訪れ、ヒアリングや資料調査を通じて、レポート記事やエッセイを作成した。今年度はカロクリサイクルを運営する一般社団法人NOOKのメンバーではなく、これまでにカロクリサイクルのプロジェクトに参加したメンバーに執筆を行ってもらい、新たに6本の記事を公開した。

○noteにてマガジンとして掲載 https://note.com/nook_tohoku/m/m61c715674b6f

・記事ビュー数：6,692ビュー（1件のコメント、259のスキを獲得）

実施日	リサーチ先	記事
5/26	東京大空襲・戦災資料センター、わだつみのこえ記念館	「東京大空襲・戦災資料センターを訪ねて」、「戦没学徒の声を聞きに」
6/3	明治大学平和教育登戸研究所資料館	「語る人、残す人、伝える人、受けとめる人」
9/1	東京都慰霊堂・復興記念館	「100年後の折り」と怒号」
9/18	横浜開港資料館、神奈川県立歴史博物館	「資料の息づかいに触れる」、「神奈川の関東大震災」

(2) テレビノーク

月1回程度、NOOKの瀬尾夏美と中村大地がリサーチや活動の内容、そこから気づいたことを話す配信番組を実施。カロクリサイクルに関わるゲストを招き、その経験や考えをもとに語らう。放送はすべてYouTubeのNOOKチャンネルで行われた。

3月10日には昨年度に引き続き「テレビノークスペシャル」を行った。今回は、秋田県、能登半島、富岡市に在住の方や、パレスチナ、シリア、現地に詳しい方と映像をつなぎ、現在の状況について話を伺った。また、スタジオに阪神・淡路大震災及び東日本大震災の語り部をしている2人をゲストとして招き、それぞれの立場から意見を伺った。

放送日	プログラム名	ゲスト	動画再生数 (回)
4/24	#9 声を聞きにいく	小原一真（写真家）、鈴木陽子、辻央（沖縄愛楽園交流会館学芸員）	301
5/29	#10 東京で対話の場をつくる	磯崎未菜（NOOK）	242
6/28	#11 記録すること、伝えること	佐藤正実（風の時編集部、3.11オモイデアーカイブ）	278
7/28	#12 出来事との距離を考える	町村悠香（町田市立国際版画美術館学芸員）	441
8/18	#13 100年前の絵を読み解く	横山由季子（東京国立近代美術館研究員）	234
9/18	#14 記録から表現をつくる？	小屋竜平（ファシリテーター）	238
10/23	#15 東東京を歩く	かつしかけいた（漫画家）	327
12/6	#16 インドネシアの住まいと復興	柴原聡子（編集者）、小林恵吾（建築家）、小林研究室のみなさん	245
12/27	#17 リトアニア滞在記と2023年ふりかえり	磯崎未菜（アーティスト、NOOK）、佐藤李青（東京アートポイント計画プログラムオフィサー）	121
1/23	#18 11年後の風景を歩く	トヤマタクロウ（写真家）、柴原聡子（編集者）	232
2/14	#19 資料から探る戦後芸術	細谷修平（戦後文化研究者、NOOK）	235
3/10	#20 出来事からの時間	スタジオゲスト：清水葉月、米津勝之 オンライン出演：秋元菜々美、斎藤良平（JIM-NET）、坂口聖英（アウトクロップ）、 田中純一（北陸学院大学）、皆川万葉（合同会社パレスチナ・オリーブ代表） インタビュー出演：早乙女愛（映像編集者）	525

2. ネットワーク形成

(1) ワークショップ「記録から表現をつくる2023」

残された記録を見る、あるいは記録をすることから新たな表現をつくるワークショップ。過去の記録を使った表現を実践する人に話を聞いたり、その表現を見つめ、話し合ったりすることから始め、参加者自身が関心のあるテーマを設定し、記録から生まれる表現を探った。

実施日	会場	プログラム名	内容	ゲスト	参加費(円)	参加者数(人)
7/23	Studio 04	第1回	顔合わせ・聞き書きワークショップ、ゲストによるパフォーマンスを行った。明恵上人「夢記」、小野和子「あいたくて聞きたくて旅に出る」の資料を用いて作品を制作した。	小屋竜平(ファシリテーター)、豊田ゆり佳(振付家、ダンサー)	一般8,000 学生3,000	15
7/30	都立第五福竜丸展示館	第2回	学芸員の市田真理をゲストに迎え、展示館にてワークショップを実施。その後、館内で感じたこと・考えたことを参加者それぞれが作品にして発表した。	小屋竜平(ファシリテーター)、市田真理(第五福竜丸展示館学芸員)		
8/20		自由相談日	中間相談日。成果発表の内容について話し合った。	小屋竜平(ファシリテーター)		
9/9	Studio 04	搬入作業日	発表のための事前準備を行った。	—		
9/10		第3回	成果発表日。ここまでのリサーチの経過を、展示や映像、レクチャーなど様々な方法で表現し、話し合った。	小屋竜平(ファシリテーター)		

(2) 展示会「記録から表現をつくる2023」

ワークショップからの継続参加者9名と、昨年度の展示会参加者である2名のほか、NOOKを加えた12組による展示会を開催した。

実施日	会場	プログラム名	来場者数(人)
2/9~3/9	Studio 04	展示会「記録から表現をつくる」	231
3/2		展示会関連イベント「ギャラリーツアー」	40

(3) カロク・リーディング・クラブ

過去の災禍の記録や、それに関わる表現(映画、絵画、戯曲、手記、小説など)を皆で囲み、それぞれが考えた・感じたことをあれこれ話してみる対話の場をひらいた。

第2回は、愛知県名古屋市のON READINGとつなぎ、関東大震災の体験記である「震災記念文集」と伊勢湾台風の体験記である「台風記」を同時に読み、お互いの会場でどんな言葉が交わされ、どんな気づきや発見があったのかを、オンラインでつないで共有し合った。

実施日	会場	プログラム名	ゲスト	来場者数(人)
4/15	Studio 04	第2回「震災記念文集」と「台風記」を読んで語る	青山太郎(映像学者、デザイナー)	11

(4) 勉強会

リサーチの過程で出会った人や団体と継続的に勉強会をひらき、レクチャーを聞いたり、記録物を読み込んだりしながら対話を深め、協働の方法を探り、展示会やイベントなどのアウトプットにつなげていくことを目標とした。令和5(2023)年度はNPO法人江東区の水辺に親しむ会と勉強会を1回実施した。

(5) 「とある窓」

生活空間と外の環境をむすぶ装置である「窓」を主題として、公募で集まった10名のリサーチャーとともに、江東区に暮らす様々な方の生活や人生について聞き書きを行った。伺った語りの記録は冊子にし、森田具海(写真家)による、様々な「窓」の写真とあわせ展示会を開催した。

実施日	会場	プログラム名	参加・来場者数(人)
7~9月	Studio 04	リサーチ活動	12
9/30~12/23		展示会「とある窓」	536
9/30		展示会関連イベント「ギャラリーツアー」	73

(6) てつがくカフェ04

「住まい」や「住む」といったテーマをもとに、集まった人と一緒に語り合い、考える場として、てつがくカフェを開催した。

実施日	会場	プログラム名	ゲスト	参加者数(人)
10/1	Studio 04	第1回「このまちに住むこと」(展示会「とある窓」の関連イベントとして開催)	八木まどか(ファシリテーター)	17
12/9		第2回「どんなふうに住みたい？」		8

(7) 写真と詩の展覧会 『New Habitations: from North to East 11 years after 3.11』

NOOKの瀬尾夏美と写真家のトヤマタクロウが令和4（2022）年秋から令和5（2023）年春にかけて岩手県北部から茨城県中部までの被災各地を歩き、そこで見聞きした写真と、制作した詩集をまとめた書籍「New Habitations: from North to East 11 years after 3.11」から写真作品と詩を選定し、展覧会を開催した。

実施日	会場	プログラム名	ゲスト	来場者数(人)
1/13～1/27	Studio 04	写真と詩の展覧会 『New Habitations: from North to East 11 years after 3.11』	—	191
1/27		展覧会関連イベントトーク&スライドショー 「11年後の東北と東京」	登壇者: 温又柔 (小説家)、トヤマタクロウ (写真家)、瀬尾夏美 (アーティスト、詩人) 司会: 柴原聡子	23

3. 交流拠点形成「Studio 04」

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）大島四丁目団地内にコミュニティ交流拠点となる「Studio 04」をオープンし、リサーチをはじめ、ワークショップや展覧会、配信事業などを行った。特定の活動場所があることで、場そのものが磁場を持ち、それぞれのプロジェクトの参加者や、観覧に来た人々のつながりが生まれる場となった。

実施月	開室日数(日)	来室者数(人)
4月	7	36
5月	8	19
6月	12	105
7月	12	76
8月	13	84
9月	20	190
10月	16	200
11月	13	122
12月	15	185
1月	12	214
2月	15	118
3月	10	152

4. 広報宣伝・発信

(1) 公式ウェブサイト及びSNSでの発信

活動内容を広く周知するため、「カロクリサイクル」ウェブサイトのデザインとサイト内の整備を行ったほか、SNSでの情報発信を実施した。

○公式ウェブサイト <http://nook.or.jp/karoku/>

- ・デザイン：佐藤豊
- ・進行：渡邊時生
- ・コーディング：影山直文

○X（旧：Twitter） https://twitter.com/nook_tohoku

- ・投稿数：93件
- ・フォロワー数：429人（前年+184人）

○Facebook <https://www.facebook.com/nook.or.jp>

- ・投稿数：44件
- ・フォロワー数：399人（前年+46人）

○Instagram <https://www.instagram.com/nook2015/>

- ・投稿数：29件
- ・フォロワー数：146人

(2) 外部メディア掲載

○読売新聞オンライン（令和6（2024年）3月12日）「言葉を編む 東日本大震災13年（下）」

<https://www.yomiuri.co.jp/culture/book/articles/20240311-OYT8T50162/>

○東都よみうり（令和6（2024年）3月8日号）「語られる『災禍』を未来につなぐ 被災地発の記録活動を展開」

https://twitter.com/tyomi_insider/status/1765928711931769216

○毎日新聞（令和6（2024年）3月8日）「3.11 被災地の復興で変わる風景を映像作品に 記憶継承へ人々の“話”記録 瀬尾夏美に聞く」

<https://mainichi.jp/articles/20240308/ddl/k40/040/282000c>

○東京ウィークリーニュース No.99（令和5（2023）年9月29日）「東京にアートの拠点を！東京アートポイント計画」

<https://youtu.be/gKR4s4EQlq0?si=LzXlZqXAE8B4y3c7>

○Oartscape アートフラッシュニュース（令和5（2023）年10月19日）「展覧会「とある窓」情報掲載」

https://artscape.jp/exhibition/art-flash-news/2023/10188361_22413.html

(3) Studio 04 活動報告会

UR都市機構の内部関係者向けにStudio 04での活動や成果を主題とした報告会に参加。当日はURの事業担当者とともにUR団地の施設を拠点として運用した事例等を報告したほか、展覧会「とある窓」で使用した写真と冊子をラウンジ内に展示した。

実施日	会場	プログラム名	来場者数（人）	
			現地参加	オンライン
3/14	UR都市機構 新宿シェアラウンジ	Studio 04 取組み報告会	30	50

【参加者の声】

●展覧会「記録から表現をつくる2023」

- ・団地の広場に面しており、興味をひく施設だと思った。アートの展示にイスの設置もあり、外出のついでに立ち寄るのに良い場所だと思った。

●展覧会「とある窓」

- ・団地の窓を通じて様々な魅力を発見できました。

●ワークショップ「記録から表現をつくる2023」

- ・ワークショップの最終発表の際に、表現を受け止める場としての安全性があった。（絵や映像など）手法が共通しているのではなく、テーマが共通する（記録から表現をつくる）形式は新鮮で良かった。

35

KINO ミーティング

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月
実施場所	都内各所
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人パンタナル
参加者数	176人（オンライン配信映像再生回数：335回）

【事業趣旨（目的）】

「海外に（も）ルーツをもつ人たち」を対象にして、映像制作のワークショップを展開するアートプロジェクトを行う。ワークショップの参加者はまちを歩きながら、写真、映像、音声を使い、様々な方法で自分自身のルーツと向き合う場をつくっている。自身とは異なるルーツを持つ人たちとグループを組み、互いの視点を交換し、協働しながら映像作品の制作に取り組み、映像制作の過程で生まれる新たな映像表現、コミュニケーション、協働関係のあり方を発見すること、そしてその手法を確立して発信することを目標としている。

【実施状況】

1. KINO ミーティング シネマポートレートワークショップ

ルーツの異なる他者とグループを組み、都内各所のまちを歩きながら映像作品を制作するプログラム。今年度は北区と新宿区でワークショップを実施した。参加者は指定されたエリアのまちを歩きながら、写真・映像・音声をを用いて、自身の「ルーツ」にまつわる個人的なエピソードを記録し、対話を通して映像を制作。ワークショップ最終日にはゲストを招いた上映会を開催し、作品についてディスカッションを行った。

実施日	会場	プログラム名	ゲスト	参加者数(人)	映像再生数(回)
5/19,20	北とびあ	KINOミーティング #3 北区	—	16	—
5/21	北とびあ	KINOミーティング #3 北区 作品上映&トーク	菅啓次郎（詩人、明治大学理工学部教授）	38	—
6/6～ 6/18	オンライン	KINOミーティング #3 北区 作品上映&トーク アーカイブ動画 期間限定配信	—	—	227
10/2,28	スタジオゼロワン	KINOミーティング #4 新宿	—	17	—
10/29	Space&Cafe ポレポレ坐	KINOミーティング #4 新宿 作品上映&トーク	村上由鶴（写真研究・美術批評）	36	—
11/17～ 11/26	オンライン	KINOミーティング #4 新宿 作品上映&トーク アーカイブ動画 期間限定配信	—	—	108

2. ステップアップワークショップ

過去にKINO ミーティングのワークショップに参加した人を対象としたプログラム。これまでのワークショップで構築された関係性を活かしながら、より高度なグループワーク、映像表現に挑戦してもらう場とした。

(1) 「KINO ログ」

3人1組のグループを組み、「わたしの視点」、「他者の視点」、「誰かの視点」を組み合わせでひとつの映像作品を制作するワークショップ。参加者それぞれが普段暮らしているまちをフィールドに、ビデオカメラを使ってお互いの日常や暮らしを観察しながら、互いのルーツやそれぞれが暮らすまちについて語り合う作品を4つ制作した。

実施日	会場	プログラム名	ゲスト	参加者数(人)
7/23	きゅりあん 品川区立総合区民会館	モノローグ:わたしの視点で記録する	—	13
8/6	きゅりあん 品川区立総合区民会館	ダイアローグ:他者の視点で記録する	—	
9/3	オクタポスタジオ巢鴨	トリローグ:誰かの視点で記録する	—	
9/17	きゅりあん 品川区立総合区民会館	上映会	かつしかけいた（漫画家）	13

(2) 「シネマエチュード」

これまでのワークショップでの経験をもとに、グループワークによる「フィクション」の映像作品づくりを実施。参加者それぞれが、俳優、撮影、脚本制作を担い、都内のシアターを舞台にしたワンシチュエーションの会話劇作品『再見』を制作。最終日はゲストを招いた上映会とトークを行った。

実施日	会場	プログラム名	ゲスト	参加者数(人)
11/25	品川区 品川第二地域センター	演技ワークショップ	—	15
12/9		シナリオワークショップ+リハーサル	—	
12/23	Tokyo Cine Center (TOC 試写室)	撮影	—	16
1/20	きゅりあん 品川区立総合区民会館	上映会	細馬宏通 (行動学者、早稲田大学文学学術院教授)	

3. リサーチ・ヒアリング

(1) インタビュー

ワークショッププログラムを行っていくにあたり、「ルーツ」にはどのような観点やアプローチがあり得るのかを探るため、KINO ミーティングとは違った手法やことばを用いて、「海外に (も) ルーツをもつ人」について考え、実践する方にインタビューを行った。

○文化人類学の視点から「ストレンジャー」を見る (令和5 (2023) 年11月18日)

- ・インタビュー：リーペレス・ファビオ (宇都宮大学国際学部助教)
- ・インタビュアー：阿部、関 (KINO ミーティング事務局)

○漫画の視点から「ともにまちに住む人たち」を見る (令和5 (2023) 年12月11日)

- ・インタビュー：かつしかけいた (漫画家)
- ・インタビュアー：関、鄭 (KINO ミーティング事務局)

(2) KINO ミーティング 参加者座談会

今年度ワークショップに参加した参加者とともに活動を振り返る「座談会」を実施。KINO ミーティングで使われることばやプロジェクトを象徴することばをもとに、参加者と運営スタッフが対話し、プロジェクトの意義や成果について考えた。

- ・実施日：令和5 (2023) 年11月19日 (日)
- ・参加者：5名
- ・参加スタッフ：関、鄭 (KINO ミーティング事務局)

4. 広報宣伝・発信

(1) 公式ウェブサイト、SNS 運営

公式ウェブサイト、SNS を中心にプログラムの最新情報や制作された映像作品の公開、活動のレポート記事を掲載した。

○ウェブサイト <https://www.kino-meeting.com/>

- ・映像投稿数：9件
- ・レポート記事投稿数：4件
- ・ニュース記事投稿数：8件

○Facebook <https://www.facebook.com/KINOmeeting/>

- ・投稿数：9件
- ・フォロワー数：109人 (前年+42)
- ・ページへのいいね！数：88人 (前年+33)

○YouTube <https://www.youtube.com/@kino5617>

- ・投稿数：2件
- ・登録者数：41人 (前年+11)

○Vimeo <https://vimeo.com/user196017844>

- ・投稿数：40件

(2) Podcast 「(SPACE/ROOM) スキマを言葉にしてみるラジオ」

映像制作ワークショップやその過程の議論の中で生まれた様々なトピックをテーマにトークを展開するラジオプログラム。KINO ミーティングのワークショップ参加者であり、「海外に (も) ルーツをもつ」パーソナリティ十二 (じゅうに) が、様々なゲストとの対話を通して、社会の「スキマ」を少しずつ言葉にしていくことに取り組んだ。番組は Spotify と Apple Podcast にて配信した。

配信日	プログラム名
8/13	EP.1 会話≠『自分のこと』を話す
10/31	EP.2 私が最も美しかった時
12/13	EP.3 学校の休み時間に何をしていましたか？
1/9	EP.4 属性という概念がなければ、どのように自己紹介をしますか？
2/17	EP.5 もし先祖に会えるなら何を話したいですか？
3/24	EP.6 家族から教わりたいレシピはなんですか？

(3) 映画制作プログラム説明会

今後計画している「長編映画制作」のワークショップについて、過去参加者へ向けた説明会を行った。

実施日	会場	プログラム名	参加者数（人）
3/9	北沢タウンホール2F 第2集会室	映画制作プログラム説明会	12

5. 成果物

2023年度の活動や映像制作の手法、ワークショップ参加者との座談会などを日英対訳でまとめたアーカイブブックを制作した。

○「KINO ミーティングアーカイブ2 04.2023—03.2024」

- ・発行日：令和6（2024）年3月25日（月）
- ・発行部数：800部

【参加者の声】

●KINO ミーティング #3 北区

- ・人と話すことと、作品をつくることが一体となっているのは、KINOの面白いところだといえると思います。私は普段から自分で現代美術の作品をつくっているのですが、そのときにはいつも自分の意識が一番重要で、その意識からどんな素材を使うか、どんなかたちになるのかを決めています。でもKINOのワークショップに参加したときは、同じグループの人と交流して、その人たちのエピソードから自分自身を見つける経験を経て、そのインスピレーションから作品をつくりました。それは普段の自分の作品づくりとはかなり異なるプロセスでした。

●KINO ミーティング #4 新宿

- ・シネマポートレイトの旅の中で、自分から家族の話がたくさん出てきて。だから私のルーツは家族ってことなのかあって、KINOのワークショップが終わってから思いました。ワークショップに参加して新宿を歩いているはずが、何かをきっかけに自分が昔に住んでいたところにワープするみたいな感覚を覚えました。きっかけになるモチーフを見つけると、それが鏡みたいに反射して、エピソードが思い起こされるんです。

36

めとてラボ

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月
実施場所	都内各所
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人ooo
参加者数	101人

【事業趣旨（目的）】

視覚言語（日本の手話）で話そう者・難聴者・CODA（ろう者の親を持つ聴者）が主体となり、異なる身体性や感覚世界を持つ人々とともに、自らの感覚や言語を起点にしてコミュニケーションを創発する場をつくるプロジェクト。手話を通じて育まれてきた文化を見つめ直し、それらをめぐる視点や言葉をたどりながら、多様な背景を持つ人々が、それぞれの文化の異なりを認め合ったうえでどのようにコミュニケーションを交わしていくのか、そのあり方を研究・開発している。

【実施状況】

1. めとてラボ拠点形成「5005」

「DeafSpace/デフスペース」の考え方をもとに空間設計がなされた手話×出会いの文化センター「5005（ゴーマルマルゴー）」*を令和5（2023）年10月に開設し、活動拠点として各種イベントの開催や定例会議などの打ち合わせ会場として活用。めとてラボが目指す「ホーム（文化の創造拠点）」の形成へと一歩を踏み出した。

また、5005の準備段階では、一般社団法人日本ろう芸術協会と連携しながら、DeafSpaceの勉強会やワークショップなど、DeafSpaceの考え方について理解を深める機会を設けるとともに、勉強会やワークショップ等で出たアイデアが5005の空間設計に活かされていった。

*5005は、一般社団法人日本ろう芸術協会と一般社団法人oooが共同運営している。

2. アーカイブプロジェクト

「手話から生まれる自然な生活文化の保存」をテーマに、手話やろう者の生活文化の新たなアーカイブ手法とその活用についてリサーチやディスカッションを重ねている。そのひとつの方法として、ろう者の家庭で撮影された「ホームビデオ」の鑑賞会をひらき、ろう者の自然な姿や会話のやりとりの様子を見ながら、気づいたことや想像したことなどをこぼにし、共有する場を一般公開イベントとして実施した。

共催：公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

実施日	会場	プログラム名	ゲスト	参加者数(人)
9/2	生活工房 ワークショップ ルームB	井岡さん家のホームビデオ鑑賞会 ～めとてで紡がれる文化を探る～	岩泉由美子、井岡一雄	29
12/16	5005	那須さん家のホームビデオ鑑賞会 ～めとてで紡がれる文化を探る vol.2～	那須善子、那須元紀	20

3. DeafSpace勉強会＆ワークショップ

手話という言語からなる身体感覚の共有や身体性の広がりをもとにした、ろう者が過ごしやすく設計された空間である「DeafSpace/デフスペース」という概念をもとに、自らの身体感覚や「ホーム」形成に向けたリサーチを行った。

まずはDeafSpaceとはどういうものなのかを学ぶため、めとてラボメンバーや5005に関わっている関係者を対象とした勉強会＆ワークショップを実施。その後、「DeafSpace」という考え方を周知し、これからの場づくりを考えるために一般公開イベントを開催した。

実施日	会場	プログラム名	ゲスト	参加者数(人)
8/9	5005, Luna6Fun	デフスペース勉強会	福島愛未	7
9/23	オンライン	DeafSpaceから考える、これからの私たちのための場づくり デフスペース・トーク&ミニワークショップ	福島愛未	45

4. 「遊び」を起点としたラボラトリー「佐沢静枝さんのCL表現勉強会」

今年度から、「め」と「て」から自然に生まれる遊びを集め、遊びが生まれる仕組みや場をつくるための『「遊び」を起点としたラボラトリー』を始動。ラボラトリーの検討を行う中で、今後、子供たちとのワークショップの実施や「遊び」の開発に取り組みたいという方向性が見えてきた。手話では様々なカタチや模様を手や顔の表情、肩や腕の動きなど身体を使って表現し、相手にそのイメージ自体を伝える。そういった方法を言語学では「CL表現」*という。

生活の中でろう者は、こうしたCL表現を自然に使っているが、本当にその表現方法が適切かどうか、イメージを伝えるためにはどのような方法があるのか、視覚言語について学ぶ必要があるのではないかと問題意識を持った。そこで今後、子供たちとのワークショップを企画するために、めとてラボメンバー向けにCL表現勉強会を実施した。

* CLはClassifier（類別詞）ともいわれる手話独特の表現。代名詞の役割を果たしながら、ものそのもののイメージを伝える。

実施日	会場	プログラム名	ゲスト
11/20	5005	「遊び」を起点としたラボラトリー「佐沢静枝さんのCL表現勉強会」	佐沢静枝

5. つなぐラボ

感覚の異なる他者との出会い方や伝え合いの工夫について考えていくラボラトリー。目の前の誰かの頭の中を覗いて見ることができないように伝え合うことには、つねに「わからなさ」が横たわっている。視覚と聴覚、感覚が異なる言語の間で、コミュニケーションのあり方やその環境設計を探索している。

今年度は、定例会議やホームビデオ鑑賞会、DeafSpaceトークイベントやワークショップをはじめ、手話通訳コーディネーターと手話通訳者チームが連携・協働し、通訳環境の設計を進めた。

6. 広報宣伝・発信

(1) ウェブサイトの開設

「めとてラボ」の概要や活動コンセプト、各事業やメンバーの略歴などを整理し、情報発信するティザーサイトを新たに開設した。Contactページを設けることで、めとてラボに興味関心を持ってくださる方々・団体と接続できるようコミュニケーションやネットワークづくりに向けての環境を整えた。

○めとてラボウェブサイト（ティザーサイト） <https://metotelab.com/>

- ・公開日：令和6（2024）年3月21日（木）
- ・ウェブディレクション：萩原俊矢
- ・アートディレクション：橘友希（Shed Inc.）
- ・デザイン：小林愛果（Shed Inc.）
- ・マークアップ：伊藤祐太（Shed Inc.）

(2) レポート記事等発信

めとてラボ事業が得た知見を共有し発信する広報活動をソーシャルメディア「note」への記事化という形で進めた。

○note <https://note.com/metotelab>

- ・投稿数：7件
- ・フォロワー数：44人
- ・PV数：2,055ビュー

(3) SNSでの発信

令和5（2023）年8月1日より各種SNSでの広報を開始。「めとてから育まれる発見や出会いをともに楽しみ、耕していく場によろこそ！」と題して、各イベントの告知等を掲載した。

○Instagram <https://www.instagram.com/metote.lab/>

- ・投稿数：8件
- ・フォロワー数：227人

○X（旧Twitter） <https://x.com/metotelab>

- ・投稿数：32件
- ・フォロワー数：87人

○Facebook <https://www.facebook.com/profile.php?id=100095052165439>

- ・投稿数：13件
- ・フォロワー数：37人

7. 発行物

今年度の活動レポートとして、めとてラボのウェブサイトへのリンク、QRコードの掲載や、ホームビデオ鑑賞会、

DeafSpaceや拠点形成、「遊び」を起点にしたラボラトリー、つなぐラボの取組を紹介した。令和5（2022）年度に制作した円形の冊子に重ねて綴れる仕様となっている。

〇めとてラボ2023—活動レポート

- ・発行日：令和6（2024）年3月21日（木）
- ・発行部数：500部

【参加者の声】

●井岡さん家のホームビデオ鑑賞会～めとてで紡がれる文化を探る～

- ・ろう児を育てる親として、子育てのヒントになればと思い参加しました。子育てをしていくと、どんなに考えても至らないような、聴親の限界を感じるが多々あります。我が子のためにできるかぎり「家庭内にろう文化を」と考え、ろう家族にお願いして泊まりに行かせてもらうこともありましたが、他人である、しかも聴者がいるときの振る舞いと実生活は違うこともあり、今回の企画のように、ホームビデオでろう家庭の自然なやりとりを見せていただける機会はとても貴重でした。

●那須さん家のホームビデオ鑑賞会～めとてで紡がれる文化を探る vol.2～

- ・すべてが興味深く、対話で話されていたろう児の子育てであるある、姉と弟の興味の向く方向や敏感さの違い、ろう児の言語獲得の仕方、那須家の子育て……などからは、知識はもちろんのこと、多くの気づきや受け取れることがあった。また、那須家のお子さん2人の幼少期の無垢でただただ愛おしい姿からは、癒しをもらえた時間でもあった。

●DeafSpaceから考える、これからの私たちのための場づくり | デフスペース・トーク&ミニワークショップ

- ・DeafSpaceはとても勉強になりました。学校や教会、会社など何気なく過ごしている空間が、当事者にとって具体的にどう不便なのか、どこが素晴らしいのか、気づかないことがたくさんありました。手話で会話ができればそれでよいのではなく、色合いや距離や角度、様々な工夫が必要だとわかりました。立ち上げに当事者がいることの重要性を強く感じました。

37

Artpoint Meeting

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月
実施場所	都内各所
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
参加者数	167人

【事業趣旨（目的）】

「まち」をフィールドに、人々の営みに寄り添い、アートを介して問いを提示するプログラム。Artpoint Meetingは、アートプロジェクトに関心を寄せる人々が集い、社会とアートの関係性を探り、新たな「ことば」を紡ぐ場をつくる。今年度は「成果」「災間」「拠点」をテーマに、東京アートポイント計画に関連するプロジェクトの活動紹介や、ゲストを招いてトークセッションを行った。

【実施状況】

実施日	会場	プログラム名	内容	登壇者	参加者数 (人)
7/8	アーツカウンシル 東京	Artpoint Meeting #12 “わたしたち”の文化をつくる—成果の見方、支える仕組み—	アートプロジェクトの営みそのものに着目し、活動が必要とされる土台や、判断が難しいその「成果」についての考え方を、国内外の事例と併せて考えた。	小林瑠音（芸術文化観光専門職大学）、鈴木一郎太（アーツカウンシルしずおかプログラム・ディレクター）	73
10/22	東京都現代美術館 講堂	Artpoint Meeting #13 災害の“間”をたがやす	日常の暮らしの中で、地域で災害と向き合うにはどうすればいいのか？ 災害の経験を共有する術として、ゲストとともにアートに関わる可能性について対話した。	牧紀男（京都大学防災研究所教授）、瀬尾夏美（アーティスト、一般社団法人NOOK）	48
12/17	武蔵野プレイス 4F フォーラム	Artpoint Meeting #14 わたしたちの“拠点”をつくる：ひらきかた と つづけかた	アートプロジェクトにおける「拠点」をテーマに、様々な立場や地域の事例を紐解きながら、拠点をひらき、続けていくためにそれぞれが大事にしていることや、拠点の運営について考えた。	三富章恵（NPO法人アーツセンターあきた事務局長）、飯島知代（HAPPY TURN／神津島事務局）、下田展久（C.A.P. [芸術と計画会議]ディレクター）	46

【参加者の声】

- Artpoint Meeting #12 “わたしたち”の文化をつくる—成果の見方、支える仕組み—
 - ・生活者の創造性、コミュニティ・アートに興味があるのでぴったりの会でした。もっと聞きたいです。日本のアートプロジェクトの話を考えるときに海外の事例も参考になると思うので、今後も海外の視点も入れたディスカッションが必要だと思います。
 - ・アカデミック＋実践で、複数の拠点でのお話を伺うことができ、大変貴重な機会をいただきました。
- Artpoint Meeting #13 災害の“間”をたがやす
 - ・今日の話をどう地域の減災対策に活かすことができるのかを考えてみたいと思います。
 - ・立場の違う方から災害について話を聞いたことがとても勉強になりました。誰かの語りや誰かの住まいに向き合う難しさと重要さを知ることができました。
- Artpoint Meeting #14 わたしたちの“拠点”をつくる：ひらきかた と つづけかた
 - ・子供の居場所づくり、教育に関わるNPOで活動をしています。地域の人々との関わりや理解を得るヒントをたくさん得ました。
 - ・都市、地方、島の話がそれぞれ良かった。人と何かを始める、続けることには気持ち（モチベーション）、予算、面白味など、多方面に展開が必要とあらためて感じた。

38

Tokyo Art Research Lab (TARL)

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月
実施場所	都内各所、オンライン
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
参加者数	134人（動画再生回数：4,540回）

【事業趣旨（目的）】

アートプロジェクトの現場の課題に対応した新たなアートプロジェクトの構想、スキルの提供や開発を行い、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指す。

【実施状況】

1. 新たな航路を切り開く

平成23（2011）年以降に生まれたアートプロジェクトと、それらを取りまく社会状況を振り返りながら、これからの時代に応答するアートプロジェクトのかたちを考えるプログラム。多様なアートプロジェクト実践者たちの視点や活動を記録しながら、この10年の間に社会がどのように動き、アートプロジェクトがどのように応答してきたのかを振り返った。また、これからアートプロジェクトの実践者になり得る人たちとともに、これからのアートプロジェクトのかたちを考える演習を行った。

実施日	プログラム名	会場	内容	ナビゲーター、ゲスト等	参加費 (円)	参加者数 (人)	開催回数 (本)
4～3月	年表をつくるー 2011年以降の アートプロジェ クトを振り返る	—	平成23（2011）年以降に生まれたアートプロジェクトを俯瞰し、年表を制作するプログラム。今年度は、基本的な社会的事象に加え、ナビゲーターの視点や、多様な実践者たちの視点も組み込みながら、年表の基礎となる情報の整理・収集を行った。	芹沢高志（P3 art and environment統括ディレクター）	—	—	—
9/6, 20, 10/4, 18, 11/15 動画公開	応答するアート プロジェクト ケーススタディ・ ファイル	オンラ イン	平成23（2011）年以降に生まれた多様なアートプロジェクトの実践者をゲストに、その成り立ちとプロセス、現在地までを何う映像プログラムを5本制作。ひとつひとつのアートプロジェクトを詳細に見ていくことで社会状況とアートプロジェクトの連関を捉えるための映像資料として公開した。	ナビゲーター：芹沢高志（P3 art and environment統括ディレクター） 運営：和田真文、大泉愛子 ゲスト：上田假奈代（詩人、詩業家）、山岸清之進（プロジェクトFUKUSHIMA!代表、ディレクター）、小森はるか+瀬尾夏美（アートユニット）、平野真弓（Load na Dito Projects共同設立者、キュレーター）、A3BC（木版画アート・コレクティブ）	無料	1,370回 (YouTube 動画再生数)	5
10/4, 11, 18 動画公開	3つの航路	オンラ イン	長きにわたり様々なアートプロジェクトを牽引してきた3名のゲストを迎え、その活動について何う映像プログラムを制作。活動を始めたときの時代背景やモチベーション、活動の中で見えてきた変化や現在地など、それぞれの航路を紐解きながら、これからの社会とアートプロジェクトのかたちを考えるための映像資料として公開した。	ナビゲーター：芹沢高志（P3 art and environment統括ディレクター） ゲスト：北川フラム（アートフロントギャラリー主宰）、小池一子（クリエイティブ・ディレクター）、南條史生（キュレーター、美術評論家）	無料	1,346回 (YouTube 動画再生数)	3
9～1月	演習 自分のア ートプロジェクトを つくる	アーツ カウン シル東 京	アートプロジェクトの立ち上げやディレクションに関心のある方を対象に、セミナー形式の演習を行った。参加者は、状況に対してどのような問題意識を持ち、どのようにアクションしていけるのかを、アーティストやナビゲーターとのディスカッション、参加者同士でのワークを通して深めながら、それぞれのアートプロジェクトを構想し、展開した。	ナビゲーター：芹沢高志（P3 art and environment統括ディレクター） プログラムマネージャー：嘉原妙 アシスタントマネージャー：和田真文 ゲスト：嘉原妙（アートマネージャー、アートディレクター）、尾中俊介（グラフィックデザイナー、詩人）、小田香（映画作家）	32,000	14	8

2. アートプロジェクトの担い手のための手話講座

(1) ろう者の感覚を知る、手話を体験する2023

手指の動きや表情など身体を動かしながらコミュニケーションを交わし、ろう者の感覚に触れるためのワークショップ。ろう者の感覚を体感し、発話に頼らないコミュニケーションの姿勢を身につけることを目指した。

実施日	プログラム名	会場	講師等	参加費 (円)	参加者数 (人)
A 日程	10/5 第1回身体を動かして表現しよう	アーツカウン シル東京	講師：河合祐三子（俳優、手話・身体表現ワークショップ 講師） 手話通訳：瀬戸口裕子（手話通訳士） 企画：嘉原妙（アートマネージャー、アートディレク ター） 運営：齋藤彰英（写真家） ゲスト：Sasa/Marie（A、B日程第2回ゲスト）、南 雲麻衣、藤田さや夏（A日程第3回ゲスト）善岡修、須 永美智子（B日程第3回ゲスト）	6,000	12
	10/12 第2回ろう者の「聞こえ方」を体験してみよう				
	10/26 第3回ろう者と伝え合おう				
B 日程	11/5 第1回身体を動かして表現しよう				11
	11/12 第2回ろう者の「聞こえ方」を体験してみよう				
	11/19 第3回ろう者と伝え合おう				

3. 手話に触れる文化的な取組を考える、動く、現在を残す

手話に関する取組を事例に、企画づくりや運営の試行錯誤を記録するシリーズ。アーツカウンシル東京が実施する「手話」や「ろう文化」、「視覚身体言語」に関わる3つの事例を取り上げ、それぞれの実践者による座談会を実施し、冊子としてまとめた。また、冊子に収録した3つの座談会、および掲載しているテキスト「はじめに」と「おわりに」の内容は映像としても公開した。

○「まず、話してみる。ーコミュニケーションを更新する3つの実践」【冊子】

- ・発行日：令和6（2024）年3月10日（日）
- ・発行部数：550部

○「まず、話してみる。ーコミュニケーションを更新する3つの実践」【映像編】

YouTube <https://www.youtube.com/playlist?list=PLGPirI6obOjZauCUFOIzEJ4wUOSkWyDNU>

- ・公開日：令和6（2024）年3月21日（木）
- ・再生回数：714回
- ・座談会ゲスト：河合祐三子、瀬戸口裕子、畑まりあ、二瓶剛、根本和徳、和田夏実
- ・モデレーター：嘉原妙、櫻井駿介、小山冴子
- ・手話通訳：伊藤妙子、山崎薫、新田彩子、瀬戸口裕子、加藤裕子、石川ありす、佐藤晴香、小松智美、蓮池通子

4. ジムジム会

東京都内各地でアートプロジェクトを実施する「東京アートポイント計画」に参加する8つのプロジェクト事務局とともに、プロジェクト運営に必要なテーマを学び合うネットワーキング型の勉強会「事務局による事務局のためのジムのような勉強会（通称：ジムジム会）」を実施した。また、地域で活動をひらくための「拠点」のつくり方や運営方法、役割について主宰メンバーが対談する映像を制作し、ジムジム会の教材にするとともに、一般公開した。

実施日	会場	プログラム名	ゲスト	参加者数(人)
6/16	Studio 04	第1回 キックオフ	——	34
11/17	アーツカウンシル東京	第2回 解決のヒントはおとなりさんがもっている2023		29
2/20	府中市市民活動センタープラッツ	第3回 はじまりの目標と現在地		34
12/7 動画公開	オンライン	Knock!! 拠点を訪ねてー芸術文化の場をひらくひとー仲町の家（吉田武司）× 藝とスタジオ（青木彬）	青木彬（ファンタジア！ファンタジア！ー生き方がかたちになったまちーディレクター）、吉田武司（アートアクセスあだち 音まち千住の縁ディレクター）	355回 (YouTube 動画再生数)
		Knock!! 拠点を訪ねてー芸術文化の場をひらくひとー国立本店（加藤健介）× くと（飯島知代）	飯島知代（HAPPY TURN／神津島事務局）、加藤健介（ほんとまぢ編集室室長）	408回 (YouTube 動画再生数)

5. 広報・成果物

(1) 東京アートポイント計画 PR MOVIE

Tokyo Art Research Lab (TARL) ウェブサイトを運営する「東京アートポイント計画」のPRムービーを作成し、公開した。

○YouTube <https://youtu.be/dfKEXFNL8IE>

- ・公開日：令和6（2024）年3月4日（月）
- ・動画再生数：347回

(2) メディア／レターの届け方 2023→2024「Words Binder 2023」

アートプロジェクトの現場で制作された成果物をまとめ、その「届け方」をデザインするプロジェクト。今年度は、デザイナーの川村格夫とともに、パッケージや同封するレターを設計し、Tokyo Art Research Lab (TARL)、東京アートポイント計画の各プロジェクトで制作された報告書やドキュメントブック計12冊を外部関係者へ送付した。

- ・期間：令和5（2023）年12月～令和6（2024）年3月
- ・発行部数：300部

(3) 成果物

○「Tokyo Art Research Lab ウェブサイト コンセプトブック つかい方と、つくり方」

- ・発行日：令和6（2024）年2月15日（木）
- ・発行部数：1,000部

○「(からだ) と (わからなさ) を翻訳する—だれもが文化でつながるサマーセッション2023『パフォーマンス×ラボ』の実験」

- ・発行日：令和6（2024）年3月21日（木）
- ・発行部数：550部

○「東京アートポイント計画 英語パンフレット」

- ・発行日：令和6（2024）年3月22日（金）
- ・発行部数：1,000部

○「Artpoint Reports 2023→2024」

- ・発行日：令和6（2024）年3月25日（月）
- ・発行部数：1,000部

【参加者の声】

●新たな航路を切り開く 演習 | 自分のアートプロジェクトをつくる

- ・最終目標が明確に決まっていたわけではなかったため、初めはただ受講するだけで終わってしまわないか不安がありましたが、1回ごとにしっかり考えたりディスカッションをしたりする時間が十分にあったことで、講座の時間内である程度考えを深められたのが良かったです。それぞれのペースで歩みを進めるほかの受講生の皆さんにも大いに刺激を受け、自分もマイペースに取り組みました。しっかりと自分自身と向き合う時間にし、自分の中にただ思想としてあっただけのことをプロジェクトとして概要を固めるところまで持っていけたので、自分としては目標達成、と思っています。
- ・疑問が解消できました。そして、様々な取組やイベント等がどのような考えのもとに行われているのか、少し理解できました。何よりプロジェクトというものの捉え方がはっきりつかめた気がしています。
- ・自分自身のアートへの向き合い方が更新されました。
- ・私にとってとても大切な起点となりました。自分が問いの中に何を抱えているのか、なんで表現したいのかをひとりでは到達できなかったところまで見つめ、外に出してみることができました。
- ・自分の思いと思考と表現が初めて重なり、何を大切にしたいかはっきりとつかめました。
- ・それぞれのアプローチは異なるけれど、自分のアートプロジェクトをつくるという同じ志を持つ人々との出会いが心強かった。
- ・企画を実現していけるよう具体的に動いていきたい。

●ろう者の感覚を知る、手話を体験する2023

- ・「ろう者の感覚を知る手話」といわれると手話でコミュニケーションと考えがちなところを、ろう者の目線、表情、手指や体の動かし方から「伝える」ことを学んでいくのは楽しかったです。ちょっとした眉の動きで伝わってくるものがあり、見えていなかったものがたくさんあるとあらためて思いました。

39

タレンツ・トーキョー 2023

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年11月20日（月）～11月25日（土）
実施場所	有楽町朝日ホール ほか
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、タレンツ・トーキョー実行委員会
提携	ベルリン国際映画祭（ベルリナーレ・タレンツ）
協力	ゲーテ・インスティトゥート／東京ドイツ文化センター
参加人数	タレンツ 17人、エキスパート（講師）9人

【事業趣旨（目的）】

映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（＝Talents、タレンツ）」を育成することを目的に、映画作家やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に招聘して実施。世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供する。

【実施状況】

参加希望者の増加に伴い、昨年度よりも定員を2人増やして17人として実施。国際的に活躍するプロフェッショナルをエキスパート（Main Experts, Master Class Experts, Other Experts）として迎え、レクチャーや企画合評会を実施。第一線で活動する専門家の視線に晒されることにより強烈なインスパイアを受ける体験の場となり、タレンツ同士や過去の修了生との交流も生まれ、参加者それぞれのネットワークを国際的に広げる機会を提供した。

〈参加者〉

○監督

- ・ OATES Yinchao（中国）
- ・ YUAN Yuan（中国）
- ・ ZHANG Yudi（中国）
- ・ Rex REN（香港）
- ・ M Reza Fahriyansyah（インドネシア）
- ・ 村山和也（日本）
- ・ 中西舞（日本）
- ・ SINN Kirin（韓国）
- ・ Sai Naw Kham（ミャンマー）
- ・ Treb Monteras II（フィリピン）
- ・ LAM Li Shuen（シンガポール）
- ・ Steve CHEN（台湾）
- ・ Nguyễn HOÀNG ĐIỆP（ベトナム）
- ・ VU Nguyen Nam Khue（ベトナム）

○プロデューサー

- ・ Lyza Anggraheni（インドネシア）
- ・ Angelina Marilyn BOK（シンガポール）
- ・ NGUYEN Le Hang（ベトナム）

〈メイン・エキスパート〉

- ・ Mouly Surya（監督）
- ・ Bianca BALBUENA（プロデューサー）
- ・ Pauline BOUCHENY（ワールドセールス）
- ・ Florian WEGHORN（ベルリナーレ・タレンツ プログラム・マネージャー）

〈マスタークラス・エキスパート〉

- ・ Wayne WANG（監督）

〈アザー・エキスパート〉

- ・ Anocha SUWICHAKORNPONG (監督)
- ・ Amanda Nell EU (監督)
- ・ Nicole Midori WOODFORD (監督)
- ・ Yohann COMTE (ワールドセールス)

40

アーツアカデミー

【事業概要】

- 実施期間** 令和5（2023）年4月～令和6（2024）年3月
実施場所 アーツカウンスル東京、東京芸術劇場、他劇場、オンライン
主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンスル東京、東京芸術劇場
参加者数等 ・芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座：
【対話型ゼミ】 受講生 12人、**【オンライン公開講座】** 申込者数・動画視聴回数 1,087
 ・ART JOB FAIR 2024（主催：株式会社artness）での特別企画：
【キャリア談話コーナー】 参加者 29人、**【トークイベント】** 参加者 33人
 ・芸術文化創造活動の担い手のための会計・税務講座：申込者数・動画視聴回数 1,626
 ・東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修：研修生 3人

【事業趣旨（目的）】

芸術文化の創造・発信を担う人材を育成するプログラム等を実施する。

○アーツカウンスル東京 芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座

社会における芸術文化の役割について深い知見と広い視野を持って思考、実践するためのキャパシティビルディング強化の支援。芸術文化創造活動の実務経験のある担い手を対象として実施。

○アーツカウンスル東京 芸術文化創造活動の担い手のための会計・税務講座

芸術文化活動を行ううえで役に立つ会計・税務の基礎知識や、持続的な団体運営や事業運営のためのヒントを提供する講座を実施。

※上記2講座については、東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」の取組として実施。

○東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

東京芸術劇場でのOJT型研修を通じた、劇場や芸術団体のプロデューサー、コーディネーターの育成事業。

【実施状況】

実施日	会場	プログラム名	講師等	内容	受講料	参加者数等（人・回）
9/25～2/8 全6回	アーツカウンスル東京、オンライン	芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座	ファシリテーター/アドバイザー：小川智紀、若林朋子 ゲスト講師：山元圭太、源由理子、小川希、中村美帆、青柳正規	【対話型ゼミ】 各受講生の活動の課題解決や目標達成に必要な思考力やスキルを多面的に磨く座学（「ヴィジョン・ミッション、ファンドレイジング」「評価①②」「実践者との対話」「文化的な権利」「芸術文化と社会」と課題解決戦略レポートの作成・発表。 【オンライン公開講座】 「評価①」「実践者との対話」「芸術文化と社会」の計3回をオンライン公開講座として開催。	無料	【対話型ゼミ】 12 【オンライン公開講座】 申込者数・動画視聴回数 1,087
1/27,28	東京ビルTOKIA西側ギャラリー	ART JOB FAIR 2024での特別企画	【キャリア談話コーナー】 談話者：キャパシティビルディング講座修了生6人 【トークイベント】 出演者：キャパシティビルディング講座修了生5人 モデレーター：野村政之	【キャリア談話コーナー】 キャリアに関する関心ごとを自由に談話する企画を実施。 【トークイベント】 「『芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座』の5年間とこれから」を実施。	無料	【キャリア談話コーナー】 参加者29 【トークイベント】 参加者33
8/2～11/2 全4回	オンライン	芸術文化創造活動の担い手のための会計・税務講座	講師：伊沢成貴、飯塚祐亮、谷夏比古 対話者：山本楓、須知聡子、山川陸、青木彬、山田心、中田一会	芸術文化領域の会計・税務業務について実績豊富な公認会計士・税理士を講師陣に迎え、「個人編」「任意団体編」「非営利法人編」「法人成り（法人化）+源泉徴収編」の4講座を実施。創造活動の実践者を聞き手役として交えた対話形式で開催。	無料	申込者数・動画視聴回数 1,626
通年	東京芸術劇場、他劇場	東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修	ゼミ講師：東京芸術劇場職員、若林朋子、横堀広彦、葛西周 ほか	東京芸術劇場でのOJT型研修を通じた、劇場や芸術団体のプロデューサー、コーディネーターの育成および舞台芸術に関する研修事業の実施。座学と現場での制作研修の両方を開催。他府県の公共劇場等へも視察に赴き、舞台芸術関係者とのネットワークを形成。	有償（研修生）	3

【参加者の声】

●アーツカウンシル東京 芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座

【対話型ゼミ】

- ・この講座を通して学んだことをインプットだけでなく、アウトプットまでつなげることができる、かつ、人にそれを論じる、という過程まで踏めるということが、ただ学ぶだけではなく、そこから自分がどう考えるかということろまでつなげることができるので良かったです。そして、一緒に学んだ方々がどう考えたのかということも知れたのでそこも良かったです。意見を真っ向から攻撃されながら否定されないという意見の交流が安心できる場所であつたので、居心地良く、かつ真剣に学ぶことができたと思います。また、個人面談の時間もあつたことが個人的に良かったです。1対1でお話できたことがすごく自分の中で大切な時間になりました。
- ・仲間の熱い想いに触れることができ、とても刺激を受けました。それぞれが異なる考え方や目標を持っている中でも、芸術文化を良い方向に導きたいという共通の想いを感じ、ひとつひとつの発表を心から受け止めました。皆さんの熱意溢れるプレゼンに感動し、途中で涙が出そうになりました。参加者が多いため、時間の制約は仕方ありませんが、5分が短く感じましたね！ 最初は、講座を通して具体的な活動の施策を立てることを考えていましたが、再度、自分の活動の根本を見つめ直す機会を得ました。これをきっかけに、自身の活動についてしっかり考え、行動していきたいと思っています。

【オンライン公開講座】

- ・最初は時間が長いのでウェビナーでどうかと思いましたが、まったくそんなこともなく最後まで画面にかじりついて視聴いたしました。最後の質疑応答も、ほかの方々の質問からさらに内容についての理解が深まり、とても良かったです！ 源先生の講義は大変素晴らしく！ また、ファシリテーターの方の解説と進行がテンポ良く、とても良かったです！
- ・文化的インディペンデントの事例をお聞きできたこと。後ろ盾のないアジア圏、闘い勝ち取ってきたヨーロッパ圏、日本の現状など。歴史、志、社会との関わりなど多種多様であること、日本におけるインディペンデントの成立はあり得るのか、次世代につなげていくための「状況についてのアーカイブ」など、心惹かれる言葉と行動力に敬意を表します。
- ・自分の課題意識が決して独りよがりではないと感じられて勇気が持てました。

●アーツカウンシル東京 芸術文化創造活動の担い手のための会計・税務講座

- ・基礎的なことをわかりやすく説明いただけて良かったです。家賃控除なども興味深かったです。（個人編）
- ・昨年より自分が成長しているなど実感があって嬉しかったです。引き続き継続して開催していただきたい講座だなと思いました。聞き手の方も芸術に携わっているため、疑問点等が共有できました。（任意団体編）
- ・すべてがわからなくてもひとつひとついねいに教えてくださったので、少しずつ理解できることが増えていくのを実感できる講座でした。（非営利法人編）
- ・今回の連続講座の中で、対話者とのキャッチボールが一番良かったと思いました。（法人成り（法人化）＋源泉徴収編）

●東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

研修終了後アンケートでは、研修の満足度で「非常に満足」1件、「どちらかといえば満足」1件、「普通」1件の回答を得た。

【ゼミ】

- ・ゼミでは都や国の文化政策を学ぶことで、どのようなプロセスで劇場運営内容が決定されているのかを理解することもできました。
- ・なかなかお話しする機会のない職員の方から直々に業務や業務を貫く考えを知ることができ本当に参考になりました。特に財団内の経理に関する仕組みが興味深かったです。助成金申請に関する業務などもゼミで取り上げていただけると勉強になるかもしれません。

【実務研修】

- ・公演制作業務ではアーティスト、スタッフの現場でのお仕事を毎日近くで見させていただきました。予算が限られている中、公共的な要素を含めつつ芸術的なクオリティも損なわない公演制作というのは大変な苦勞に伴うとあらためて思いながら自主事業を続け、公共劇場がより良くなっていくよう、研修終了後も働いていきたいと思いました。
- ・芸術に関する業務の運営の経験がないにも関わらず、劇場の運営業務の一部を垣間見るという貴重な機会をくださり本当にありがとうございました。この研修を通し、芸術文化の仕事の入り口に立たせていただいたと感じております。これは自身の反省でもあるのですが、本研修の出勤時間の多くは実務の中から主体的に学び取っていくこと

が求められるため、事前に学び取りたいことをクリアに描いていないと漫然と過ごしてしまうというので、初期の目標設定とその進捗を管理しておけば良かったと考えています。

【他館研修】

- ・他館研修はどれも貴重な体験で、芸術に対する熱い想いをを持った人が各地域にいることを知ることができました。
- ・他の劇場を見ることは、日本において芸劇がどの位置にいるのかを知るためには欠かせませんでした。そしてそれが報告書のテーマに非常に役に立ちました。報告書のノルマを達成するには苦勞が伴いましたが、文章の執筆能力はもちろん論理的思考を鍛えるきっかけになりました。そして何より、この10か月でたくさんの新しい音楽・演劇・ダンスに出会うことができました。

41 アートマネジメント人材等海外派遣プログラム

【事業概要】

派遣地及び派遣期間

- ①エディンバラ（スコットランド）
令和5（2023）年8月21日（月）～8月28日（火）
- ②タイランド・ピエンナーレ（チェンライ）、バンコク
令和5（2023）年12月8日（金）～12月15日（金）
- ③ニューヨーク・ブロードウェイ（米国）
令和6（2024）年1月8日（月）～1月15日（月）

主 催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【事業趣旨（目的）】

将来アーティストと社会をつなぐ役割を担う若手アートマネジメント人材を短期で芸術フェスティバル等に派遣し、国際的な活動の第一歩となるよう、海外の芸術文化関係者のネットワークをつくる機会を提供する。また、海外の先駆的な作品や創作現場に直に触れることで、国際的な視点に立った創作の機運醸成を図る。なお、将来的には本事業を通じて東京と各派遣先との連携を深め、東京と海外セクターとのネットワーク構築・強化につなげていく。

【実施状況】

① エディンバラ（スコットランド）派遣

- ・概要：令和5（2023）年8月にスコットランド・エディンバラで開催されるエディンバラ・フェスティバルの視察を中心に、演劇や音楽関係者とのミーティングや関連施設の視察を行う。
- ・募集期間：令和5（2023）年6月16日（金）～6月30日（金）
- ・派遣対象：舞台芸術（演劇、舞踊、音楽全般）に関わる若手を中心とするプロデューサー、ディレクター等
- ・応募者数：35人
- ・派遣人数：4人

② タイランド・ピエンナーレ（チェンライ）、バンコク派遣

- ・概要：タイランド・ピエンナーレ2023の開幕に合わせて派遣。今回のテーマは「オープンワールド」。多様な文化と豊かな歴史を持つ古代都市を舞台に芸術を通じて地球規模の課題に関与するとともに、ピエンナーレに集う各国のアート関係者とのネットワークづくりの機会となる。その他、バンコクでの視察も行う。
- ・募集期間：令和5（2023）年9月19日（火）～10月10日（火）
- ・派遣対象：視覚芸術に関わる若手を中心とするキュレーター、ディレクター、アートプロフェッショナル等
- ・応募者数：4人
- ・派遣人数：2人

③ ニューヨーク・ブロードウェイ（米国）派遣

- ・概要：世界で最も熱いエンターテインメントの中心地ニューヨークで、「エンターテインメントビジネス」の魅力を、人々の生活・文化やブロードウェイ最先端のミュージカル等様々な観点から感じ取り学ぶ。滞在中は、ミュージカル鑑賞、美術館訪問、まちの探索、ブロードウェイミュージカルのバックステージツアーや現地で活躍するプロデューサーやアーティストとのディスカッション・交流などを通じて、本場のエンターテインメントビジネスの、日本にはない発想や規模の大きさに触れる。
- ・募集期間：令和5（2023）年9月19日（火）～10月16日（月）
- ・派遣対象：舞台芸術（演劇、舞踊、音楽等全般）に関わる若手を中心とするプロデューサー、ディレクター、技術者、演者等
- ・応募者数：49人
- ・派遣人数：4人

④ 派遣事業報告会

- ・概要：令和5（2023）年度の3か所の派遣先に赴いた被派遣者の成果を発表する報告会。10名それぞれによる個別プレゼンテーション（成果発表）とインタビュー形式による全体ディスカッションを行い、会場参加者と派遣成果の共有を図った。在京外国文化交流機関（UK、ドイツ、イタリア、カナダ・ケベック州等）や芸術文化施設関係者のほか、若手アートマネージャーや劇団関係者など多彩な参加者が集まり、本プログラムへの関心の高さが窺えた。
- ・実施日時：令和6（2024）年2月28日（水）18:30～20:30
- ・実施場所：アーツカウンシル東京 会議室
- ・参加者数：71人

【派遣参加者の声】

●エディンバラ（スコットランド）派遣チーム

- ・カオスでありながら、無数のプロフェッショナルやアーティストが国際的に活動するための仕組みがつくられている。今回の派遣事業では、多くのプログラムを鑑賞してフェスティバルとしてのフリンジの面白さ・過激さを体感できたのに加えて、運営側のエディンバラ・フリンジ・ソサエティの方や、各国から参加しているフェスティバル関係者から直接お話を伺うことができた。貴重な機会を与えていただきありがとうございました。
- ・エディンバラ・フェスティバルでは、上演団体それぞれが目標・ターゲットを設定し、その目的に応じた上演方法や観客へのアプローチを実践しており、またそれを後押しする制作的なサポートがなされているという印象を受けた。さらに異なる国や芸術ジャンルのアーティストが集まり、フラットに意見交換を行うような場が多く、彼らを通して自身の活動や活動拠点である「日本」の文化特性が見えてくるような経験は非常に貴重であった。
- ・一都市における文化事業としての地元コミュニティやスポンサーとの関係性のつくり方や、文化的多様性を尊重しながら新しい観客層を引き込む戦略などの挑戦は老舗のプログラムとしての保守的な一面もありながら、生き残るための挑戦的な視座を強く感じ、今後の自身の活動において、このバランスを見極めながら、どのようにして文化事業としての盛り上がりをつくるかを考えるきっかけとなった。
- ・今回の経験をふまえ、各組織がどんなミッションを持ち、事業を展開していくべきか意見交換の機会を設けたいと考えた。まずは所属組織のミッションは何か、そこに基づく事業展開ができているかを問い直していきたい。

●タイランド・ピエンナーレ（チェンライ）、バンコク派遣チーム

- ・まだまだ若輩な私の話を熱心に聞いてくれたり、インタビューに応じてくれたり、快く案内してくれた（面倒をみてくれた）方々には感謝してもしきれない。今回のプログラムは視野を大きく広げてもらえる貴重な経験となった。
- ・本派遣プログラムに参加したからこそ再会した方々や新しく出会った方々もあり、自身の活動にすぐ反映できそうなので大変感謝している。

●ニューヨーク・ブロードウェイ（米国）派遣チーム

- ・現地では多分野、多視点で話を聞くことができ、広い視野を持ってNYの文化を捉えられた。また、言葉や文化が違う土地でだからこそ体感した感覚や意識（言語・人種・ジェンダーの意識）、思考（ビジネス的な観点）も大きな財産になると感じている。この経験は個人的にも広く共有していきたいと思っている。
- ・舞台業界における持続可能性についてのリサーチを目的に参加した。ベーシックプログラムではブロードウェイの全体像をつかみ、ユニオン（組合）によって各役職の労働環境が守られていることを学んだ。コロナ後にDEI（Diversity：多様性、Equity：公平性、Inclusion：包括性）の導入が加速した経緯や環境配慮にはまだ課題があることも様々な人たちにヒアリングする中で浮き彫りになった。
- ・まずは都内で主な活動を実施している演劇団体の一員として、今回の学びから取り入れるべきものは早急に取り入れ、引き続きこの経験・知見を多くの方と共有し、業界全体で課題に取り組むことができる環境づくりに努めていく。また今回の派遣でお会いした方々との関係性も引き続きつなぎ止めながら、今後の活動に活かすことができらばと思う。
- ・ブロードウェイにおけるショービジネスの知見は非常に参考になり、マーケティングやファンドレイズ、PRなど作品以外の部分の重要性をあらためて見出した。また、ブロードウェイやアートフェスに関わらず、人種や性別など多様性に焦点を当てた作品の多さが印象的だった。

42

アーツカウンシル・フォーラム 『都市の中でアートがつないでいくもの ー創造現場のシフトチェンジから考える』

How can art connect? Transition in the creative field

【事業概要】

実施日時	令和5（2023）年12月17日（日）14:00～17:00
実施場所	YAU STUDIO
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
参 加 料	無料（事前申込制）
参加者数	68人（アーカイブ映像総視聴回数：400回（日・英））
言 語	日本語及び英語（同時通訳）

【事業趣旨（目的）】

海外の芸術文化団体や文化施設とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高めていく。

【実施状況】

芸術文化分野において今日的かつ重要なテーマを取り上げるアーツカウンシル・フォーラム。様々な分野の有識者と、国際都市としての芸術文化施策のあり方をめぐる議論の場の創出を目指して実施している。会場で対面開催後、アーカイブ映像配信を日英2か国語で行った。また報告書を作成しウェブサイト上で公開した。

令和5（2023）年度は、都市で行われる創造活動のフォーマットのひとつである「国際フェスティバル」に着目し、シフトチェンジが求められている今、創造活動はどのように継続していけるか、また活動のあり方そのものや制作の現場のあり方などにつき、イギリス及びドイツからプレゼンターを迎え、それぞれの立場から意見を伺い、議論を行った。

〈プレゼンター〉 ※順不同・敬称略、肩書は開催時のもの

・イ・スッキョン

英国マンチェスター大学ウィットワース美術館館長

第14回光州ビエンナーレ（令和5（2023）年）のアーティスティック・ディレクターを務め、「soft and weak like water（天下に水より柔弱なるは莫し）」というタイトルのもと、抵抗、先住性、脱植民地主義、エコロジーといったテーマを探求した。テート・モダンではインターナショナル・アート部門シニアキュレーターを務め、展覧会、コレクション展示と収集に携わった。また、第56回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展（平成27（2015）年）では韓国館のコミッショナー兼キュレーターを、第60回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展（令和6（2024）年）では日本館のキュレーターを務めている。

・橋本裕介

ベルリン芸術祭（Berliner Festspiele）ヘッド・ドラマトゥルク

京都大学在学中より演劇活動を開始、平成15（2003）年に橋本制作事務所を設立後、京都芸術センター事業「演劇計画」など、現代演劇、コンテンポラリーダンスの企画・制作を手がける。平成22（2010）年よりKYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭を企画、平成31（2019）年までプログラムディレクターを務める。平成26（2014）年から令和4（2022）年までロームシアター京都勤務、プログラムディレクター等を務める。平成25（2013）年から平成31（2019）年まで舞台芸術制作者オープンネットワーク（ON-PAM）理事長。令和4（2022）年9月より現職、Berliner Festspieleが秋から冬にかけて実施する舞台上演企画「Performing Arts Season」プログラムディレクター。

〈モデレーター〉

・五十嵐太郎（建築史・建築評論家、東北大学大学院工学研究科教授）

43

区市町村連携事業

【事業概要】

実施期間	令和5（2023）年7月30日（日）～令和6（2024）年2月12日（月・祝）
実施場所	プリモホールゆとろぎ 小ホール、S&Dたまぐーセンター 研修室A、青梅市立第三中学校 各教室・体育館、グリーンパレス新館 多目的ホール、江戸川区立西葛西図書館ギャラリー
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 羽村市、青梅市、江戸川区（各開催地のみ）
鑑賞者数	558人

【事業趣旨（目的）】

地域での文化事業を通じて住民が身近に芸術文化を楽しむことができる環境を整えるため、地域ニーズに即した芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、東京都・区市町村自治体・東京都歴史文化財団の連携による事業実施ノウハウの共有やネットワークの構築を通じて、地域における文化事業の企画・実施能力の向上を図ることを目的とする。

【実施状況】

事業名	実施日	会場	プログラム・内容	アーティスト	入場者数(人)
東京都・羽村市芸術文化連携事業	7/30	プリモホールゆとろぎ 小ホール	東京文化会館ミュージック・ワークショップ「バーバラの魔法のくすり」	桜井しおり、野口綾子（東京文化会館ワークショップ・リーダー）、林周雅（ヴァイオリン）、石原雄介（コントラバス）、藤原耕（打楽器）、森山太（声）	約140
東京都・青梅市芸術文化連携事業	10/15	S&Dたまぐーセンター 研修室A	芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド ミニコンサート「親子で楽しむわくわくコンサート！～聴いて、歌って、踊って～」	芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド 野口美夢（フルート）、村松和奈（オーボエ）、栗山かなえ（クラリネット）、加地佑唯（ファゴット）、大塚季（ホルン）	176
	10/29、12/3	青梅市立第三中学校 各教室	芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインドによる楽器講習会	芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインドメンバーから講師として14名	青梅市内5校の吹奏楽部が参加 (参加生徒数 52)
	12/17	青梅市立第三中学校 体育館	「第28回青梅市中学校吹奏楽 連合定期演奏会」において、芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインドメンバーの金管五重奏が演奏を披露。出演メンバーは、中学生の合同演奏を聴き講評を行った。	芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド 中山京、守屋紗弥（トランペット）、大塚季（ホルン）、代田将也（トロンボーン）、山田悠貴（チューバ）	青梅市内5校の吹奏楽部が参加 (参加生徒数 57) ※連合定期演奏会入場者数 151
東京都・江戸川区芸術文化連携事業	2/12	グリーンパレス新館 多目的ホール	東京文化会館ミュージック・ワークショップ「動物たんてい～かくれているのは、だあれだ？～」	磯野恵美、桜井しおり（東京文化会館ワークショップ・リーダー）	58
	2/12	江戸川区立西葛西図書館ギャラリー	東京文化会館ミュージック・ワークショップ「リズムカル・キッチン」	櫻井音斗、古橋果林、松井くるみ（東京文化会館ワークショップ・リーダー）	33

【参加者の声】

- ・子供が音楽（歌うこと）が好きなので、参加して楽しそうでした。あまりこういったイベントを見かけないので、参加できて嬉しかったです。
- ・子供がとても楽しんでいました。飽きさせないような工夫も感じられましたし、子供と一緒に頑張って練習するのが、とても良いと思いました。
- ・クラシックの音を近くで聞けてとても良かったです。子供に寄り添った内容で音楽が一方的にならずに子供が参加できるのが良かったです。
- ・音楽ワークショップってどんなことをするのだろう？ と思って来ました。五感で音やリズムを感じる楽しいイベントでした。また来たいです。
- ・大変クオリティが高く驚きました！ 演奏はもとより、歌・ダンス・衣装からセリフまで世界観が最高でした！ アレンジもとてもオシャレで聴き惚れました。

44

区市町村等職員向け文化行政講座

【事業概要】

実施日	令和5（2023）年6月1日（木）、12月21日（木）、令和6（2024）年3月25日（月）
実施場所	東京芸術劇場 シンフォニースペース、新宿NSビル NSスカイカンファレンス ルーム3・4、ルーム5・6
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
参加者数	229人（会場参加・オンライン参加含む）

【事業趣旨（目的）】

都や区市町村が展開する地域での文化事業を通じて、住民が芸術文化を気軽に楽しむことができる環境を整えるために、文化行政の基礎知識や東京都歴史文化財団が持つ事業実施に必要なノウハウ等を区市町村等職員と共有し、地域における文化事業の企画・実施能力を強化することを目的とする。

【実施状況】

実施日	会場	プログラム名	講師・登壇者	内容	参加者数 (人)
6/1	東京芸術劇場 シンフォニースペース	第1回 (基礎編)	鬼木和浩（横浜市にぎわいスポーツ文化局文化振興課長（主任調査員））	講座テーマ「自治体の文化行政に必要な基礎知識やノウハウ」 自治体文化行政の意義や目的、人々へもたらす価値について講義及びグループセッションを行った。	81
12/21	新宿NSビル NSスカイカンファレンス ルーム3・4	第2回 (実践編)	東京都、区市町村自治体、公益財団法人東京都歴史文化財団 職員	講座テーマ「文化行政にかかる各自治体の取組事例」 東京都、区市町村自治体、東京都歴史文化財団から、11の事業等を好事例として紹介。また、講義の内容を踏まえ、グループごとに課題や解決策を意見交換するグループセッションを通じて、国・都・区市町村の役割分担や地域格差など課題感を共有し、情報交換を行った。	85
3/25	新宿NSビル NSスカイカンファレンス ルーム5・6	第3回 (実践編)	鬼木和浩（横浜市にぎわいスポーツ文化局文化振興課長（主任調査員）） 植山貴司（アクティオ株式会社 執行役員東日本営業部長） 佐々木秀彦（アーツカウンシル東京企画部企画課長）	講座テーマ「より良い指定管理者制度の運用とは何か」 導入から20年が経過した指定管理者制度について制度理解を深めるとともに、各講師がテーマごとに課題を掘り下げ、より良い制度運用について議論する鼎談形式にて実施。 グループセッションでは、出席者それぞれの所属における施設運営の課題等を話し合い、講座の学びを自身の業務にどのように活かせるかを考えた。	63

※参加者数は、会場参加・オンライン参加含む

【参加者の声】

- ・気づきが非常に多く、大変ためになりました。文化に予算をかける意味について、漠然と考えていた内容が明確になりました。
- ・例年実施している事業についてルーティーン化してしまい、目的や効果を忘れがちになっていることに気づかされました。取組方をあらためて見直す良い機会になりました。
- ・他自治体の取組はこういった機会がないと見えてこないのので、大変参考になった。
- ・民間企業からの意見や他市の状況など、普段率直なお話を伺う機会がほとんどない方とお話しできたことはとても有意義でした。

※掲載クレジットの名称、所属、肩書き等は 2023 年時点のものになります。

編集 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
制作・印刷 株式会社丸井工文社

※無断転載禁止

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
〒102-0073
東京都千代田区九段北 4 丁目 1-28 九段ファーストプレイス 5 階・8 階
TEL：03-6256-8432
E-MAIL：info@artscouncil-tokyo.jp
URL：www.artscouncil-tokyo.jp

